LP-M720F

プリンター／コピー／スキャナー
ユーザーズガイド

NPD4716-00

マークの意味

!重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

 使い方のヒントや注意していただきたいことを記載しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 7 の画面を使用しています。

商標

ご注意

もくじ

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはセイコーエプソン株式会社（以下、「エプソン」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをエプソンにより付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべてエプソンおよびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標で

あっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。

9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. エプソンおよびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。エプソンおよびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

Adobe 社カラープロファイルについて

Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）

カラープロファイル使用許諾契約書

ユーザー様への注意：本契約書をよくお読みください。本ソフトウェアの全部または一部を使用した場合、本ソフトウェアのすべての諸条件ならびに本契約書のすべての諸条件を受諾したものと見なされます。本契約書の条件に同意できない場合は本ソフトウェアの使用をおやめください。

第 1 条　定義

本契約書において「Adobe 社」とは、合衆国デラウェア州法人 Adobe Systems Incorporated（345 Park Avenue, San Jose, California 95110）を意味します。「本ソフトウェア」とは、本契約書が添付されたソフトウェアならびにその関連品目を意味します。

第 2 条　ライセンス

ユーザーが本契約書の諸条件に従うことを条件として、Adobe 社は本ソフトウェアの使用、複製、公での展示を行うライセンスを全世界的、非排他的、譲渡不能、ロイヤルティ不要のものとしてユーザーに許諾します。さらに Adobe 社は、（a）本ソフトウェアがデジタル画像ファイルに埋め込まれた状態であり、しかも（b）スタンドアローン・ベースである場合に限り、本ソフトウェアを配布する権利をユーザーに許諾します。それ以外の場合には本ソフトウェアを配布することはできません。たとえば、何らかのアプリケーションソフトウェアに組み込まれている状態やそうしたソフトウェアにバンドルされている状態では、本ソフトウェアを配布することはできません。個々のプロファイルは、いずれも ICC プロファイル記述文字列によって参照されている必要があります。ユーザーは本ソフトウェアを改変してはいけません。Adobe 社は本ソフトウェアまたはその他品目のアップグレードや将来のバージョンなど、本契約に基づいて何らかの支援を提供する義務を一切負いません。本ソフトウェアの知的所有権に関するいかなる権原も、本契約の条項に基づいてユーザーに移転することは一切ないものとします。ユーザーは本契約に明示的に定められている権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も取得しないものとします。

第 3 条　配布

ユーザーが本ソフトウェアを配布する場合、以下を了解した上で配布を行ったものと見なされます。すなわち、その配布（ユーザーによる本第 3 条の不履行を含み、かつそれに限定されない）に起因して何らかの賠償請求、訴訟、その他の法的措置が行われ損失、損害、費用が発生した場合、それに対

してはユーザーが抗弁を行い、損失を補填し、Adobe 社を完全に保護することにユーザーが同意したと見なされることになります。またユーザーが本ソフトウェアをスタンドアローン・ベースで配布する場合、ユーザーは本契約またはユーザー自身の使用許諾契約の諸条件に基づいて配布を行うものとし、この場合におけるユーザー自身の使用許諾契約は、（a）本契約の諸条件を遵守している、（b）明示的にせよ黙示的にせよ、すべての保証および条件付与を有効に排除している、（c）損害に対するすべての責任を Adobe 社に代わって有効に排除している、（d）本契約と異なるすべての規定は、Adobe 社ではなくユーザーが単独で提供するものであることを明記している、（e）本ソフトウェアがユーザーまたは Adobe 社から入手可能であることと、ソフトウェアの交換に一般に用いられている媒体で本ソフトウェアを入手する妥当な方法とを記述している、ものでなければなりません。配布する本ソフトウェアには、Adobe 社の著作権表示を、Adobe 社がユーザーに提供した本ソフトウェアにおけるのと同様に行う必要があります。

第 4 条　保証の排除

Adobe 社は本ソフトウェアを「現状のまま」ユーザーに使用許諾しています。したがって本ソフトウェアが特定目的に適合しているかどうか、あるいは特定の結果を生み出すことができるかどうかについて、Adobe 社は一切の表明を行いません。また Adobe 社は、本契約に起因する損失または損害、あるいは本ソフトウェアまたはその他資料の配布または使用に起因する損失または損害について、一切の責任を負わないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、ユーザーが本ソフトウェアを使用した場合のパフォーマンスまたは結果について一切保証しません。ただしその居住地域においてユーザーに適用される法律が排除または制限を禁じている保証、条件付与、表明、約定については、その限りではないものとします。Adobe 社およびそのサプライヤは、制定法、普通法、慣習法、慣行その他いかなる法的根拠に基づくかを問わず、また明示的であるか黙示的であるかを問わず、第三者の権利の不侵害、完全性、品質に対する満足、特定目的への適合性などを含みかつそれに限定されず、一切の保証、条件付与、表明、約定を行いません。ただしユーザーは、法域によって異なるその他の権利を保有する場合もあります。第 4 条、第 5 条、第 6 条の規定は、いかなる原因で本契約が終了したにせよ、その終了後も効力が継続するものとします。ただしこの規定は、本契約の終了後も本ソフトウェアを継続使用する権利を黙示するものではなく、またそうした権利を設定するものでもありません。

第 5 条　責任の制限

Adobe 社またはそのサプライヤは、ユーザーがこうむった損害、請求、費用、派生的損害、間接的損害、付随的損害、利益の喪失、貯蓄の喪失に対して、いかなる場合もその責任を負わないものとし、たとえ Adobe 社の代表者がそうした損失、損害、請求が発生する可能性や第三者による請求の事実を助言されていた場合であっても、責任を負わないものとします。以上の制限および排除の規定は、ユーザー居住地の法律上許容される限度で適用されるものとします。本契約に起因または関連して Adobe 社またはそのサプラ

イヤが負う賠償責任の総額は、本ソフトウェアに対し支払いが行われた金額を上限とします。ただし Adobe 社の過失または不法行為（詐欺）によって生じた死亡または傷害については、本契約のいかなる規定によっても、Adobe 社がユーザーに対して負う責任は制限されません。Adobe 社がサプライヤに代わって行為するのは、本契約の規定のとおりに義務、保証、責任を排除、除外、制限することが目的である場合に限られており、それ以外の場合または目的でサプライヤのために行為することはありません。

第 6 条　商標

Adobe および Adobe のロゴは、合衆国およびその他の国における Adobe 社の商標または登録商標です。参照のために使用する場合を除き、Adobe 社による別個の書面による許可を事前に得ていない場合には、ユーザーは上記の商標あるいは Adobe 社のその他の商標またはロゴを使用することはできません。

第 7 条　期間

本契約はその終了まで効力が存続するものとします。ユーザーが本契約の規定遵守を怠った場合、Adobe 社はただちに本契約を終了させる権利を有します。そうした契約終了時には、ユーザーはその占有下または管理下にある本ソフトウェアの全体コピーおよび部分的コピーのすべてを、Adobe 社に返却しなければなりません。

第 8 条　政府規制

本ソフトウェアの一部が合衆国輸出管理規則その他の輸出に関する法律、制限、規制（以下「輸出法」という）において輸出規制品目と認められた場合、ユーザーは自身が輸出規制対象国（イラン、イラク、シリア、スーダン、リビア、キューバ、北朝鮮、セルビアなど）の国民ではなく、しかもそれらの国に居住していないこと、さらに、ユーザーが本ソフトウェアを受領することが輸出法に基づく何らかの理由で禁止されているのではないことを、表明および保証する必要があります。本ソフトウェアを使用する一切の権利は、本契約の諸条件の遵守を怠るとただちに失われるという条件に基づき提供されています。

第 9 条　準拠法

本契約は、カリフォルニア州内でその住民同士が締結、履行する契約に適用される法律など、カリフォルニア州で施行されている実体法に準拠し、それに基づいて解釈されるものとします。本契約には、いかなる法域の抵触法の原則も、あるいは「国際物品売買契約に関する国連条約」も適用されないものとし、それらの適用を明示的に排除します。本契約に由来、起因、関連して発生したすべての紛争は、合衆国カリフォルニア州サンタクララ郡において解決を図るものとします。

第 10 条　一般条項

Adobe 社による事前の書面による同意がある場合を除き、ユーザーは本契約に基づいて得た権利または義務を譲渡することはできません。本契約のいかなる規定も、Adobe 社、その代理人、その被用者の側のいかなる行為または黙認によっても放棄されたと見なされることはないものとしますが、正当な権限を有する Adobe 社社員が署名を行った法律的文書による場合にはその限りではないものとします。本ソフトウェアに含まれるその他の合意と本契約とで異なる言語が用いられている場合、その他の合意における条項を適用します。ユーザーまたは Adobe 社が弁護士を雇用し、本契約に依拠または関連する権利の実現を図った場合、勝訴当事者は妥当な弁護士費用を回収する権利を有するものとします。ユーザーは、本契約を読み了解したこと、さらに本契約がユーザーと Adobe 社との完全で排他的な合意であり、ユーザーに対する本ソフトウェアの使用許諾に関し、口頭または書面によって以前に両者間で成立したあらゆる合意に優先するものであることを認めるものとします。正当な権限を有する Adobe 社社員が書面に署名を行い、Adobe 社が明示的な同意を示している場合を除き、本契約における条項のいかなる改変も Adobe 社に対して効力を持たないものとします。

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）

東洋インキ標準色コート紙プロファイル（TOYO Offset Coated 2.1）は、ICC プロファイル規格に準拠したデバイスプロファイルで、東洋インキ製造株式会社が作成した標準オフセット印刷のプロファイルです。

「東洋インキ標準色コート紙」とは

東洋インキ製造株式会社の枚葉インキを用い、東洋インキ製造株式会社が標準と考えるオフセット枚葉印刷の再現色を、コート紙への実機印刷により定めたものです。「東洋インキ標準色コート紙」は日本国内におけるプロセスカラー印刷の色標準である「Japan Color」に準拠しています。

必要システム構成

ICC プロファイルを使用するカラーマネージメントシステムを持つシステムまたはアプリケーションが必要です。

東洋インキ標準色コート紙プロファイルの使用条件および注意事項

1. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用して再現されたコンピュータビデオシミュレーションの色やカラープリンター等により出力された色は、「東洋インキ標準色コート紙」と必ずしも一致するものではありません。
2. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルを使用し、または使用できなかったことにより生じた一切の損害に関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる責任も負いかねます。
3. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルの一切の著作権は東洋インキ製造株式会社が所有しており、東洋インキ製造株式会社の事前の書面による許可無く、本データを譲渡、提供、転貸、頒布、公開せず、第三者に使用させることもできません。
4. 東洋インキ標準色コート紙プロファイルに関して、東洋インキ製造株式会社はいかなる問い合わせも受けかねます。
5. ドキュメント中に記載されている会社名、製品名は、関係各社の商標または登録商標です。

本プロファイルは、東洋インキ製造株式会社が GretagMacbeth 社製ソフトウエア ProfileMaker を使用して作成し、頒布に関して GretagMacbeth 社の許諾を得ています。

DIC 標準色プロファイル使用許諾契約

本使用許諾契約（以下本契約といいます）をよくお読み下さい。本契約は、お客様（個人、法人の別を問いません）と日本国法人 大日本インキ化学工業株式会社（以下 DIC といいます）との間に締結される法的な契約です。お客様が本契約の条項に同意されない場合には、DIC 標準色プロファイル（DIC Standard Color SFC1.0.3、DIC Standard Color SFM1.0.3、DIC Standard Color SFU1.0.3、DIC Standard Color WebC1.0.1、DIC Standard Color SFCFM1.0.2；以下総称してプロファイルといいます）を一切使用することはできません。

1. 使用許諾

DIC は、お客様に対して、本契約の各条項に定める条件に従ったプロファイルの使用のみを無償にて許諾します。プロファイルに関する商標権、著作権等その他の知的財産権を含む権利は DIC に留保され、その利用を許諾するものではありません。

2. 使用方法およびその制限

本契約により、お客様は、プリンターにインストール済みのプロファイルを使用することができます。また、お客様は、プリンターまたはプリンター用オプションであるハードディスクドライブのいずれか一台にプロファイルをインストールし、かつ使用することができます。

お客様は、プロファイルの全部またはその一部を、複製、解析、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、修正、変換、翻訳、再使用許諾、譲渡、貸与、リース、頒布等をすることはできません。また、お客様は、プロファイルの類似品を製作し、または何らかのソフトウェアを改良するために、プロファイルを利用することはできません。

プロファイルは、人身損害、重大な物理的損害または環境上の損害をもたらす可能性のある用途に使用されることを意図するものではないことをお客様は承認するとともに、このような用途にプロファイルを使用しません。

DIC は、お客様が本契約の各条項のいずれか 1 つにでも違反した場合、本契約を通知なく、お客様が違反した時点に遡って解除することができるものとします。この場合には、お客様は、速やかにプロファイルを全て破棄しなければなりません。

3. 不保証

DIC は、お客様がプロファイルを無償で使用されることに鑑み、明示または黙示を問わず、プロファイルの商品価値および使用可能性、特定目的に対する適合性、ならびに第三者の権利侵害を侵害しないこと等その他一切の保証を行うことなく、プロファイルをお客様に提供します。これらについての一切のリスクはお客様のご負担とさせていただきます。DIC は、プロファイル

に欠陥または瑕疵が発見された場合であっても、有償または無償を問わず、これらの欠陥または瑕疵の修正、修復を保証するものではありません。

4. 免責

過失を含むいかなる場合であっても、DIC は、プロファイルに起因する、または関連する付随的、特別もしくは間接損害、または逸失利益の賠償責任等その他一切の責任を負いません。たとえ、DIC が、これらの損害の可能性について事前に知らされていた場合も同様です。

5. 残存条項

第 3 条（不保証）および第 4 条（免責）の規定は、第 2 条（使用方法およびその制限）に基づき本契約が解除され、お客様がプロファイルを全て破棄された後もなお有効に存続するものとします。

6. 準拠法、契約の分離性および管轄裁判所

本契約は、日本の法律に準拠し、同法律に従って解釈されます。何らかの理由により、管轄権を有する裁判所が本契約のいずれかの条項またはその一部について効力を失わせた場合であっても、本契約の他の条項は依然として完全な効力を有するものとします。また、本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属合意管轄裁判所とします。

7. 完全な合意

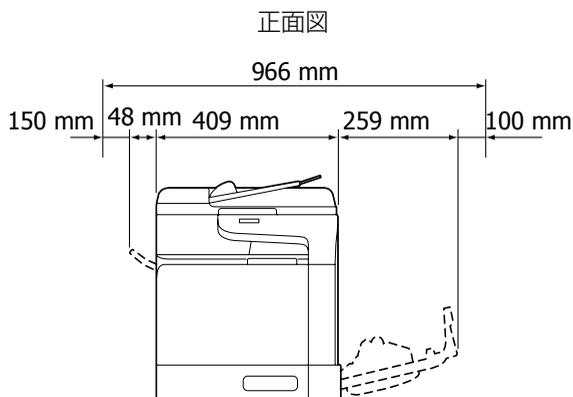
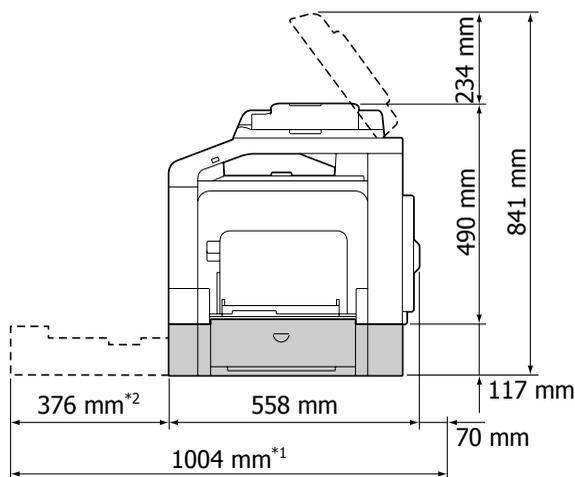
本契約は、プロファイルの使用について、お客様と DIC の取り決めのすべてを記載するものです。

1 はじめに

お使いになる前に

設置スペース

操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

正面図

右側面図（オプション装着時）

*1　オプション未装着時は 972mm です。

*2　オプション未装着時は 344mm です。

イラストの網掛け部はオプションの給紙ユニットです。給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

前面

1 操作パネル

2 自動原稿送り装置（ADF）

2-a ADF カバー

2-b ガイド板

2-c 原稿給紙トレイ

2-d 原稿給紙補助トレイ

2-e 原稿排紙トレイ

2-f 原稿ストッパー

ステータスやエラーメッセージなどで、ADF を［給紙ｶﾊﾞｰ］と表示する場合があります。

LEGALの原稿をADFで読み込む場合、原稿ストッパーを倒します。

3 USB ホストポート

4 トレイ 1（手差しトレイ）

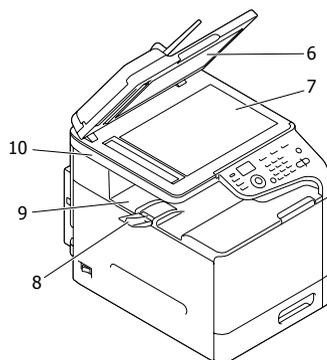
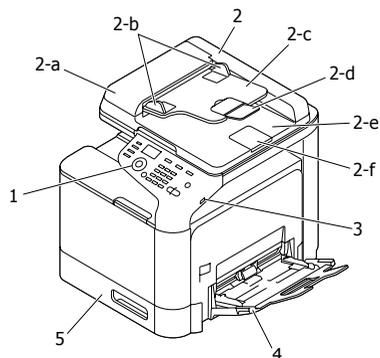
5 トレイ 2

6 原稿カバーパッド

7 原稿ガラス

8 排紙補助トレイ

9 排紙トレイ

10 スキャナーユニット

11 定着ユニット

12 右カバー

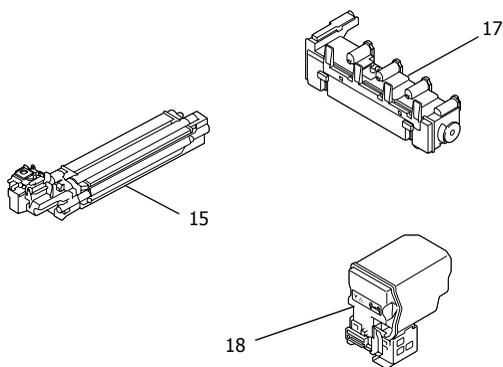
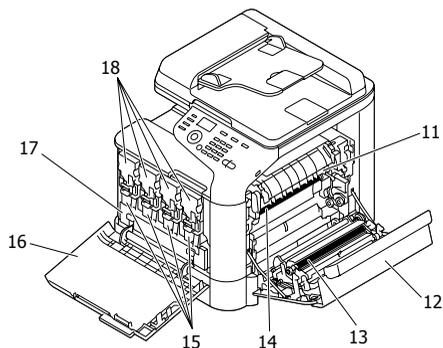
13 転写ローラー

14 転写ベルトユニット

15 感光体ユニット

16 前カバー

17 廃トナーボックス

18 トナーカートリッジ

背面

1 10Base-T/100Base-TX/ 1000Base-T (IEEE 802.3) イーサネットインターフェースポート

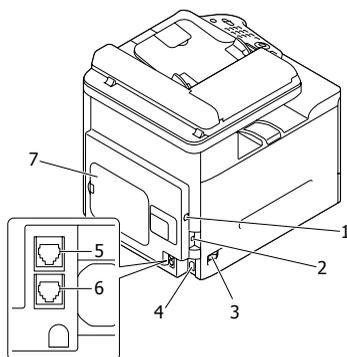
2 USB ポート

3 電源スイッチ

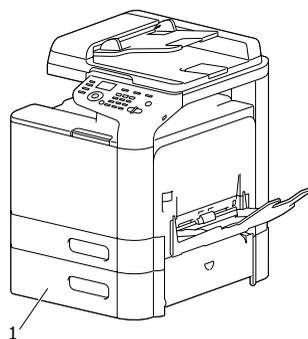
4 電源インレット

5 回線コネクター（LINE）

6 外付け電話機接続用コネクター（TEL）

7 背面カバー

前面（オプション装着時）

1　給紙ユニット （トレイ 3）

給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

印刷

同梱されているトナーカートリッジを本機に未装着の状態で印刷すると、本体に損傷を与える可能性がありますので、使用時は必ず、同梱のトナーカートリッジを装着の上、ご使用ください。

ソフトウェアについて

2

ソフトウェアディスクの内容

LP-M720 プリンタードライバー

<table>
<tr><th>プリンタードライバー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>Windows XP/Vista/7/Server 2003/
Server 2008（32bit）</td><td rowspan="2">給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンターの機能を設定できます。
詳しくは、「プリンタードライバー設定画面を表示する（Windows）」（p.36）をごらんください。</td></tr>
<tr><td>Windows XP/Vista/7/Server 2003/
Server 2008/Server 2008 R2
（64bit）</td></tr>
</table>

プリンタードライバー（PPD ファイル）

<table>
<tr><th>ファイル</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>Mac OS X（10.3.9 ～ 10.6.x）</td><td>Macintosh OS X のプリンタードライバーを使用する場合に必要です。
Macintosh 用の PPD ファイルについては、[リファレンスガイド]（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。</td></tr>
</table>

スキャナードライバー

<table>
<tr><th>スキャナードライバー</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>TWAIN ドライバー

Windows XP/Vista/7/Server 2003/
Server 2008/Server 2008 R2</td><td rowspan="2">色の設定やサイズの調整など、スキャナーの機能を設定できます。詳しくは、「Windows TWAIN ドライバーの設定」（p.226）をごらんください。</td></tr>
<tr><td>TWAIN ドライバー

Mac OS X (10.3.9 ～ 10.6.x)</td></tr>
<tr><td>WIA ドライバー

Windows XP/Vista/7/Server 2003/
Server 2008 (32bit)</td><td rowspan="2">色の設定やサイズの調整など、スキャナーの機能を設定できます。詳しくは、「Windows WIA ドライバーの設定」（p.239）をごらんください。</td></tr>
<tr><td>WIA ドライバー

Windows XP/Vista/7/Server 2003/
Server 2008/Server 2008 R2 (64bit)</td></tr>
</table>

TWAIN ドライバーを 64 bit OS へインストールする場合、32 bit 互換モードで動作し、32 bit 対応アプリケーションでのみ使用可となります。

ファクスドライバー

ファクスドライバー	機能
Windows XP/Vista/7/Server 2003/ Server 2008	ファクス送信する用紙の設定やアドレス帳の編集など、ファクスの機能を設定できます。詳しくは、［ファクスユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。
Windows XP/Vista/7/Server 2003/ Server 2008/Server 2008 R2	

Windows 用ドライバーのインストールについては、［インストレーションガイド］をごらんください。

Macintosh 用ドライバーのインストールについては、［リファレンスガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

アプリケーション

インストール時に［簡単インストール］を実行していれば、以下のソフトウェアはインストールされます。

アプリケーション		機能
ユーザツール	LSP (Local Setup Program)	コンピューターから送信先（スキャン、ファクス）の常用リスト、短縮ダイアル、グループダイアルを作成、編集します。また、本機の状態をチェックします。詳しくは、［リファレンスガイド］（ソフトウェアディスク 内の PDF マニュアル）をごらんください。

マニュアル

マニュアル	内容
プリンター／コピー／スキャナーユーザーズガイド（本書）	ドライバーの使い方や消耗品の交換方法、操作パネルの使い方など、日常の使い方全般について説明しています。
ファクスユーザーズガイド	ファクスの送受信方法、操作パネルの使い方など、ファクス機能全般について説明しています。
リファレンスガイド	Macintosh ドライバーのインストール、ネットワークの設定、LSP (Local Setup Program) など、より詳細な設定について説明しています。

必要なシステム

- コンピューター：
  Windows 用
  - Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機

  Macintosh 用
  - PowerPC G3 以降 （G4 以降を推奨）
  - Intel プロセッサーを搭載した Macintosh
- オペレーティングシステム：
  - 32bit
    Microsoft Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 2 以降）, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise, Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise, Windows Server 2003, Windows Server 2008 Standard/Enterprise
  - 64bit
    Microsoft Windows XP Professional x64 Edition, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition, Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition, Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition, Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise

    64bit ドライバーは、AMD64 プロセッサーまたは、EM64T 搭載の Intel プロセッサーが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。
  - Mac OS X（10.3.9 ～ 10.6.x；最新のパッチを推奨）

    Macintosh のプリンタードライバーについては、[リファレンスガイド]（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのホームページをごらんください。
アドレス :http://www.epson.jp/support/taiou/os/

- 空きハードディスク容量：
  - 約 256 MB 以上
- メモリー：
  128 MB 以上（ただし OS が推奨する以上の RAM）
- CD/DVD-ROM ドライブ
- インターフェース：
  - USB 2.0（High Speed）準拠インターフェースポート
  - 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T イーサネット（Ethernet）インターフェースポート

プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）

本機を使い始める前に、プリンタードライバーの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタードライバーでそのオプションを設定しておいてください。

標準ユーザーでプリンタードライバーを使用する場合は、管理者権限で一度ログインし、各タブを開いてください。

Windows のプリンタードライバーのインストールについては、[インストレーションガイド] をごらんください。
Macintosh のプリンタードライバーのインストールについては、[リファレンスガイド]（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2

1 以下の手順でプリンタードライバーの設定画面を表示します。

- Windows 7/Server 2008 R2 の場合
  [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。[プリンターと FAX] より [EPSON LP-M720] または [EPSON LP-M720　PS] プリンターアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

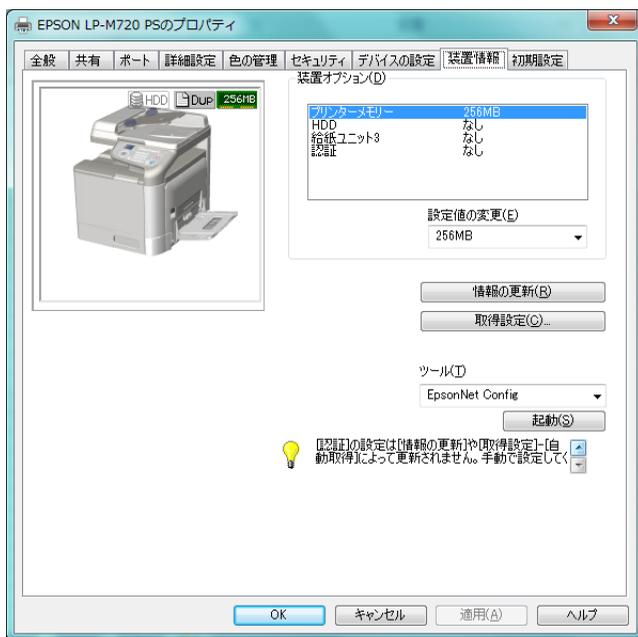
  デバイスとプリンター画面に [EPSON LP-M720] プリンターアイコンが表示されず、[EPSON LP-M720 (FAX)] プリンターアイコンが表示されている場合は、[EPSON LP-M720 (FAX)] プリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定] - [EPSON LP-M720] をクリックしてください。

- Windows Vista/Server 2008 の場合
  [スタート] メニューから [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックし、プリンタ画面を表示します。[EPSON LP-M720] または [EPSON LP-M720 PS] プリンターアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

- Windows XP Home Edition の場合
  [スタート] メニューから [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。[EPSON LP-M720] または [EPSON LP-M720 PS] プリンターアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

– Windows XP Professional/Server 2003 の場合
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。［EPSON LP-M720］または［EPSON LP-M720 PS］プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3 ［装置情報］タブをクリックします。

給紙ユニット 3 の商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

ドライバーの画面や Readme、操作パネルなどにメモリーカードの記載がありますが、本製品では対応していません。

4 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

正しく認識されている場合は、手順 8 に進んでください。
正しく認識されていない場合は、手順 5 に進んでください。

5 ［情報の更新］をクリックします。装着済みのオプションが自動的に認識されます。

［情報の更新］は本機との双方向通信が行なわれている場合にのみ使用できます。［情報の更新］が使用できない場合は、手順 6 を行ってください。Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 をお使いの場合は、USB 接続でも［情報の更新］が使用できます。

6 ［装置オプション］リストから、オプションを一つずつ選択して、［設定値の変更］メニューから設定値を選択します。

7 装着しているオプションをすべて設定したら、［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。
その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

8 ［初期設定］タブをクリックします。

9 必要な項目を設定し、［適用］をクリックします。

– ［メタファイル（EMF）スプールを行う］（EPSON LP-M720 PS は除く）：
  独自のシステムで使用する場合などでメタファイル（EMF）スプールが必要な場合にチェックします。

本設定は、［装置情報］タブの［装置オプション］で、［認証］を［なし］にした場合にチェックできます。

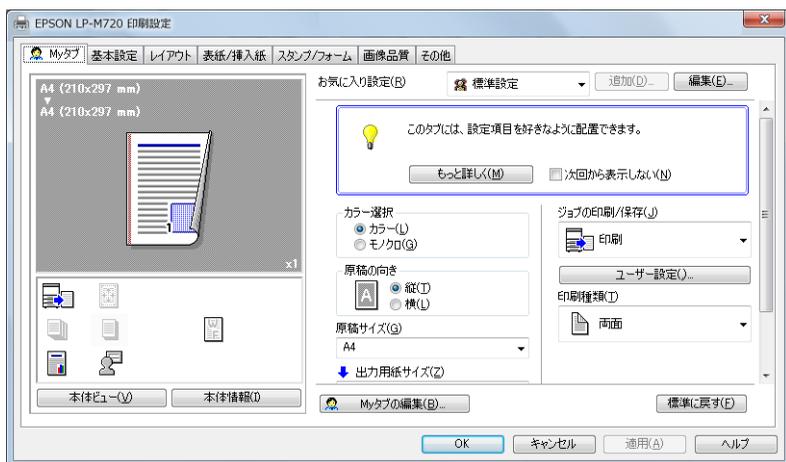
– ［禁則発生時に確認メッセージを表示する］：
チェックすると、禁則発生時にメッセージを表示します。

– ［サーバープロパティ用紙を使用する］：
チェックすると、サーバープロパティの用紙リストの中から対象プリンターで利用可能なサイズが「基本設定」タブの原稿サイズリスト／用紙サイズリストに追加されます。

– ［カスタム用紙の登録］（EPSON LP-M720 PS は除く）：
カスタム用紙を登録すると、登録した名称で［基本設定］タブの原稿サイズリスト／用紙サイズリストに追加されます。

10 ［全般］タブをクリックします。

11 ［印刷設定］をクリックします。

印刷設定画面が表示されます。

12 使用する用紙の種類やサイズなど、本機の初期設定を変更します。

各タブの設定項目については、「ドライバーの設定」（p.37）をごらんください。

13 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

14 ［OK］をクリックし、印刷設定画面を閉じます。

15 ［OK］をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

プリンタードライバーのアンインストール（Windows）

ここでは、プリンタードライバーをアンインストールする場合の手順について説明します。

アンインストールを行う場合は必ず管理者権限で行ってください。

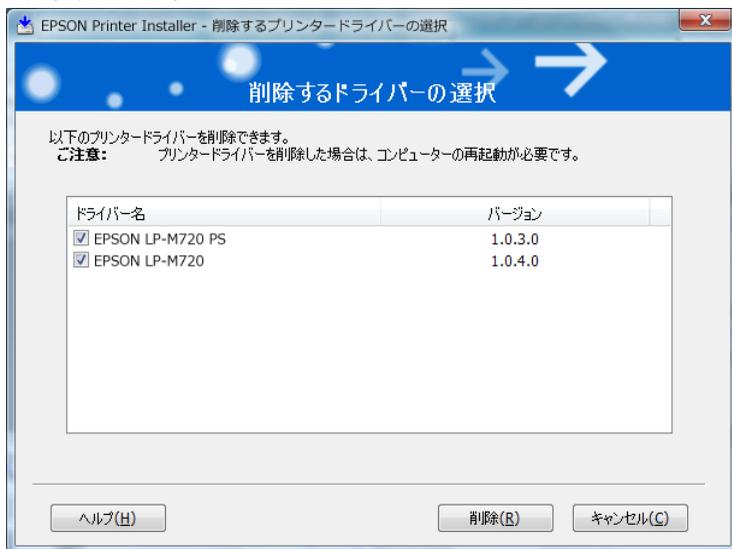
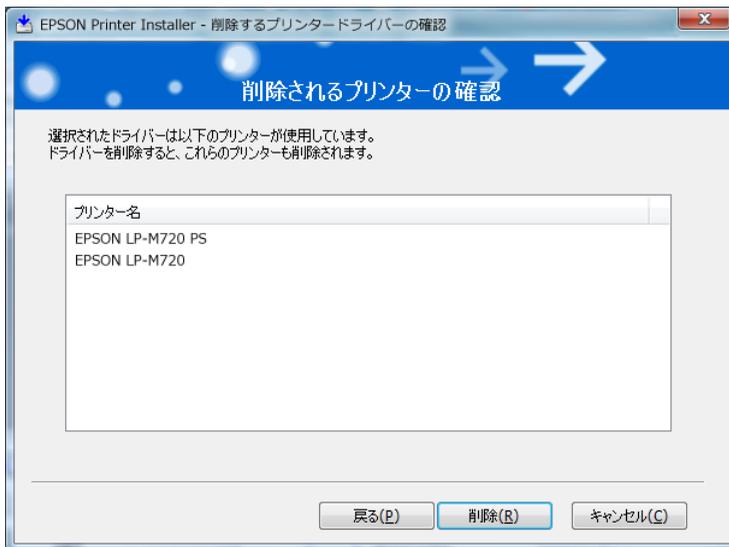
Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 でアンインストール中、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合は、［続行］または［はい］をクリックしてください。

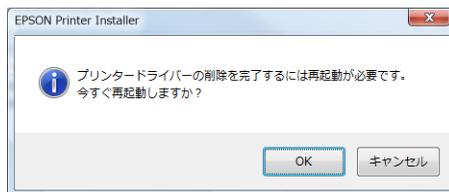
Windows XP/Vista/7/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2

1 開いているアプリケーションを全て閉じます。

2 以下の手順でプリンタードライバーアンインストール画面を表示します。

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］-［EPSON］-［EPSON LP-M720］-［Printer］-［プリンタードライバーの削除］をクリックします。

3 プリンタードライバーのリストから［EPSON LP-M720］または［EPSON LP-M720 PS］チェックボックスをチェックして、［削除］をクリックします。

4 ［削除］をクリックします。

5 ［OK］をクリックし、コンピューターを再起動します。

プリンタードライバーがコンピューターからアンインストールされます。

他のドライバーをアンインストールする場合は、以下を選択してください。

- スキャナードライバー：［スタート］-［すべてのプログラム］-［EPSON］-［EPSON LP-M720］-［スキャナー］-［アンインストール］
- ファクスドライバー：［スタート］-［すべてのプログラム］-［EPSON］-［EPSON LP-M720］-［Fax］-［UnInstall］

プリンタードライバー設定画面を表示する（Windows）

Windows 7/Server 2008 R2

1. ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。

2. ［プリンターと FAX］より［EPSON LP-M720］または［EPSON LP-M720 PS］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

デバイスとプリンター画面に［EPSON LP-M720］プリンターアイコンが表示されず、［EPSON LP-M720 (FAX)］プリンターアイコンが表示されている場合は、［EPSON LP-M720 (FAX)］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］-［EPSON LP-M720］をクリックしてください。

Windows Vista/Server 2008

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2. ［EPSON LP-M720］または［EPSON LP-M720 PS］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

Windows XP Home Edition

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

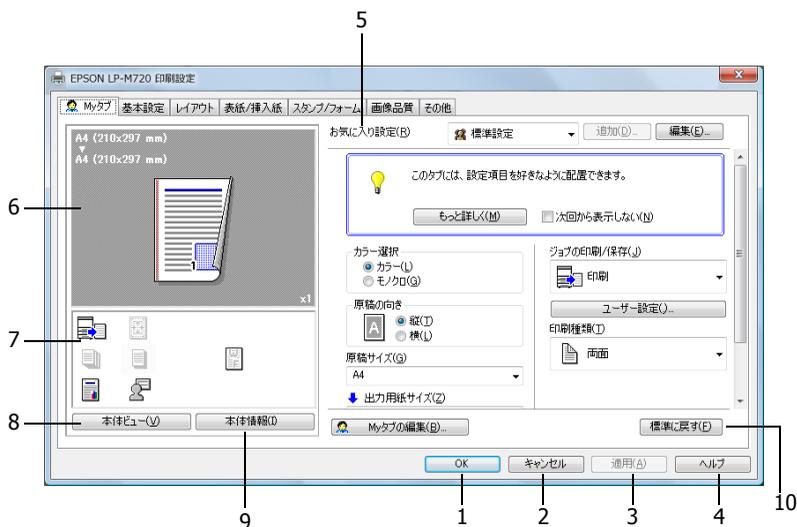
2. ［EPSON LP-M720］または［EPSON LP-M720 PS］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003

1. ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2. ［EPSON LP-M720］または［EPSON LP-M720 PS］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

ドライバーの設定

各タブで共通のボタン

1. [OK]

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. [キャンセル]

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. [適用]

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

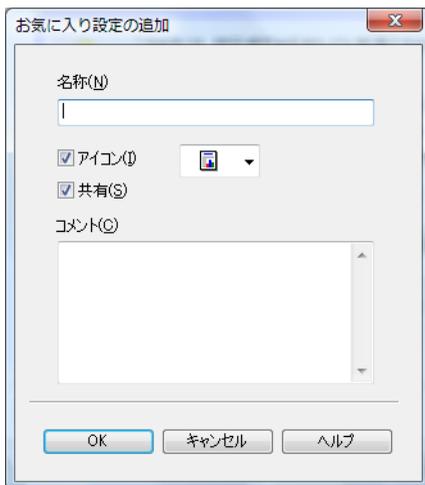
お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。

4. [ヘルプ]

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. お気に入り設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［追加］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力します。アイコンを設定する場合は、［アイコン］チェックボックスをチェックし、アイコンを選択します。保存する設定を共有にする場合は、［共有］チェックボックスにチェックします。

［OK］をクリックすると、現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

［編集］をクリックすると、お気に入り設定の編集画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。
また、設定情報を設定ファイル（拡張子：KSF）として保存したり（エクスポート）、設定ファイルを読み込んで［お気に入り設定一覧］に追加することもできます（インポート）。

ドロップダウンリストで［標準設定］を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。
また、あらかじめ登録されている設定を選択することもできます。あらかじめ登録されている設定には、［2-up］、［写真］、［グレースケール］があります。

このボタンは、［詳細設定］タブには表示されません。

6. メインビュー

印刷ドキュメントのレイアウトや本体の全体イメージ図などを視覚的に表示します。

7. サブビュー

代表的な設定の状態をアイコンで表示します。

8. ［本体ビュー］／［用紙ビュー］

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、［本体ビュー］ボタンが表示されます。［本体ビュー］をクリックすると、本機の外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。

本機の外観図が表示されている場合は、［用紙ビュー］ボタンが表示されます。［用紙ビュー］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。

［画像品質］タブでは、［画像品質ビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［画像品質ビュー］をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

このボタンは、［詳細設定］タブには表示されません。

9. ［本体情報］

このボタンをクリックすると、EpsonNet Config が起動します。

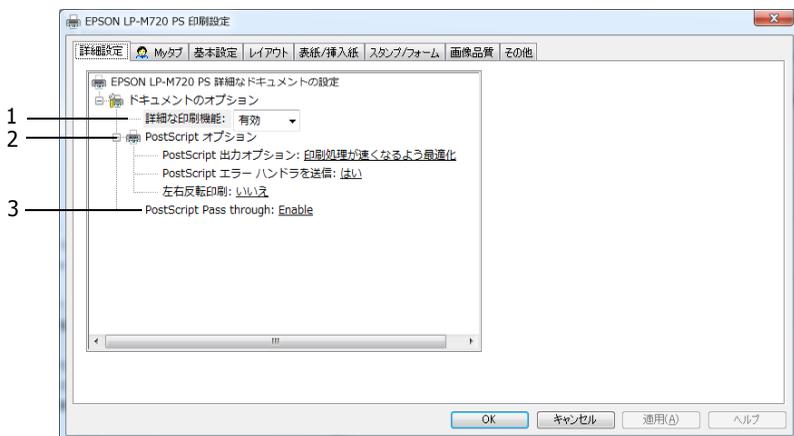
このボタンは、ネットワーク接続の場合のみ有効になります。

10. ［標準に戻す］

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、［詳細設定］タブには表示されません。

表示されているタブの設定のみ、標準設定に戻ります。その他のタブの設定は変更されません。

［詳細設定］タブ（EPSON LP-M720 PS (PostScript ドライバー) のみ）

1.　［詳細な印刷機能］

詳細な印刷機能（小冊子）の設定を有効にするか、無効にするかを選択します。

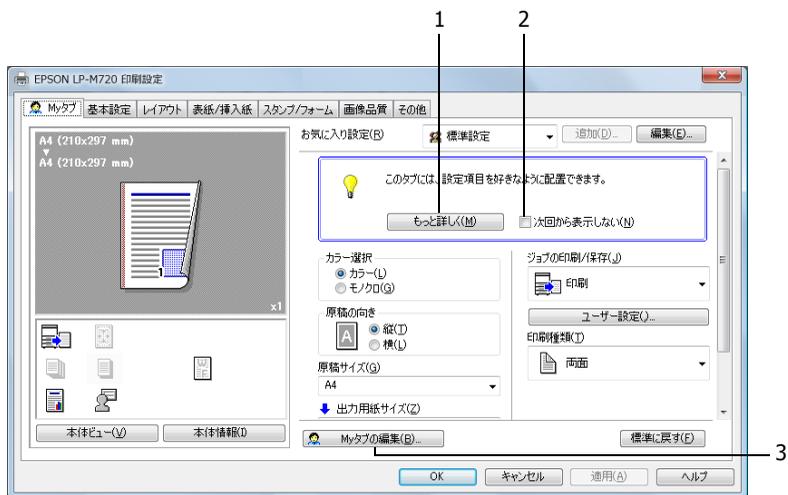
本設定は、プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択して表示するプロパティ画面で、［詳細設定］タブにある［詳細な印刷機能を有効にする］チェックボックスがチェックされている場合に表示されます。

2.　［PostScript オプション］

［PostScript 出力オプション］：	PostScript ファイルの出力形式を設定します。
［PostScript エラーハンドラを送信］：	PostScript エラーが発生した場合に、レポートを印刷するかしないかを設定します。
［左右反転印刷］：	左右反転印刷を行うか行わないかを設定します。

3.　［PostScript Pass through］

アプリケーションがプリンタードライバーを利用せずに直接印刷できるようにするかどうかを設定します。

[My タブ]

1.　[もっと詳しく]

[もっと詳しく] をクリックすると、My タブのヘルプが表示されます。

2.　[次回から表示しない]

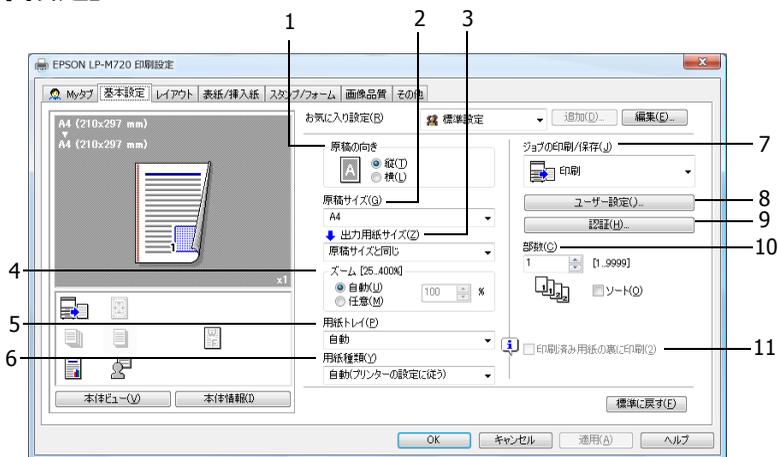
[次回から表示しない] チェックボックスをチェックすると、[もっと詳しく] を含む説明欄を表示しないようにします。

3.　[My タブの編集]

[My タブの編集] をクリックすると、My タブの編集画面が表示され、My タブ画面をカスタマイズできます。よく使う機能やよく変更する機能が My タブ画面に表示されるよう設定します。

［設定項目一覧］で機能を選択し［左へ］または［右へ］をクリックすると、［My タブ］に登録されます。登録された機能を選択し［上へ］［下へ］［左へ / 右へ］をクリックすると、機能が表示される位置を変更できます。

プリンタードライバーの各タブで機能を選択し右クリックすると、My タブに追加登録できます。

［基本設定］タブ

1. ［原稿の向き］

印刷の向きを［縦］または、［横］から選択して設定します。

2. ［原稿サイズ］

印刷するデータの文書サイズを設定します。

［不定形サイズ］を選択すると、不定形サイズ設定画面が表示されます。

原稿のサイズを設定します。

3. [出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを設定します。

[不定形サイズ]を選択すると、不定形サイズ設定画面が表示されます。

用紙のサイズを設定します。

4. [ズーム]

印刷倍率を設定します。

印刷倍率を手動で変更する場合は、[任意]チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. [用紙トレイ]

印刷に使用する給紙トレイを選択します。

[トレイ 1(手差し)]を選択し、印刷指示をした後に、手差しトレイに用紙をセットしてください。用紙をセットしたまま、[トレイ 1(手差し)]印刷指示をすると正しく印刷されない場合があります。

[自動]を選択すると、トレイ 1(手差し)、トレイ 2、トレイ 3 の優先順位で用紙が給紙されます。

6. [用紙種類]

印刷に使用する用紙種類を選択します。

[自動(プリンターの設定に従う)]を選択すると、操作パネルの[PS ﾌﾟﾘﾝﾄ]-[ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ]-[用紙設定]-[ﾃﾞﾌｫﾙﾄ用紙]-[用紙種類]で設定した用紙種類で印刷を行います。

7. [ジョブの印刷 / 保存]

ハードディスクにプリントジョブを保存するなど出力方法を設定します。

[印刷]: 通常の印刷を行います。

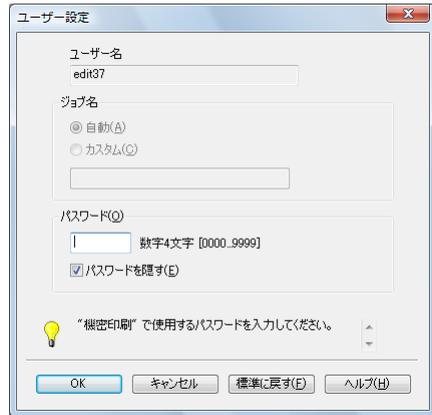
[保存]: ハードディスクにプリントジョブを保存します。印刷は行いません。

[保存&印刷]:通常の印刷を行い、ハードディスクへの保存も行います。

[機密印刷]: プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します。[機密印刷]ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。

[機密印刷]で保存したジョブの印刷時は、操作パネルからパスワードの入力が必要です。

［機密印刷］を選択すると、ユーザー設定画面が表示されます。印刷時に使用するパスワードを設定します。

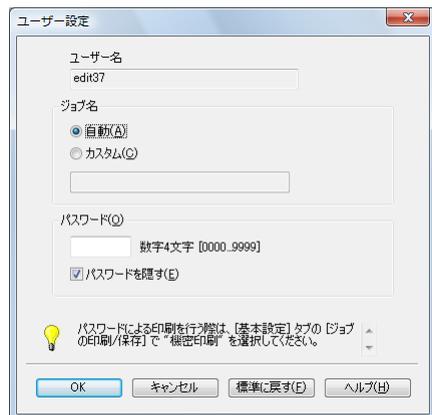
パスワードがすでに設定されている場合は、［機密印刷］を選択してもユーザー設定画面は表示されません。あらためてパスワードの設定を行なう場合は、［ユーザー設定］から行ってください。

［確認印刷］：　1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。

ハードディスクに保存されたジョブの印刷方法については、「保存／印刷メニュー」（p.114）をごらんください。

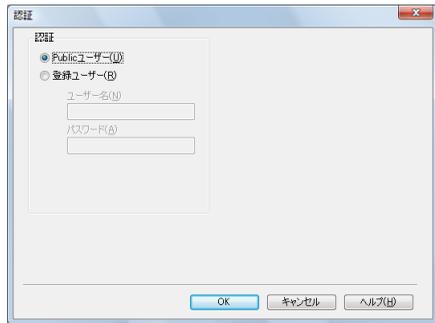
本機の電源をオフ／オンすると、［保存］ジョブ以外のジョブはハードディスクから削除されます。

本機でユーザー認証機能を有効にしているとき、プリンタードライバーから、ユーザー名に「"」（ダブルクォーテーション）を含むユーザーを指定して、印刷や保存をおこなうと、本機側でログインエラーとなり、プリントジョブは破棄されます。

8.　［ユーザー設定］

［ユーザー設定］をクリックすると、ユーザー設定画面が表示されます。ジョブ名や、機密印刷時のパスワードの設定などを行います。

9. [認証]

ユーザーごとに印刷の許可／拒否を設定できます。

未登録のユーザーは［Public ユーザー］を、登録済みのユーザーは［登録ユーザー］を選択します。登録済みのユーザーは［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。

プリンターのプロパティの［装置情報］タブの［認証］設定を［本体］にする必要があります。

10. [部数]

印刷する部数を設定します。

［ソート］チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

11. [印刷済み用紙の裏に印刷]

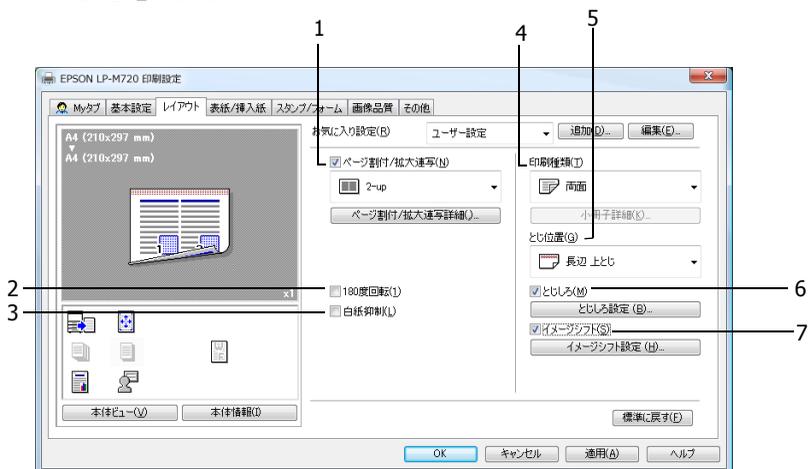
一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを設定します。

本設定は、［給紙トレイ］を［トレイ 1（手差し）］、［トレイ 1］、［トレイ 2］に設定した場合に有効です。

本機で印刷した用紙の裏面をご使用ください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

以下の用紙は使用しないでください。

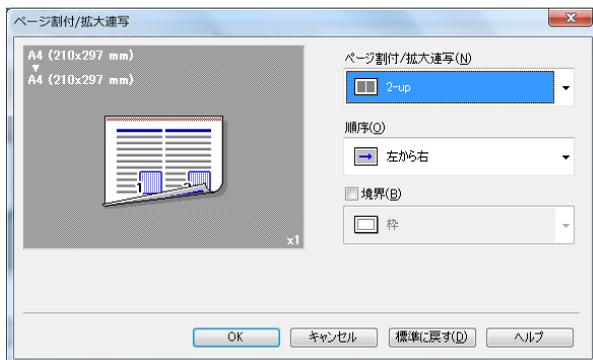
- インクジェットプリンターで印刷された用紙
- モノクロ／カラーのレーザープリンター／コピー機で印刷された用紙
- 他のプリンターやファクス機で印刷された用紙

［レイアウト］タブ

1.　［ページ割付 / 拡大連写］

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。

また、1 ページ分の文書を拡大して複数枚に印刷できます。印刷後に用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きな印刷物を作ることができます（EPSON LP-M720 PS は除く）。

［ページ割付］チェックボックスをチェックすると、［ページ割付詳細］ボタンが有効になります。

［ページ割付詳細］をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

2.　［180 度回転］

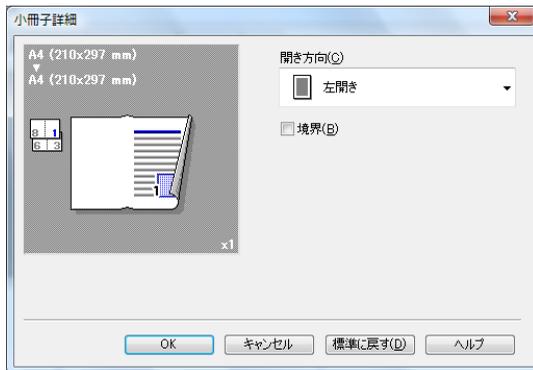
［180 度回転］チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が180 度回転して印刷されます。

3.　［白紙抑制］（EPSON LP-M720 PS は除く）

印刷する文書内に白紙がある場合、白紙を出力するかしないかを設定します。

4.　［印刷種類］

印刷種類を［片面］［両面］［小冊子］から選択します。

［小冊子］を選択すると、［小冊子詳細］ボタンが有効になります。［小冊子詳細］をクリックすると、小冊子詳細画面が表示され、開き方向や境界線の有無を設定します。

［小冊子］は、［詳細設定］タブの［詳細な印刷機能］が［有効］に設定されている場合に有効です（PostScript ドライバーのみ）。

5.　［とじ位置］

とじ位置を［長辺左とじ］［長辺右とじ］［短辺上とじ］［短辺下とじ］から選択して設定します。

原稿の向きにより、設定値は［長辺上とじ］［長辺下とじ］［短辺左とじ］［短辺右とじ］となります。

［印刷種類］で［小冊子］を設定しているときは、選択できません。

6.　［とじしろ］

［とじしろ］チェックボックスをチェックすると、［とじしろ設定］ボタンが有効になります。［とじしろ設定］をクリックすると、とじしろ設定画面が表示されます。

とじしろを付けるときの画像のずらし方、表面や裏面のとじしろ量を設定します。

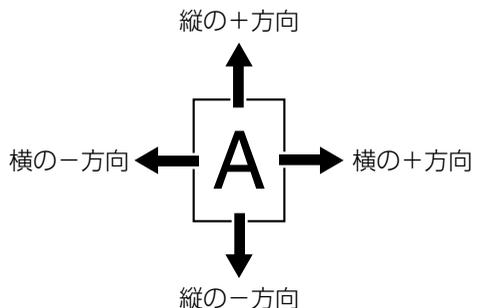
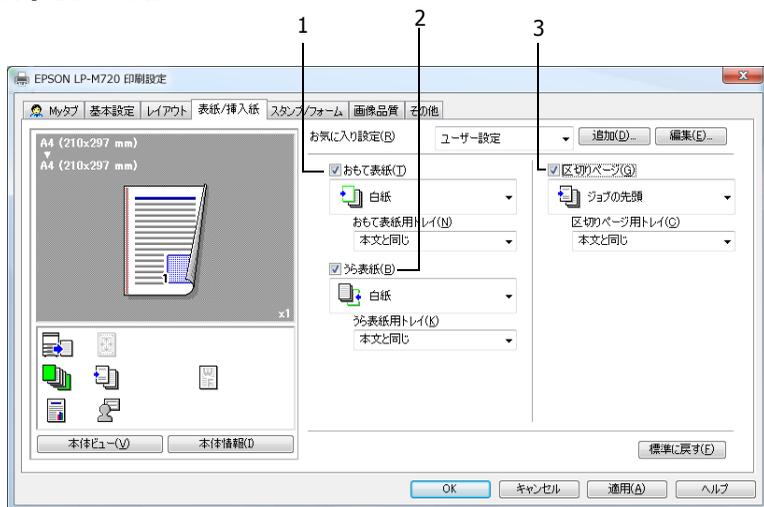
[印刷種類] で [小冊子] を設定しているときは、選択できません。

7. [イメージシフト] (EPSON LP-M720 PS は除く)

用紙に印刷される文書の位置を設定します。

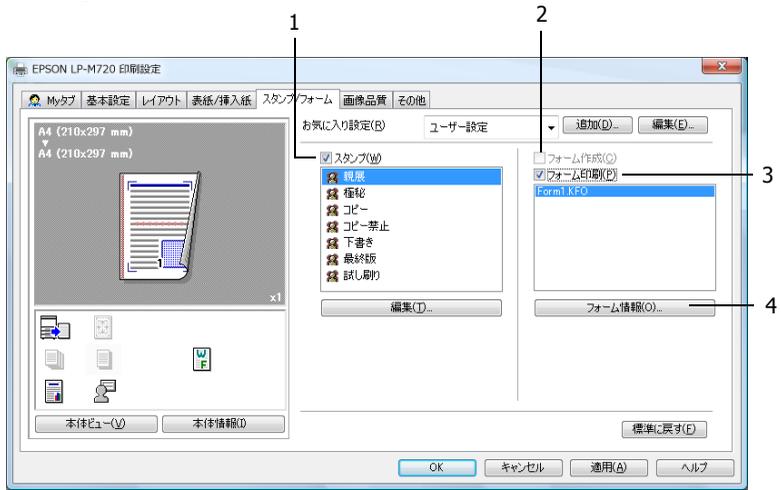
[イメージシフト] チェックボックスをチェックすると、[イメージシフト設定] ボタンが有効になります。

[イメージシフト設定] をクリックすると、画像シフト設定画面が表示されます。文書の印刷位置を 0.1 ミリ単位または、0.01 インチ単位で設定します。

右図を参照してプリント位置を設定してください。

[表紙 / 挿入紙] タブ

1. **[おもて表紙]**
   [おもて表紙]チェックボックスをチェックすると、表カバーシートをつけて印刷します。また、[おもて表紙用トレイ]でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。
2. **[うら表紙]**
   [うら表紙]チェックボックスをチェックすると、裏カバーシートをつけて印刷します。また、[うら表紙トレイ]でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。
3. **[区切りページ]**
   一部ごとに挿入紙をつけるかどうかを設定します。

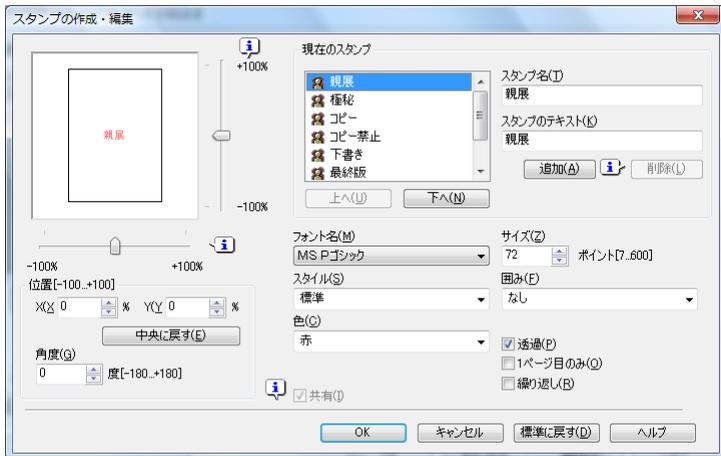
   [区切りページ]チェックボックスをチェックし、[ジョブの先頭][部の先頭][部の末尾]から選択します。

   また、[区切りページ用トレイ]でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

［スタンプ / フォーム］タブ

1.　［スタンプ］

印刷する文書に［親展］などのテキストを入れて印刷します。

［スタンプ］チェックボックスをチェックすると、［編集］ボタンが有効になります。

［編集］をクリックすると、スタンプの編集画面が表示されます。スタンプの編集画面で［追加］をクリックすると、新たにスタンプを作成します。

作成したスタンプは［スタンプ / フォーム］タブおよびスタンプの編集画面のリストに追加されます。

リストに追加したスタンプを編集する場合は、スタンプの編集画面で、編集したいスタンプを選択し、編集します。

リストに追加したスタンプを削除する場合は、スタンプの編集画面で、削除したいスタンプを選択し、［削除］をクリックします。

■ ［透過］

［透過］チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

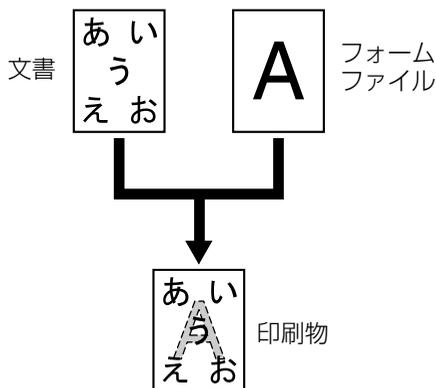
■ ［1 ページ目のみ］

［1 ページ目のみ］チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

■ ［繰り返し］

［繰り返し］チェックボックスにチェックすると、1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

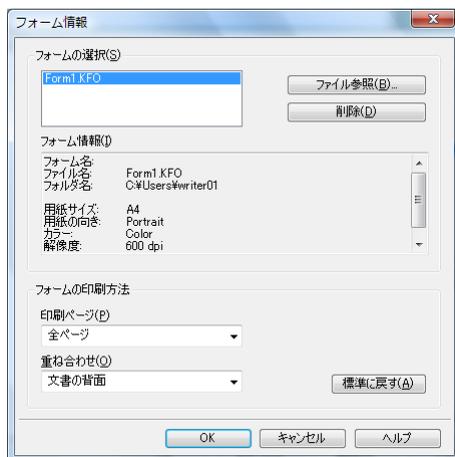
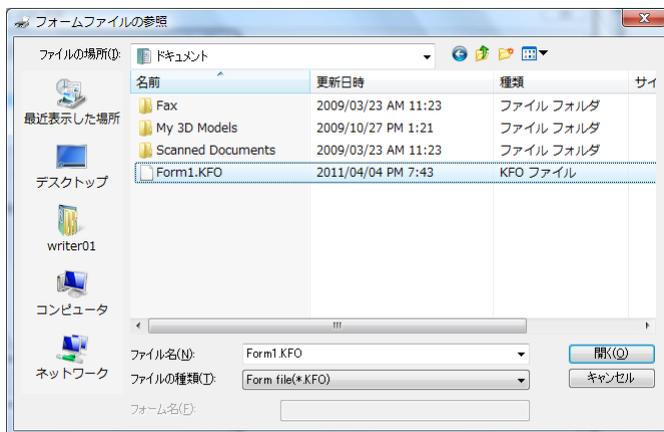
2. ［フォーム作成］（EPSON LP-M720 PS は除く）

［フォーム作成］チェックボックスをチェックして印刷すると、フォームファイル（拡張子：KFO）が作成されます。作成したフォームファイルは、［スタンプ / フォーム］タブのリストに追加されます。

3. ［フォーム印刷］

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷します。

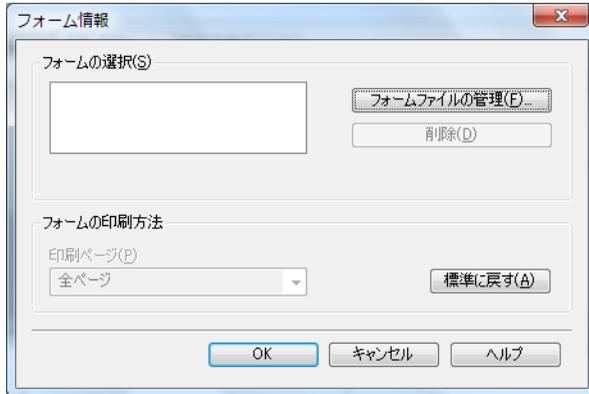
必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、［レイアウト］タブの［ページ割付］で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

4.　［フォーム情報］（EPSON LP-M720 PS は除く）

［フォーム情報］をクリックすると、フォーム印刷の編集画面が表示され、登録されているフォームの情報を確認できます。

また、［ファイル参照］をクリックして表示されるフォームファイルの参照画面でフォームファイルを選択してリストに追加することもできます。

リストからフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。

また、フォームの印刷方法を設定します。フォームを印刷するページを［全ページ］、［最初のページ］、［偶数ページ］、［奇数ページ］から選択して設定します。

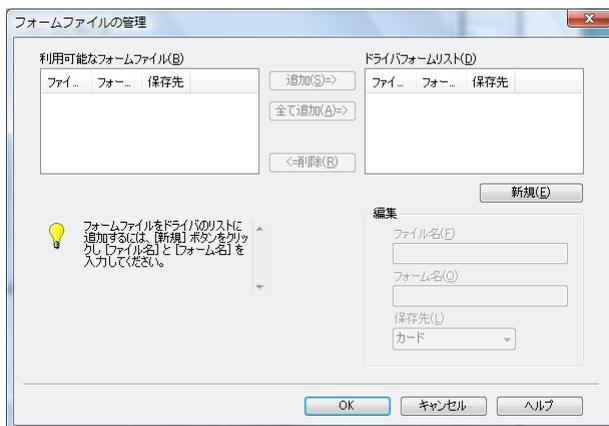
フォームと印刷文書の重ね合わせ方を［文書の背面］、［文書の前面（上書き）］から選択して設定します。

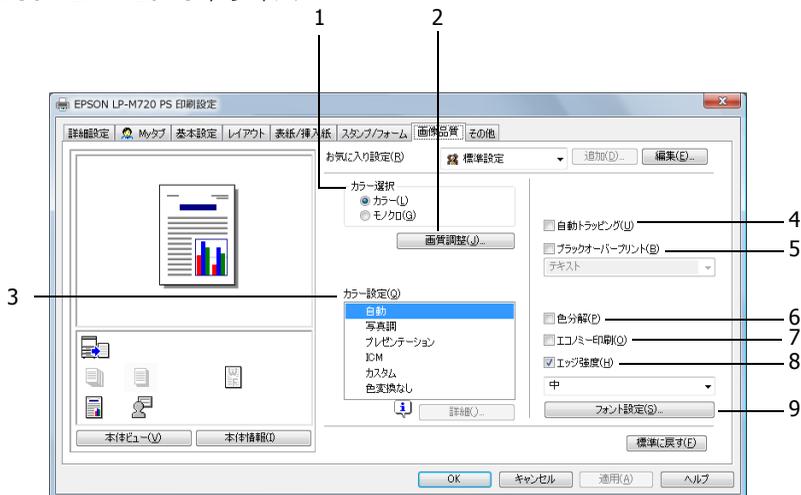
EPSON LP-M720 PS で［フォーム情報］をクリックすると、以下の画面が表示されます。

追加したフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。

PostScript ドライバーでフォームを印刷する場合、あらかじめ本機にフォームファイルをダウンロードしておく必要があります。

フォームを印刷するページを設定する場合は、［印刷ページ］で［全ページ］、［最初のページ］、［偶数ページ］、［奇数ページ］から選択します。

フォーム印刷の編集画面で［フォームファイルの管理］をクリックすると、フォームファイルの管理画面が表示されます。［新規］をクリックして、新たに追加するフォームファイルの設定を行います。

追加したフォームファイルは、［スタンプ / フォーム］タブまたはフォーム印刷の編集画面のリストに追加されます。

[画像品質] タブ

EPSON LP-M720 PS ドライバー：

1.　[カラー選択]

オートカラーで印刷するかグレースケールで印刷するかを設定します。

2.　[画質調整]

[画質調整] をクリックすると、画質調整画面が表示されます。印刷する画像の明るさ（明度）を設定します。

3.　[カラー設定]

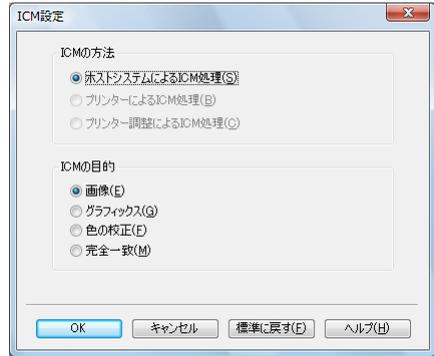
カラー設定を [自動]、[写真調]、[プレゼンテーション]、[ICM]、[カスタム]、[色変換なし] から選択して設定します。

[写真調] は、写真画像に適した設定です。

[プレゼンテーション] は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。

[ICM] を選択すると、Windows の ICM を使用してカラー設定を行います。

[ICM] を選択した場合、[詳細] ボタンが有効になります。

［詳細］をクリックすると、ICM 設定画面が表示されます。ICM の印刷方法や、目的を設定します。

［カスタム］を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定や、プロファイルの管理ができます。

■ ［RGB カラー］
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトの色空間に関して指定します。本機が使用する入力 RGB の色空間を指定します。

■ ［RGB 色変換］
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。

プリンターで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

■ ［RGB グレー再現］
プリンターで処理するイメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。

■ ［出力プロファイル］
出力プロファイルに関して指定します。

■ ［スクリーン］
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。

■ ［エッジ強調］
イメージ／テキスト／グラフィックスのエッジの強調を指定します。

■ ［シミュレーションプロファイル］
インクシミュレーション、デバイスシミュレーション等に使用する、シミュレーションプロファイルを指定することができます。

■ ［用紙下地色にあわせる］
シミュレーション実施時の色変換特性を指定します。

■ ［CMYK グレー再現］
シミュレーション実施時の CMYK 入力データ中の黒色とグレーの維持方法を指定します。

■ ［プロファイルの管理］
「カラープロファイルの管理」ダイアログ ボックスを表示します。

4. ［自動トラッピング］

［自動トラッピング］チェックボックスにチェックすると、絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。

5. ［ブラックオーバープリント］

［ブラックオーバープリント］チェックボックスにチェックすると、黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。

重なる条件を、文字だけにするか、文字と図にするかを選択して設定します。

6. ［色分解］

CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。

［色分解］チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

7. ［エコノミー印刷］

［エコノミー印刷］チェックボックスにチェックすると、トナー量を抑えた印刷を行います。

8.　[エッジ強度]

エッジを強調する場合、[エッジ強度]チェックボックスをチェックし、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。

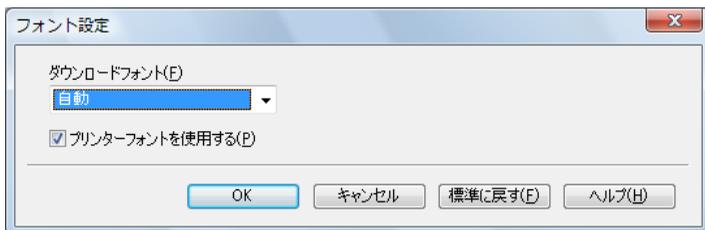
[弱]を選択するとエッジ強調ドットを弱めに付加します。

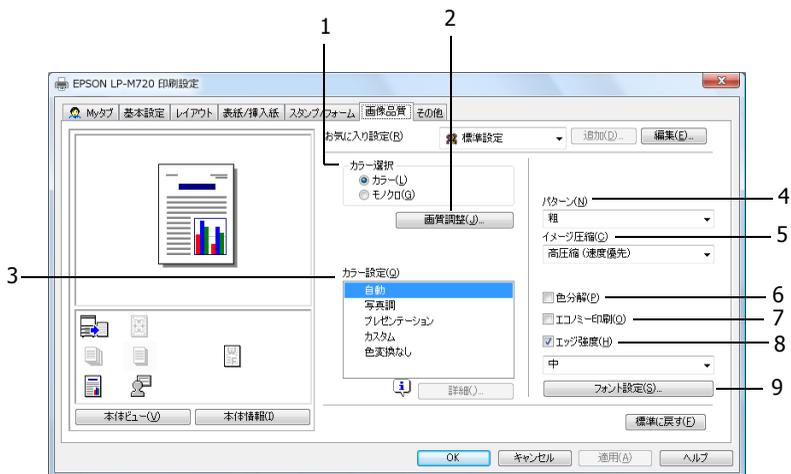
[中]を選択するとエッジ強調ドットを付加します。

[強]を選択するとエッジ強調ドットを強めに付加します。

9.　[フォント設定]

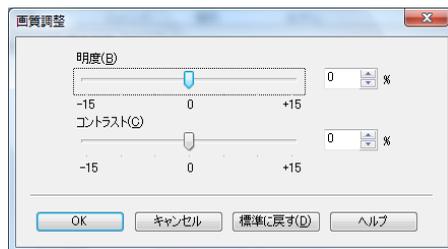
フォントについての設定をします。

[フォント設定]をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、True Type フォントをダウンロードする方法と、印刷時に True Type フォントをプリンターフォントに置き換えるかどうかを設定します。

EPSON LP-M720 ドライバー：

1.　[カラー選択]

オートカラーで印刷するかグレースケールで印刷するかを設定します。

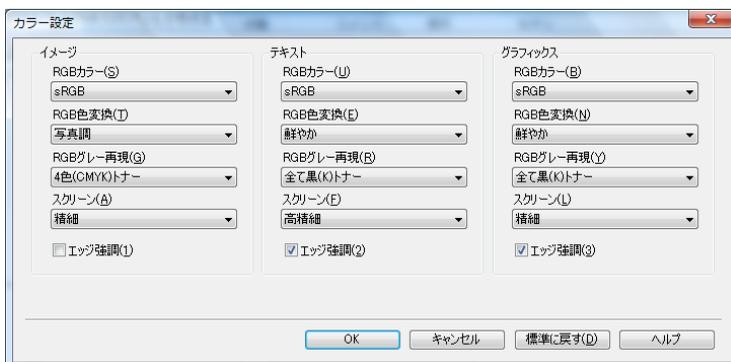
2.　［画質調整］

［画質調整］をクリックすると、画質調整画面が表示されます。印刷する画像の明るさ（明度）、コントラストを設定します。

3.　［カラー設定］

プリンターのカラー設定を［自動］、［写真調］、［プレゼンテーション］、［カスタム］、［色変換なし］から選択して設定します。

［写真調］は、写真画像に適した設定です。

［プレゼンテーション］は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。

［カスタム］を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィック）のカラー再現についての設定ができます。

■　［RGB カラー］
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトの色空間に関して指定します。プリンターが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

■　［RGB 色変換］
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。
プリンターで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

■ ［RGB グレー再現］
プリンターで処理するイメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。

■ ［スクリーン］
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。

■ ［エッジ強調］
イメージ／テキスト／グラフィックスのエッジの強調を指定します。

4. ［パターン］

パターンの密度を、［密］、［粗］から選択して設定します。

5. ［イメージ圧縮］

イメージの圧縮方法を、［高圧縮（速度優先）］、［標準（品質優先）］から選択して設定します。

6. ［色分解］

CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。

［色分解］チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

7. ［エコノミー印刷］

トナー消費量を抑えた印刷を行うかどうかを設定します。

［エコノミー印刷］チェックボックスをチェックすると、トナー節約を行います。

8. ［エッジ強度］

エッジを強調する場合、付加するエッジ強調ドットの強さを設定します。

［エッジ強度］チェックボックスをチェックすると、エッジ強度を設定できます。

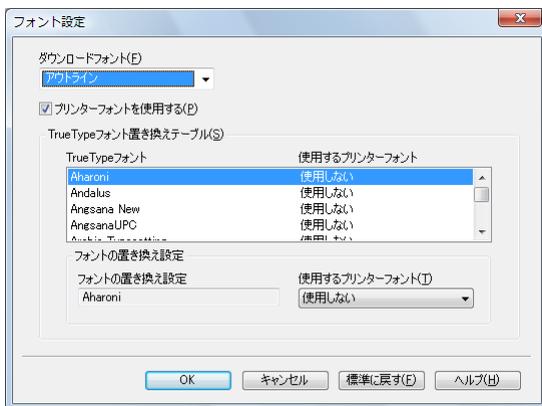
［弱］を選択するとエッジ強調ドットを弱めに付加します。

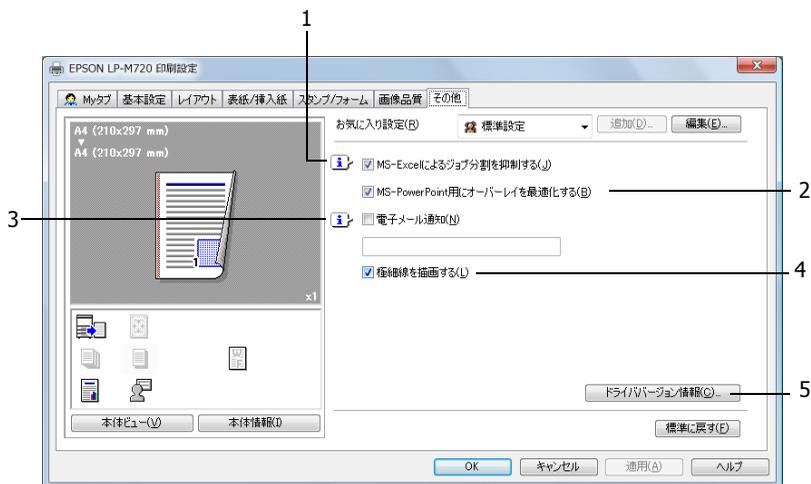
［中］を選択するとエッジ強調ドットを付加します。

［強］を選択するとエッジ強調ドットを強めに付加します。

9. ［フォント設定］

フォントについての設定をします。

［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、True Type フォントをダウンロードする方法、印刷時に True Type フォントをプリンターフォントに置き換えるかどうか、True Type フォントをプリンターフォントに置き換える場合、どのプリンターフォントを使用するかを設定します。

［その他］タブ

1.［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］（32bit ドライバーのみ）

MS-Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷しようとする場合に、シートごとに別々のドキュメントに分割して印刷されるのを抑制するかどうかを設定します。

2. ［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］（32bit EPSON LP-M720 のみ）

背景が「白」の PowerPoint 原稿に、プリンタードライバーのフォーム機能を指定して印刷する場合に、PowerPoint 原稿の「白」でフォーム画像が上書きされないように設定します。

3. ［電子メール通知］

［電子メール通知］チェックボックスをチェックし、送信先のアドレスを設定すると、印刷終了時に印刷が正常に完了したことを電子メールで通知します。

4. ［極細線を描画する］（EPSON LP-M720 PS は除く）

極細線を描画するかどうかを設定します。

5. ［ドライババージョン情報］

［ドライババージョン情報］をクリックすると、プリンタードライバーのバージョン情報を確認できます。

ポイント アンド プリントでインストールされたプリンタードライバーの機能制限

以下のサーバーとクライアントの組み合わせでポイント アンド プリントを実行した場合、プリンタードライバーで持つ機能が一部制限されます。

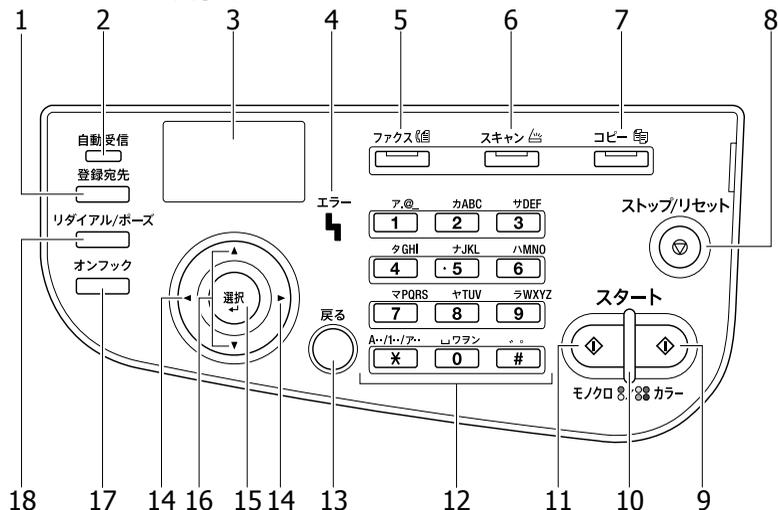
■ サーバーとクライアントの組み合わせ
サーバー　　：Windows Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2
クライアント：Windows XP/Vista/7

■ 制限される機能
[小冊子]、[白紙抑制]、[おもて表紙]、[うら表紙]、[区切りページ]、[フォーム作成]、[フォーム印刷]、[スタンプ]
※ PJL の ジョブ名、ユーザー名、ホスト名の 出力

この組み合わせで使用する場合は、クライアントにプリンタードライバーをローカルでインストールし、接続先としてサーバーにインストールされている共有プリンターを指定してください。

3 操作パネルとメニュー

操作パネルについて

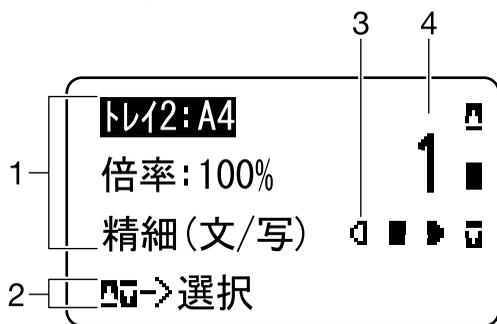
本機上部にある操作パネルでは、直接本機の操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウには本機の状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。

操作パネルのランプ／キー

No.	名称	機能
1	[登録宛先]キー	■常用、短縮ダイアル、グループダイアルに登録されている内容が表示されます。 ■詳しくは、「送信先アドレスの設定（メール /FTP/ SMB 送信）」（p.246）をごらんください。
2	[自動受信]ランプ	■自動受信に設定されているときに点灯します。 ■ファクス機能については、［ファクスユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。
3	メッセージウィンドウ	設定メニュー項目やメッセージが表示されます。
4	[エラー］ランプ	■エラー発生時に点灯します。 ■詳しくは、「エラーメッセージ」（p.401）をごらんください。
5	[ファクス]キー／ランプ	■ファクスができる状態にします。 ■ファクスモード時は、緑色に点灯します。 ■ファクス機能については、［ファクスユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。
6	[スキャン]キー／ランプ	■スキャンができる状態にします。（スキャンしたデータをメールで送信する、FTP サーバーやコンピューターの共有フォルダーに送信する、また USB メモリーに保存する場合。） ■スキャンモード時は、緑色に点灯します。 ■スキャン機能については、「スキャン機能を 使う」（p.223）をごらんください。
7	[コピー]キー／ランプ	■コピーができる状態にします。 ■コピーモード時は、緑色に点灯します。 ■コピー機能については、「コピー機能を使う」（p.185）をごらんください。
8	[ストップ /リセット]キー	■変更した設定を取消します。 ■機能を停止します。
9	[スタート(カラー)]キー	カラーコピー、カラースキャンまたはファクスを開始します。

No.	名称	機能
10	**[スタート]ランプ**	■ コピー、スキャンまたはファクスが可能なときは、青色に点灯します。 ■ 下記の場合は、オレンジ色に点灯します。 • エラー発生時などコピー、スキャンまたはファクスが不可能なとき • 設定メニューを設定中のとき • [スキャン] キー、[ファクス] キーを押したとき
11	**[スタート(モノクロ)]キー**	モノクロコピー、モノクロスキャンまたはファクスを開始します。
12	**テンキー**	■ コピー部数を入力します。また、ファクス番号、メールアドレス、名前などを入力します。 ■ 詳しくは、「入力のしかた」(p.433) をごらんください。
13	**[戻る] キー**	■ コピー部数や入力した文字を取消します。 ■ ひとつ前の画面に戻ります。 ■ 表示されている設定を取消します。
14	**[◀／▶]キー**	設定メニューの表示中は、選択マークを左右に移動します。
15	**[選択] キー**	選択されているメニュー項目を決定します。
16	**[▲／▼] キー**	設定メニューの表示中は、選択マークを上下に移動します。
17	**[オンフック]キー**	■ 受話器をとった状態にします。もう一度キーを押すと受話器を置いた状態に戻ります。 ■ ファクス機能については、[ファクスユーザーズガイド] (ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル) をごらんください。
18	**[リダイアル / ポーズ] キー**	■ 最後に送信したファクス番号を表示します。 ■ 送信するファクス番号にポーズを入れます。 ■ ファクス機能については、[ファクスユーザーズガイド] (ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル) をごらんください。

メッセージウィンドウの表示について

本機はメッセージウィンドウで本機の状態や、エラーメッセージなどを確認できます。

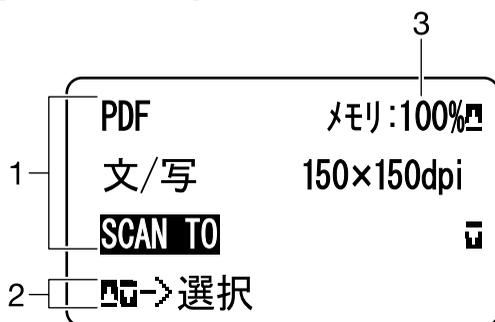
メイン画面（コピーモード）

No.	表示	詳細
1	コピー設定	現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、「コピー設定」（p.68）をごらんください。
2	ステータス	使用状況に応じてメッセージが表示されます。
3	コピー濃度	コピー濃度を表示します。 画像品質設定で文字モード選択時、［濃度］を［自動］に設定した場合は［自動］と表示されます。
4	コピー枚数	コピー枚数を表示します。

■ コピー設定

1
トレイ2:A4
2
倍率:100%
1
3
精細(文/写)
→選択
▲/▼キーを押す
4
ノンソート
5
1in1
6
片面→片面
→選択
▲/▼キーを押す
7
通常コピー
8
設定メニュー
9
レポート/ステータス
→選択
▲/▼キーを押す
10
PSプリント
11
メモリ プリント
→選択

No.	表示	詳細
1	給紙トレイ	選択されている給紙トレイが表示されます。給紙トレイの選択方法について詳しくは、「給紙トレイの選択」（p.200）をごらんください。
2	コピー倍率	設定されている倍率が表示されます。コピー倍率の設定方法について詳しくは、「倍率を指定する」（p.198）をごらんください。
3	コピー画質	設定されているコピー画質が表示されます。コピー画質の設定方法について詳しくは、「コピー画質の設定」（p.188）をごらんください。
4	ソートコピー	部単位コピー（ソート）の設定が表示されます。部単位コピー（ソート）の設定方法について詳しくは、「部単位コピー（ソート）の設定」（p.219）をごらんください。
5	2in1/4in1 コピー	選択されている 2in1/4in1 コピーの設定が表示されます。2in1/4in1 コピーの設定方法について詳しくは、「2in1/4in1 コピーの設定」（p.202）をごらんください。
6	片面／両面コピー	選択されている片面／両面コピーの設定が表示されます。片面／両面コピーの設定方法について詳しくは、「両面コピーの設定」（p.215）をごらんください。
7	コピー機能	設定されているコピー機能が表示されます。コピー機能の設定方法について詳しくは、「コピー機能の設定」（p.206）をごらんください。
8	［設定ﾒﾆｭｰ］	本機の各種設定を変更します。詳しくは、「設定メニュー」（p.79）をごらんください。
9	［ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ］	本機で実行した印刷の合計枚数やファクスの送受信結果を確認したり、レポートを印刷することができます。詳しくは、「レポート／ステータスメニュー」（p.76）をごらんください。

No.	表示	詳細
10	[PS ﾌﾟﾘﾝﾄ]	本機のハードディスク（オプション）に蓄積されたジョブの印刷や削除、PS 印刷に関する設定を変更できます。詳しくは、「PS プリントメニュー」（p.114）をごらんください。
11	[ﾒﾓﾘ ﾌﾟﾘﾝﾄ]	メモリプリントを行うための操作や設定を行います。詳しくは、「メモリプリントメニュー」（p.141）をごらんください。 この項目はオプションの増設ストレージ HDD を装着している場合に表示されます。

メイン画面（スキャンモード）

No.	表示	詳細
1	スキャン設定	現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、「スキャン設定」（p.71）をごらんください。
2	ステータス	使用状況に応じてメッセージが表示されます。
3	使用可能メモリー	使用可能なメモリー容量をパーセント（%）で表示します。

■ スキャン設定

1
PDF
メモリ:100%
2
文/写
150×150dpi
3
SCAN TO
ー> 選択
▲／▼キーを押す
4
片面
5
サイズ:A4
6
カラー/グレー
ー> 選択
▲／▼キーを押す
7
件名
8
予約キャンセル
9
設定メニュー
ー> 選択
▲／▼キーを押す
10
レポート/ステータス
ー> 選択

No.	表示	詳細
1	データ形式	設定されているデータ形式が表示されます。データ形式の設定方法について詳しくは、「データ形式の設定」（p.303）をごらんください。
2	スキャン画質	設定されているスキャン画質が表示されます。スキャン画質の設定方法について詳しくは、「スキャン画質の設定」（p.305）をごらんください。
3	スキャンデータ送信先	設定されているスキャンデータの送信先が表示されます。送信先の設定方法について詳しくは、「データ保存先の設定」（p.244）および「送信先アドレスの設定（メール / FTP/SMB 送信）」（p.246）をごらんください。 送信先が設定されていない場合は［SCAN TO］と表示されます。
4	片面／両面スキャン	選択されている片面／両面スキャンの設定が表示されます。片面／両面スキャンの設定方法について詳しくは、「両面スキャンの設定」（p.311）をごらんください。
5	スキャンサイズ	設定されているスキャンサイズが表示されます。スキャンサイズの設定方法について詳しくは、「スキャンサイズの設定」（p.314）をごらんください。
6	スキャンカラー	設定されているスキャンカラーが表示されます。スキャンカラーの設定方法について詳しくは、「スキャンカラーの設定」（p.315）をごらんください。
7	［件名］	設定されている件名が表示されます。件名の設定方法について詳しくは、「件名の設定」（p.316）をごらんください。 FTP アドレスまたは SMB アドレスがスキャンデータ送信先に設定されている場合は表示されません。

No.	表示	詳細
8	[予約ｷｬﾝｾﾙ]	送信待ち状態になっているジョブの一覧を表示し、ジョブを取り消します。詳しくは、「送信待ちジョブの取り消し」（p.318）をごらんください。 メールアドレス、FTP アドレス、または SMB アドレスがスキャンデータ送信先に設定されている場合は表示されません。
9	[設定ﾒﾆｭｰ]	本機の各種設定を変更します。「設定メニュー」（p.79）をごらんください。 メールアドレス、FTP アドレス、または SMB アドレスがスキャンデータ送信先に設定されている場合は表示されません。
10	[ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ]	本機で実行した印刷の合計枚数やファクスの送受信結果を確認したり、レポートを印刷することができます。詳しくは、「レポート／ステータスメニュー」（p.76）をごらんください。 メールアドレス、FTP アドレス、または SMB アドレスがスキャンデータ送信先に設定されている場合は表示されません。

メイン画面（ファクスモード）

詳しくは、[ファクスユーザーズガイド]（ソフトウェアディスク 内の PDF マニュアル）をごらんください。

プリント画面

プリントジョブを受信すると、メイン画面のステータス領域に［ﾌﾟﾘﾝﾀｰ：印刷中］と表示されます。プリント画面（下図）を表示するには、［ﾌﾟﾘﾝﾀｰ：印刷中］が表示されているときに、［◥］キーを押します。

プリントをキャンセルするには、プリント画面が表示されているときに、［ストップ / リセット］キーを押します。そして［現在のｼﾞｮﾌﾞ］または［全てのｼﾞｮﾌﾞ］を選択し、［選択］キーを押してください。

No.	表示	詳細
1	ステータス	印刷中などのメッセージが表示されます。
2	用紙トレイ／用紙サイズ	選択している用紙トレイ、用紙サイズ、用紙種類の情報が表示されます。 用紙種類で普通紙または再生紙を選択している場合は、用紙種類の情報は表示されません。

用紙サイズの表示

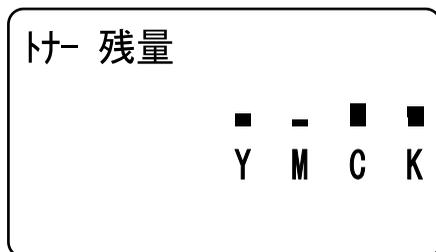
設定した用紙サイズはドライバー、操作パネルでは以下のように表示されます。

ドライバー表示	パネル表示①	パネル表示②
LETTER	LETTER	LT
LEGAL	LEGAL	LGL
HLT	HLT	
EXE	EXE	
A4	A4	
A5	A5	
A6	A6	
B5	B5	
F4	F4	
GLT	GLT	

ドライバー表示	パネル表示①	パネル表示②
GLG	GLG	
洋形 6 号	洋形 6 号	Y6
長形 3 号	長形 3 号	CH3
ハガキ	ﾊｶﾞｷ	JP
往復ハガキ	往復ﾊｶﾞｷ	DP
不定形サイズ	不定形	

本機の状態や設定内容を確認する

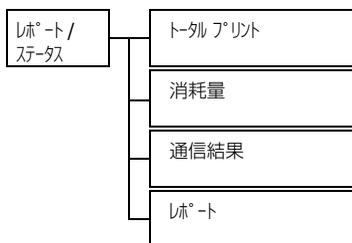
トナー残量

メイン画面で［◀］キーを押すと、［ﾄﾅｰ 残量］画面が表示されます。この画面では、トナーカートリッジの概算トナー残量を確認することができます。

メイン画面に戻るには［戻る］キーを押します。

上記の画面で［選択］キーを 2 秒以上押し続けると、本機の設定情報リストページを印刷することができます。

レポート／ステータスメニュー

メイン画面で［ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ］を選択して［選択］キーを押すと、レポート／ステータスメニューが表示されます。このメニューでは、本機で実行した印刷の合計枚数やファクスの送受信結果を確認したり、レポートを印刷したりすることができます。レポート／ステータスメニューの内容は以下のとおりです。

1 つ前の画面に戻るには、［戻る］キーを押します。メイン画面を表示するには、［ストップ / リセット］キーを押します。

トータルプリント

［ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ］	プリントのトータル枚数を表示します。
［ﾓﾉｸﾛ ｺﾋﾟｰ］	モノクロコピーのトータル枚数を表示します。
［ｶﾗｰ ｺﾋﾟｰ］	カラーコピーのトータル枚数を表示します。
［ﾓﾉｸﾛ印刷］	モノクロプリントのトータル枚数を表示します。
［ｶﾗｰ印刷］	カラープリントのトータル枚数を表示します。
［ﾌｧｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ］	ファクスプリントのトータル枚数を表示します。
［ﾄｰﾀﾙｽｷｬﾝ］	スキャンした原稿のトータル枚数を表示します。

片面印刷／コピーの場合、ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄの枚数は１となります。また、両面印刷／コピーの場合、枚数は２となります。

消耗量

トナーカートリッジおよび感光体ユニットの残量をパーセントで表示します。

［C ﾄﾅｰ］	トナーカートリッジ - シアン（C）のトナー残量をパーセントで表示します。
［M ﾄﾅｰ］	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）のトナー残量をパーセントで表示します。
［Y ﾄﾅｰ］	トナーカートリッジ - イエロー（Y）のトナー残量をパーセントで表示します。
［K ﾄﾅｰ］	トナーカートリッジ - ブラック（K）のトナー残量をパーセントで表示します。
［C P/U］	感光体ユニット - シアン（C）の残り寿命をパーセントで表示します。
［M P/U］	感光体ユニット - マゼンタ（M）の残り寿命をパーセントで表示します。
［Y P/U］	感光体ユニット - イエロー（Y）の残り寿命をパーセントで表示します。
［K P/U］	感光体ユニット - ブラック（K）の残り寿命をパーセントで表示します。

メッセージウィンドウで表示される消耗品の残量表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

通信結果

ファクスの送受信結果を最大 60 通表示します。また、[スタート(モノクロ)]キーを押すと表示している送受信結果を印刷します。詳しくは、[ファクスユーザーズガイド](ソフトウェアディスク 内の PDF マニュアル)をごらんください。

レポート

ファクス送受信結果や登録リスト、本機の設定内容を印刷します。

プリンター電源投入直後や設定変更直後にレポートを印刷すると、設定情報など正しく印字されない場合があります。その場合は、数十秒経過後にレポートを印刷してください。

レポート印刷中に、[FAX データあり]のメッセージが表示される場合があります。これは正常な動作ですので、レポート印刷が完了するまでお待ちください。

[送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ]	ファクスの送信結果を印刷します。
[受信結果ﾚﾎﾟｰﾄ]	ファクスの受信結果を印刷します。
[通信管理ﾚﾎﾟｰﾄ]	ファクスの送受信結果を印刷します。
[通信予約ﾘｽﾄ]	ファクスの送信待ち情報を印刷します。
[予約画像印刷]	ファクスの送信待ち情報と縮小した 1 ページ目を印刷します。
[常用設定一覧]	常用リストに登録されている送信先を印刷します。
[短縮ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ]	短縮ダイアルに登録した送信先を印刷します。
[ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ]	グループダイアルのグループを印刷します。
[設定ﾒﾆｭｰﾘｽﾄ]	設定メニュー一覧と設定内容を印刷します。
[PS ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ]	PS プリントメニュー一覧と設定内容を印刷します。
[設定情報ﾘｽﾄ]	本機のトナー残量、状態、情報、設定内容を印刷します。
[PS ﾌｫﾝﾄﾘｽﾄ]	ポストスクリプトのフォント一覧を印刷します。
[ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰ ﾘｽﾄ]	増設ストレージ HDD のディレクトリー一覧を印刷します。

ファクスの送受信結果や登録リストについて詳しくは、[ファクスユーザーズガイド](ソフトウェアディスク 内の PDF マニュアル)をごらんください。

操作パネルのメニュー一覧

メイン画面で［設定メニュー］を選択して［選択］キーを押すと、本機の設定メニューが表示されます。設定メニューでは、本機の機能に関するさまざまな設定を行うことができます。

また、コピーモードでは、PS 印刷に関する設定と、メモリプリントに関する設定も行えます。詳しくは、「PS プリントメニュー」（p.114）、「メモリプリントメニュー」（p.141）をごらんください。

設定メニュー

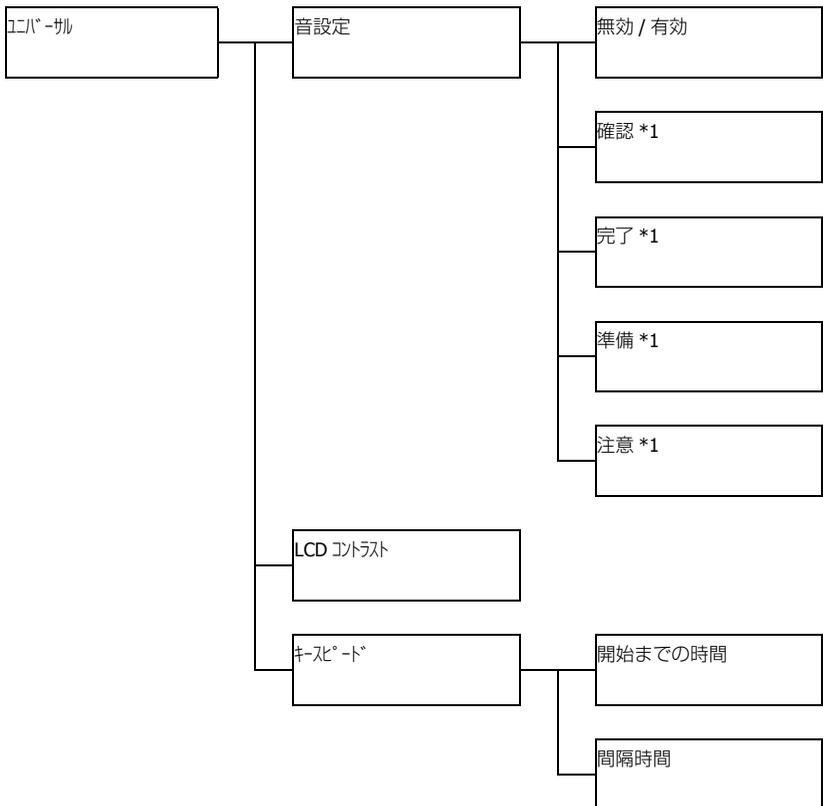
設定メニューの構成は以下のとおりです。

- 設定メニュー内で 1 つ前の画面に戻るには、［戻る］キーを押します。（設定値の入力中に［戻る］キーを押した場合、その設定は反映されません。）

- ［管理者設定］は管理者専用の設定メニューです。このメニューの設定項目を表示するには、［管理者設定］を選択後、テンキーで 6 桁の管理者番号（工場出荷時：000000）を入力してから［選択］キーを押してください。

ユニバーサル設定メニュー

操作パネルのキー操作や表示に関する設定を行うには、設定メニューから［ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ］を選択します。ユニバーサル設定メニューの構成は以下のとおりです。

- ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ
  - 音設定
    - 無効 / 有効
    - 確認 *1
    - 完了 *1
    - 準備 *1
    - 注意 *1
  - LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ
  - ｷｰｽﾋﾟｰﾄﾞ
    - 開始までの時間
    - 間隔時間

*1 この項目は［音設定］が［有効］に設定されている場合に表示されます。

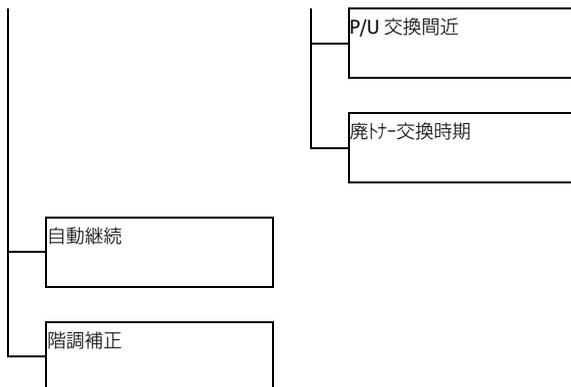
太字は工場出荷時の設定値を表します。

［音設定］	［無効 / 有効］		設定	［無効］／［**有効**］
			操作音を設定します。 ［有効］に設定した場合は、音が鳴ります。 ［無効］に設定した場合は、音は鳴りません。	
	［確認］	［有効な入力］	設定	［ｵﾌ］／［**低**］／［中］／［高］
			キーを押して入力を行ったときの音を設定します。	
		［無効な入力］	設定	［ｵﾌ］／［**低**］／［中］／［高］
			キーを押したり、設定値を入力する場合に、その動作が無効だったときの音を設定します。	
		［ﾍﾞｰｽ入力］	設定	［ｵﾌ］／［**低**］／［中］／［高］
			［登録宛先］キーや［オンフック］キーを押してメイン画面に戻ったときや、節電中から復帰したときの音を設定します。	
	［完了］	［通常印刷］	設定	［ｵﾌ］／［**低**］／［中］／［高］
			印刷が正常に終了したときの音を設定します。	
		［ﾌｧｸｽ通信］	設定	［ｵﾌ］／［**低**］／［中］／［高］
			通信関連の動作が正常に終了したときの音を設定します。	
	［準備］		設定	［ｵﾌ］／［**低**］／［中］／［高］
			本機のウォームアップが完了したときの音を設定します。	

	[注意]	[弱注意音 1]	設定	[オフ] ／ [**低**] ／ [中] ／ [高]
			各消耗品や交換部品が、交換時期に近づいたときの音を設定します。 これらが交換時期に近づくと、メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。	
		[弱注意音 2]	設定	[オフ] ／ [**低**] ／ [中] ／ [高]
			ユーザーが誤操作を行ったときの音を設定します。	
		[弱注意音 3]	設定	[オフ] ／ [**低**] ／ [中] ／ [高]
			対処可能なエラーが発生したときの音を設定します。 画面メッセージおよびマニュアルを参照して対処してください。	
		[強注意音]	設定	[オフ] ／ [**低**] ／ [中] ／ [高]
			ユーザーでは対処不可能なエラーが発生したときの音を設定します。 サービス技術者に連絡してください。	
[LCD コントラスト]			設定	(薄い) (濃い)
			メッセージウィンドウの明るさを設定します。	

<table>
<tr><td rowspan="4">［ｷｰｽﾋﾟｰﾄﾞ］</td><td rowspan="2">［開始までの時間］</td><td>設定</td><td>［0.1 秒］／［0.3 秒］／［0.5 秒］／［1.0 秒］／［1.5 秒］／［2.0 秒］／［2.5 秒］／［3.0 秒］</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定キーの長押しにより、カーソルが連続移動を開始するまでの時間を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［間隔時間］</td><td>設定</td><td>［0.1 秒］／［0.3 秒］／［0.5 秒］／［1.0 秒］／［1.5 秒］／［2.0 秒］／［2.5 秒］／［3.0 秒］</td></tr>
<tr><td colspan="2">カーソルが各項目や文字挿入位置を連続移動するときの移動間隔を設定します。</td></tr>
</table>

マシン設定メニュー

本機の動作や表示に関する設定を行うには、設定メニューから［ﾏｼﾝ設定］を選択します。マシン設定メニューの構成は以下のとおりです。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

[ｵｰﾄﾘｾｯﾄ]	設定	[ｵﾌ] ／ [30 秒] ／ [**1 分**] ／ [2 分] ／ [3 分] ／ [4 分] ／ [5 分]
	操作パネルでキー操作しなかったときに初期画面に戻る時間を設定します。 自動リセット機能を設定するには、[30 秒]、[1 分]、[2 分]、[3 分]、[4 分]、[5 分] からオートリセットがはたらくまでの時間を選択します。 [ｵﾌ] を選択した場合、自動リセット機能ははたらきません。	
[ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ]	設定	[**1 分**（1-120 分）]
	本機を一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するまでの時間（単位：分）を設定します。 本モード動作中、操作パネルに何も表示されません。操作パネルキーの押し下げ、プリントデータやファクスデータの受信、前カバーの開閉で通常モードに復帰します。	
[言語]	設定	[英語] ／ [**日本語**]
	メッセージウィンドウの表示言語を、選択した言語に切り替えることができます。	
[初期ﾓｰﾄﾞ]	設定	[**ｺﾋﾟｰ**] ／ [ﾌｧｸｽ] ／ [ｽｷｬﾝ]
	本機の電源をオンした後またはオートリセット後のモードを設定します。	

［ﾄﾅｰ交換 YMC］		設定	［ｽﾄｯﾌﾟ］ ／ **［ﾓﾉｸﾛ印字可能］**
		トナーが無くなったときに、印刷、コピー、ファクスの印刷を停止するかどうかを設定します。 ［ｽﾄｯﾌﾟ］に設定すると、トナーが無くなったときに、印刷、コピー、ファクスの印刷を停止します。 ［ﾓﾉｸﾛ印字可能］に設定すると、1 つ以上のカラートナーがなくなった場合でも黒トナーが残っていると、モノクロ印刷、モノクロコピー、ファクス受信印刷は可能です。	
［警告を有効にする］	［ﾄﾅｰ残量少］	設定	**［ｵﾝ］** ／ ［ｵﾌ］
		トナーの残りが少なくなると、メッセージが表示されます。	
	［P/U 交換間近］	設定	**［ｵﾝ］** ／ ［ｵﾌ］
		感光体ユニットの交換時期が近づくと、メッセージが表示されます。.	
	［廃ﾄﾅｰ交換時期］	設定	**［ｵﾝ］** ／ ［ｵﾌ］
		廃トナーボックスの交換時期が近づくと、メッセージが表示されます。	
［自動継続］		設定	［ｵﾝ］ ／ **［ｵﾌ］**
		［ｵﾝ］に設定すると、用紙サイズエラーが発生しても印刷を停止しません。印刷終了後に［選択］キーを押してエラーを解除します。 ［ｵﾌ］に設定すると、用紙サイズエラーが発生した場合、印刷を停止します。ただし、用紙サイズエラーを検出するまで数枚印刷する場合があります。	
［階調補正］		設定	［ｵﾝ］ ／ **［ｵﾌ］**
		画像階調を補正します。 ［ｵﾝ］に設定すると、画像階調の補正を開始します。 この機能を使用するとトナーが消費されますのでご注意ください。	

用紙設定メニュー

各トレイの用紙に関する設定を行うには、設定メニューから［用紙設定］を選択します。用紙設定メニューの構成は以下のとおりです。

用紙設定

ﾄﾚｲ 1 用紙

*1 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="2">［ﾄﾚｲ 1 用紙］</td><td>用紙種類</td><td>［普通紙］／［厚紙 1］／［厚紙 2］／［ﾗﾍﾞﾙ紙］／［ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ］／［光沢紙 1］／［光沢紙 2］／［両面不可紙］／［特殊紙］／［封筒］／［ﾊｶﾞｷ］</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td>封筒・ハガキ以外の場合：［A4］／［A5］／［B5］／［LEGAL］／［LETTER］／［GLT］／［HLT］／［EXE］／［F4］／［GLG］／［不定形］

封筒の場合：［長形 3 号］／［洋形 6 号］／［不定形］

ハガキの場合：［ﾊｶﾞｷ］／［往復ﾊｶﾞｷ］／［不定形］</td></tr>
<tr><td>［ﾄﾚｲ 1 用紙］</td><td colspan="2">トレイ 1 にセットする用紙の種類とサイズを設定します。用紙サイズで［不定形］を選択した場合は、［長さ］と［幅］を個別に指定します。

［長さ］の設定範囲は 148 ～ 356 mm です。
（工場出荷時：［297］mm）

［幅］の設定範囲は 92 ～ 216 mm です。
（工場出荷時：［210］mm）

用紙の種類を設定すると、メッセージウィンドウに使用可能な用紙サイズが表示されます。</td></tr>
</table>

[ﾄﾚｲ 2 用紙]	用紙種類	[**普通紙**] ／ [厚紙 1] ／ [厚紙 2] ／ [ﾗﾍﾞﾙ紙] ／ [ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ] ／ [光沢紙 1] ／ [光沢紙 2] ／ [両面不可紙] ／ [特殊紙] ／ [ﾊｶﾞｷ]
	用紙サイズ	ハガキ以外の場合：[**A4**] ／ [A5] ／ [B5] ／ [LETTER] ／ [GLT] ／ [HLT] ／ [EXE] ／ [不定形] ハガキの場合：[**ﾊｶﾞｷ**] ／ [往復ﾊｶﾞｷ] ／ [不定形]
	トレイ 2 にセットする用紙の種類とサイズを設定します。[不定形] を選択した場合は、[長さ] と [幅] を個別に指定します。 [長さ] の設定範囲は 148 ～ 297 mm です。（工場出荷時：[297] mm） [幅] の設定範囲は 92 ～ 216 mm です。（工場出荷時：[210] mm）	
[ﾄﾚｲ 3 用紙]	用紙種類	[普通紙] ／ [両面不可紙] ／ [特殊紙]
	トレイ 3 にセットする用紙の種類を設定します。	

管理者設定メニュー

ネットワークに関する設定など、本機の管理者設定を行うには、設定メニューから [管理者設定] を選択します。管理者設定メニューの構成は以下のとおりです。

[管理者設定] は管理者専用の設定メニューです。このメニューの設定項目を表示するには、[管理者設定] を選択後、テンキーで 6 桁の管理者番号（工場出荷時：000000）を入力してから [選択] キーを押してください。

ﾈｯﾄﾜｰｸ設定
TCP/IP
IP ｱﾄﾞﾚｽ設定 *1
IP ｱﾄﾞﾚｽ
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
ｹﾞｰﾄｳｪｲ
DHCP*1
BOOTP*1
ARP/PING*1
HTTP*1
FTP ｻｰﾊﾞｰ *1
FTP 送信 *1
SMB 宛先 *1
BONJOUR*1
ﾀﾞｲﾅﾐｯｸ DNS*1

IPP*1
RAW ﾎﾟｰﾄ *1
禁止 / 許可
双方向
SLP*1
SNMP*1
WSD 印刷 *1
WSD ｽｷｬﾝ
IPSEC*1
IP ｱﾄﾞﾚｽ ﾌｨﾙﾀｰ *1
ｱｸｾｽ許可
ｱｸｾｽ拒否
IPv6*1
禁止 / 許可
自動設定 *2
ﾘﾝｸ ﾛｰｶﾙ ｱﾄﾞﾚｽ *2

ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ ｱﾄﾞﾚｽ *2
ｹﾞｰﾄｳｪｲ *2
NETWARE
APPLETALK
SPEED/DUPLEX
IEEE802.1X
ﾒｰﾙ設定
SMTP
発信元名
E-mail ｱﾄﾞﾚｽ
件名初期値
SMTP ｻｰﾊﾞｰ ｱﾄﾞﾚｽ
SMTP ﾎﾟｰﾄ番号
SMTP ﾀｲﾑｱｳﾄ

ﾃｷｽﾄ挿入
POP BEFORE SMTP
無効 / 有効
POP3 ｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽ *3
POP3 ﾎﾟｰﾄ番号 *3
POP3 ﾀｲﾑｱｳﾄ *3
POP3 ｱｶｳﾝﾄ *3
POP3 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ *3
SMTP 認証
無効 / 有効
SMTP ﾕｰｻﾞ名 *4
SMTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ *4
LDAP 設定
無効 / 有効
LDAP ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ *5
LDAP ﾎﾟｰﾄ番号 *5

SSL 設定 *5
検索ﾍﾞｰｽ *5
属性 *5
検索方法 *5
LDAP ﾀｲﾑｱｳﾄ *5
検索最大表示件数 *5
認証 *5
LDAP ｱｶｳﾝﾄ *5
LDAP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ *5
ﾄﾞﾒｲﾝ名 *5
ﾒﾓﾘ ﾀﾞｲﾚｸﾄ
USB 設定
ﾌｧｸｽ設定

*1 この項目は［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］-［TCP/IP］が［有効］に設定されている場合のみ表示されます。
*2 この項目は［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］-［IPv6］-［禁止 / 許可］が［有効］に設定されている場合に表示されます。
*3 この項目は［ﾒｰﾙ設定］-［POP BEFORE SMTP］- ［無効 / 有効］が［有効］に設定されている場合のみ表示されます。
*4 この項目は［ﾒｰﾙ設定］-［SMTP 認証］-［無効 / 有効］が［有効］に設定されている場合のみ表示されます。
*5 この項目は［LDAP 設定］-［禁止 / 許可］が［有効］に設定されている場合のみ表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="10">［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］</td><td>［管理者番号］</td><td colspan="4">新しい管理者番号を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">［機能番号］</td><td>［機能番号を変更］</td><td colspan="3">機能制限をかけるときのパスワードを設定します。
パスワードを入力することで、制限のかかっている機能が使用できます。
工場出荷時は［000000］です。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">［許可しない］</td><td rowspan="2">［ｶﾗｰｺﾋﾟｰ］</td><td>設定</td><td>［許可する］／［許可しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">カラーコピーの使用を許可するか、許可しないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ﾌｧｸｽ送信］</td><td>設定</td><td>［許可する］／［許可しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファクス送信の使用を許可するか、許可しないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［SCAN TO E-MAIL］</td><td>設定</td><td>［許可する］／［許可しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">Scan to E-mail の使用を許可するか、許可しないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［SCAN TO USB ﾒﾓﾘｰ］</td><td>設定</td><td>［許可する］／［許可しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">Scan to USB メモリーの使用を許可するか、許可しないかを設定します。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td rowspan="2">［SCAN TO ｻｰﾊﾞｰ］</td><td>設定</td><td>［許可する］／［許可しない］</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">Scan to サーバーの使用を許可するか、許可しないかを設定します。</td></tr>
</table>

[ﾈｯﾄﾜｰｸ設定]	[TCP/IP]		設定	[無効] ／ [**有効**]
			本機のネットワーク接続を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	[IP ｱﾄﾞﾚｽ設定]	[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	設定	[0.0.0.0]
			ネットワーク上の本機の IP アドレスを設定します。	
		[ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ]	設定	[0.0.0.0]
			サブネットマスクを設定します。	
		[ｹﾞｰﾄｳｪｲ]	設定	[0.0.0.0]
			ゲートウェイアドレスを設定します。	
	[DHCP]		設定	[無効] ／ [**有効**]
			ネットワーク上に DHCP サーバーが存在する場合に、IP アドレスなどのネットワーク情報を DHCP サーバーから自動的に取得するか、しないかを設定します。	
	[BOOTP]		設定	[**無効**] ／ [有効]
			ネットワーク上に BOOTP サーバーが存在する場合に、IP アドレスなどのネットワーク情報を BOOTP サーバーから自動的に取得するか、しないかを設定します。	
	[ARP/PING]		設定	[**無効**] ／ [有効]
			IP アドレスの取得時に ARP/PING コマンドを使用するかしないかを設定します。	

［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］	［HTTP］		設定	［無効］／［**有効**］
			HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［FTP ｻｰﾊﾞｰ］		設定	［**無効**］／［有効］
			FTP（ファイル転送プロトコル）サーバーを有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［FTP 送信］		設定	［無効］／［**有効**］
			FTP 送信を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［SMB 宛先］		設定	［無効］／［**有効**］
			SMB（サーバーメッセージブロック）を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［BONJOUR］		設定	［無効］／［**有効**］
			Bonjour（ボンジュール）を有効にするか、許可するかを設定します。	
	［ﾀﾞｲﾅﾐｯｸ DNS］		設定	［**無効**］／［有効］
			ダイナミック DNS を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［IPP］		設定	［無効］／［**有効**］
			IPP（インターネットプリンティングプロトコル）を有効にするか、無効にするかを設定します。 ［HTTP］を［無効］に設定している場合は、IPP は設定できません。	
	［RAW ﾎﾟｰﾄ］	［禁止 / 許可］	設定	［無効］／［**有効**］
			RAW ポートを有効にするか、無効にするかを設定します。	
		［双方向］	設定	［**無効**］／［有効］
			RAW ポートの双方向通信を有効にするか、無効にするかを設定します。	

［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］	［SLP］		設定	［無効］／［**有効**］
			SLP（サービスロケーションプロトコル）を無効にするか、有効にするかを設定します。	
	［SNMP］		設定	［無効］／［**有効**］
			SNMP（シンプルネットワークマネージメントプロトコル）を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［WSD 印刷］		設定	［無効］／［**有効**］
			WSD（Web Services on Devices）印刷を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［WSD ｽｷｬﾝ］		設定	［無効］／［**有効**］
			WSD スキャンを有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［IPSEC］		設定	［**無効**］／［有効］
			IPsec を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［IP ｱﾄﾞﾚｽﾌｨﾙﾀｰ］	［ｱｸｾｽ許可］	設定	［**無効**］／［有効］
			IP アドレスによるアクセス許可を有効にするか、無効にするかを設定します。	
		［ｱｸｾｽ拒否］	設定	［**無効**］／［有効］
			IP アドレスによるアクセス拒否を有効にするか、無効にするかを設定します。	

［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］	［IPv6］	［禁止 / 許可］	設定	［無効］ ／ ［**有効**］
			IPv6 を有効にするか、無効にするかを設定します。	
		［自動設定］	設定	［**はい**］ ／ ［いいえ］
			IPv6 自動設定をするか、しないかを設定します。	
		［ﾘﾝｸﾛｰｶﾙｱﾄﾞﾚｽ］	リンクローカルアドレスを表示します。	
		［ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｱﾄﾞﾚｽ］	グローバルアドレスを表示します。	
		［ｹﾞｰﾄｳｪｲ］	ゲートウェイアドレスを表示します。	
	［NETWARE］		設定	［**無効**］ ／ ［有効］
			Netware を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［APPLETALK］		設定	［無効］ ／ ［**有効**］
			AppleTalk を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［SPEED/DUPLEX］		設定	［**自動**］ ／ ［10BASE FULL］ ／ ［10BASE HALF］ ／ ［100BASE FULL］ ／ ［100BASE HALF］ ／ ［1000BASE FULL］
			通信速度と双方向通信の通信方式を設定します。	
	［IEEE802.1X］		設定	［**無効**］ ／ ［有効］
			IEEE802.1X 認証設定を有効にするか、無効にするかを設定します。	

[ﾒｰﾙ設定]	[SMTP]	設定	[無効] ／ [**有効**]
		本機のメール送信機能を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	[発信元名]	メールの送信者名（英数字、記号で最大 20 文字）を入力します。 工場出荷時は [Epson LP-M720] です。	
	[E-mail ｱﾄﾞﾚｽ]	メール送信者のメールアドレス（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。	
	[件名初期値]	メールで使用する件名（英数字、記号で最大 20 文字）を入力します。 工場出荷時は [from Epson LP-M720] です。	
	[SMTP ｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ]	SMTP（シンプルメール転送プロトコル）サーバーの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 工場出荷時は [0.0.0.0] です。	
	[SMTP ﾎﾟｰﾄ番号]	設定	[**25**（1-65535）]
		SMTP サーバーのポートを設定します。	
	[SMTP ﾀｲﾑｱｳﾄ]	設定	[**60 秒**（30-300 秒）]
		SMTP サーバーのタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。	
	[ﾃｷｽﾄ挿入]	設定	[**ｵﾌ**] ／ [ｵﾝ]
		規定テキストをメッセージの本文に挿入するかどうかを設定します。 [ｵﾝ] に設定した場合、以下のテキストがメッセージの本文に挿入されます。 [The attachment file is a **** format file.] [Image data (**** format) has been attached to the e-mail.] ****：選択されているファイル形式が表示されます。	

［ﾒｰﾙ設定］	［POP BEFORE SMTP］	［無効 / 有効］	設定	［**無効**］／［有効］
			POP Before SMTP を有効にするか、無効にするかを設定します。 ［有効］に設定した場合は、時間（単位：秒）を設定します。設定範囲は 0 〜 60 秒（初期設定：1 秒）です。	
		［POP3 ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ］	POP Before SMTP 認証で使用する POP3 サーバーの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 工場出荷時は［0.0.0.0］です。	
		［POP3 ﾎﾟｰﾄ番号］	設定	［**110**（1-65535）］
			POP3 サーバーとの通信に使用するポートを設定します。	
		［POP3 ﾀｲﾑｱｳﾄ］	設定	［**30 秒**（30-300 秒）］
			POP3 サーバーのタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。	
		［POP3 ｱｶｳﾝﾄ］	POP3 サーバー認証で使用するユーザー名（英数字、記号で最大 63 文字）を入力します。	
		［POP3 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］	POP3 サーバー認証で使用するパスワード（英数字、記号で最大 15 文字）を入力します。	
	［SMTP 認証］	［無効 / 有効］	設定	［**無効**］／［有効］
			SMTP 認証を有効にするか、無効にするかを設定します。	
		［SMTP ﾕｰｻﾞ名］	SMTP 認証で使用するユーザー名（英数字、記号で最大 63 文字）を入力します。	
		［SMTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］	SMTP サーバー認証で使用するパスワード（英数字、記号で最大 15 文字）を入力します。	

［LDAP 設定］	［無効 / 有効］	設定	［無効］／［**有効**］
		LDAP 機能を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［LDAP ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ］	LDAP サーバーの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 工場出荷時は［0.0.0.0］です。	
	［LDAP ﾎﾟｰﾄ番号］	設定	［**389**（1-65535）］
		LDAP サーバーのポートを設定します。 SSL 設定を有効にしている場合、LDAP ポート番号は［636］が選択されています。	
	［SSL 設定］	設定	［**無効**］／［有効］
		SSL 通信を有効にするか、無効にするかを設定します。	
	［検索ﾍﾞｰｽ］	LDAP サーバーのディレクトリーから、検索開始位置（英数字、記号で最大 64 文字）を指定します。	
	［属性］	名前またはメールアドレスを検索する際に使用する属性（英数字、記号で最大 32 文字）を設定します。 工場出荷時は［cn］です。	
	［検索方法］	設定	［始まる］／［**含む**］／［終わる］
		検索方法を設定します。 ［始まる］を設定した場合は、指定した文字で始まっている名前またはメールアドレスのみが検索されます。 ［含む］を設定した場合は、指定した文字が含まれている名前またはメールアドレスが検索されます。 ［終わる］を設定した場合は、指定した文字で終わっている名前またはメールアドレスのみが検索されます。	

［LDAP 設定］	［LDAP ﾀｲﾑｱｳﾄ］	設定	［**60 秒**（5-300 秒）］
		検索のタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。	
	［検索最大表示件数］	設定	［**100**（5-100）］
		検索結果の最大表示件数を設定します。	
	［認証］	設定	［**共通名**］／［Simple］／［DIGEST-MD5］／［GSS-SPNEGO］／［NTLNMv2］
		LDAP サーバーのログインに使用する認証方式を設定します。	
	［LDAP ｱｶｳﾝﾄ］	LDAP サーバーへの接続に使用するユーザー名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。	
	［LDAP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ］	LDAP サーバーへの接続に使用するパスワード（英数字、記号で最大 32 文字）を入力します。	
	［ﾄﾞﾒｲﾝ名］	LDAP サーバーへの接続に使用するドメイン名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。	
［ﾒﾓﾘ ﾀﾞｲﾚｸﾄ］		設定	［無効］／［**有効**］
		USB メモリーを使っての印刷を有効にするか、無効にするかを設定します。	
［USB 設定］		設定	［**Windows**］／［Mac］
		本機と USB ケーブルで接続しているコンピューターのオペレーティングシステムを選択します。	

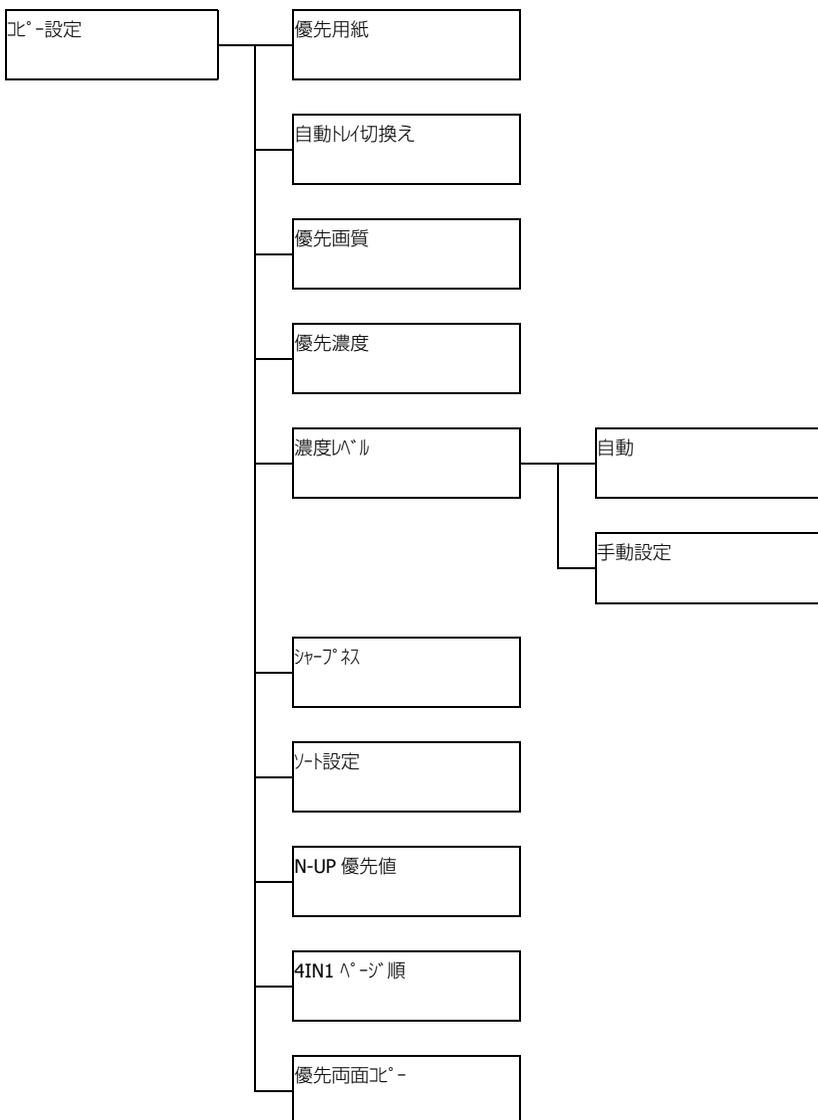
［ﾌｧｸｽ設定］	［ｵｰﾄﾘﾀﾞｲｱﾙ］	［ｵｰﾄﾘﾀﾞｲｱﾙ回数］	設定	［**1**（1-10）］
			相手が通話中などで応答できない場合にリダイアルする回数を 1 ～ 10 回の間で設定します。	
		［間隔時間］	設定	［**2 分**（2-99 分）］
			リダイアルの間隔を 2 ～ 99 分の間で設定します。	
	［ﾌｧｸｽ番号確認］		設定	［**ｵﾌ**］ ／ ［ｵﾝ］
			ファクス番号を直接入力して指定するとき、ファクス番号を 2 度入力させるかどうかを設定します。 繰り返し入力させることで、入力ミスによる誤送信を防止できます。	
	［ﾀﾞｲｱﾙﾄｰﾝを検出］		設定	［**ｵﾌ**］ ／ ［ｵﾝ］
			ダイアル前にダイアルトーンの検出を行うか、行わないかを設定します。	
［送信設定］	［ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ］		設定	［**ﾄｰﾝ**］ ／ ［ﾊﾟﾙｽ］
			回線の種類を選択します。回線の種類が正しく選択されていないと、ファクス通信はできません。 ご使用の回線の種類を確認してから、設定してください。	
	［回線ﾓﾆﾀｰ音量］		設定	［ｵﾌ］ ／ ［**低**］ ／ ［高］
			回線モニター音の音量を選択します。 ［ｵﾌ］に設定している場合でも、［オンフック］キーを押したときにはモニター音が聞こえます。	

<table>
<tr><td rowspan="6">［送信設定］</td><td rowspan="2">［PSTN/PBX］</td><td>設定</td><td>［PSTN］／［PBX］</td></tr>
<tr><td colspan="2">PSTN または PBX は、ご利用の環境に合わせて選択します。
■［PSTN］：ご利用の環境に電話交換機などがない場合に選択します。
■［PBX］：ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択します。［PBX］を選択した場合は、外線発信番号を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］</td><td>設定</td><td>［ｵﾌ］／［ｵﾝ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信後、自動的に電話着信とファクス受信を切り替える機能です。電話機を接続した場合に設定します。
■［ｵﾌ］：ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は応答音だけ相手に返します。
■［ｵﾝ］：ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は呼び出し音が鳴ります。
［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾌｧｸｽ受信設定］-［受信ﾓｰﾄﾞ］は［自動受信］に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［電話呼出し時間］</td><td>設定</td><td>［5 秒］／［10 秒］／［15 秒］／［20 秒］／［25 秒］／［30 秒］／［60 秒］／［90 秒］／［120 秒］／［150 秒］／［180 秒］／［240 秒］</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話の呼び出し時間（秒）を設定します。［電話 / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ］が［ｵﾝ］の場合に設定が有効になります。</td></tr>
</table>

[送信設定]	[留守番電話接続]	設定	**[オフ]** ／ [オン]
		電話機の留守番電話機能を使う場合に設定します。 [オン] に設定した場合、留守番電話応答中にファクス信号を検出するとファクス受信に切替えます。 [設定メニュー] - [ファクス受信設定] - [受信モード] は [自動受信] に設定します。 [電話 / ファクスモード] は [オフ] に設定してください。	

[ﾕｰｻﾞｰ設定]	[日付 / 時刻]	設定	[時間]：[00:00-23:59] [日付]：[00/01/01-99/12/31] [ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ]：[GMT+12:00-GMT-12:00]（30 分間隔） デフォルト：+9:00
		現在の日時およびタイムゾーンをテンキーで入力します。	
	[ｻﾏｰﾀｲﾑ]	設定	[**ｵﾌ**] ／ [ｵﾝ] [60 分（1-150 分）]
		サマータイムの設定を行います。 [ｵﾝ] を選択したときは、1 ～ 150 分の間で設定できます。	
	[日付種類]	設定	[MM/DD/YY] ／ [DD/MM/YY] ／ [**YY/MM/DD**]
		レポートやリストの日時表示の形式を選択します。	
	[固定倍率]	設定	[ｲﾝﾁ] ／ [**ﾒﾄﾘｯｸ**]
		ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。	
	[ﾌｧｸｽ番号]	本機のファクス番号を入力します。数字、スペース、＋、－で 20 桁まで入力できます。 ここで設定したファクス番号が送信先の文書のヘッダーに印刷されます。 工場出荷時は、なにも登録されていません。	
[ﾕｰｻﾞｰ設定]	[ﾕｰｻﾞｰ名]	ユーザー名を入力します。英数字、カタカナ、記号で最大 32 文字まで入力できます。 ここで設定したユーザー名が送信先の文書のヘッダーに印刷されます。 工場出荷時は、なにも登録されていません。	
[消耗品を交換]	[定着ﾕﾆｯﾄ]	定着ユニット交換時にカウンターをリセットします。	

コピー設定メニュー

コピー機能に関する設定を行うには、設定メニューから［ｺﾋﾟｰ設定］を選択します。コピー設定メニューの構成は以下のとおりです。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">［優先用紙］</td><td>設定</td><td>［ﾄﾚｲ 1］／［**ﾄﾚｲ 2**］／［ﾄﾚｲ 3］</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用するトレイを設定します。

オプションの給紙ユニットを装着していない場合、［ﾄﾚｲ 3］は表示されません。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">［自動ﾄﾚｲ切り替え］</td><td>設定</td><td>［**無効**］／［有効］</td></tr>
<tr><td colspan="2">［有効］に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切換えて印刷を続行します。

［無効］に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">［優先画質］</td><td>設定</td><td>［文 / 写］／［文字］／［写真］／［**精細（文 / 写）**］／［精細 / 文字］／［精細 / 写真］</td></tr>
<tr><td colspan="2">コピーする原稿の種類を設定します。

ADF に原稿をセットすると、初期設定は自動的に［文 / 写］に切換ります。

各設定の解像度について詳しくは、「優先画質設定と解像度の組み合わせ」（p.109）をごらんください。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">［優先濃度］</td><td>設定</td><td>［自動］／［手動設定］</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用する濃度の設定方法を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">［濃度ﾚﾍﾞﾙ］</td><td rowspan="2">［自動］</td><td>設定</td><td>（薄い）（濃い）</td></tr>
<tr><td colspan="2">下地色の濃度を調整します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［手動設定］</td><td>設定</td><td>（薄い）（濃い）</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用するコピー濃度を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">［ｼｬｰﾌﾟﾈｽ］</td><td>設定</td><td>（弱い）（強い）</td></tr>
<tr><td colspan="2">原稿を読込むときの、文字や線などの境界部分の強さを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">［ｿｰﾄ設定］</td><td>設定</td><td>［**ﾉﾝｿｰﾄ**］／［ｿｰﾄ］（1 部ごと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用するコピーのソート方法を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">［N-UP 優先順］</td><td>設定</td><td>［**1IN1**］／［2IN1］／［4IN1］</td></tr>
<tr><td colspan="2">1 枚の用紙に印刷するページ数を設定します。</td></tr>
</table>

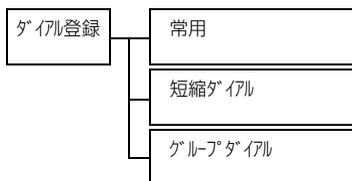
［4IN1 ﾍﾟｰｼﾞ順］	設定	［**横順**］／［縦順］
	4IN1 コピーで読み込んだ原稿のページレイアウトを設定します。	
［優先両面ｺﾋﾟｰ］	設定	［**ｵﾌ**］／［長辺とじ］／［短辺とじ］
	通常使用する両面コピーの設定を選択します。 ［ｵﾌ］に設定した場合は、通常両面コピーがオフになります。 ［長辺とじ］に設定した場合は、通常両面コピーがオンになり、長辺とじで出力されます。 ［短辺とじ］に設定した場合は、通常両面コピーがオンになり、短辺とじで出力されます。	

優先画質設定と解像度の組み合わせ

各設定と解像度の組み合わせは以下になります。

原稿ガラス	カラー	［文 / 写］、［文字］、［写真］	600 × 300 dpi
		［精細（文 / 写）］、［精細 / 文字］、［精細 / 写真］	600 × 600 dpi
	モノクロ	［文 / 写］、［文字］、［写真］	600 × 300 dpi
		［精細（文 / 写）］、［精細 / 文字］、［精細 / 写真］	600 × 600 dpi
ADF	カラー	［文 / 写］、［文字］、［写真］	300 × 300 dpi
		［精細（文 / 写）］、［精細 / 文字］、［精細 / 写真］	600 × 300 dpi
	モノクロ	［文 / 写］、［文字］、［写真］	600 × 300 dpi
		［精細（文 / 写）］、［精細 / 文字］、［精細 / 写真］	600 × 300 dpi

ダイアル登録メニュー

常用、短縮ダイアル、グループダイアルを登録するには、設定メニューから［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択します。ダイアル登録メニューの構成は以下のとおりです。

［常用］	よく使う短縮ダイアルまたはグループダイアルを、常用に登録します。［登録宛先］キーを押し、［▼／▲］キーですばやく指定できます。 常用には最大 20 件登録できます。 詳しくは、「常用に登録する」（p.270）をごらんください。
［短縮ﾀﾞｲｱﾙ］	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、短縮ダイアルに登録します。ファクス番号またはメールアドレスの手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。 短縮ダイアルはファクス番号またはメールアドレスを最大 220 件登録できます。 詳しくは、「直接入力で短縮ダイアルを登録する」（p.279）または「LDAP 検索を使って短縮ダイアルを登録する」（p.283）をごらんください。
［ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ］	よく使う同報相手先を、グループダイアルに登録します。登録したグループを選択するだけで、複数の相手先を呼び出すことができます。 1 つのグループダイアルには、最大 50 件登録できます。 グループダイアルは最大 20 件登録できます。 詳しくは、「グループダイアルを登録する」（p.293）をごらんください。

ファクス送信設定メニュー

詳しくは、［ファクスユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク 内の PDF マニュアル）をごらんください。

ファクス受信設定メニュー

詳しくは、[ファクスユーザーズガイド]（ソフトウェアディスク 内の PDF マニュアル）をごらんください。

レポート設定メニュー

詳しくは、[ファクスユーザーズガイド]（ソフトウェアディスク 内の PDF マニュアル）をごらんください。

読込み設定メニュー

スキャナー機能に関する設定を行うには、設定メニューから［読込み設定］を選択します。読込み設定メニューの構成は以下のとおりです。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="2">［ﾌｧｲﾙ形式］</td><td>設定</td><td>［TIFF］／［PDF］／［JPEG］</td></tr>
<tr><td colspan="2">スキャンしたデータをメールで送信するときのファイル形式を選択します。

PDFファイルはAdobe Acrobat Readerで開くことができます。

［ｶﾗｰ / ｸﾞﾚｰ］でスキャンした TIFF ファイルは、Windows XP の Windows Picture と FAX Viewer または、Windows Vista の Windows Photo Gallery では開くことができません。これらのファイルは、アプリケーション（例えば Adobe PhotoShop、Microsoft Office Document Imaging または ACDsee）で画像処理すると開くことができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［符号化方式］</td><td>設定</td><td>［MH］／［MR］／［MMR］</td></tr>
<tr><td colspan="2">スキャンしたデータをメールで送信するときの圧縮方法を選択します。

MH、MR、MMR の順に圧縮率が高くなります。

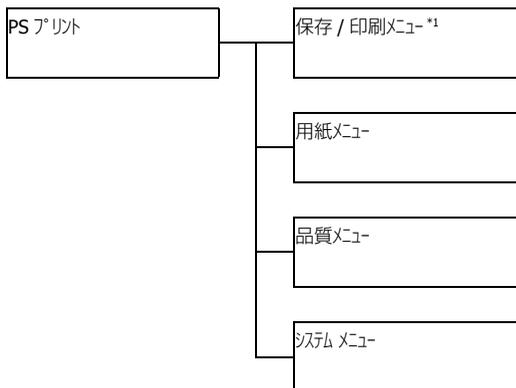
メール送信時のカラー設定で［白黒］を選択した場合のみ有効となります。
スキャンカラーの設定については、「スキャンカラーの設定」（p.315）をごらんください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［解像度］</td><td>設定</td><td>［150×150dpi］／［300×300dpi］</td></tr>
<tr><td colspan="2">メールで送信するスキャンデータの解像度を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［優先画質］</td><td>設定</td><td>［文 / 写］／［文字］／［写真］</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用するスキャンデータの画質を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［濃度ﾚﾍﾞﾙ］</td><td>設定</td><td>（薄い）◁□□■□□▶（濃い）</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用するスキャンデータの濃度を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ｼｬｰﾌﾟﾈｽ］</td><td>設定</td><td>（弱い）◁□□■□□▶（強い）</td></tr>
<tr><td colspan="2">原稿を読込むときの、文字や線などの境界部分の強さを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［読込みｻｲｽﾞ］</td><td>設定</td><td>［A5］／［A4］／［B5］／［HLT］／［LETTER］／［LEGAL］</td></tr>
<tr><td colspan="2">スキャンサイズを設定します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">［ﾌｧｲﾙ ｻｲｽﾞ］</td><td>設定</td><td>［分割しない］／［分割する］</td></tr>
<tr><td colspan="2">メールで送信するスキャンデータのサイズを制限するかどうかを選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">［分割する］を選択した場合は、1 ～ 10Mb の範囲で上限サイズを指定します。送信するデータが上限サイズを超える場合は、複数の添付ファイルとして分割送信されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">複数の添付ファイルを受信するには、分割送信に対応するメールソフトウェアが必要です。</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="2">［ｽﾀｰﾄｷｰ］</td><td>設定</td><td>［白黒］／［ｶﾗｰ / ｸﾞﾚｰ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">スタートキーの動作を設定します。</td></tr>
</table>

PS プリントメニュー

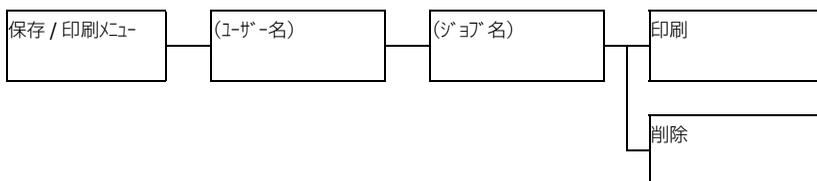
メイン（コピーモード）画面で［PS ﾌﾟﾘﾝﾄ］を選択して［選択］キーを押すと、本機の PS プリントメニューが表示されます。PS プリントメニューでは、本機のハードディスク（オプション）に蓄積されたジョブの印刷や削除、印刷するときの各種設定を変更できます。

PS プリントメニューの構成は以下のとおりです。

PS プリントメニュー内で 1 つ前の画面に戻るには、［戻る］キーを押します。（設定値の入力中に［戻る］キーを押した場合、その設定は反映されません。）

*1 この項目はオプションの増設ストレージ HDD を装着している場合に表示されます。

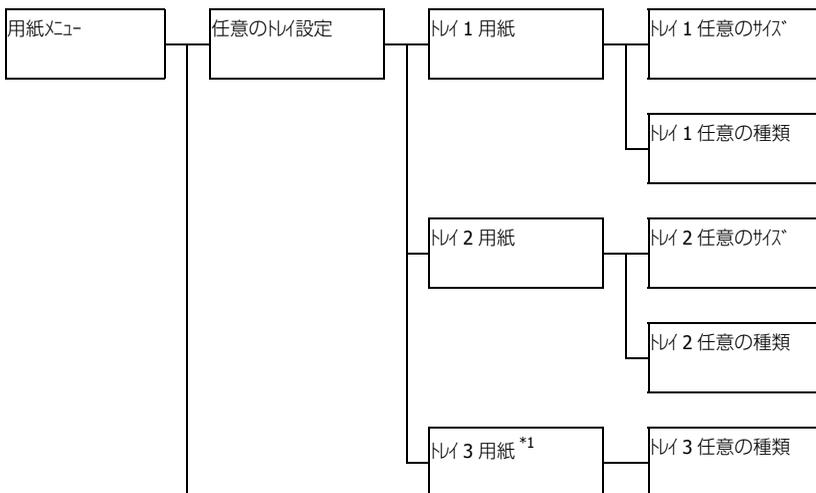
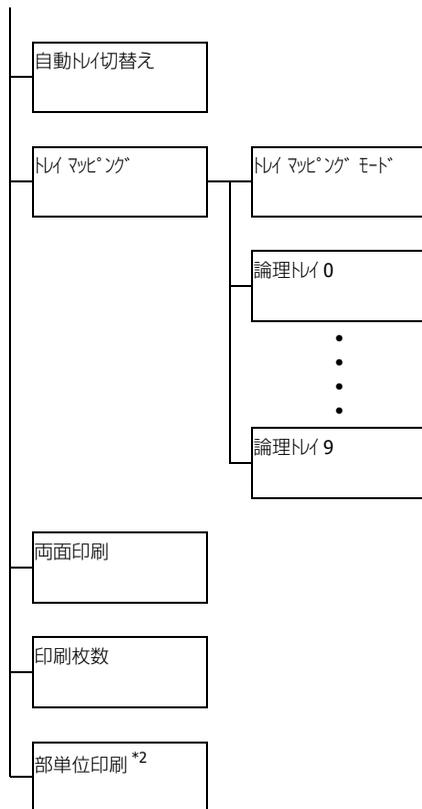
保存／印刷メニュー

本機のハードディスク（オプション）に蓄積されたジョブを印刷、削除するには、PS プリントメニューから［保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ］を選択します。保存／印刷メニューの構成は以下のとおりです。

この項目はオプションの増設ストレージ HDD を装着している場合に表示されます。

［保存 / 印刷ﾒﾆｭｰ］を選択しているとき、ハードディスクにジョブが蓄積されていないと、［保存ｼﾞｮﾌﾞ なし］というメッセージが表示されます。

［印刷］	以下の手順でジョブを印刷します。 1. 印刷したいジョブを選択し、［選択］キーを押します。 2. ［印刷］を選択し、［選択］キーを押します。 パスワードが設定してある場合は、パスワードを入力してください。 3. 印刷部数を設定し、［選択］キーを押します。 4. カラーで印刷する場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。モノクロで印刷する場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。
［削除］	以下の手順でジョブを削除します。 1. 削除したいジョブを選択し、［選択］キーを押します。 2. ［削除］を選択し、［選択］キーを押します。 パスワードが設定してある場合は、パスワードを入力してください。 3. ［はい］を選択し、［選択］キーを押します。

用紙メニュー

印刷で使用する用紙の管理を行うには、PS プリントメニューから［用紙ﾒﾆｭｰ］を選択します。用紙メニューの構成は以下のとおりです。

*1 この項目はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。
*2 この項目はオプションの増設ストレージ HDD を装着している場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td rowspan="10">［任意のﾄﾚｲ設定］</td><td rowspan="4">［ﾄﾚｲ 1 用紙］</td><td rowspan="2">［ﾄﾚｲ 1 任意のｻｲｽﾞ］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">トレイ 1 で設定した任意の用紙サイズの設定を適用するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ﾄﾚｲ 1 任意の種類］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">トレイ 1 で設定した任意の用紙種類の設定を適用するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">［ﾄﾚｲ 2 用紙］</td><td rowspan="2">［ﾄﾚｲ 2 任意のｻｲｽﾞ］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">トレイ 2 で設定した任意の用紙サイズの設定を適用するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ﾄﾚｲ 2 任意の種類］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">トレイ 2 で設定した任意の用紙種類の設定を適用するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ﾄﾚｲ 3 用紙］</td><td rowspan="2">［ﾄﾚｲ 3 任意の種類］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">トレイ 3 で設定した任意の用紙種類の設定を適用するかしないかを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">［自動ﾄﾚｲ切替え］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">［ｵﾝ］に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切換えて印刷を続行します。
［ｵﾌ］に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止します。</td></tr>
</table>

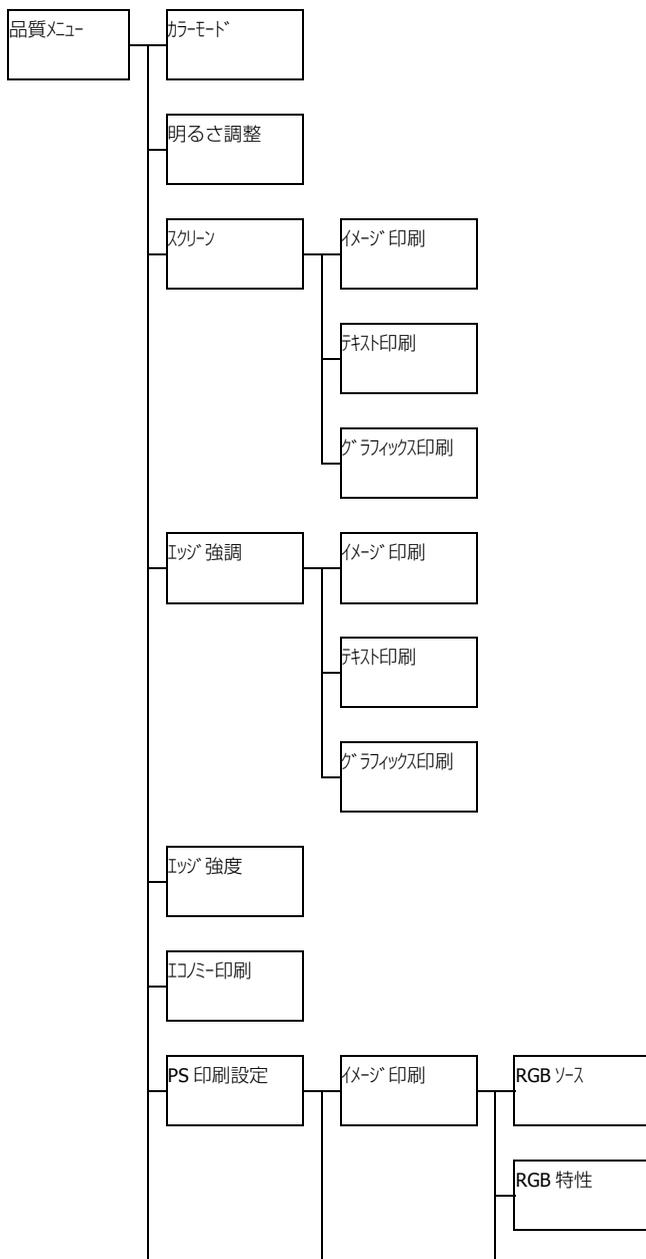
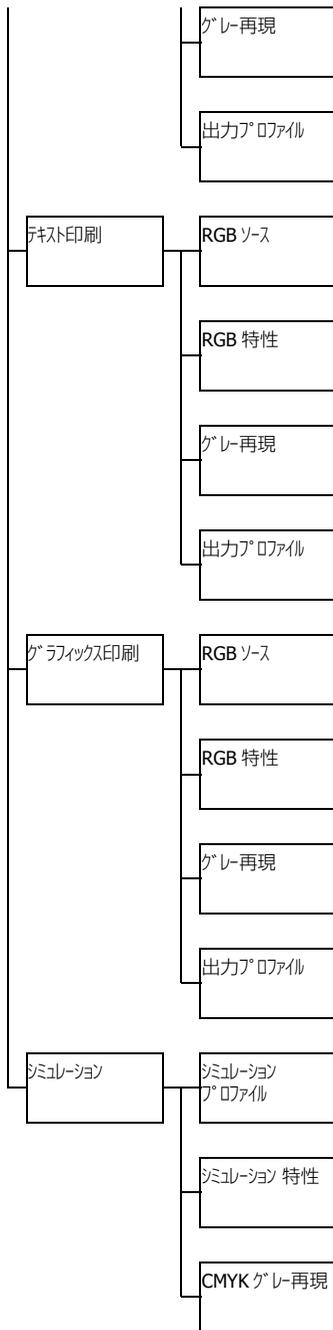
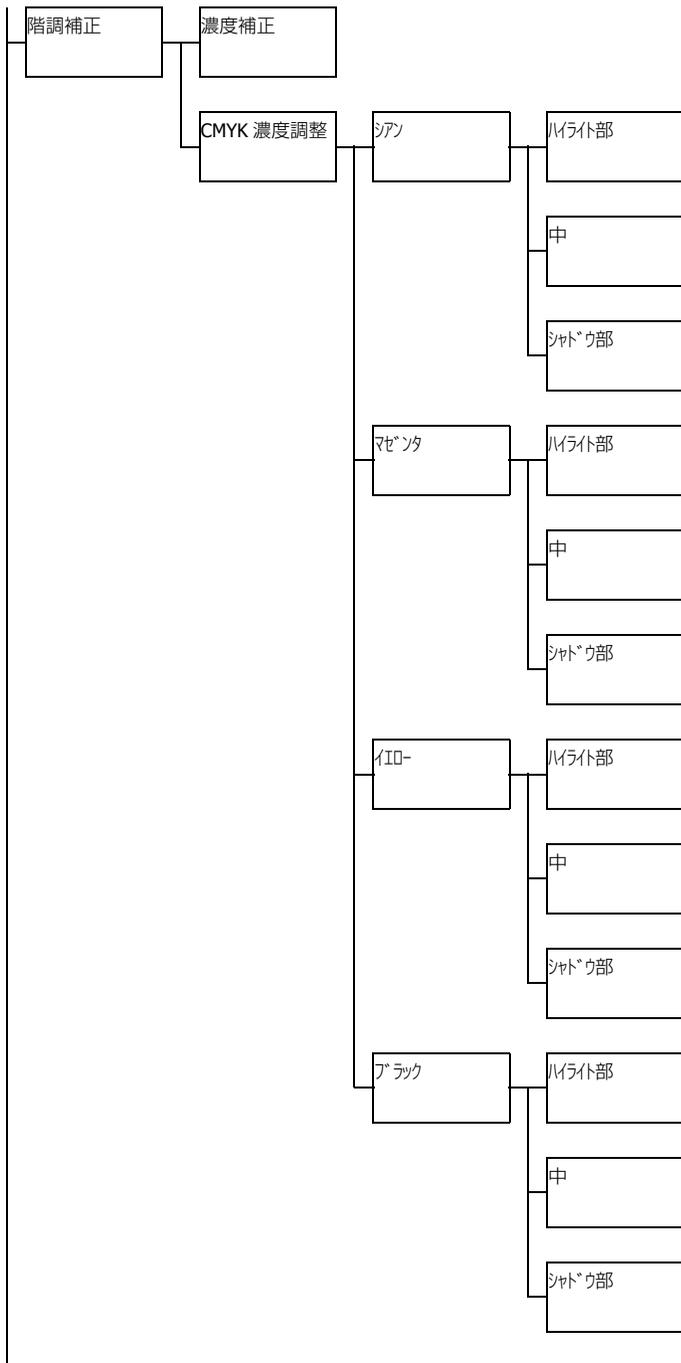
［ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ］	［ﾄﾚｲ ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ］	設定	［ｵﾝ］／［**ｵﾌ**］
		トレイマッピング機能を使用するかしないかを設定します。	
	［論理ﾄﾚｲ 0］～［論理ﾄﾚｲ 9］	設定	［物理ﾄﾚｲ 1］／［物理ﾄﾚｲ 2］／［物理ﾄﾚｲ 3］
		他社のプリンタードライバーからプリントジョブを受信したときに、どの給紙トレイを使用して印刷するかを設定します。 ［論理ﾄﾚｲ 1］のみ工場出荷時の設定値が［物理ﾄﾚｲ 1］に設定されています。［論理ﾄﾚｲ 1］以外は、［物理ﾄﾚｲ 2］が工場出荷時の設定値です。 ［物理ﾄﾚｲ 3］はオプションの給紙ユニットを装着している場合に表示されます。	
［両面印刷］		設定	［**ｵﾌ**］／［長辺綴じ］／［短辺綴じ］
		［長辺綴じ］に設定すると、横にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。 ［短辺綴じ］に設定すると、縦にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。 プリンタードライバーでの設定がこのメニューの設定より優先されます。	
［印刷枚数］		設定	［**1** (1-9999)］
		印刷部数を設定します。 プリンタードライバーでの設定が、このメニューの設定より優先されます。	
［部単位印刷］		設定	［ｵﾝ］／［**ｵﾌ**］
		複数部印刷する場合に部単位で印刷するかしないかを設定します。 プリンタードライバーでの設定が、このメニューの設定より優先されます。	

品質メニュー

印刷の品質に関する設定を行うには、PS プリントメニューから［品質ﾒﾆｭｰ］を選択します。品質メニューの構成は以下のとおりです。

グレー再現
出力プロファイル
テキスト印刷
RGBソース
RGB特性
グレー再現
出力プロファイル
グラフィックス印刷
RGBソース
RGB特性
グレー再現
出力プロファイル
シミュレーション
シミュレーション
プロファイル
シミュレーション 特性
CMYKグレー再現

階調補正
濃度補正
CMYK 濃度調整
シアン
ハイライト部
中
シャドウ部
マゼンタ
ハイライト部
中
シャドウ部
イエロー
ハイライト部
中
シャドウ部
ブラック
ハイライト部
中
シャドウ部

色分解

太字は工場出荷時の設定値を表します。

［ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ］	設定	［**ｶﾗｰ**］／［ﾓﾉｸﾛ］
	［ｶﾗｰ］に設定すると、データをフルカラーで印刷します。 ［ﾓﾉｸﾛ］に設定すると、データをモノクロで印刷します。	
［明るさ調整］	設定	[+15%]／[+10%]／[+5%]／[**0%**]／[-5%]／[-10%]／[-15%]
	印刷する画像の明るさを調節します。	

<table>
<tr><td rowspan="6">［ｽｸﾘｰﾝ］</td><td rowspan="2">［ｲﾒｰｼﾞ印刷］</td><td>設定</td><td>［高精細］／［精細］／［ｽﾑｰｽﾞ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">画像の中間色の再現性を設定します。
［高精細］に設定すると、高精密に中間色を再現します。
［精細］に設定すると、詳細に中間色を再現します。
［ｽﾑｰｽﾞ］に設定すると、なめらかに中間色を再現します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ﾃｷｽﾄ印刷］</td><td>設定</td><td>［高精細］／［精細］／［ｽﾑｰｽﾞ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">テキストの中間色の再現性を設定します。
［高精細］に設定すると、高精密に中間色を再現します。
［精細］に設定すると、詳細に中間色を再現します。
［ｽﾑｰｽﾞ］に設定すると、なめらかに中間色を再現します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷］</td><td>設定</td><td>［高精細］／［精細］／［ｽﾑｰｽﾞ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">グラフィックの中間色の再現性を設定します。
［高精細］に設定すると、高精密に中間色を再現します。
［精細］に設定すると、詳細に中間色を再現します。
［ｽﾑｰｽﾞ］に設定すると、スムーズに中間色を再現します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="6">［ｴｯｼﾞ強調］</td><td rowspan="2">［ｲﾒｰｼﾞ印刷］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">イメージのエッジを強調します。
［ｵﾝ］に設定すると、エッジを強調します。
［ｵﾌ］に設定すると、エッジを強調しません。
［ｴｺﾉﾐｰ印刷］が［ｵﾝ］に設定されている場合、エッジの強調は行いません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ﾃｷｽﾄ印刷］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">テキストのエッジを強調します。
［ｵﾝ］に設定すると、エッジを強調します。
［ｵﾌ］に設定すると、エッジを強調しません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">グラフィックのエッジを強調します。
［ｵﾝ］に設定すると、エッジを強調します。
［ｵﾌ］に設定すると、エッジを強調しません。
［ｴｺﾉﾐｰ印刷］が［ｵﾝ］に設定されている場合、エッジの強調は行いません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ｴｯｼﾞ強度］</td><td>設定</td><td colspan="2">［ｵﾌ］／［弱］／［中］／［強］</td></tr>
<tr><td colspan="3">エッジを強くする場合、付加するエッジ強度ドットの強さを設定します。
［ｵﾌ］に設定すると、エッジ強度ドットを付加しません。
［弱］に設定すると、エッジ強度ドットを弱めに付加します。
［中］に設定すると、エッジ強度ドットを付加します。
［強］に設定すると、エッジ強度ドットを強めに付加します。
このメニューを［ｵﾌ］に設定すると、［ｴｯｼﾞ強調］の各設定が［ｵﾝ］に設定されていても、エッジ強調は行われません。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">［ｴｺﾉﾐｰ印刷］</td><td>設定</td><td>［ｵﾝ］ ／ **［ｵﾌ］**</td></tr>
<tr><td colspan="2">トナー消費量を抑えた印刷を行うかどうかを設定します。
［ｵﾝ］に設定すると、消費量を抑えた印刷を行います。
［ｵﾌ］に設定すると、消費量を抑えた印刷を行いません。
このメニューを［ｵﾝ］に設定すると、［ｴｯｼﾞ強調］の［ｲﾒｰｼﾞ印刷］と［ｸﾞﾗﾌｨｯｸ印刷］が［ｵﾝ］に設定されていても、エッジ強調は行われません。</td></tr>
</table>

［PS 印刷設定］	［ｲﾒｰｼﾞ 印刷］	［RGB ｿｰｽ］	設定	［ﾃﾞﾊﾞｲｽ色］／［**sRGB**］／［AppleRGB］／［AdobeRGB1998］／［ColorMatchRGB］／［BlueAdjustRGB］
			RGB の画像データのカラースペースを設定します。 ［ﾃﾞﾊﾞｲｽ色］に設定すると、カラースペースを設定しません。 EpsonNet Config で RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
		［RGB 特性］	設定	［鮮やか］／［**写真調**］／［相対色］／［絶対色］
			RGB の画像データを CMYK のデータに変換するときの特性を設定します。 ［鮮やか］に設定すると、鮮やかな出力になります。 ［写真調］に設定すると、より明るい出力になります。 ［相対色］に設定すると、相対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。 ［絶対色］に設定すると、絶対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。	

		［ｸﾞﾚｰ再現］	設定	［**4色(CMYK)ﾄﾅｰ**］／［全て黒(K)ﾄﾅｰ］／［黒のみ黒(K)ﾄﾅｰ］
			RGBの画像データの黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［4色(CMYK)ﾄﾅｰ］に設定すると、CMYKを使用して再現します。 ［全て黒(K)ﾄﾅｰ］に設定すると、ブラックを使用して再現します。 ［黒のみ黒(K)ﾄﾅｰ］に設定すると、黒色のみブラックを使用して再現します。	
		［出力ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ］	設定	［自動］
			出力プロファイルを設定します。 ［自動］に設定すると、設定されたカラーマッチングや、中間色、他のプロファイルの組み合わせにより、プリンターが自動的に適応する出力プロファイルを選択します。 EpsonNet Configで出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	

	［ﾃｷｽﾄ印刷］	［RGB ｿｰｽ］	設定	［ﾃﾞﾊﾞｲｽ色］／［**sRGB**］／［AppleRGB］／［AdobeRGB1998］／［ColorMatchRGB］／［BlueAdjustRGB］
			RGB のテキストデータのカラースペースを設定します。 ［ﾃﾞﾊﾞｲｽ色］に設定すると、カラースペースを設定しません。 EpsonNet Config で RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
		［RGB 特性］	設定	［**鮮やか**］／［写真調］／［相対色］／［絶対色］
			RGB のテキストデータを CMYK のデータに変換するときの特性を設定します。 ［鮮やか］に設定すると、鮮やかな出力になります。 ［写真調］に設定すると、より明るい出力になります。 ［相対色］に設定すると、相対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。 ［絶対色］に設定すると、絶対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。	

		［ｸﾞﾚｰ再現］	設定	［4 色 (CMYK) ﾄﾅｰ］／［**全て黒 (K) ﾄﾅｰ**］／［黒のみ黒 (K) ﾄﾅｰ］
			RGB のテキストデータの黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［4 色 (CMYK) ﾄﾅｰ］に設定すると、CMYK を使用して再現します。 ［全て黒 (K) ﾄﾅｰ］に設定すると、ブラックを使用して再現します。 ［黒のみ黒 (K) ﾄﾅｰ］に設定すると、黒色のみブラックを使用して再現します。	
		［出力ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ］	設定	［自動］
			出力プロファイルを設定します。 ［自動］に設定すると、設定されたカラーマッチングや、中間色、他のプロファイルの組み合わせにより、プリンターが自動的に適応する出力プロファイルを選択します。 EpsonNet Config で出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	

	［ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ印刷］	［RGB ｿｰｽ］	設定	［ﾃﾞﾊﾞｲｽ色］／［**sRGB**］／［AppleRGB］／［AdobeRGB1998］／［ColorMatchRGB］／［BlueAdjustRGB］
			RGB のグラフィックデータのカラースペースを設定します。 ［ﾃﾞﾊﾞｲｽ色］に設定すると、カラースペースを設定しません。 EpsonNet Config で RGB ソースプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
		［RGB 特性］	設定	［**鮮やか**］／［写真調］／［相対色］／［絶対色］
			RGB のグラフィックデータを CMYK のデータに変換するときの特性を設定します。 ［鮮やか］に設定すると、鮮やかな出力になります。 ［写真調］に設定すると、より明るい出力になります。 ［相対色］に設定すると、相対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。 ［絶対色］に設定すると、絶対色が RGB ソースプロファイルに反映されます。	

		［ｸﾞﾚｰ再現］	設定	［4 色 (CMYK) ﾄﾅｰ］／［**全て黒 (K) ﾄﾅｰ**］／［黒のみ黒 (K) ﾄﾅｰ］
			RGB のグラフィックデータの黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［4 色 (CMYK) ﾄﾅｰ］に設定すると、CMYK を使用して再現します。 ［全て黒 (K) ﾄﾅｰ］に設定すると、ブラックを使用して再現します。 ［黒のみ黒 (K) ﾄﾅｰ］に設定すると、黒色のみブラックを使用して再現します。	
		［出力ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ］	設定	［自動］
			出力プロファイルを設定します。 ［自動］に設定すると、設定されたカラーマッチングや、中間色、他のプロファイルの組み合わせにより、プリンターが自動的に適応する出力プロファイルを選択します。 EpsonNet Config で出力プロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	

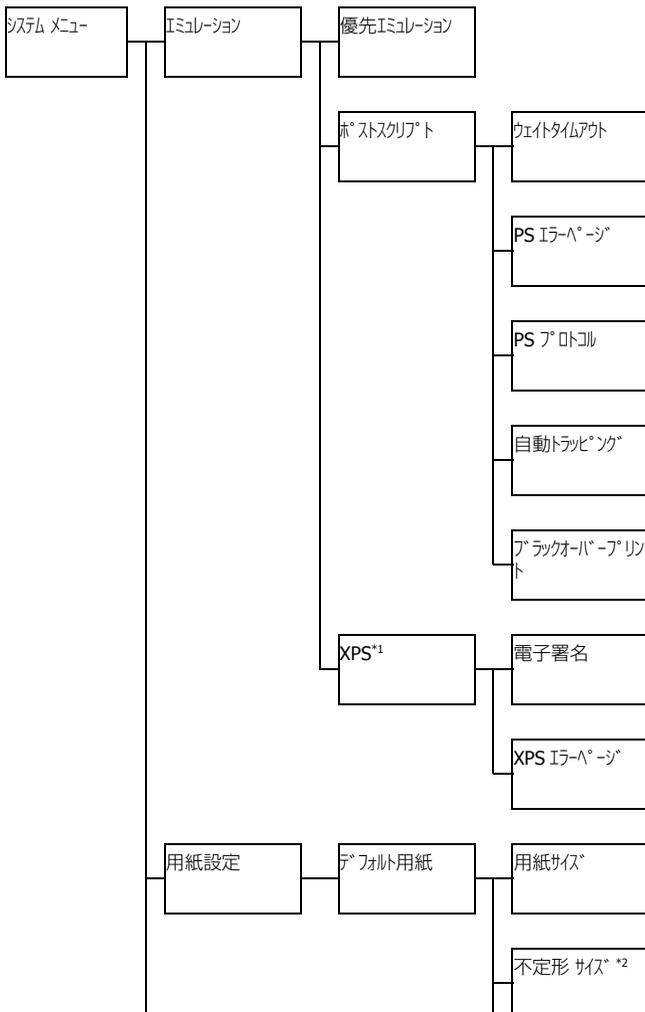
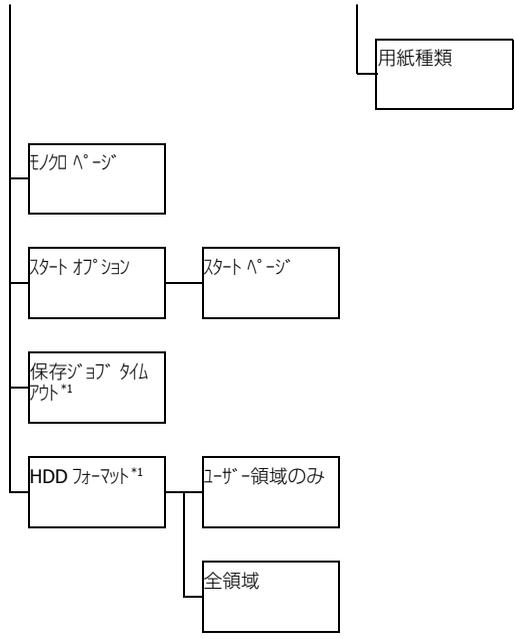
	［シミュレーション］	［シミュレーションプロファイル］	設定	［**なし**］／［SWOP］／［Euroscale］／［CommercialPress］／［JapanColor］／［TOYO］／［DIC］
			シミュレーションプロファイルを選択します。 ［なし］に設定すると、シミュレーションプロファイルを設定しません。 EpsonNet Config でシミュレーションプロファイルをダウンロードしている場合は、設定値に追加して表示されます。	
		［シミュレーション特性］	設定	［**相対色**］／［絶対色］
			シミュレーションプロファイルの特性を設定します。 ［相対色］に設定すると、相対色がシミュレーションプロファイルに反映されます。 ［絶対色］に設定すると、絶対色がシミュレーションプロファイルに反映されます。	

		［CMYKｸﾞﾚｰ再現］	設定	［**4色 (CMYK) ﾄﾅｰ**］／［全て黒 (K) ﾄﾅｰ］／［黒のみ黒 (K) ﾄﾅｰ］
			CMYK の 4 色で作成された黒色とグレーの再現方法を設定します。 ［4 色 (CMYK) ﾄﾅｰ］に設定すると、CMYK を使用して再現します。 ［全て黒 (K) ﾄﾅｰ］に設定すると、ブラックを使用して再現します。 ［黒のみ黒 (K) ﾄﾅｰ］に設定すると、黒色のみブラックを使用して再現します。	

<table>
<tr><td rowspan="9">［階調補正］</td><td rowspan="3">［濃度補正］</td><td>設定</td><td colspan="3">［ｵﾝ］／［ｵﾌ］</td></tr>
<tr><td colspan="4">［ｵﾝ］に設定すると、画質調整を有効にします。</td></tr>
<tr><td colspan="4">［ｵﾌ］に設定すると、画質調整を無効にします。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">［CMYK 濃度調整］</td><td rowspan="6">［ｼｱﾝ］／［ﾏｾﾞﾝﾀ］／［ｲｴﾛｰ］／［ﾌﾞﾗｯｸ］</td><td rowspan="2">［ﾊｲﾗｲﾄ部］</td><td>設定</td><td>［+3］／［+2］／［+1］／［0］／［-1］／［-2］／［-3］</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハイライト部の CMYK 濃度を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［中］</td><td>設定</td><td>［+3］／［+2］／［+1］／［0］／［-1］／［-2］／［-3］</td></tr>
<tr><td colspan="2">中間部の CMYK 濃度を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ｼｬﾄﾞｳ部］</td><td>設定</td><td>［+3］／［+2］／［+1］／［0］／［-1］／［-2］／［-3］</td></tr>
<tr><td colspan="2">シャドー部の CMYK 濃度を設定します。</td></tr>
</table>

[色分解]	設定	[ｵﾝ] ／ **[ｵﾌ]**
	[ｵﾝ] に設定すると、色分解を有効にします。1 ページを YMCK の色要因で分割して黒で 4 ページ印刷します（YMCK 順）。 [ｵﾌ] に設定すると、色分解を無効にします。	

システムメニュー

本機の印刷時の動作に関する設定を行うには、PS プリントメニューから [ｼｽﾃﾑ ﾒﾆｭｰ] を選択します。システムメニューの構成は以下のとおりです。

*1 この項目はオプションの増設ストレージ HDD を装着している場合に表示されます。
*2 この項目は［用紙設定］-［ﾃﾞﾌｫﾙﾄ用紙］-［用紙ｻｲｽﾞ］を［不定形］に設定している場合に表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

［ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ］	［優先ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ］	設定	［**自動**］／［ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ］	
		プリンター制御言語を選択します。 ［自動］を選択した場合は、本機が受信したプリントジョブから自動的にプリンター制御言語を選択します。		
	［ﾎﾟｽﾄｽｸﾘﾌﾟﾄ］	［ｳｪｲﾄﾀｲﾑｱｳﾄ］	設定	［**0** (0-300)］
			ポストスクリプトエラーと判断するまでの時間を設定します。 ［0］に設定すると、タイムアウトしません。	
		［PS ｴﾗｰﾍﾟｰｼﾞ］	設定	［ｵﾝ］／［**ｵﾌ**］
			ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラーページを印刷するかどうかを設定します。	
		［PS ﾌﾟﾛﾄｺﾙ］	設定	［**自動**］／［標準］／［ﾊﾞｲﾅﾘｰ］
			ポストスクリプトのデータストリームとのデータ通信のプロトコルを設定します。 ［自動］に設定すると、本機がデータストリームから自動的に適合するプロトコルを判断します。	
		［自動ﾄﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ］	設定	［ｵﾝ］／［**ｵﾌ**］
			自動トラップ機能を設定すると、絵柄の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色を重ねて印刷します。	
		［ﾌﾞﾗｯｸｵｰﾊﾞｰﾌﾟﾘﾝﾄ］	設定	［ﾃｷｽﾄとｸﾞﾗﾌｨｯｸ］／［ﾃｷｽﾄ］／［**ｵﾌ**］
			ブラックオーバープリント機能を使うと、黒い文字や図形の周囲に白い隙間が出ないように隣り合う色に黒を重ねて印刷します。 ［ﾃｷｽﾄとｸﾞﾗﾌｨｯｸ］に設定すると、重なる条件を文字と図に設定します。 ［ﾃｷｽﾄ］に設定すると、重なる条件を文字に設定します。	

	[XPS]	[電子署名]	設定	[有効] ／ [**無効**]
			XPS 電子署名を有効にするか無効にするかを設定します。 [有効] に設定すると、XPS 電子署名が有効になります。 [無効] に設定すると、XPS 電子署名が無効になります。	
		[XPS ｴﾗｰﾍﾟｰｼﾞ]	設定	[**ｵﾝ**] ／ [ｵﾌ]
			XPS エラー発生時にエラーページを印刷するかしないかを設定します。 [ｵﾝ] に設定すると、XPS エラー発生時にエラーページを印刷します。 [ｵﾌ] に設定すると、XPS エラー発生時にエラーページを印刷しません。	
[用紙設定]	[ﾃﾞﾌｫﾙﾄ用紙]	[用紙ｻｲｽﾞ]	設定	[LETTER] ／ [LEGAL] ／ [EXE] ／ [**A4**] ／ [A5] ／ [A6] ／ [B5] ／ [GLT] ／ [HLT] ／ [F4] ／ [GLG] ／ [洋形 6 号] ／ [長形 3 号] ／ [ﾊｶﾞｷ] ／ [往復ﾊｶﾞｷ] ／ [不定形]
			通常使用する用紙のサイズを設定します。	

		［不定形ｻｲｽﾞ］	設定	通常使用する用紙が不定形サイズの場合、用紙サイズを設定します。 ［幅］の設定範囲は、92 ～ 216 mm(3.63 ～ 8.50 インチ) です。 工場出荷時の設定値は、［210 mm］([8.27] インチ) です。 ［長さ］の設定範囲は、148 ～ 356 mm(5.83 ～ 14.00 インチ) です。 工場出荷時の設定値は、［297 mm］([11.69] インチ) です。
		［用紙種類］	設定	［普通紙］／［再生紙］／［厚紙 1］／［厚紙 2］／［ﾗﾍﾞﾙ紙］／［封筒］／［ﾊｶﾞｷ］／［ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ］／［光沢紙 1］／［光沢紙 2］／［両面不可］／［特殊紙］
			通常使用する用紙の種類を設定します。	
［ﾓﾉｸﾛﾍﾟｰｼﾞ］	設定	［**自動**］／［ﾓﾉｸﾛ印刷］／［ｶﾗｰ印刷］		
	カラー指定したプリントジョブの中にあるモノクロページの動作を設定します。 ［自動］に設定すると、印刷前にカラーで印刷するかモノクロで印刷するかを自動判別します。 ［ﾓﾉｸﾛ印刷］に設定すると、ページごとにモノクロの自動判別を行います。印刷速度が遅くなることがありますが、カラーのトナーカートリッジと感光体ユニットの消費を抑えることができます。 ［ｶﾗｰ印刷］に設定すると、モノクロページがあってもカラーモードで印刷します。			
［ｽﾀｰﾄｵﾌﾟｼｮﾝ］	［ｽﾀｰﾄﾍﾟｰｼﾞ］	設定	［ｵﾝ］／［**ｵﾌ**］	
		本機の電源を入れたときに PS メニューマップを印刷するかしないかを設定します。		

<table>
<tr><td rowspan="2">［保存ｼﾞｮﾌﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ］</td><td>設定</td><td>［無効］／［1 時間］／［4 時間］／［1 日］／［1 週間］</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハードディスクに保存したプリントジョブを消去するまでの時間を設定します。

［無効］に設定した場合は、時間によるプリントジョブの消去を行いません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［HDD ﾌｫｰﾏｯﾄ］</td><td>［ﾕｰｻﾞｰ領域のみ］</td><td>ハードディスクのユーザー領域を初期化します。このメニューを実行すると、本機は自動的に再起動します。</td></tr>
<tr><td>［全領域］</td><td>ハードディスクを初期化します。このメニューを実行すると、本機は自動的に再起動します。</td></tr>
</table>

メモリプリントメニュー

メイン（コピーモード）画面で［ﾒﾓﾘ ﾌﾟﾘﾝﾄ］を選択して［選択］キーを押すと、本機のメモリプリントメニューが表示されます。メモリプリントメニューでは、メモリプリントの操作や、メモリプリントに関する各種設定を行えます。

メモリプリントメニューの構成は以下のとおりです。

このメニューはオプションの増設ストレージ HDD を装着している場合のみ表示されます。また、ユーザー認証機能においてパブリックユーザーを許可していない場合は表示されません。ユーザー認証機能について詳しくは、［リファレンスガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

［ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ］	印刷したいファイルを選択して、［選択］キーを押してください。 印刷したいファイルがフォルダー内にある場合は、フォルダーを選択して、選択キーを押してください。		
	［用紙選択］	設定	［LETTER］／［LEGAL］／［EXE］／［**A4**］／［A5］／［A6］／［B5］／［GLT］／［HLT］／［F4］／［GLG］／［洋形 6 号］／［長形 3 号］／［ハガキ 100x148］／［往復ハガキ 148x200］／［不定形］
		用紙のサイズを選択して設定します。 初期設定は、［PS ﾌﾟﾘﾝﾄ］-［ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ］-［用紙設定］-［ﾃﾞﾌｫﾙﾄ用紙］-［用紙ｻｲｽﾞ］で設定した項目になります。 選択したファイルが PDF、XPS ファイルの場合、この項目は表示されません。	
	［片面 / 両面］	設定	［**片面**］／［両面］
		［両面］に設定すると、両面印刷を行います。さらに、とじ方向を設定してください。 ［長辺とじ］に設定すると、横にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。 ［短辺とじ］に設定すると、縦にめくるレイアウトになるように両面印刷を行います。	
	［ｺﾋﾟｰ部数］	設定	［**1** (1-9999)］
		印刷部数を設定します。 選択したファイルが XPS ファイルの場合、この項目は表示されません。	
	［仕上がり］	設定	［**ﾉﾝｿｰﾄ**］／［ｿｰﾄ（1 部ごと)］
		複数部印刷する場合に部単位で印刷するかしないかを設定します。 ［ﾉﾝｿｰﾄ］に設定すると、部単位印刷を行いません。 ［ｿｰﾄ（1 部ごと)］に設定すると、部単位印刷を行います。	

［ﾌｧｲﾙﾀｲﾌﾟ］	設定	［**PDF,XPS,TIFF,JPG**］／［PDF,XPS］
	表示するファイルの種類を選択します。	

用紙の取り扱い
4

使用できる用紙

用紙のサイズ

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ *1	両面印刷	コピー	スキャン	ファクス印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）					
LETTER	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0	1/2/3	○	○	○	○
LEGAL	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0	1/3	○	○ *2	○ *2	○
EXE (Executive)	184.2 × 266.7	7.25 × 10.5	1/2/3	○	○	×	×
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1/2/3	○	○	○	○
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3	1/2	×	○	○	×
A6	105.0 × 148.0		1/2	×	×	×	×
B5	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1	1/2/3	○	○	○	×
GLT (Government Letter)	203.2 × 266.7	8.0 × 10.5	1/2	○	○	×	×
HLT (Half-Letter)	139.7 × 215.9	5.5 × 8.5	1/2	×	○	○	×
F4	210.0 × 330.0	8.25 × 13.0	1	○	○ *2	○ *3	×
GLG (Government Legal)	215.9 × 330.2	8.5 × 13.0	1/3	○	×	×	×
ハガキ	100.0 × 148.0	3.9 × 5.8	1/2	×	○	×	×
往復ハガキ	148.0 × 200.0	5.8 × 7.9	1/2	×	○	×	×
洋形 6 号	190.5 × 98.4	7.5 × 3.875	1	×	○	×	×
長形 3 号	120.0 × 235.0	4.7 × 9.2	1	×	○	×	×
カスタムサイズ（トレイ 1）	92.0 ~ 216.0（幅） × 148.0 ~ 356.0（長さ）	3.6 ~ 8.5（幅） × 5.8 ~ 14.0（長さ）	1	×	×	×	×
カスタムサイズ（トレイ 2）	92.0 ~ 216.0（幅） × 148.0 ~ 297.0（長さ）	3.6 ~ 8.5（幅） × 5.8 ~ 11.7（長さ）	2	×	×	×	×

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ *1	両面印刷	コピー	スキャン	ファクス印刷
	ミリ（mm）	インチ（in.）					
カスタムサイズ（両面）	182.0 ~ 216.0（幅）× 254.0 ~ 356.0（長さ）	7.2 ~ 8.5（幅）× 10.0 ~ 14.0（長さ）	-	○	×	×	×
カスタムサイズ（スキャン）	12.7 ~ 215.9（幅）× 12.7 ~ 297.0（長さ）	0.5 ~ 8.5（幅）× 0.5 ~ 11.7（長さ）	-	-	○	○ *4	×
備考： *1 トレイ 1 = 手差しトレイ トレイ 3 = 普通紙、両面不可紙、特殊紙 *2ADF 使用時のみ *3ADF からの TWAIN スキャン時のみ *4 原稿ガラスからの TWAIN スキャン時のみ							

カスタムサイズは上の表の数値の範囲でプリンタードライバーから設定してください。

トレイ 2 でカスタムサイズ用紙を使用する場合、幅が 210 mm（8.25 インチ）を超え、長さが 279 mm（11.0 インチ）を超える用紙は、トレイの構造上、用紙後端がたわんだ状態でセットされます。（最大長さ 297 mm（11.7 インチ））
これらのカスタムサイズ用紙をご利用になる場合は、手差しトレイを使用するか、トレイ 2 で 100 枚以内の枚数で使用してください。

用紙の種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ確認印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

普通紙（再生紙）

容量	トレイ 1（手差しトレイ）	100 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	250 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3	500 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	トレイ 1（手差しトレイ）	印刷面が下向き
	トレイ 2/3	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	［普通紙］ （［再生紙］）	
坪量	60 ～ 90 g/m^2	
両面印刷	「用紙のサイズ」（p.145）をごらんください。	

以下の用紙を使用してください。

■ エプソン製の用紙　上質普通紙　LPCPPA4 （A4）
普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、プリンターとコピー対応の普通紙（再生紙）

以下のような用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、本機の故障の原因になります。

■ 表面加工されている用紙（カーボン紙、カラー加工された紙など）

■ カーボン紙

■ 感熱紙、熱転写用紙

■ 水転写用紙

■ ノーカーボン紙

■ アイロンプリント用紙

■ インクジェットプリンター用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、ハガキなど）

■ 一度印刷に使用した用紙
- インクジェットプリンターで印刷された用紙
- モノクロ／カラーのレーザープリンター／コピー機で印刷された用紙
- 熱転写プリンターで印刷された用紙
- 他のプリンターやファクス機で印刷された用紙

- 湿気のある用紙
  湿度が 15% ～ 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（205°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、あらかじめ普通紙で確認印刷をして確認してください。

厚紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

<table>
<tr><td rowspan="2">容量</td><td>トレイ 1
（手差しトレイ）
トレイ 2</td><td>20 枚（用紙の厚さにより変わります）</td></tr>
<tr><td>トレイ 3</td><td>対応していません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙のセット方向</td><td>トレイ 1
（手差しトレイ）</td><td>印刷面が下向き</td></tr>
<tr><td>トレイ 2</td><td>印刷面が上向き</td></tr>
<tr><td>プリンタードライバーでの用紙種類の設定</td><td colspan="2">［厚紙 1（91-150 g/m²）］
［厚紙 2（151-210 g/m²）］</td></tr>
</table>

坪量	91 ～ 210 g/m²
両面印刷	コピー機能時には対応していません。 プリント機能時には対応しています。 「用紙のサイズ」（p.145）をごらんください。

以下のような使い方はしないでください。

■ トレイ 1 の中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

封筒には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つことがありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。

容量	トレイ 1（手差しトレイ）	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2/3	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が下向き	
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	［封筒］	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

■ レーザープリンター対応の封筒

■ 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

■ 表面が粗い和紙などの封筒
■ 定着部の熱（205℃）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒
■ すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

■ 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。
■ 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で確認印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	トレイ 1 （手差しトレイ） トレイ 2	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3	対応していません。
用紙のセット方向	トレイ 1 （手差しトレイ）	印刷面が下向き
	トレイ 2	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	［ラベル紙］	
両面印刷	対応していません。	

以下のラベル紙を使用してください。

■ レーザープリンター用ラベル紙

以下のようなラベル紙は使用しないでください。

■ はがれやすいラベル紙
■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙

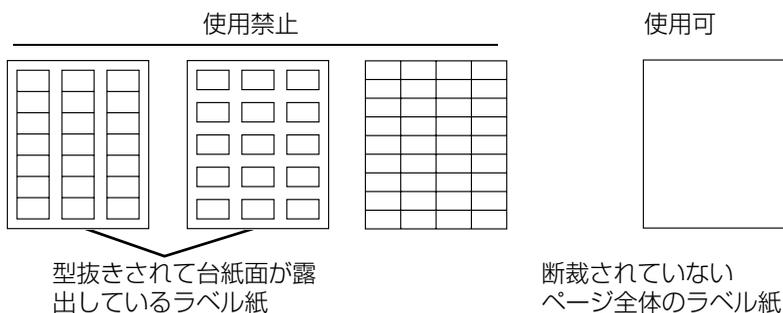
ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル紙

使用禁止

使用可

型抜きされて台紙面が露出しているラベル紙

断裁されていないページ全体のラベル紙

レターヘッド

レターヘッドには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で確認印刷をして確認してください。

容量	トレイ 1 （手差しトレイ） トレイ 2	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3	対応していません。
用紙のセット方向	トレイ 1 （手差しトレイ）	印刷面が下向き
	トレイ 2	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	[レターヘッド]	
両面印刷	対応していません。	

ハガキ

ハガキには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってハガキ用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	トレイ 1 （手差しトレイ） トレイ 2	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3	対応していません。
用紙のセット方向	トレイ 1 （手差しトレイ）	印刷面が下向き
	トレイ 2	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	［ハガキ］	
両面印刷	対応していません。	

以下のハガキを使用してください。

■ サイズ：100 × 148 mm、148 × 200 mm
（市販のハガキには、使用できないものがあります。）

以下のようなハガキは使用しないでください。

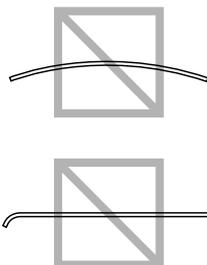
■ 光沢のあるもの

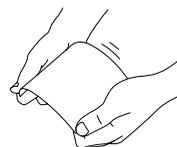
■ 曲がっているもの

■ インクジェットプリンター用ハガキ

■ 切り込みやミシン目のあるハガキ

■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（ハガキの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

■ 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの

■ 折り目のあるハガキ

ハガキが曲がっているときは、トレイ 1/2 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。

光沢紙

あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

光沢紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	トレイ 1 （手差しトレイ） トレイ 2	20 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3	対応していません。
用紙のセット方向	トレイ 1 （手差しトレイ）	印刷面が下向き
	トレイ 2	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	［光沢紙 1（100-128 g/m^2）］ ［光沢紙 2（129-158 g/m^2）］	
坪量	100 ～ 158 g/m^2	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使い方はしないでください。

■ トレイの中で光沢紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

以下のような光沢紙は使用しないでください。

■ インクジェットプリンター用のもの

両面不可紙

用紙の片面のみに印刷します。両面不可紙は連続印字することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

坪量 60 ～ 90 g/ ㎡の普通紙で、両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面目に印刷がされている用紙など）をセットする場合に選択します。

容量	トレイ 1 （手差しトレイ）	100 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	250 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3	500 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	トレイ 1 （手差しトレイ）	印刷面が下向き
	トレイ 2/3	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	［両面不可紙（60-90g/m^2）］	
坪量	60 ～ 90 g/ ㎡	
両面印刷	対応していません。	

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンター対応の普通紙（再生紙）

■ 同じプリンターで印刷された普通紙

以下のような用紙は使用しないでください。

■ 普通紙で使用を禁止しているもの

特殊紙

特殊紙は連続印字することができますが、用紙の品質や印刷環境によっては、正しく給紙できない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

坪量 60 ～ 90 g/ ㎡の普通紙で、カラー上質紙（カラーペーパー）などの特別な用紙をセットする場合に選択します。

自動トレイ切り替え時、用紙が自動選択されません。

容量	トレイ 1 （手差しトレイ）	100 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	250 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 3	500 枚（用紙の厚さにより変わります）

用紙のセット方向	トレイ 1 （手差しトレイ）	印刷面が下向き
	トレイ 2/3	印刷面が上向き
プリンタードライバーでの用紙種類の設定	［特殊紙（60-90g/m²）］	
坪量	60 ～ 90 g/ ㎡	
両面印刷	コピー機能時には対応していません。 プリント機能時には対応しています。 「用紙のサイズ」（p.145）をごらんください。	

以下の用紙を使用してください。

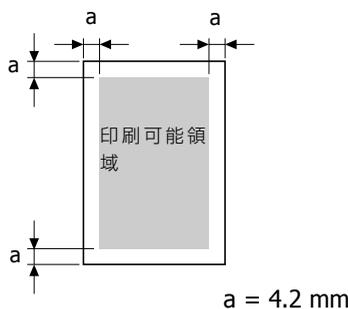
■ レーザープリンター対応の用紙

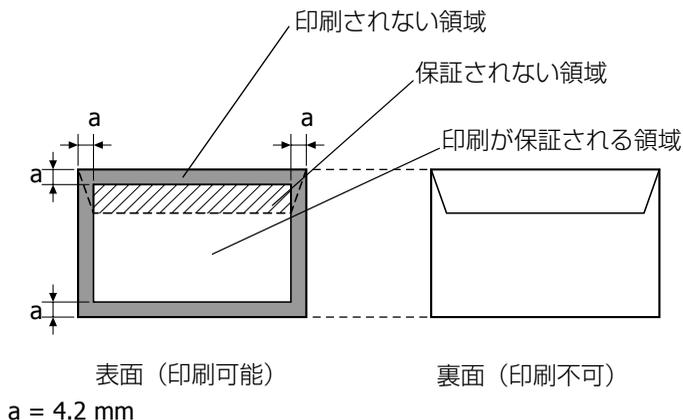
以下のような用紙は使用しないでください。

■ 普通紙で使用を禁止しているもの

印刷可能領域

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4.2 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

封筒の場合

封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面の）封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。

封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。

ページ余白

ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためには、カスタム設定で本機の印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

用紙のセット

> **重要**
>
> 種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

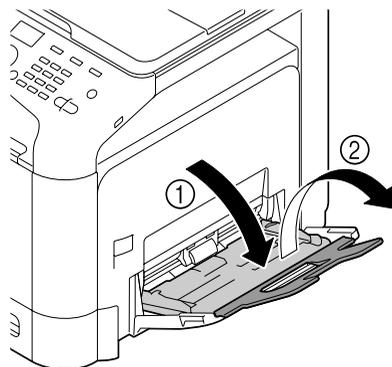
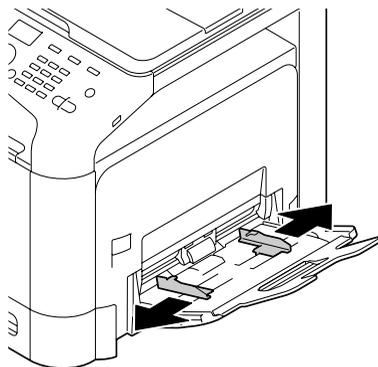
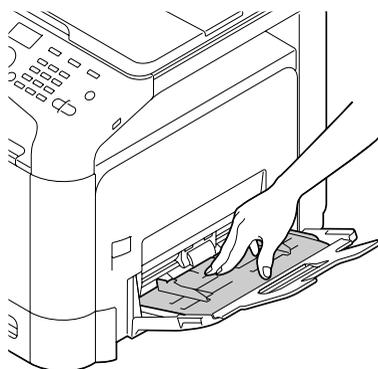
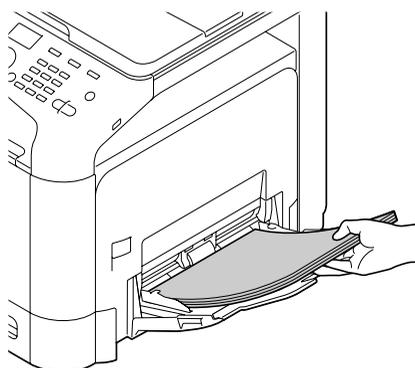
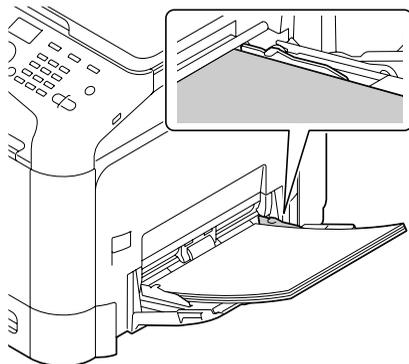
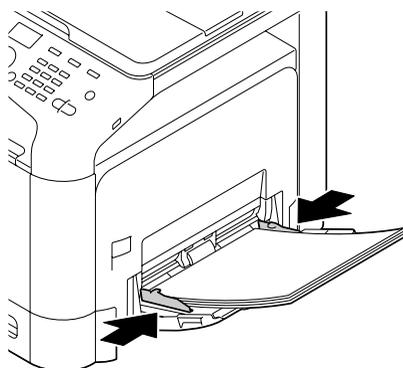
> **重要**
>
> 用紙の側面は鋭利なため、けがをする恐れがあります。

用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

トレイ 1（手差しトレイ）

トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる用紙」（p.145）をごらんください。

普通紙／両面不可紙／特殊紙の場合

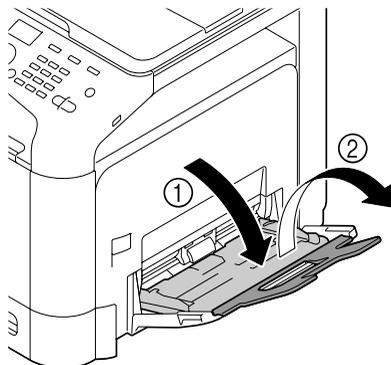
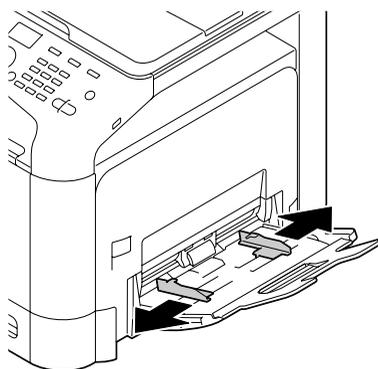
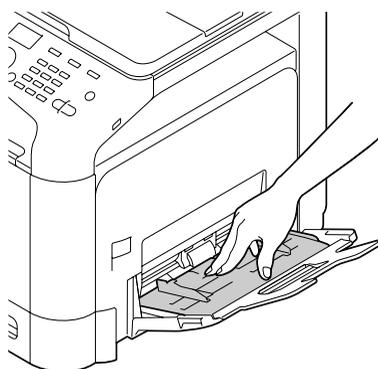
1 トレイ **1** を開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

4 印刷したい面を下向きにして用紙をセットします。

💡 用紙は上限を示すガイドを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 100 枚（80 g/m²）までセットできます。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 ［設定ﾒﾆｭｰ］-［用紙設定］-［ﾄﾚｲ 1 用紙］を選択し、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳しくは、「用紙設定メニュー」（p.85）をごらんください。

その他の用紙

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタードライバーの［用紙種類］を正しく設定してください。（厚紙 1、厚紙 2、封筒など）

封筒の場合

1 トレイ **1** を開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

4 封筒をセットします。

長形 3 号の場合

封筒のフラップを開き、フラップ部が手前になるように縦長にセットしてください。

プリンタードライバーで以下の設定が必要です。

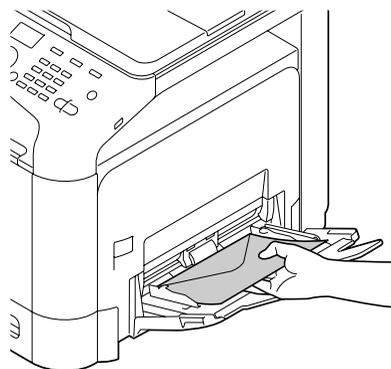
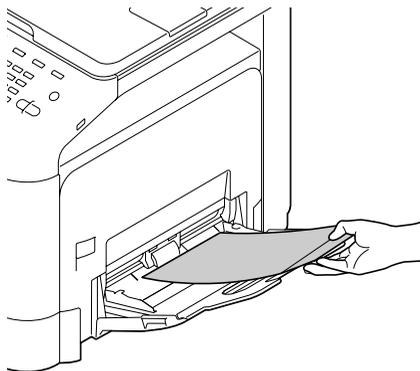
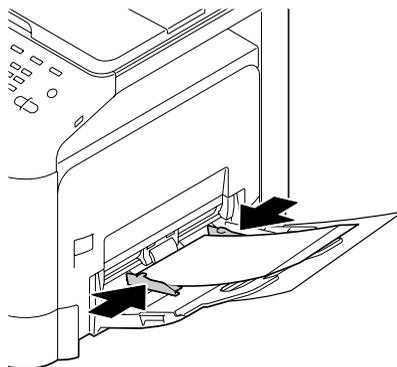
Windows の場合 :「レイアウト」タブで「180 度回転」をチェック

Mac OS X10.5/10.6 の場合 :「レイアウト」メニューで「ページの方向を反転」をチェック

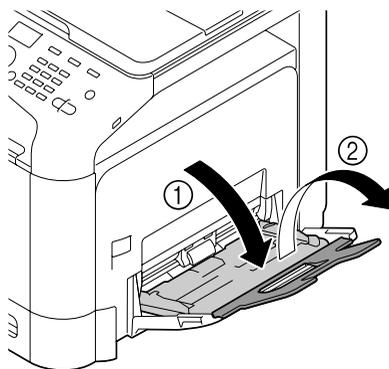
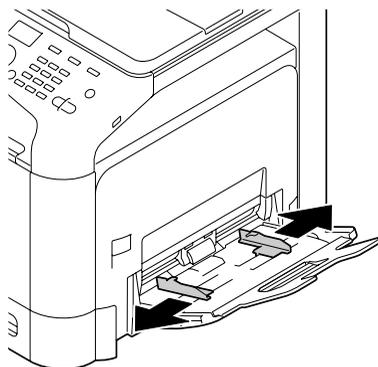
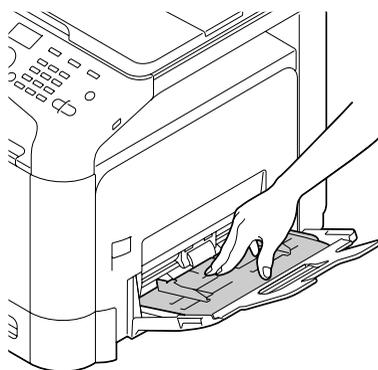
なお、Mac OS X10.3.9/10.4 ではプリンタードライバーに「ページの方向を反転」がないため、お使いのアプリケーションソフトでデータを上下反転させる必要があります。

洋形 6 号の場合

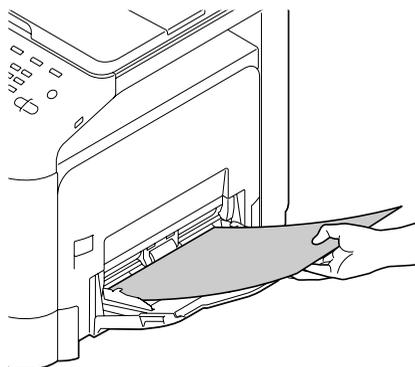
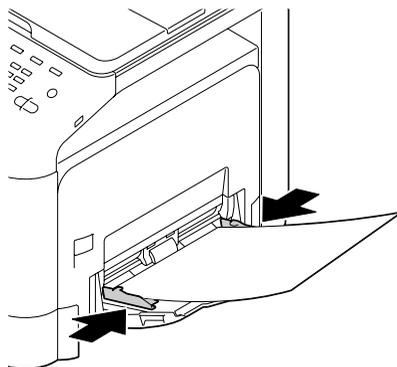
封筒のフラップを上側にし、フラップ部を本機側にしてセットしてください。セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

封筒は一度に 10 枚までセットできます。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 ［設定ﾒﾆｭｰ］-［用紙設定］-［ﾄﾚｲ 1 用紙］を選択し、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳しくは、「用紙設定メニュー」（p.85）をごらんください。

ラベル紙／レターヘッド／ハガキ／厚紙／光沢紙の場合

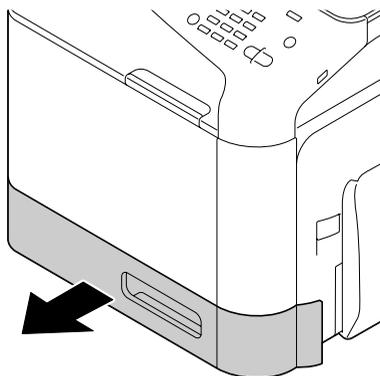
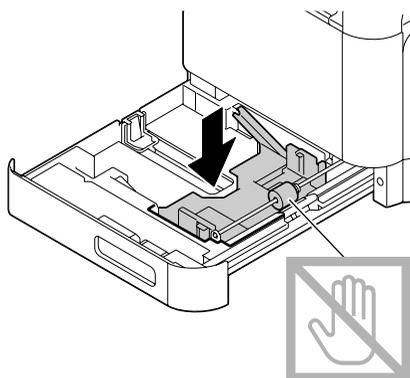
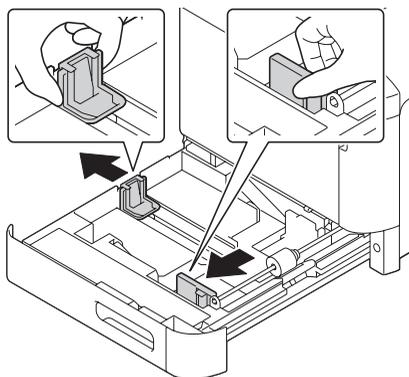
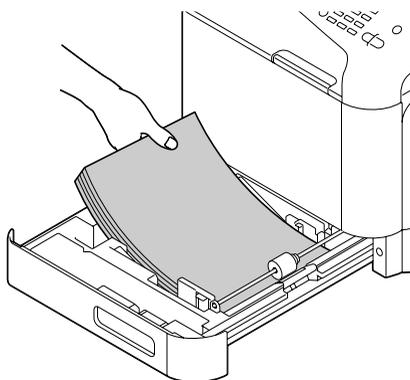
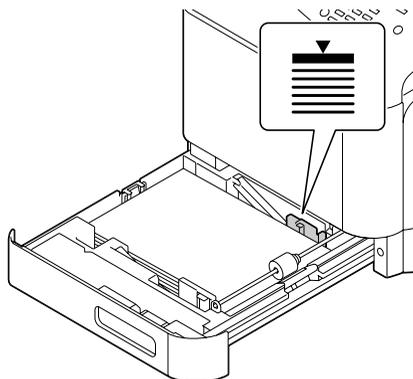
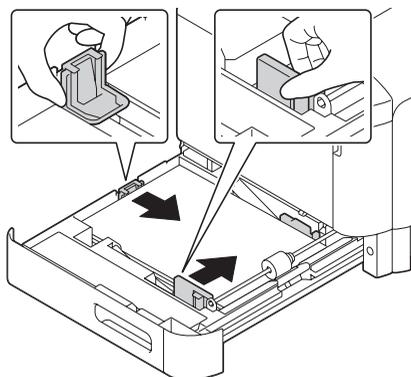
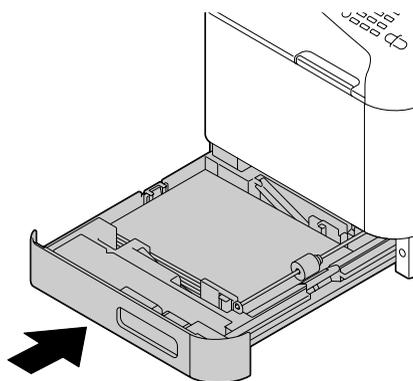
1 トレイ **1** を開きます。

2 用紙ガイドを広げます。

3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

4 印刷面を下向きにして用紙をセットします。

用紙は一度に 20 枚までセットできます。

ハガキ、往復ハガキは短辺（長さの短い方）を本体奥側へ向けてセットします。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 ［設定ﾒﾆｭｰ］-［用紙設定］-［ﾄﾚｲ 1 用紙］を選択し、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳しくは、「用紙設定メニュー」（p.85）をごらんください。

トレイ 2

普通紙／両面不可紙／特殊紙の場合

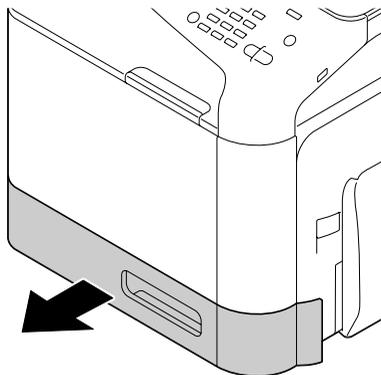
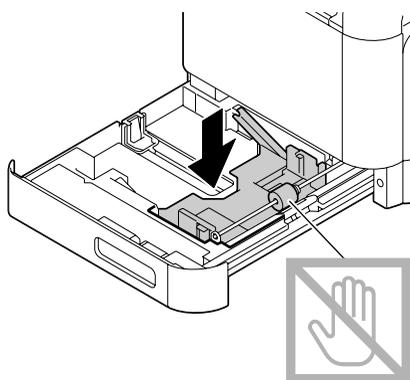
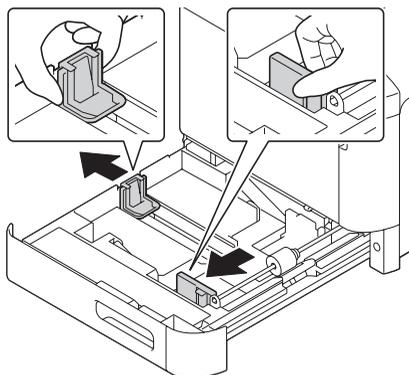
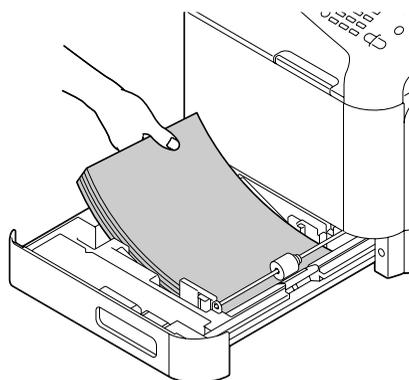
1 トレイ **2** を引き出します。

2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

3 用紙ガイドを広げます。

4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 250 枚（80 g/m²）までセットできます。

5 用紙の端に用紙ガイドをぴったり合わせます。

6 トレイ 2 を閉じます。

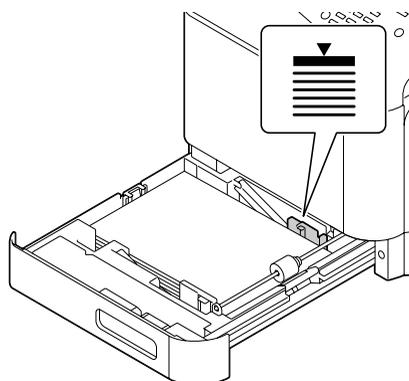
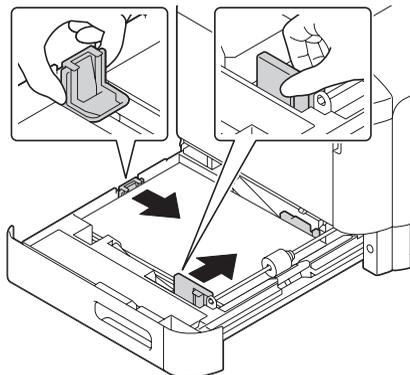
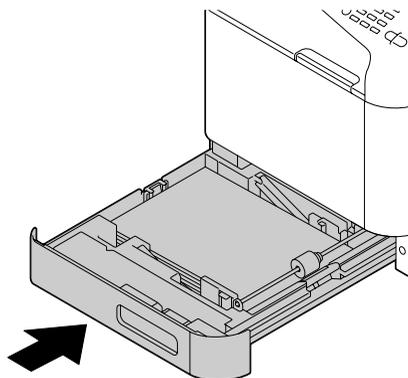
7 ［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［用紙設定］ - ［ﾄﾚｲ 2 用紙］を選択し、セットした用紙のサイズを設定します。詳しくは、「用紙設定メニュー」（p.85）をごらんください。

その他の用紙

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタードライバーの［用紙種類］を正しく設定してください。（厚紙 1、厚紙 2、封筒など）

ラベル紙／ハガキ／厚紙／光沢紙の場合

1 トレイ **2** を引き出します。

2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

3 用紙ガイドを広げます。

4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

- 用紙は一度に 20 枚までセットできます。

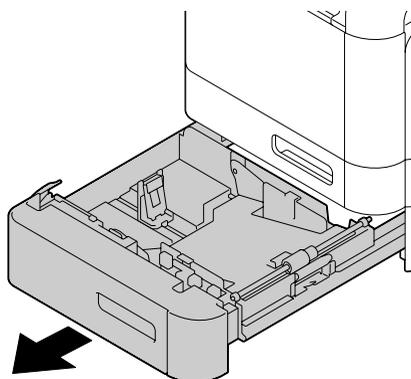
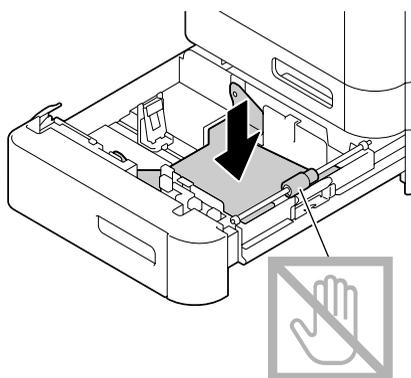
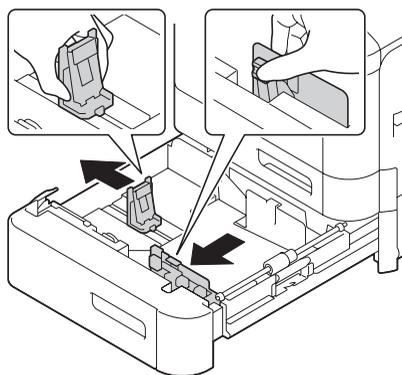
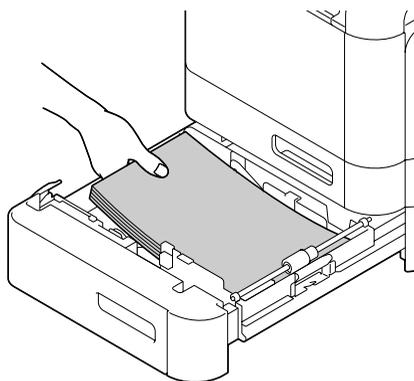
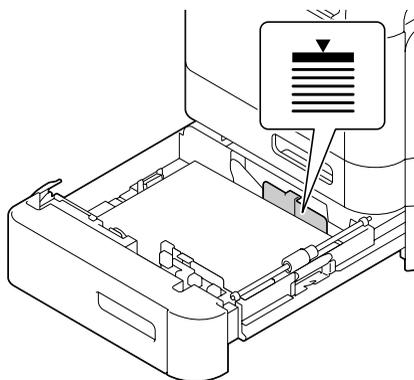
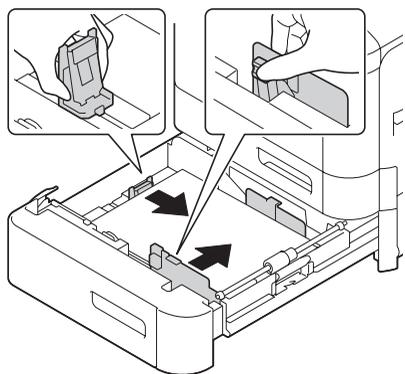
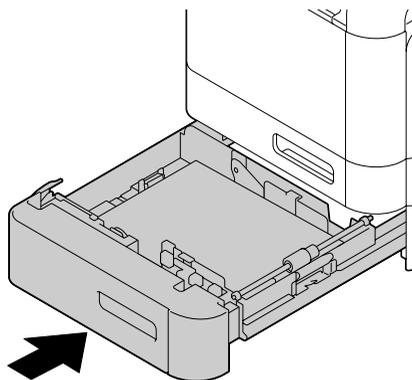
- ハガキ、往復ハガキは短辺（長さの短い方）をトレイの右側へ向けてセットします。

5 用紙の端に用紙ガイドをぴったり合わせます。

6 トレイ 2 を閉じます。

7 [設定ﾒﾆｭｰ] - [用紙設定] - [ﾄﾚｲ 2 用紙] を選択し、セットした用紙のサイズを設定します。詳しくは、「用紙設定メニュー」（p.85）をごらんください。

トレイ 3（オプションの給紙ユニット）

トレイ 3 は普通紙のみセットできます。

給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

普通紙／両面不可紙／特殊紙の場合

1 トレイ **3** を引き出します。

2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

3 用紙ガイドを広げます。

4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 500 枚（80 g/m²）までセットできます。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 トレイ 3 を閉じます。

7 ［設定ﾒﾆｭｰ］-［用紙設定］-［ﾄﾚｲ 3 用紙］を選択し、セットした用紙のサイズを設定します。詳しくは、「用紙設定メニュー」（p.85）をごらんください。

両面印刷

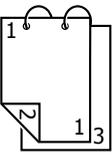
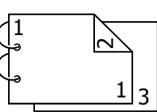
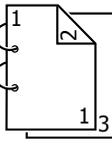
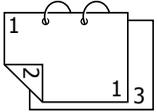
両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションで余白についても確認してください。あらかじめ確認印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

> **!重要**
>
> 自動両面印刷は、60 ～ 90 g/m^2 の普通紙（再生紙）、91 ～ 210 g/m^2 の厚紙、60 ～ 90 g/m^2 の特殊紙にのみ対応しています。
> 「用紙の種類」（p.146）をごらんください。
> 封筒、ラベル紙、ハガキ、光沢紙、レターヘッド、および両面不可紙では、両面印刷できません。

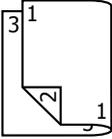
自動両面印刷の方法は？

お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

両面印刷の設定には以下の種類があります。

短辺綴じ	短い辺を綴じるレイアウトになります。	原稿の向きが「縦」の場合	
		原稿の向きが「横」の場合	
長辺綴じ	長い辺を綴じるレイアウトになります。	原稿の向きが「縦」の場合	
		原稿の向きが「横」の場合	

また、[印刷種類] の [小冊子] を選択した場合も自動的に両面印刷になります。

[小冊子] には以下のレイアウトがあります。

	[左開き] に設定すると、左にめくるようにレイアウトされます。
	[右開き] に設定すると、右にめくるようにレイアウトされます。

1 トレイに普通紙をセットします。

2 プリンタードライバーで、両面印刷のレイアウトを設定します。

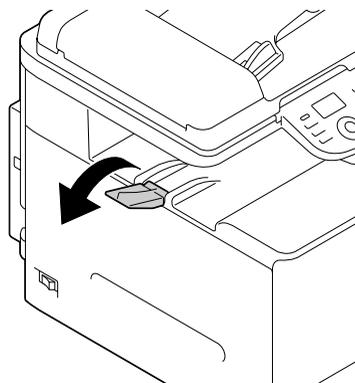
3 [OK] をクリックします。

自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

排紙トレイ

印刷された用紙は、印刷面が下向きの状態で本機の排紙トレイに排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の普通紙で約 150 枚まで、または特殊紙で約 10 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

排紙トレイは、長さを延長することができます。印刷する用紙サイズに合わせて使用してください。

用紙の保管方法

■ 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。

■ いったん包装紙から取り出した用紙については、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。

■ 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
- 湿気が多い場所
- 直射日光があたる場所
- 高温の場所（35 ℃以上の場所）
- ほこりの多い場所

■ 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に確認印刷をして印刷品質を確認してください。

原稿について

原稿の種類／サイズ

原稿ガラスにセットできる原稿

原稿ガラスにセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類	シート、ブック（見開き）、立体物
最大原稿サイズ	A4
最大積載量	3 kg

原稿ガラスに原稿をセットする場合、以下の点にご注意ください。

■ 質量が 3 kg を超えるものを原稿ガラスに載せないでください。ガラスが破損する原因となります。

■ 厚手の本などをセットした場合、強い力で上から押さえつけないでください。ガラスが破損する原因となります。

ADF にセットできる原稿

ADF にセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類／坪量	普通紙：50 ～ 110 g/m²
原稿サイズ	最大：LEGAL 幅：140 ～ 216 mm、長さ：90 ～ 356 mm
最大積載量	35 枚または、用紙高さ 6 mm 以下（坪量が 80 g/m² の場合）

以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

■ ステープル、クリップなどで留めてある原稿

■ ブック原稿

■ 貼り合わせ原稿

■ 切り欠き、切り抜きのある原稿

■ 破れている原稿

■ 坪量 50 g/m² 未満、110 g/m² 以上の原稿

■ 8 mm 以上大きくカールした原稿

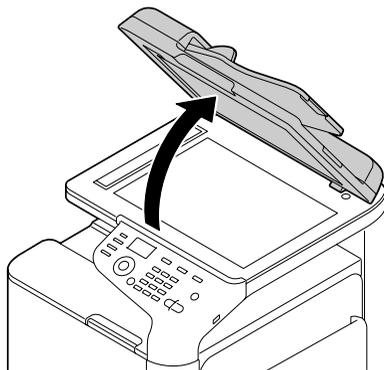
■ OHP 用紙

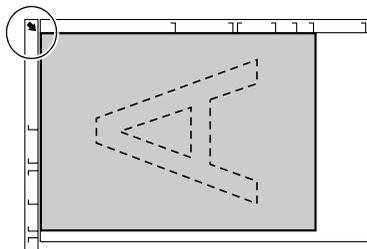
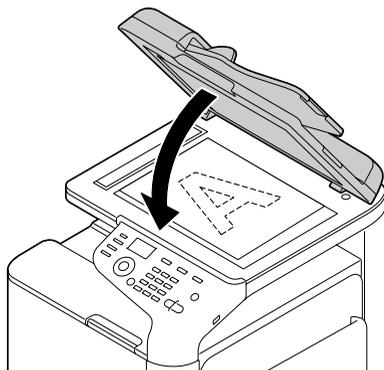
■ ラベル紙

- オフセットマスター
- 写真印画紙
- 光沢塗工紙等の光沢原稿

原稿をセットする

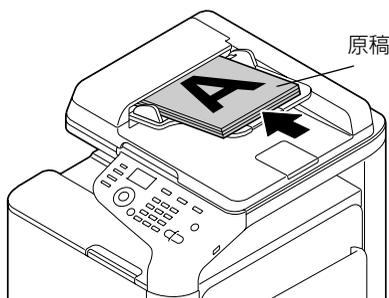
原稿ガラス上に原稿をセットする

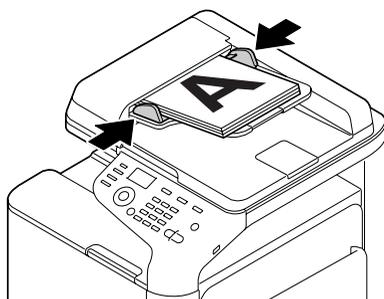
1 **ADF** を開きます。

2 原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上に置きます。

原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。また、原稿の端は原稿ガラスの左奥に合わせてください。

3 ADF を閉じます。

ADF 上に原稿をセットする

1 原稿のコピーしたい面（**1** ページ目）を上向きにし、原稿給紙トレイへセットします。

ADF に原稿をセットするときは、必ず原稿ガラスに残っている原稿を取り除いてください。

原稿の天部（上側）が奥側または右側になるようにします。

2 ガイド板を原稿に沿わせます。

セットした原稿をコピーする手順については、「コピー機能を使う」（p.185）を、スキャンする手順については、「スキャン機能を 使う」（p.223）をごらんください。

その他の印刷方法

USB メモリプリントをする

USB メモリーを本機に接続し、USB メモリーに納められた PDF、XPS、JPEG、TIFF ファイルを印刷することができます。

!重要

USB ホストポートには USB メモリーを直接差し込んでください。延長ケーブルを使用した場合、電波障害を引き起こすことがあります。

オプションの増設ストレージ HDD を装着していないと、メモリプリントは行えません。

操作パネルの設定について詳しくは、「メモリプリントメニュー」（p.141）をごらんください。

USB メモリーについて

本機で使用できる USB メモリーの条件は以下のとおりです。

■ USB 1.1/2.0 準拠のインターフェイス

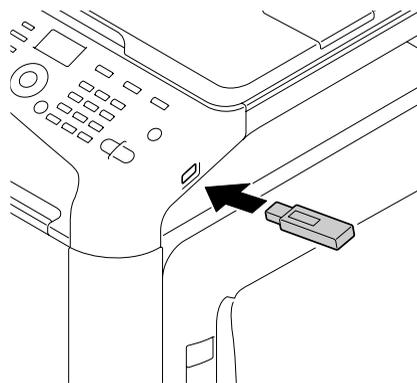
■ FAT32 形式でフォーマットされていること

■ コンピューター上で複数のドライブとして認識されないこと

■ セキュリティー機能が付加されていないか、セキュリティー機能をオフできること

条件を満たした USB メモリーでも、動作しない場合があります。

USB メモリーを接続して印刷する

1 **USB** メモリーを **USB** ホストポートに接続します。

2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［ﾒﾓﾘﾌﾟﾘﾝﾄ］を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［▲］、［▼］キーを押して［ﾌｧｲﾙ ﾘｽﾄ］を選択し、［選択］キーを押します。

全てのファイル（PDF、XPS、JPEG、TIFF）が表示されたときは、［ﾌｧｲﾙ ﾀｲﾌﾟ］を選択し、［選択］キーを押します。

4 ファイルリストから印刷したいファイルを選択して、［選択］キーを押します。

印刷したいファイルがフォルダー内にある場合は、フォルダーを選択して、［選択］キーを押します。

フォルダーとファイルは、合わせて 99 個まで表示することができます。

7 階層以上のフォルダーは表示することができません。

5 必要に応じて印刷の設定を行います。

メモリプリントの設定について詳しくは、「メモリプリントメニュー」（p.141）をごらんください。

6 ［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押して印刷を開始します。

メモリプリント中は、USB ホストポートから USB メモリーを抜かないでください。

メモリー内のデータがカラーの場合、スタート（モノクロ）で印刷を開始してもカラー印刷されます。

モノクロ継続印刷（カラートナー交換表示時）

操作パネルに「ﾄﾅｰ交換 X を交換」（X はトナーの色を示します）が表示され、黒のトナーが残っている場合、次の手順でモノクロでの印刷継続が可能です。

1 印刷が中断している場合は、操作パネルでジョブをキャンセルします。

「操作パネルのランプ／キー」（p.65）

2 プリンタードライバーの設定を変更します。

Windows の場合：「画像品質」タブの「カラー選択」で「モノクロ」を設定

Mac OS X の場合：「カラーオプションメニュー」で「グレースケール」を設定

3 印刷を実行します。

コピー機能を使う

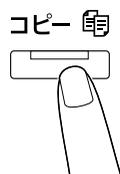
基本コピー

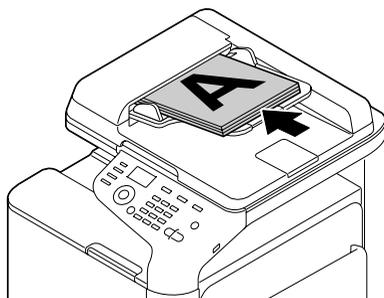
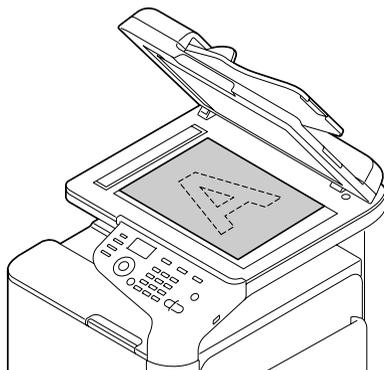
ここでは、基本的なコピーの手順と、コピーの倍率などの設定方法について説明します。

用紙サイズの初期設定は、［設定ﾒﾆｭｰ］-［用紙設定］で変更することができます。詳しくは、「用紙設定メニュー」(p.85) をごらんください。

設定を入力中、キー入力がない状態で［ｵｰﾄﾘｾｯﾄ］の設定時間が経過すると、入力中の内容がキャンセルされ、画面表示がメイン（コピーモード）画面に戻ります。

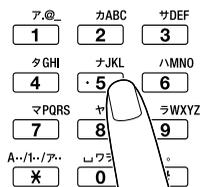
コピーの基本操作

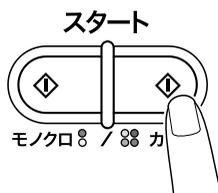
1 ［コピー］キーを押します。

2 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）または「ADF 上に原稿をセットする」（p.180）をごらんください。

3 必要に応じて各機能の設定をします。

コピー画質の設定については、「コピー画質の設定」（p.188）をごらんください。
倍率の設定については、「倍率の設定」（p.195）をごらんください。
給紙トレイの選択については、「給紙トレイの選択」（p.200）をごらんください。
2in1 コピーおよび 4in1 コピーの設定については、「2in1/4in1 コピーの設定」（p.202）をごらんください。
ID カードコピー、リピートコピー、拡大連写の設定については、「コピー機能の設定」（p.206）をごらんください。
両面コピーの設定については、「両面コピーの設定」（p.215）をごらんください。
部単位コピー（ソート）の設定については、「部単位コピー（ソート）の設定」（p.219）をごらんください。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

コピー部数を誤って入力してしまった場合は、[戻る] キーを押してから、正しいコピー部数を入力し直してください。

5 カラーコピーをとる場合は、[スタート(カラー)] キーを押します。

モノクロコピーをとる場合は、[スタート(モノクロ)] キーを押します。

コピー中に [ストップ / リセット] キーを押すと、[ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙしますか ?] と表示されます。コピーを中止する場合は、[はい] を選択してください。コピーを続ける場合は、[いいえ] を選択してください。

[設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 設定] - [機能番号] - [許可しない] - [ｶﾗｰｺﾋﾟｰ] が [許可しない] に設定されているときは、[スタート] キーを押したあとに機能番号を入力します。

コピー画質の設定

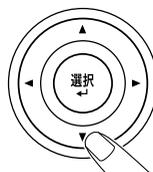
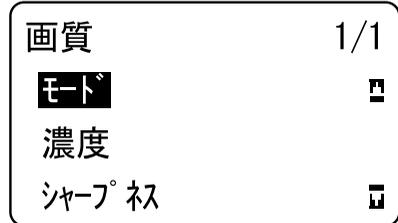
コピーする原稿の内容に合わせて、原稿種類、コピー濃度、シャープネスを設定します。

原稿種類を選択する

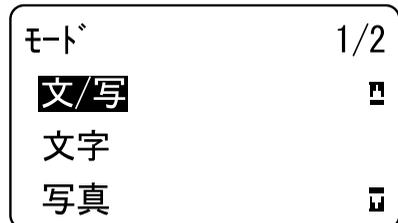
1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー画質設定を選択し、［選択］キーを押します。

トレイ2：A4
倍率：100%　1
精細（文/写）
▲▼→選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ﾓｰﾄﾞ］を選択し、［選択］キーを押します。

画質 1/1
ﾓｰﾄﾞ
濃度
ｼｬｰﾌﾟﾈｽ

3 ［▲］、［▼］キーを押して［文/写］、［文字］、［写真］、［精細（文/写）］、［精細/文字］、［精細/写真］のいずれかを選択し、［選択］キーを押します。

メイン（コピーモード）画面に戻ります。

ﾓｰﾄﾞ 1/2
文/写
文字
写真

初期設定は［精細（文 / 写）］ですが、ADF に原稿をセットすると、速度を優先させるために自動的に［文 / 写］に切換ります。
ADF に原稿をセットした後の設定変更も可能です。上記 1~3 の手順で希望の設定を選択してください。
ADF にセットした原稿をコピーし終わると、設定は自動的に［精細（文 / 写）］に戻ります。
ただし、ADF に原稿をセットする前に確認したり、変更したりした設定は保持されます。

コピー濃度を設定する

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー画質設定を選択し、［選択］キーを押します。

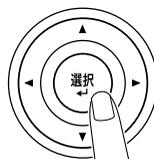
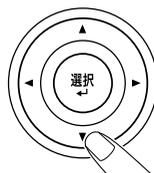
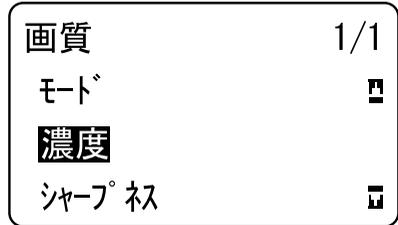
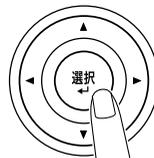
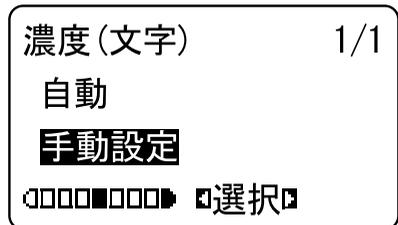
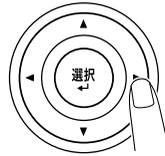
トレイ2：A4
倍率：100%　1
精細（文/写）
▲▼→選択

2 [▲]、[▼] キーを押して [濃度] を選択し、[選択] キーを押します。

画質 1/1
ﾓｰﾄﾞ
濃度
ｼｬｰﾌﾟﾈｽ

3 [◀]、[▶] キーを押して濃度を調節し、[選択] キーを押します。

メイン（コピーモード）画面に戻ります。

濃度（文字） 1/1
自動
手動設定
選択

コピーモードで［文字］または［精細 / 文字］を選択している場合は、手順 3 で［自動］または［手動設定］を選択します。［手動設定］を選択した場合はコピー濃度を設定できます。

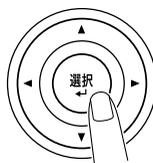
←薄い　濃い→

シャープネスを設定する

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー画質設定を選択し、［選択］キーを押します。

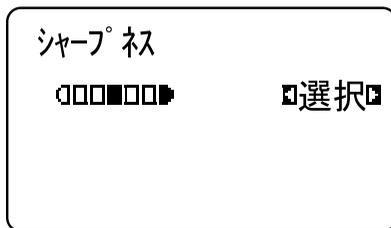
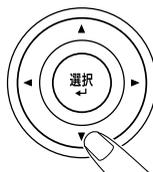
トレイ2：A4
倍率：100%　1
精細（文/写）
–>選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ｼｬｰﾌﾟﾈｽ］を選択し、［選択］キーを押します。

画質 1/1
ﾓｰﾄﾞ
濃度
ｼｬｰﾌﾟﾈｽ

3 ［◀］、［▶］キーを押してシャープネスを調節し、［選択］キーを押します。

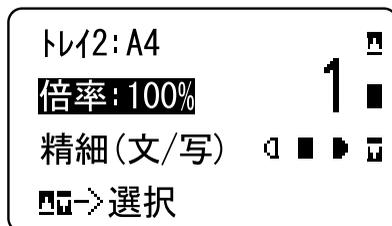
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

［◀］キーを押すと弱くなり、［▶］キーを押すと強くなります。

ｼｬｰﾌﾟﾈｽ
選択

倍率の設定

コピーの倍率を設定する場合には、あらかじめ設定されたプリセット倍率から選択するか、お好みの倍率を指定します。

プリセット倍率を選択する

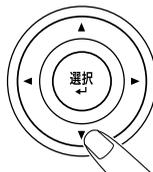
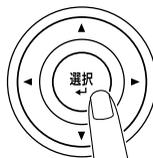
1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の倍率設定を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して［固定］を選択し、［選択］キーを押します。

倍率設定　1/1

固定

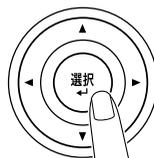
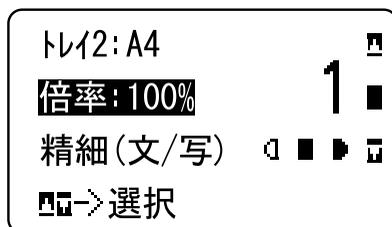
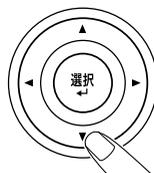
手動設定

3 ［▲］、［▼］キーを押して倍率を選択し、［選択］キーを押します。

メイン（コピーモード）画面に戻ります。

固定倍率選択 2/3
86% A4→B5
100%
115% B5→A4

選択できる倍率は以下のとおりです。
メトリック表示の場合：
［25%］、［50%］、［70% A4 → A5］、［86% A4 → B5］、［100%］、［115% B5 → A4］、［141% A5 → A4］、［200%］、［400%］
インチ表示の場合：
［25%］、［50%］、［64% LETTER → HLT］、［78% LEGAL → LETTER］、［100%］、［129% HLT → LETTER］、［154% HLT → LEGAL］、［200%］、［400%］
テンキーでは倍率を入力できません。

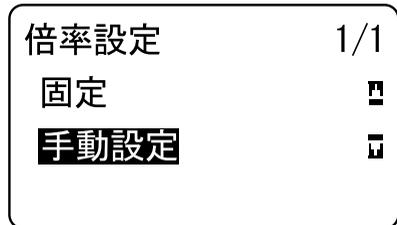
倍率を指定する

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の倍率設定を選択し、［選択］キーを押します。

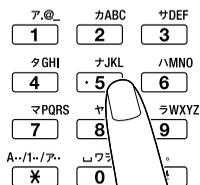
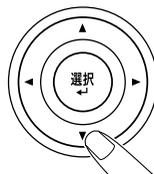
トレイ2：A4
倍率：100%　1
精細（文/写）
–>選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［手動設定］を選択し、［選択］キーを押します。

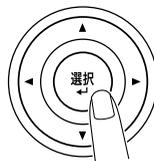
倍率設定 1/1

固定

手動設定

3 テンキーで倍率を直接入力するか、[▲]、[▼] キーを押して倍率を調節し、[選択] キーを押します。

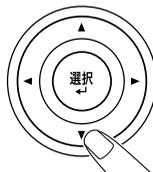
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

[▲]、[▼] キー押すと、倍率が 1% ずつ増減します。設定範囲は 25% ～ 400% です。

または

手動倍率
110%　(25%-400%)

or 10キー 入力

給紙トレイの選択

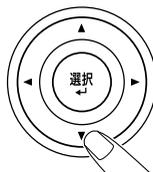
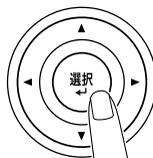
オプションの給紙ユニットを装着していない場合、[トレイ 3] は表示されません。

給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の給紙トレイ設定を選択し、［選択］キーを押します。

トレイ2:A4
倍率:100%　1
精細(文/写)
->選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して目的の給紙トレイを選択し、［選択］キーを押します。

メイン（コピーモード）画面に戻ります。

用紙切れの場合は、用紙サイズの右側に［用紙］と表示されます。

用紙選択　1/1
トレイ1:A4
トレイ2:A4
トレイ3:A4

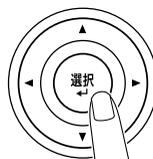
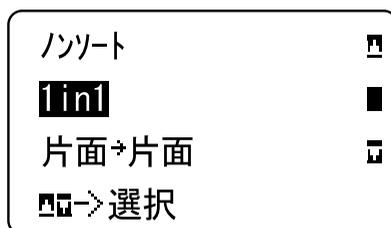
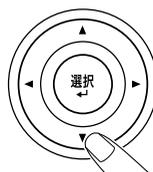
応用コピー

ここでは、2in1/4in1 コピー、ID カードコピー、リピートコピー、拡大連写、両面コピー、部単位コピー（ソート）について説明します。

2in1/4in1 コピー、両面コピー、部単位コピー（ソート）は、ID カードコピー、リピートコピー、拡大連写とは同時に設定できません。これらを同時に設定した場合は、後から設定した機能が有効になります。

2in1/4in1 コピーの設定

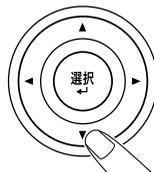
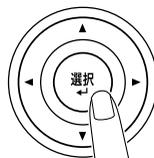
2in1 コピーを設定すると、2 ページ分の原稿を 1 枚の用紙にレイアウトしてコピーすることができます。4in1 コピーを設定すると、4 ページ分の原稿を 1 枚の用紙にレイアウトしてコピーすることができます。

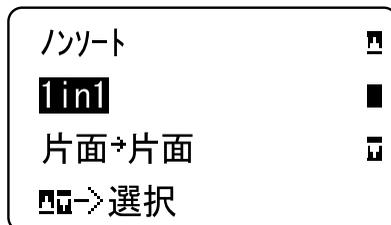
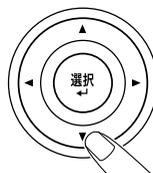
ADF を使用した 2in1/4in1 コピー

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の **2in1/4in1** コピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

ﾉﾝｿｰﾄ
1in1
片面→片面
→選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［2in1］または［4in1］を選択し、［選択］キーを押します。

設定されている用紙サイズに応じて、倍率が自動的に設定されます。必要に応じて倍率を変更してください。

メイン（コピーモード）画面に戻ります。

集約原稿 1/1
1in1
2in1
4in1

- 2in1/4in1 で両面コピーや部単位コピー（ソート）を行うには、コピー操作を実行する前にそれらの設定をする必要があります。詳しくは、「両面コピーの設定」（p.215）および「部単位コピー（ソート）の設定」（p.219）をごらんください。
- ADF が開いていると、2in1/4in1 コピーを設定できません。
- 2in1 または 4in1 選択後、手動で 25% まで縮小してコピーできます。

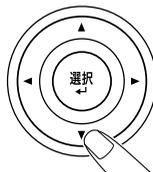
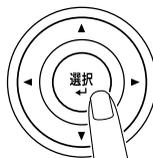
原稿ガラスを使用した 2in1/4in1 コピー

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の **2in1/4in1** コピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

ノンソート
1in1
片面→片面
▲▼->選択

2

［▲］、［▼］キーを押して［2in1］または［4in1］を選択し、［選択］キーを押します。

設定されている用紙サイズに応じて、倍率が自動的に設定されます。必要に応じて倍率を変更してください。

集約原稿 1/1
1in1
2in1
4in1

2in1 または 4in1 選択後、手動で 25% まで縮小してコピーできます。

3

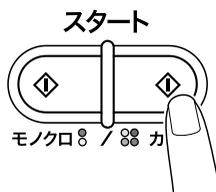
原稿ガラスに 1 枚目の原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）をごらんください。

4

カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。

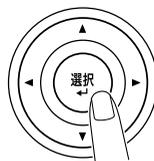
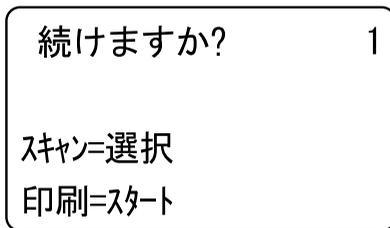
モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。

原稿のスキャンが開始されます。

2in1/4in1 で両面コピーや部単位コピー（ソート）を行うには、手順 4 を実行する前にそれらの設定をする必要があります。詳しくは、「両面コピーの設定」（p.215）および「部単位コピー（ソート）の設定」（p.219）をごらんください。

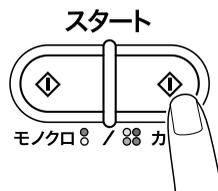
5 メッセージウィンドウに［続けますか ?］と表示されたら、原稿ガラスに次のページをセットし、［選択］キーを押します。

続けますか?　1

ｽｷｬﾝ=選択

印刷=ｽﾀｰﾄ

6 全ページの読み込みが完了するまで、手順 5 を繰り返します。

2in1 を設定した場合は 2 ページ分（両面コピー設定時は 4 ページ）、4in1 を設定した場合は 4 ページ分（両面コピー設定時は 8 ページ）の原稿の読み込みが完了すると自動的に印刷が開始されます。

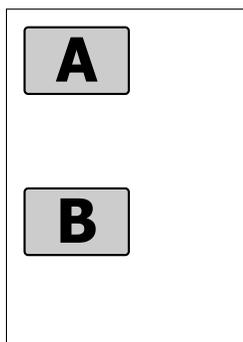
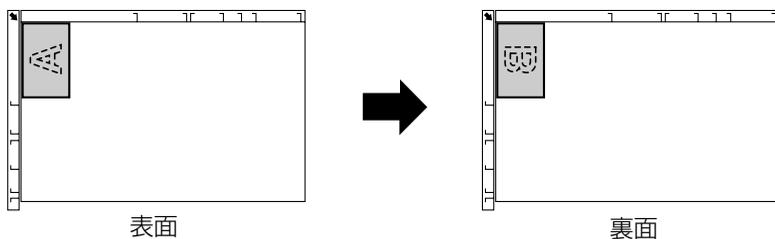
7 全ページの読み込みが完了したら、［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押して残りのページの印刷を開始します。

コピー機能の設定

ID カードコピー、リピートコピー、拡大連写を設定します。

倍率は自動的に設定されます（変更できません）。

ID カードコピー、リピートコピー、拡大連写は、原稿ガラスでのみ行うことができます。読み取る原稿は原稿ガラスの左奥に合わせて置いてください。上、左から 4mm は印字されないため、原稿の位置を調整してください。詳しくは、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）をごらんください。

ID カードコピー

ID カードコピーを行うと、証明書などの裏表を 1 枚の用紙に 100%でコピーすることができます。

ID カードコピーを行うことができる用紙サイズは、A4、LETTER、LEGAL です。

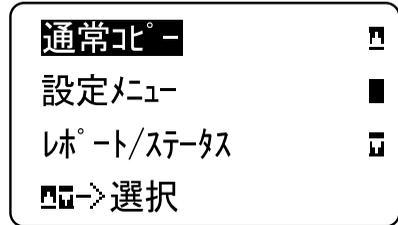
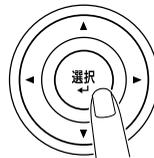
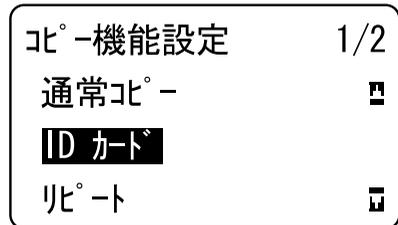
1 原稿ガラスに **ID** カードの表面をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）をごらんください。

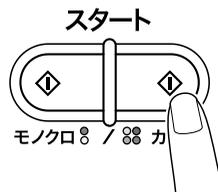
2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー機能設定を選択し、［選択］キーを押します。

通常ｺﾋﾟｰ
設定ﾒﾆｭｰ
ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ
▲▼ｰ>選択

3 ［▲］、［▼］キーを押して［ID ｶｰﾄﾞ］を選択し、［選択］キーを押します。

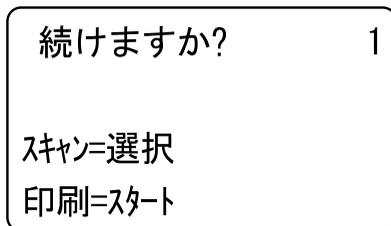
ｺﾋﾟｰ機能設定 1/2
通常ｺﾋﾟｰ
ID ｶｰﾄﾞ
ﾘﾋﾟｰﾄ

4 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー)］キーを押します。

モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ)］キーを押します。

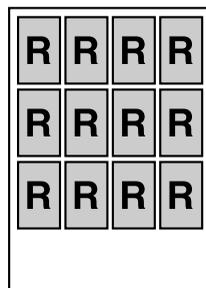
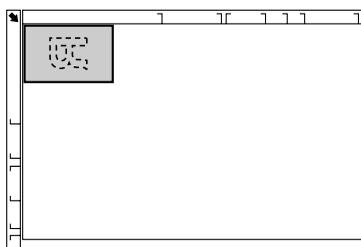
ID カードのスキャンが開始されます。

5 メッセージウィンドウに［続けますか ?］と表示されたら、表面と同じ位置に裏面をセットし、［選択］キーを押します。

裏面がスキャンされてから、印刷が自動的に開始されます。

```
続けますか?        1

ｽｷｬﾝ=選択
印刷=ｽﾀｰﾄ
```

最初にスキャンした片面だけを印刷する場合は、手順 5 で［スタート（カラー)］キーまたは［スタート（モノクロ)］キーを押します。

リピートコピー

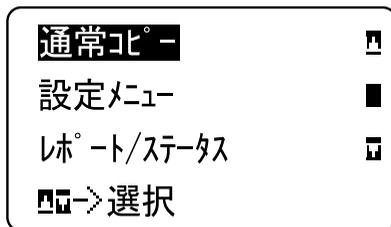
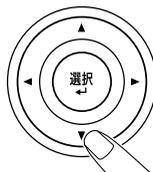
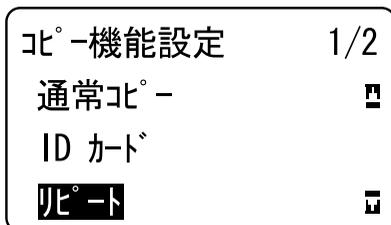
リピートコピーを行うと、メモ書きなどの小さい原稿を 1 枚の用紙にタイル状にコピーすることができます。

1 原稿ガラスに原稿をセットします。

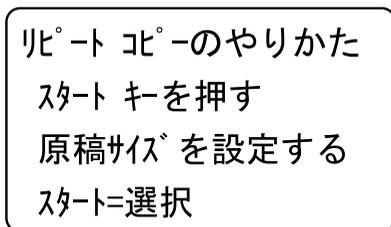
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）をごらんください。

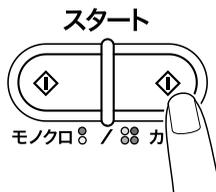
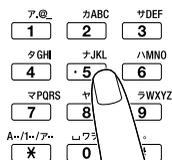
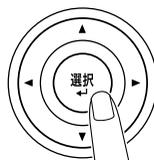
2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー機能設定を選択し、［選択］キーを押します。

通常コピー
設定メニュー
レポート/ステータス
▲▼ー>選択

3 [▲]、[▼] キーを押して [ﾘﾋﾟｰﾄ] を選択し、[選択] キーを押します。

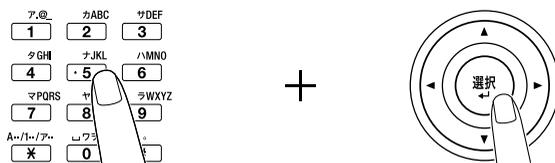
ｺﾋﾟｰ機能設定　　1/2
通常ｺﾋﾟｰ
ID ｶｰﾄﾞ
ﾘﾋﾟｰﾄ

4 [ﾘﾋﾟｰﾄ ｺﾋﾟｰのやりかた] 画面の内容を確認し、[選択] キーを押します。

ﾘﾋﾟｰﾄ ｺﾋﾟｰのやりかた
ｽﾀｰﾄ ｷｰを押す
原稿ｻｲｽﾞを設定する
ｽﾀｰﾄ=選択

5 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。

モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。

6 テンキーで原稿の長さを入力し、［選択］キーを押します。

```
原稿ｻｲｽﾞ
 長さ =___ ( 20-289)
 幅 =202   ( 20-202)
 ｽﾀｰﾄ=選択
```

原稿のサイズを変更する場合は、［戻る］キーを押して現在のサイズを消去してから、テンキーで数値を入力してください。

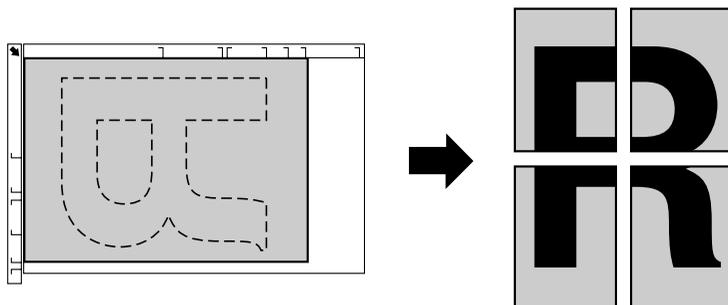
7 テンキーで原稿の幅を入力し、［選択］キーを押します。

原稿がスキャンされてから、印刷が自動的に開始されます。

原稿ｻｲｽﾞ
長さ =289（ 20-289）
幅 =___ （ 20-202）
ｽﾀｰﾄ=選択

原稿のサイズを変更する場合は、[戻る] キーを押して現在のサイズを消去してから、テンキーで数値を入力してください。

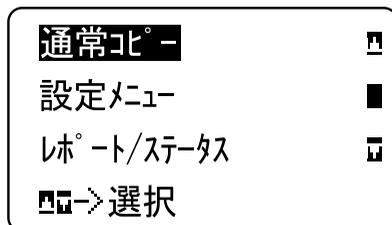
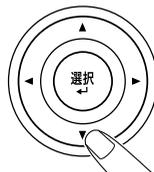
拡大連写

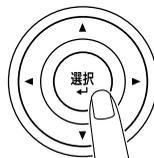
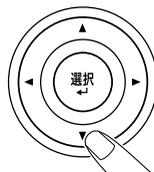
拡大連写を行うと、読み込んだ画像を縦横に 200% ずつ拡大し、4 分割で印刷することができます。

読み込む画像と使用する用紙のサイズが合っていないと、余白が生じたり、画像が用紙に収まらなかったりする場合があります。

1 原稿ガラスに原稿をセットします。

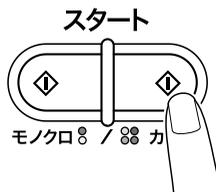
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）をごらんください。

2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー機能設定を選択し、［選択］キーを押します。

通常ｺﾋﾟｰ
設定ﾒﾆｭｰ
ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ
▲▼->選択

3 ［▲］、［▼］キーを押して［拡大連写］を選択し、［選択］キーを押します。

ｺﾋﾟｰ機能設定　2/2
拡大連写

4 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。

モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。

原稿がスキャンされてから、印刷が自動的に開始されます。

両面コピーの設定

ADF を使用した両面コピー

ADF で原稿を読み込んで、2 ページ分の片面原稿を 1 枚の用紙に両面コピーします。

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の片面／両面コピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して［片面→両面］を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［▲］、［▼］キーを押して［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択し、［選択］キーを押します。

メイン（コピーモード）画面に戻ります。

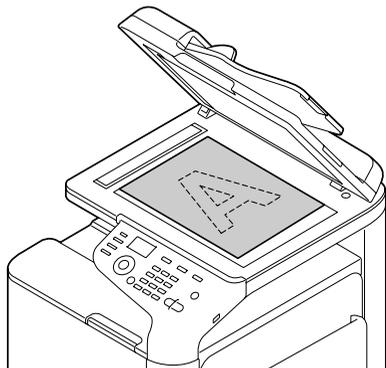
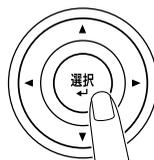
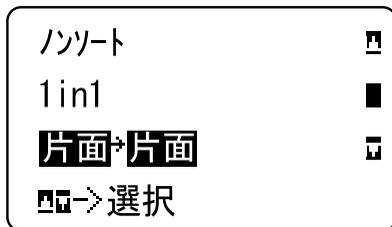
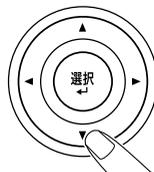
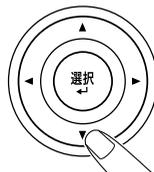
両面コピーの設定には以下の種類があります。

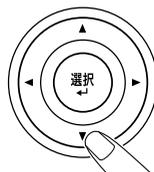
	［長辺とじ］に設定すると、横にめくるレイアウトになります。
	［短辺とじ］に設定すると、縦にめくるレイアウトになります。

原稿ガラスを使用した両面コピー

原稿ガラスに原稿をセットして、2 ページ分の片面原稿を 1 枚の用紙に両面コピーします。

1 原稿ガラスに **1** 枚目の原稿をセットします。

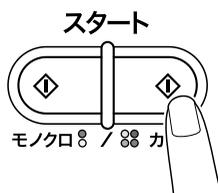
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）をごらんください。

2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の片面／両面コピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［▲］、［▼］キーを押して［片面→両面］を選択し、［選択］キーを押します。

片面/両面　1/2
片面→片面
片面→両面
両面→片面

4 ［▲］、［▼］キーを押して［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択し、［選択］キーを押します。

印刷種類　1/1
長辺とじ
短辺とじ

［長辺とじ］および［短辺とじ］については、「ADF を使用した両面コピー」（p.215）をごらんください。

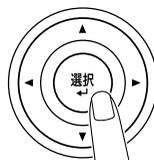
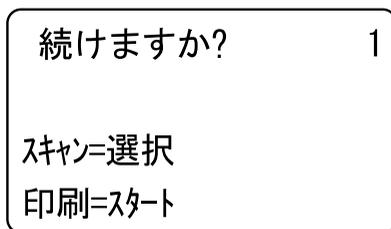
5 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー)］キーを押します。

モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ)］キーを押します。

原稿のスキャンが開始されます。

6 メッセージウィンドウに［続けますか ?］と表示されたら、原稿ガラスに次のページをセットし、［選択］キーを押します。

2 枚目の原稿（裏面）がスキャンされてから、印刷が自動的に開始されます。

続けますか?　1

スキャン=選択
印刷=スタート

両面原稿のコピー

両面に印刷されている原稿を読み込んで、両面コピーまたは片面コピーします。

両面原稿の読み込みは、ADF を使用してのみ可能です。

両面→片面コピー時、コピー原稿の分量が多い場合は、途中でメモリーがいっぱいになり、コピーできなくなることがあります。

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の片面／両面コピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して、用紙の両面にコピーする場合は［両面→両面］を、用紙の片面にコピーする場合は［両面→片面］を選択し、［選択］キーを押します。

3 [▲]、[▼] キーを押して、読み込む原稿のとじ方向を [長辺とじ] または [短辺とじ] から選択し、[選択] キーを押します。

4 手順 2 で [両面→両面] を選択した場合は、印刷のとじ方向を [長辺とじ] または [短辺とじ] から選択し、[選択] キーを押します。

5 原稿の表面を ADF にセットします。

原稿のセットのしかたについては、「ADF 上に原稿をセットする」(p.180) をごらんください。

6 カラーコピーをとる場合は、[スタート (カラー)] キーを押します。

モノクロコピーをとる場合は、[スタート (モノクロ)] キーを押します。

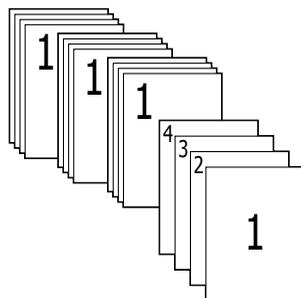
原稿の表面がスキャンされます。

7 原稿の裏面を ADF にセットし、[選択] キーを押します。

原稿の裏面がスキャンされ、コピーが始まります。

部単位コピー（ソート）の設定

ソートを設定すると、複数ページの原稿を複数部コピーする場合に、ページ順で 1 部ずつ印刷することができます。

コピー原稿の分量が多い場合は、途中でメモリーがいっぱいになり、コピーできなくなることがあります。

ADF を使用した部単位（ソート）コピー

1 メイン（コピーモード）画面で [▲]、[▼] キーを押して現在のソートコピー設定を選択し、[選択] キーを押します。

2 [▲]、[▼] キーを押して [ｿｰﾄ (1 部ごと)] を選択し、[選択] キーを押します。

メイン（コピーモード）画面に戻ります。

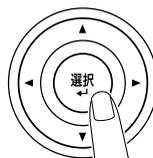
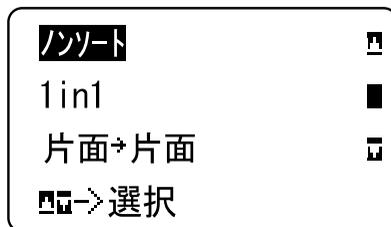
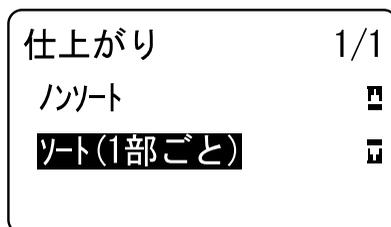
原稿ガラスを使用した部単位（ソート）コピー

1 原稿ガラスに **1** 枚目の原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）をごらんください。

2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のソートコピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

3 [▲]、[▼] キーを押して
[ソート（1 部ごと）] を選択し、
[選択] キーを押します。

仕上がり 1/1
ノンソート
ソート（1部ごと）

4 カラーコピーをとる場合は、
[スタート（カラー）] キーを
押します。

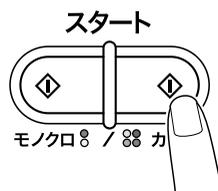
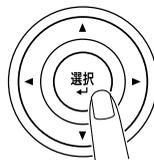
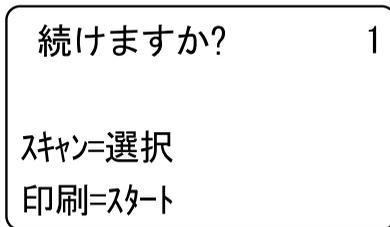
モノクロコピーをとる場合は、
[スタート（モノクロ）] キー
を押します。

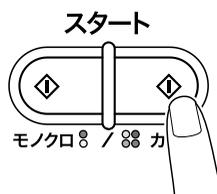
原稿のスキャンが開始されま
す。

5 メッセージウィンドウに［続けますか ?］と表示されたら、原稿ガラスに次のページをセットし、［選択］キーを押します。

続けますか?　1

ｽｷｬﾝ=選択

印刷=ｽﾀｰﾄ

6 全ページの読み込みが完了するまで、手順 5 を繰り返します。

7 全ページの読み込みが完了したら、［スタート（カラー)］キーまたは［スタート（モノクロ)］キーを押して印刷を開始します。

スキャン機能を使う

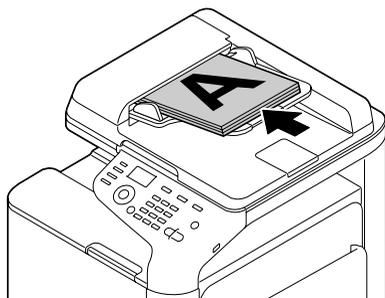
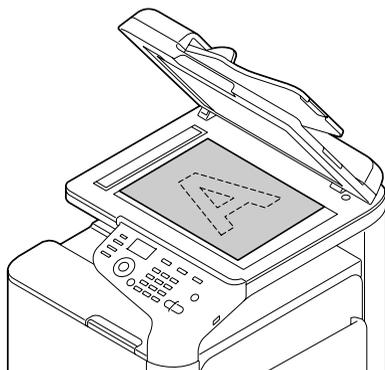
アプリケーション操作によるスキャン

USB ケーブルまたはネットワーク経由で本機と接続したコンピューターのアプリケーションを使ってスキャンを実行します。スキャンの設定および操作は、TWAIN または WIA 対応のアプリケーションで行います。スキャンする範囲の指定やプレビュー表示など、スキャナードライバーでさまざまな調整を行うことができます。

スキャナードライバーのインストール方法、およびネットワーク TWAIN の設定方法について詳しくは、［インストレーションガイド］をごらんください。

TWAIN スキャナードライバーからスキャンデータを読み込む

TWAIN 対応のアプリケーションを使ってスキャンを行います。ここでは、Adobe Photoshop を例に説明します。

1 原稿を原稿ガラスまたは **ADF** にセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」(p.179) および「ADF 上に原稿をセットする」(p.180) をごらんください。

2 スキャンデータを取り込むアプリケーションを起動します。

3 [ファイル] メニューから [読み込み] を選択し、スキャナードライバーを起動します。

アプリケーションからスキャン画像を読み込む場合、スキャナードライバーは以下のように表示されます。

ネットワーク接続時:EPSON LP-M720 Network Scanner

USB 接続時:EPSON LP-M720 Scanner

4 [ローカル環境 (USB) に接続されているスキャナー] または [ネットワークに接続されているスキャナー] を選択し、[OK] をクリックします。

[TWAIN ドライバー起動時、このダイアログを表示しない] をチェックすると、次回からこの画面は表示されません。

5 必要に応じてスキャナードライバーの設定をします。

6 スキャナードライバーの [スキャン] をクリックします。

オート機能を使用する場合、必ずプレスキャンを行ってください。プレスキャンを実行しない場合は、オート機能が正しく動作しません。

Windows TWAIN ドライバーの設定

■ [読み込み]
保存した設定ファイル（dat ファイル）を読み込みます。

■ [保存]
現在の設定を設定ファイル（dat ファイル）として保存します。

■ [デフォルト]
すべての設定を初期値に戻します。

■ ヘルプ
ヘルプを表示します。

■ バージョン情報
ドライバーのバージョン情報を表示します。

■ [給紙方法]
原稿ガラス（フラットベット）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。

■ [原稿サイズ]
原稿サイズを指定します。

■ [スキャンタイプ]
[フルカラー]、[グレー]、[白黒（写真）]、[白黒] から選択します。

■ [解像度]
[150dpi × 150dpi]、[300dpi × 300dpi]、[600dpi × 600dpi]、[1200dpi × 1200dpi]、[2400dpi × 2400dpi]、[4800dpi × 4800 dpi] から選択します。

■ [スケール]
拡大／縮小率を設定します。

解像度が [1200dpi × 1200dpi] 以上に設定されているときは、100% を超える値を設定することはできません。

■ ［スキャンモード］
［オート］または［マニュアル］を選択します。［マニュアル］を選択すると、明るさ／コントラスト、フィルター、カーブ、レベル、カラーバランス、色相／彩度を設定できます。

設定可能な項目は、選択したスキャンタイプによって異なります。

スキャンモードを［オート］に設定して、原稿ガラスから読み込む場合は、プレスキャンを実行してプレビュー画像を確認してから、スキャンを実行してください。

■ ［画像サイズ］
スキャン画像のデータサイズを表示します。

■ ［回転］
スキャンする画像の向きを設定します。

■ ［閉じる］
Windows TWAIN ドライバーのウィンドウを閉じます。

■ ［プレスキャン］
プレビュー画像の読み込みを開始します。

■ ［スキャン］
スキャンを開始します。

■ オートクロップアイコン
プレビュー画像をもとに、読み込み位置を自動的に検出します。

■ ズームプレスキャンアイコン
プレビューウィンドウで指定した領域を再度読み込んで、ウィンドウに合わせて拡大表示します。

■ 鏡像アイコン
プレビュー画像を左右に反転します。

■ 階調反転アイコン
プレビュー画像の色を反転します。

■ クリアアイコン
プレビュー画像を消去します。

■ プレビューウィンドウ
プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。

■ ［色調整前］／［色調整後］（RGB）
プレビューウィンドウ上にカーソルを移動すると、カーソル位置の補正前後の色調が表示されます。

■ ［幅］／［高さ］
指定領域の幅／高さが、選択した単位で表示されます。

Macintosh TWAIN ドライバーの設定

■ ［読み込み］
保存した設定ファイル（dat ファイル）を読み込みます。

■ ［保存］
現在の設定を設定ファイル（dat ファイル）として保存します。

■ ［デフォルト］
すべての設定を初期値に戻します。

■ ヘルプ
ヘルプを表示します。

■ バージョン情報
ドライバーのバージョン情報を表示します。

■ ［給紙方法］
原稿ガラス（フラットベット）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。

■ ［原稿サイズ］
原稿サイズを指定します。

■ ［スキャンタイプ］
［フルカラー］、［グレー］、［白黒（写真）］、［白黒］から選択します。

■ ［解像度］
［150dpi × 150dpi］、［300dpi × 300dpi］、［600dpi × 600dpi］、［1200dpi × 1200dpi］、［2400dpi × 2400dpi］、［4800dpi × 4800 dpi］から選択します。

■ ［スケール］
拡大／縮小率を設定します。

解像度が［1200dpi × 1200dpi］以上に設定されているときは、100% を超える値を設定することはできません。

■ ［スキャンモード］
［オート］または［マニュアル］を選択します。［マニュアル］を選択す

ると、明るさ／コントラスト、フィルター、カーブ、レベル、カラーバランス、色相／彩度を設定できます。

設定可能な項目は、選択したスキャンタイプによって異なります。

スキャンモードを［オート］に設定して、原稿ガラスから読み込む場合は、プレスキャンを実行してプレビュー画像を確認してから、スキャンを実行してください。

■ ［画像サイズ］
スキャン画像のデータサイズを表示します。

■ ［回転］
スキャンする画像の向きを設定します。

■ ［閉じる］
Macintosh TWAIN ドライバーのウィンドウを閉じます。

■ ［プレスキャン］
プレビュー画像の読み込みを開始します。

■ ［スキャン］
スキャンを開始します。

■ オートクロップアイコン
プレビュー画像をもとに、読み込み位置を自動的に検出します。

■ ズームプレスキャンアイコン
プレビューウィンドウで指定した領域を再度読み込んで、ウィンドウに合わせて拡大表示します。

■ 鏡像アイコン
プレビュー画像を左右に反転します。

■ 階調反転アイコン
プレビュー画像の色を反転します。

■ クリアアイコン
プレビュー画像を消去します。

■ プレビューウィンドウ
プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。

■ ［色調整前］／［色調整後］（RGB）
プレビューウィンドウ上にカーソルを移動すると、カーソル位置の補正前後の色調が表示されます。

■ ［幅］／［高さ］
指定領域の幅／高さが、選択した単位で表示されます。

WIA ドライバーからスキャンデータを読み込む

ここでは WIA 対応の各種アプリケーションから WIA ドライバーでスキャンデータを読み込む方法を説明します。

［Windows フォトギャラリー］から読み込む

このアプリケーションは Windows Vista/Vista x64 Edition/7/7 x64 Edition に対応しています。

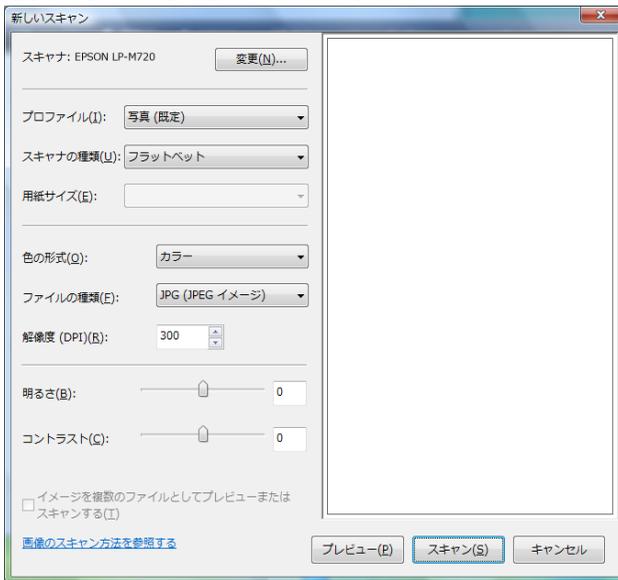
1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］**-**［**Windows** フォトギャラリー］を起動します。

2 ［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選択します。

3 ［EPSON LP-M720 Scanner］または［EPSON LP-M720 Network Scanner］を選択し、［読み込み］をクリックします。

4 メッセージダイアログが表示された場合は、内容を確認し、［OK］をクリックします。

［今後このメッセージを表示しない。］をチェックすると、次回からこの画面は表示されません。

5 必要に応じて読み込みの設定を行います。

読み込み設定について詳しくは、「読み込み設定」（p.231）をごらんください。

6 スキャナードライバーの ［スキャン］をクリックします。

読み込み設定

■ ［スキャナ］
スキャンする機種名が表示されます。［変更］をクリックして使用するスキャナーを選択します。

■ ［プロファイル］
［写真（既定）］［ドキュメント］［最後に使用された設定］［プロファイルの追加］から選択します。
- ［最後に使用された設定］を選択すると、前回に使用したプロファイルを呼び出すことができます。
- ［プロファイルの追加］を選択すると、［新しいプロファイルの追加］画面からプロファイルを追加登録することができます。よく使う設定をプロファイルに登録することですぐにスキャンすることができます。
- プロファイルを削除するには、追加したプロファイルを［コントロールパネル］-［ハードウェアとサウンド］-［スキャナとカメラ］-［スキャナとカメラの表示］-［スキャンプロファイル］で編集および削除することができます。詳しくは、Windows のヘルプを参照ください。

■ ［スキャナの種類］・［用紙サイズ］
［フラットベット］（原稿ガラス）、［フィーダ（片面スキャン）］（ADF）から選択します。
［フラットベット］を選択した場合は、［プレビュー］を表示して、四隅のボックスをドラッグすることにより読み込み範囲を指定することができます。［フィーダ（片面スキャン）］を選択した場合は、［用紙サイズ］から原稿サイズを選択します。

■ ［色の形式］
［カラー］［グレースケール］［白黒］から選択します。

■ ［ファイルの種類］
［BMP（ビットマップイメージ）］［JPG（JPEG イメージ）］［PNG（PNG イメージ）］［TIF（TIFF イメージ）］からファイル形式を選択します。

■ ［解像度］
読み込みの解像度を dpi で実行します。（150, 300, 600, 1200, 2400）

■ ［明るさ］
明るさを指定します。（-100 ～ 100）

■ ［コントラスト］
カラーまたはグレースケールで読み込む場合のコントラストを指定します。（-100 ～ 100）

［Windows FAX とスキャン］から読み込む

このアプリケーションは Windows Vista/Vista x64 Edition/7/7 x64 Edition に対応しています。

お使いのWindows Vistaエディションによってはお使いできないことがあります。

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］**-**［**Windows FAX とスキャン**］を起動します。

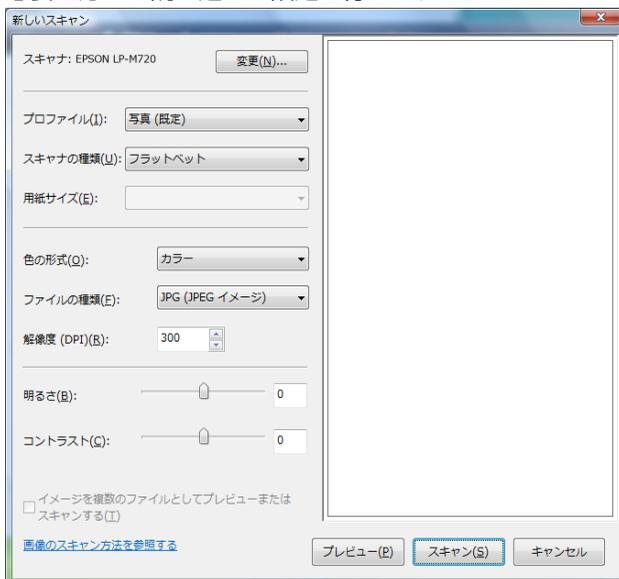
2 ツールバーの［新しいスキャン］をクリックします。

3 ［EPSON LP-M720 Scanner］または［EPSON LP-M720 Network Scanner］を選択し、［OK］をクリックします。

複数のスキャナードライバーがインストールされていない場合は、手順 3 は表示されません。

4 メッセージダイアログが表示された場合は、内容を確認し、［OK］をクリックします。

［今後このメッセージを表示しない。］をチェックすると、次回からこの画面は表示されません。

5 必要に応じて読み込みの設定を行います。

読み込みの設定について詳しくは、「読み込み設定」（p.231）をごらんください。

6 スキャナードライバーの［スキャン］をクリックします。

［スキャナとカメラ］から読み込む

このアプリケーションは Windows XP/XP x64 Edition に対応しています。

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］-［スキャナとカメラ］をクリックします。

2 ［EPSON LP-M720 Scanner］または［EPSON LP-M720 Network Scanner］アイコンをダブルクリックします。

3 ［次へ］をクリックします。

4 必要に応じて読み込みの設定を行います。

読み込みの設定について詳しくは、「読み込み設定」（p.236）をごらんください。

5 ［次へ］をクリックします。

6 画像の名前、ファイル形式、保存先を指定します。

– 画像のグループ名
  複数の画像を同じ場所に保存する場合は、ファイル名のあとに自動的に連番が付けられます。
– ファイルの形式
  ［BMP（ビットマップイメージ）］、［JPG（JPEG イメージ）］、［TIF（TIFF イメージ）］、［PNG（PNG イメージ）］からファイル形式を選択します。

7 ［次へ］をクリックして読み込みを開始します。

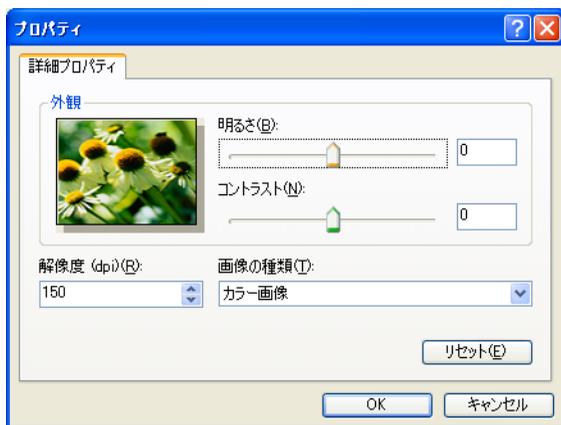
8 ［次へ］をクリックします。

Web サイトにスキャンした画像を公開するときや、オンライン出力するときは、対応する項目を選択してください。

読み込み設定

■ ［画像の種類］
［カラー画像］［グレースケール画像］［白黒画像またはテキスト］［カスタム］から選択します。［カスタム］を選択する場合は、［カスタム設定］をクリックし、プロパティ画面で詳細を設定します。調整後［OK］をクリックし［詳細プロパティ］ウィンドウを閉じます。

調整を行った場合、画像の種類は［カスタム］へ変更されます。

● ［外観］
サンプル画像が表示されます。

- ［明るさ］
  明るさを指定します。（-127 ～ 127）
- ［コントラスト］
  カラーまたはグレースケールで読み込む場合のコントラストを指定します。（-127 ～ 127）
- ［解像度］
  読み込みの解像度を dpi で指定します。（150, 300, 600, 1200, 2400）
- ［画像の種類］
  読み込む色の種類（［カラー画像］［グレースケール画像］［白黒画像またはテキスト］）を指定します。
- ［リセット］
  現在の設定をすべて初期値に戻します。

■ ［給紙方法］
［フラットベット］（原稿ガラス）、［ドキュメントフィーダ］（ADF）から選択します。
［フラットベット］を選択した場合は、［プレビュー］をクリックして、四隅のボックスをドラッグすることにより読み込み範囲を指定することができます。
［ドキュメントフィーダ］（ADF）を選択した場合は、［ページ サイズ］から原稿サイズを選択します。

■ ［ページ サイズ］
給紙方法で［ドキュメントフィーダ］（ADF）を選択した場合は、ページサイズを選択してください。

アプリケーションから読み込む

WIA 対応アプリケーションから画像を読み込むことができます。

読み込みの手順はアプリケーションによって異なります。ここではその一例を説明します。

このアプリケーションは Windows XP/Vista/Vista x64 Edition/7/7 x64 Edition に対応しています。

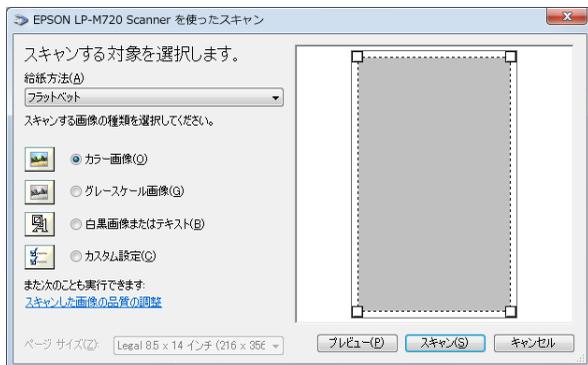
1 使用するアプリケーションを起動します。

2 ［ファイル］メニューから［読み込み］を選択し、スキャナードライバーを選択します。

USB 接続の場合は［WIA-EPSON LP-M720 Scanner］を選択してください。ネットワーク接続の場合は［WIA-EPSON LP-M720 Network Scanner］を選択してください。

3 メッセージダイアログが表示された場合は、内容を確認し、[OK] をクリックします。

[今後このメッセージを表示しない。] をチェックすると、次回からこの画面は表示されません。

4 読み込みの設定を行います。

■ [給紙方法]
[フラットベット]（原稿ガラス）、[ドキュメントフィーダ]（ADF）から選択します。
[フラットベット] を選択した場合は、[プレビュー] をクリックして、四隅のボックスをドラッグすることにより読み込み範囲を指定することができます。
[ドキュメントフィーダ]（ADF）を選択した場合は、[ページ サイズ] から原稿サイズを選択します。

■ 画像の種類
[カラー画像] [グレースケール画像] [白黒画像またはテキスト] [カスタム設定] から選択します。必要に応じて [スキャンした画像の品質の

調整］をクリックします。調整後［OK］をクリックし、［詳細プロパティ］ウィンドウを閉じます。

調整を行った場合、画像の種類は［カスタム設定］へ変更されます。

- ［外観］
  サンプル画像が表示されます。
- ［明るさ］
  明るさを指定します。（-127 ～ 127）
- ［コントラスト］
  カラーまたはグレースケールで読み込む場合のコントラスを指定します。（-127 ～ 127）
- ［解像度］
  読み込みの解像度を dpi で指定します。（150, 300, 600, 1200, 2400）
- ［画像の種類］
  読み込む色の種類（［カラー画像］［グレースケール画像］［白黒画像またはテキスト］）を指定します。
- ［リセット］
  現在の設定をすべて初期値に戻します。

■ ［ページ サイズ］
給紙方法で［ドキュメントフィーダ］（ADF）を選択した場合は、ページサイズを選択してください。

Windows WIA ドライバーの設定

■ ［給紙方法］
［フラットベット］（原稿ガラス）、［ドキュメントフィーダ］（ADF）から選択します。
［フラットベット］を選択した場合は、［プレビュー］をクリックして、

四隅のボックスをドラッグすることにより読み込み範囲を指定することができます。
［ドキュメントフィーダ］（ADF）を選択した場合は、［ページ サイズ］から原稿サイズを選択します。

■ ［カラー画像］
カラーでスキャンします。

■ ［グレースケール画像］
グレースケールでスキャンします。

■ ［白黒画像またはテキスト］
白黒でスキャンします。

■ ［カスタム設定］
スキャンした画像の品質の調整を設定します。

スキャンした画像の調整を行った場合、画像の種類は［カスタム設定］へ変更されます。

■ ［スキャンした画像の品質の調整］
クリックすると、詳細プロパティの画面が表示されます。
詳細プロパティ画面では、明るさ、コントラスト、解像度、画像の種類（カラー、グレースケール、白黒）を指定することができます。

［カスタム設定］が選択されているときに、これらを設定することができます。

■ プレビュー画面
スキャンのプレビューを表示します。

■ ［プレビュー］
クリックすると、プレビュー画面でプレビュー表示します。

■ ［スキャン］
クリックすると、スキャンを開始します。

■ ［キャンセル］
クリックすると、WIA ドライバーの画面を閉じます。

本体操作によるスキャン

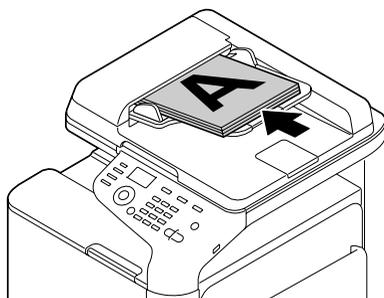
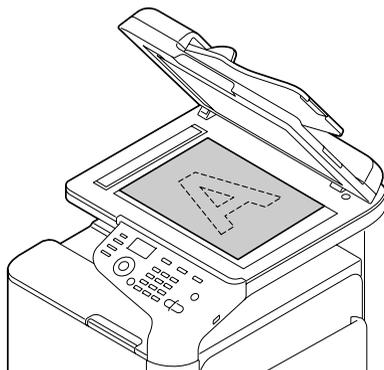
本体のキー操作でスキャンを実行します。アプリケーションからのスキャンと異なり、スキャンデータの送信先を設定することができます。

設定を入力中、キー入力がない状態で［ｵｰﾄﾘｾｯﾄ］の設定時間が経過すると、入力中の内容がキャンセルされ、画面表示がメイン（スキャンモード）画面に戻ります。

基本的なスキャン操作

1 ［スキャン］キーを押します。

2 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

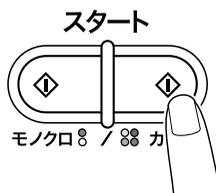
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）および「ADF 上に原稿をセットする」（p.180）をごらんください。

3 必要な設定を行います。

ネットワーク接続時に必要となるデータ送信先の設定については、「送信先アドレスの設定（メール /FTP/SMB 送信）」（p.246）をごらんください。
データ形式の設定については、「データ形式の設定」（p.303）をごらんください。
スキャン画質の設定については、「スキャン画質の設定」（p.305）をごらんください。
両面スキャンの設定については、「両面スキャンの設定」（p.311）をごらんください。
スキャンサイズの設定については、「スキャンサイズの設定」（p.314）をごらんください。
スキャンデータのカラー設定については、「スキャンカラーの設定」（p.315）をごらんください。
データ送信時の件名の設定については、「件名の設定」（p.316）をごらんください。

4 カラーでスキャンする場合は、［スタート（カラー)］キーを押します。

モノクロでスキャンする場合は、［スター（モノクロ)］キーを押します。

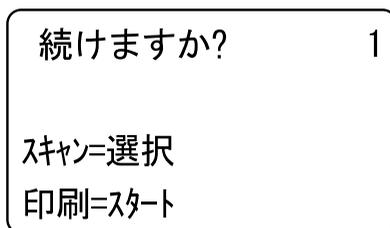
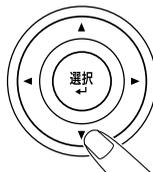
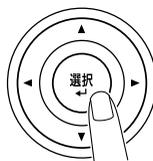
ADF に原稿をセットした場合は、読み込みが開始され、指定した場所に送信されます。

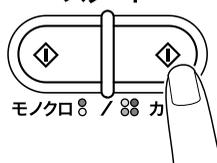
原稿ガラスに原稿をセットした場合のみ、手順 5 以降を行ってください。

［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ設定］-［機能番号］-［許可しない］で［SCAN TO E-MAIL］や［SCAN TO USB ﾒﾓﾘｰ］、［SCAN TO ｻｰﾊﾞｰ］が［許可しない］に設定されているときは、［スタート］キーを押したあとに機能番号を入力します。

5 メッセージウィンドウに［続けますか ?］と表示されたら、原稿ガラスに次のページをセットし、［選択］キーを押します。

続けますか?　1

ｽｷｬﾝ=選択

印刷=ｽﾀｰﾄ

6 ［▲］、［▼］キーを押して手順5でセットした原稿のサイズを選択し、［選択］キーを押します。

読込みｻｲｽﾞ　1/2
A5
A4
B5

7 全ページの読み込みが完了したら、［スタート］キーを押します。

読み込んだ原稿が指定した場所に送信されます。

読み込み中にストップ/リセットキーを押すと、［ｼﾞｮﾌﾞｷｬﾝｾﾙしますか?］と表示されます。読み込みを中止する場合は、［はい］を選択してください。読み込みを続ける場合は、［いいえ］を選択してください。

読み込みが完了し送信待ち状態のジョブを取り消すには、「送信待ちジョブの取り消し」（p.318）をごらんください。

データ保存先の設定

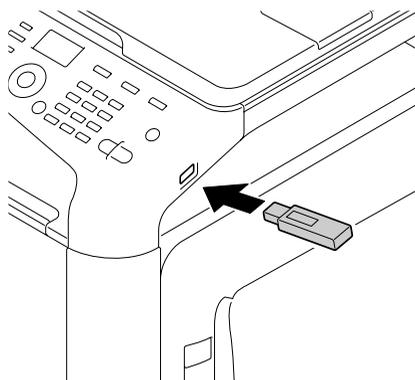
スキャンしたデータをコンピューターまたはUSBメモリーに保存します。ネットワーク経由で送信する場合は「送信先アドレスの設定（メール/FTP/SMB送信）」（p.246）をごらんください。

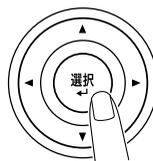
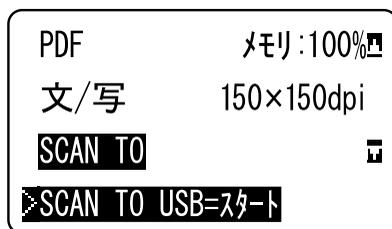
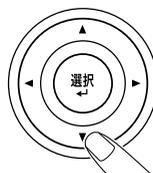
データ送信先としてアドレスが設定されている場合は、コンピューターまたはUSBメモリーを保存先に指定できません。

USB メモリーに保存する（SCAN TO USB メモリー）

本機の USB ホストポートに接続した USB メモリーにスキャンデータを保存する場合は、以下の手順で設定します。

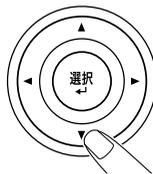
本機は、4GB 以下の容量の USB メモリーに対応しています。

1 本機の **USB** ホストポートに **USB** メモリーを接続します。

2 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［SCAN TO］を選択し、［選択］キーを押します。

PDF　メモリ:100%
文/写　150×150dpi
SCAN TO
>SCAN TO USB=スタート

3 ［▲］、［▼］キーを押して［SCAN TO USB ﾒﾓﾘｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

USB メモリーによっては、スキャンデータを転送するのに時間がかかることがあります。

送信先を設定します

SCAN TO USBﾒﾓﾘｰ

送信先アドレスの設定（メール /FTP/SMB 送信）

ネットワーク経由で、スキャンデータを指定したアドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）に送信します。アドレスは直接入力するか、本機に登録したアドレスから選択することができます。

ネットワーク経由でスキャンデータを送信するには、ネットワークおよびメール（メールで送信する場合）の設定が必要です。

スキャンデータをメールで送信する場合、データサイズが［設定ﾒﾆｭｰ］-［読込み設定］-［ﾌｧｲﾙ ｻｲｽﾞ］の設定値を超えていると自動的に複数のメールに分割されます。詳しくは、「読込み設定メニュー」（p.111）をごらんください。

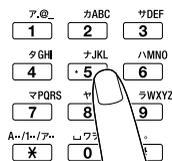
スキャンデータを FTP サーバーまたは Windows を搭載するコンピューターの共有フォルダーへ保存する場合、短縮ダイアルに FTP アドレスまたは SMB アドレスを登録する必要があります。これらのアドレスは、LSP（Local Setup Program）または EpsonNet Config でのみ登録を行うことができます。詳しくは、［リファレンスガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

メールアドレスを直接入力する

スキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス）を直接入力します。

直接入力で設定可能なアドレス（直接入力および LDAP 検索で指定したメールアドレスの合計）は最大 16 件です。

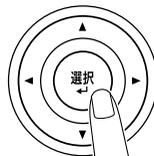
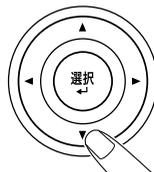
1 メイン（スキャンモード）画面で、テンキーを押して送信先アドレス（英数字、記号で最大 **64** 文字）を入力します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.433）をごらんください。

送信先　1/236
:user01@xxx
[A…]
はい=選択

2 入力が完了したら、[選択] キーを押します。

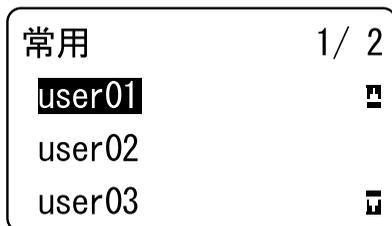
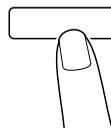
3 ［▲］、［▼］キーを押して［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

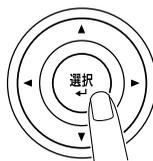
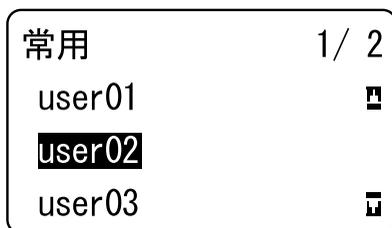
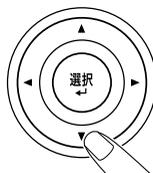
送信先
追加
確認/編集
終了

メールアドレスを続けて追加するには、手順 3 で［追加］を選択し、送信先を指定します。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 3 で［確認 / 編集］を選択します。指定したメールアドレスを修正するには、手順 3 で［確認 / 編集］を選択し、「指定した送信先アドレスを編集する」（p.264）の手順 2 以降を実行します。削除するには、手順 3 で［確認 / 編集］を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.267）の手順 2 以降を実行します。

常用リストから指定する

［常用］とは、本機に登録されている短縮ダイアルおよびグループダイアルから、特に頻繁に使用する宛先（最大 20 件）をより便利に登録しておく機能です。ここでは、常用リストを使ってスキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を指定します。

常用リストにアドレスを登録する方法については、「常用に登録する」（p.270）をごらんください。

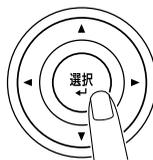
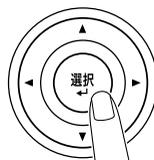
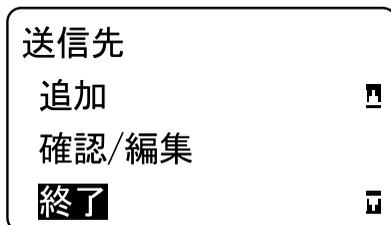
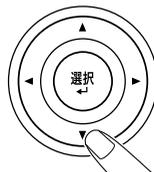
1 メイン（スキャンモード）画面または［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されているときに、［登録宛先］キーを押して［常用］を表示させます。

常用 1/ 2
user01
user02
user03

2 ［▲］、［▼］キーを押してアドレスを選択し、［選択］キーを押します。

常用 1/ 2
user01
user02
user03

3 もう一度［選択］キーを押します。

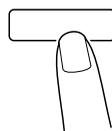
FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定した場合は、送信先アドレスが設定されます。

4 メールアドレスを指定した場合は、[▲]、[▼]キーを押して[終了]を選択し、[選択]キーを押します。

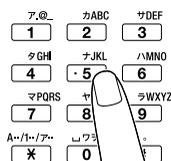
送信先
追加
確認/編集
終了

送信先のメールアドレスは、最大 236 件まで指定できます。
メールアドレスを続けて追加するには、手順 3 で［追加］を選択し、送信先を指定します。FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 3 で［確認 / 編集］を選択します。削除するには、手順 3 で［確認 / 編集］を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.267）の手順 2 以降を実行します。

短縮ダイアルから指定する

本機には最大 250 件の短縮ダイアルを登録できます。ここでは、短縮ダイアルを使ってスキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を指定します。

短縮ダイアルにアドレスを登録する方法については、「直接入力で短縮ダイアルを登録する」（p.279）および「LDAP 検索を使って短縮ダイアルを登録する」（p.283）をごらんください。

1 メイン（スキャンモード）画面または［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されているときに、［登録宛先］キーを **2** 度押して［短縮ﾀﾞｲｱﾙ］を表示させます。

送信先　　1/236
短縮ﾀﾞｲｱﾙ：

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ=宛先

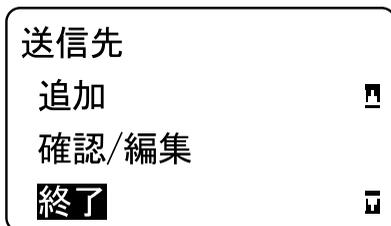
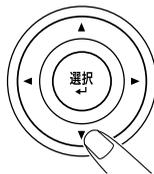
2 テンキーで目的の短縮ダイアル番号（1 ～ 250）を入力し、［選択］キーを押します。
選択した短縮ダイアルの内容が約 2 秒間表示されます。

送信先　1/236
短縮ﾀﾞｲｱﾙ：2_

－選択ｷｰを押す－

3 もう一度［選択］キーを押します。

FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定した場合は、送信先アドレスが設定されます。

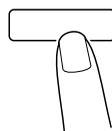
4 メールアドレスを指定した場合は、［▲］、［▼］キーを押して［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

送信先のメールアドレスは、最大 236 件まで指定できます。
メールアドレスを続けて追加するには、手順 4 で［追加］を選択し、送信先を指定します。FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 4 で［確認 / 編集］を選択します。削除するには、手順 4 で［確認 / 編集］を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.267）の手順 2 以降を実行します。

グループダイアルから指定する

本機には最大 20 件のグループダイアルを登録できます。（グループ 1 件あたり最大 50 件のメールアドレスを登録できます。）ここでは、グループダイアルを使ってスキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス）を指定します。

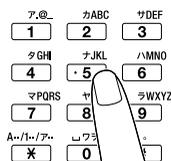
グループダイアルにメールアドレスを登録する方法については、「グループダイアルを登録する」（p.293）をごらんください。

電話番号が含まれているグループダイアルはスキャンモードでは使用できません。

1 メイン（スキャンモード）画面または［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されているときに、［登録宛先］キーを **3** 度押して［ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ］を表示させます。

送信先　1/236
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ :_

ｱﾄﾞﾚｽ帳=宛先

2 テンキーで目的のグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、［選択］キーを押します。

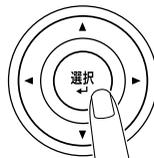
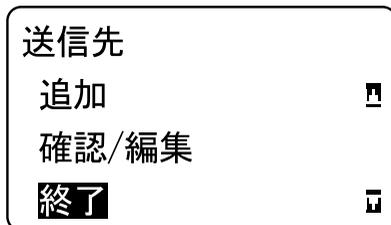
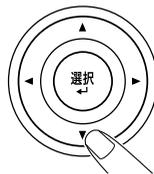
選択したグループダイアルの内容が約 2 秒間表示されます。

送信先　1/236
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ :2_

-選択ｷｰを押す-

3 もう一度［選択］キーを押します。

4 ［▲］、［▼］キーを押して［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

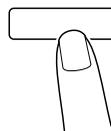
送信先のメールアドレスは、最大 236 件まで指定できます。
メールアドレスを続けて追加するには、手順 4 で［追加］を選択し、送信先を指定します。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 4 で［確認 / 編集］を選択します。削除するには、手順 4 で［確認 / 編集］を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.267）の手順 2 以降を実行します。

送信先
追加
確認/編集
終了

アドレス帳から指定する

本機に登録した短縮ダイアルとグループダイアルは、アドレス帳に保存されます。ここでは、アドレス帳を使ってスキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を指定します。

アドレス帳に登録されているデータが 1 件もない場合は、この機能は使用できません。

1 メイン（スキャンモード）画面または［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されているときに、［登録宛先］キーを **4** 度押して［ｱﾄﾞﾚｽ帳］を表示させます。

ｱﾄﾞﾚｽ帳 1/1
ﾘｽﾄ
検索
LDAP検索

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ﾘｽﾄ］を選択し、［選択］キーを押します。

アドレス帳の内容が一覧で表示されます。

ｱﾄﾞﾚｽ帳 1/1
ﾘｽﾄ
検索
LDAP検索

3 ［▲］、［▼］キーを押してアドレスを選択し、［選択］キーを押します。

ｱﾄﾞﾚｽ帳一覧
user01
user02
user03

4 もう一度［選択］キーを押します。

FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定した場合は、送信先アドレスが設定されます。

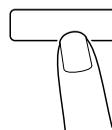
5 メールアドレスを指定した場合は、［▲］、［▼］キーを押して［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

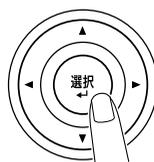
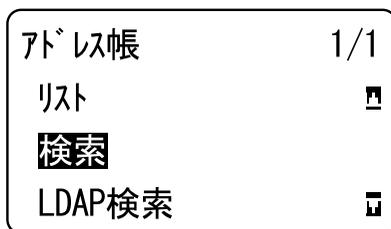
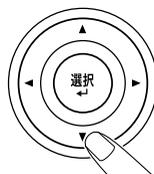
送信先のメールアドレスは、最大 236 件まで指定できます。
メールアドレスを続けて追加するには、手順 5 で［追加］を選択し、送信先を指定します。FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 5 で［確認 / 編集］を選択します。削除するには、手順 5 で［確認 / 編集］を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.267）の手順 2 以降を実行します。

アドレス帳から検索する

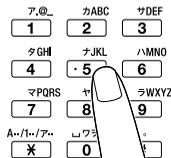
アドレス帳の検索機能を使って、スキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を指定します。

アドレス帳に登録されているデータが 1 件もない場合は、この機能は使用できません。

1 メイン（スキャンモード）画面または［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されているときに、［登録宛先］キーを **4** 度押して［ｱﾄﾞﾚｽ帳］を表示させます。

2 ［▲］、［▼］キーを押して［検索］を選択し、［選択］キーを押します。

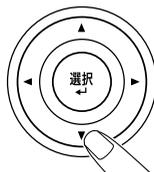
ｱﾄﾞﾚｽ帳 1/1
ﾘｽﾄ
検索
LDAP検索

3 テンキーで検索キーワード（カタカナ、英数字、記号で最大 10 文字）を入力し、［選択］キーを押します。

検索が開始され、しばらくすると検索結果が表示されます。検索キーワードに適合する情報がない場合は、［見つかりません］というメッセージが約 2 秒間表示されます。

ｱﾄﾞﾚｽ帳検索
:user01_
[A··]

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.433）をごらんください。

検索対象は名前の 1 番目の文字から最大 10 文字です。検索キーワードが文字の途中に含まれている情報は検索されません。

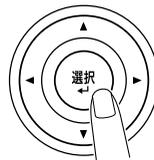
4 ［▲］、［▼］キーを押してアドレスを選択し、［選択］キーを押します。

検索を絞り込みたい場合は、［戻る］キーを押し、再度手順 3 を行ってください。

ｱﾄﾞﾚｽ帳検索
user01

5 もう一度［選択］キーを押します。

FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定した場合は、送信先アドレスが設定されます。

6 メールアドレスを指定した場合は、［▲］、［▼］キーを押して［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

送信先のメールアドレスは、最大 236 件まで指定できます。
メールアドレスを続けて追加するには、手順 6 で［追加］を選択し、送信先を指定します。FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 6 で［確認 / 編集］を選択します。削除するには、手順 6 で［確認 / 編集］を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.267）の手順 2 以降を実行します。

LDAP サーバーから検索する

LDAP サーバーの情報を使って、スキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス）を指定します。

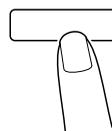
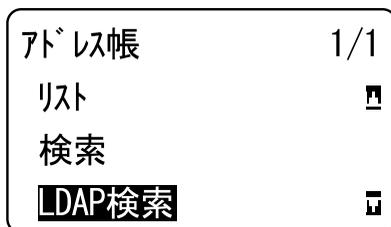
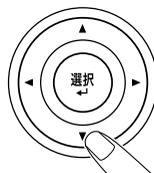
LDAP サーバーに接続するには、LDAP の設定が必要です。詳しくは、［リファレンスガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

直接入力で設定可能なアドレス（直接入力および LDAP 検索で指定したメールアドレスの合計）は最大 16 件です。

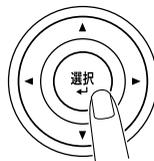
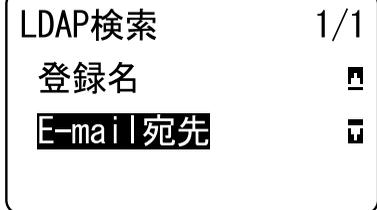
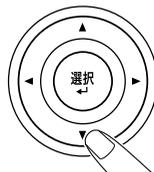
匿名権限で LDAP サーバーから情報を検索する場合、正しい検索結果が得られないことがあります。

1 メイン（スキャンモード）画面または［ｱﾄﾞﾚｽ帳が使えます］が表示されているときに、［登録宛先］キーを **4** 度押して［ｱﾄﾞﾚｽ帳］を表示させます。

2 ［▲］、［▼］キーを押して［LDAP 検索］を選択し、［選択］キーを押します。

ｱﾄﾞﾚｽ帳 1/1
ﾘｽﾄ
検索
LDAP検索

3 ［▲］、［▼］キーを押して［登録名］または［E-mail 宛先］を選択し、［選択］キーを押します。

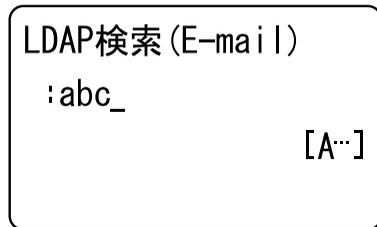
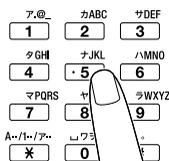
登録名で検索する場合は［登録名］を、メールアドレスで検索する場合は［E-mail 宛先］を選択します。

LDAP検索　1/1
登録名
E-mail宛先

4 テンキーで検索キーワード（英数字、記号で最大 10 文字）を入力し、［選択］キーを押します。

検索が開始され、しばらくすると検索結果が表示されます。検索キーワードに適合する情報がない場合は、［見つかりません］というメッセージが約 2 秒間表示されます。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.433）をごらんください。

検索対象は 1 番目の文字から最大 10 文字です。検索キーワードが文字の途中に含まれている情報は検索されません。

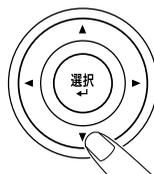
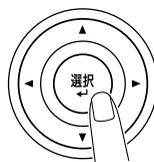
LDAP検索(E-mail)
:abc_
[A…]

5 ［▲］、［▼］キーを押してデータを選択し、［選択］キーを押します。

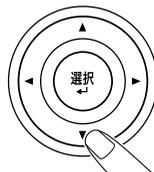
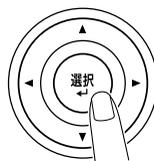
- 検索された情報の内容を確認するには、［▶］キーを押します。

- 文字数が 64 文字を超えているメールアドレスを選択することはできません。選択した場合は［宛先が長すぎます］というメッセージが約 2 秒間表示され、送信先アドレスの設定画面に戻ります。

- 検索を絞り込みたい場合は、［戻る］キーを押し、再度手順 4 を行ってください。

LDAP検索(E-mail)
abc@xxx
abc01@xxx

6 もう一度［選択］キーを押します。

7 ［▲］、［▼］キーを押して［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

メールアドレスを続けて追加するには、手順 7 で［追加］を選択し、送信先を指定します。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 7 で［確認 / 編集］を選択します。指定したメールアドレスを修正するには、手順 7 で［確認 / 編集］を選択し、「指定した送信先アドレスを編集する」（p.264）の手順 2 以降を実行します。
指定したメールアドレスを削除するには、手順 7 で［確認 / 編集］を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.267）の手順 2 以降を実行します。編集することはできません。

複数の送信先アドレスを指定する

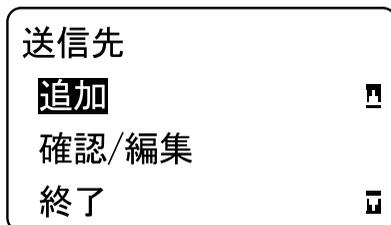
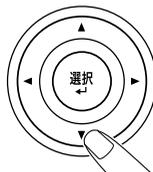
送信先アドレス（メールアドレス）がすでに設定されている状態で、別のメールアドレスを送信先として追加します。

送信先のメールアドレスは、最大 236 件まで指定できます。

FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のデータ送信先設定を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して［追加］を選択し、［選択］キーを押します。

送信先
追加
確認/編集
終了

3 送信先のメールアドレスを指定します。

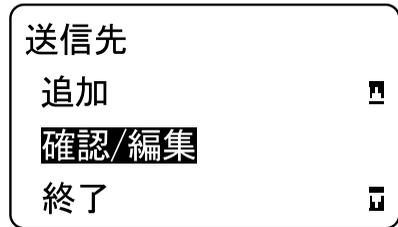
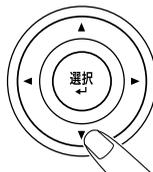
アドレスを直接入力する場合は、「メールアドレスを直接入力する」（p.246）をごらんください。
常用リストから指定する場合は、「常用リストから指定する」（p.248）をごらんください。
短縮ダイアルから指定する場合は、「短縮ダイアルから指定する」（p.250）をごらんください。
グループダイアルから指定する場合は、「グループダイアルから指定する」（p.252）をごらんください。
アドレス帳から指定する場合は、「アドレス帳から指定する」（p.254）をごらんください。
アドレス帳から検索する場合は、「アドレス帳から検索する」（p.256）をごらんください。
LDAP サーバーから検索する場合は、「LDAP サーバーから検索する」（p.259）をごらんください。

指定した送信先アドレスを編集する

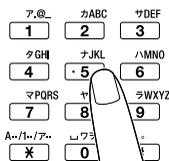
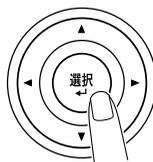
設定済みの送信先アドレス（メールアドレス）を編集します。

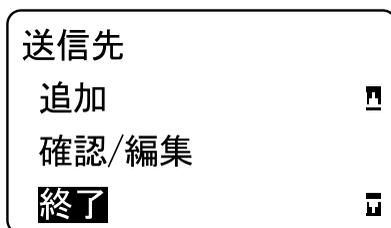
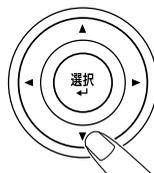
FTP アドレス、SMB アドレス、短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録されているアドレスは、編集できません。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のデータ送信先設定を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して［確認 / 編集］を選択し、［選択］キーを押します。

3 [▲]、[▼] キーを押して編集するメールアドレスを選択し、[選択] キーを押します。

送信先　　　1/　1
user01@xxx

4 テンキーでメールアドレスを編集し、[選択] キーを押します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」(p.433) をごらんください。

送信先
:user01@xxx
[A⋯]
はい=選択

5 送信先アドレスの編集を完了するには、[戻る] キーを押します。

6 [▲]、[▼] キーを押して [終了] を選択し、[選択] キーを押します。

指定した送信先アドレスを削除する

設定済みの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を削除します。

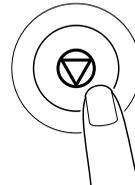
ここでの削除操作は、元のデータ（短縮ダイアル、グループダイアルなど）には反映されません。

1 メイン（スキャンモード）画面で [▲]、[▼] キーを押して現在のデータ送信先設定を選択し、[選択] キーを押します。

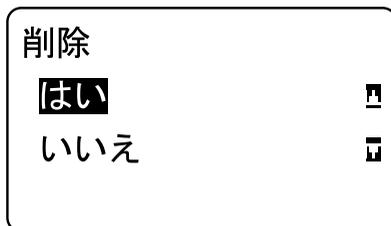
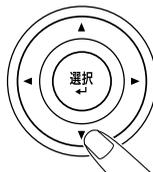
2 メールアドレスを削除する場合は、[▲]、[▼] キーを押して [確認 / 編集] を選択し、[選択] キーを押します。続けて [▲]、[▼] キーを押して削除するダイアル名またはアドレスを選択します。

FTP アドレスまたは SMB アドレスを削除する場合は、そのまま手順 3 に進みます。

送信先
追加
確認/編集
終了

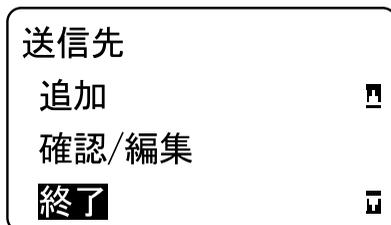
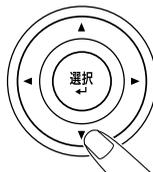
3 [ストップ / リセット] キーを押します。

4 [▲]、[▼] キーを押して [はい] を選択し、[選択] キーを押します。

選択した送信先アドレスが削除されます。

指定されていたアドレスが全て削除された場合は、メイン(スキャンモード) 画面に戻ります。

5 さらに送信先アドレスを削除する場合は、手順 2 ～ 4 を繰り返します。

6 送信先アドレスの削除を完了するには、[戻る] キーを押します。

7 ［▲］、［▼］キーを押して［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

送信先
追加
確認/編集
終了

アドレスの登録／編集

常用リスト、短縮ダイアル、グループダイアルのアドレスを登録／編集します。

アドレスの登録／編集は、付属のソフトウェアディスクに収録されている LSP（Local Setup Program）および EpsonNet Config でも操作できます。詳しくは、［リファレンスガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

アドレスの登録／編集は、FAX 番号の登録／編集と同じ設定メニューを使用します。FAX 番号の登録／編集については、［ファクスユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

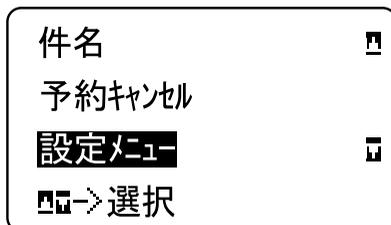
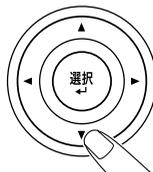
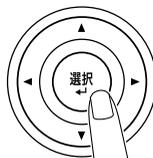
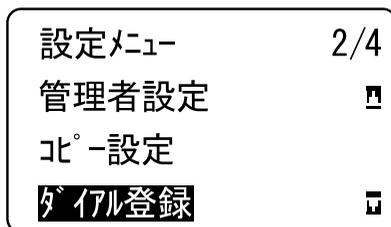
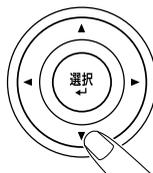
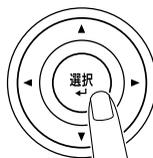
常用に登録する

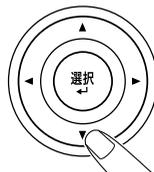
［常用］とは、本機に登録されている短縮ダイアルおよびグループダイアルから、特に頻繁に使用する宛先（最大 20 件）をより便利に登録しておく機能です。ここでは、常用リストに新しいアドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を登録します。

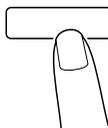
1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

件名
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼->選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

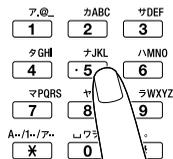
設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

3 [▲]、[▼] キーを押して [常用] を選択し、[選択] キーを押します。

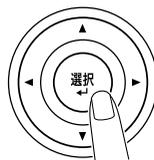
[常用] がすでに登録されている場合は、手順 3 のあと、手順 7 に進みます。

ﾀﾞｲｱﾙ登録 1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

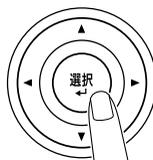
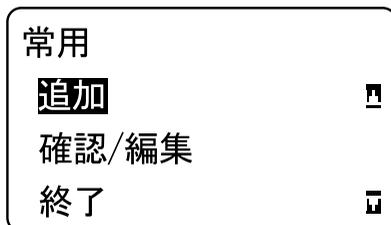
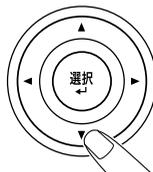
4 [登録宛先] キーを押して、[短縮ﾀﾞｲｱﾙ] と [ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ] を切り替えます。

常用 4/20
送信先
短縮ﾀﾞｲｱﾙ:_
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ=宛先

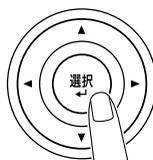
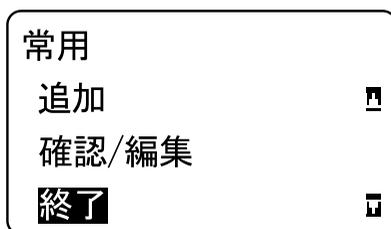
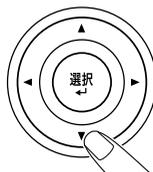
常用 4/20
送信先
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ:_
短縮ﾀﾞｲｱﾙ=宛先

5 テンキーで常用リストに登録する短縮ダイアル番号（1 ～ 250）またはグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、［選択］キーを押します。

選択した短縮ダイアルまたはグループダイアルの内容が表示されます。

常用　4/20
送信先
短縮ﾀﾞｲｱﾙ:2
-選択ｷｰを押す-

6 もう一度［選択］キーを押します。

7 別の宛先を続けて登録するには、[▲]、[▼] キーを押して [追加] を選択し、[選択] キーを押してから、手順 4 ～ 6 を繰り返します。

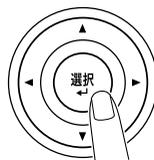
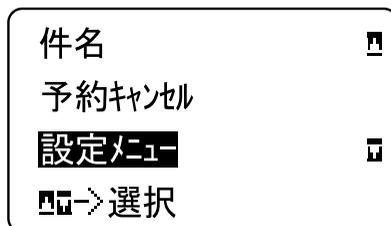
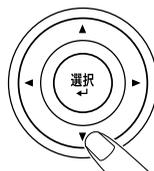
常用
追加
確認/編集
終了

8 [常用] への登録を完了するには、[▲]、[▼] キーを押して [終了] を選択し、[選択] キーを押します。

常用
追加
確認/編集
終了

常用から削除する

常用リストから登録した宛先を削除します。

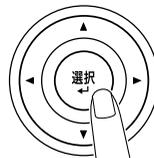
ここでの削除操作は、元のデータ（短縮ダイアル、グループダイアル）には反映されません。

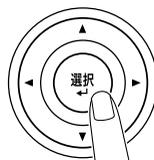
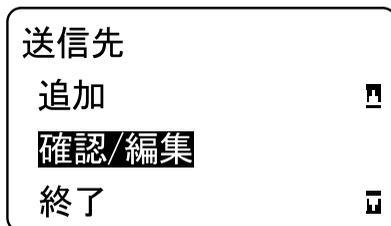
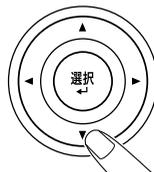
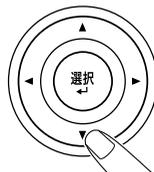
1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

件名
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼-> 選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

設定ﾒﾆｭｰ　2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

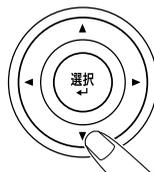
3 ［▲］、［▼］キーを押して［常用］を選択し、［選択］キーを押します。

ﾀﾞｲｱﾙ登録　1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

4 ［▲］、［▼］キーを押して［確認 / 編集］を選択し、［選択］キーを押します。

送信先
追加
確認/編集
終了

5 ［▲］、［▼］キーを押して削除する宛先を選択し、［ストップ/リセット］キーを押します。

常用 5/ 6
user01
user02
user03

ストップ/リセット

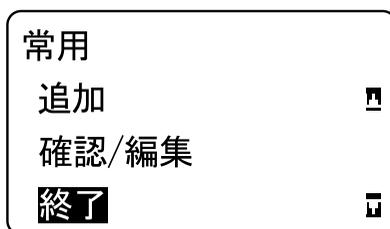
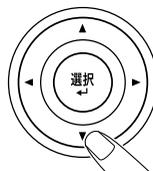
6 ［▲］、［▼］キーを押して［はい］を選択し、［選択］キーを押します。

選択した宛先が削除されます。

削除
はい
いいえ

7 別の宛先を続けて削除するには、手順 5 ～ 6 を繰り返します。

8 ［常用］から削除を完了するには、［戻る］キーを押します。

9 ［▲］、［▼］キーを押して［終了］を選択し、［選択］キーを押します。

常用
追加
確認/編集
終了

直接入力で短縮ダイアルを登録する

本機の短縮ダイアルにメールアドレスを登録します。短縮ダイアルは最大 250 件まで登録できます。

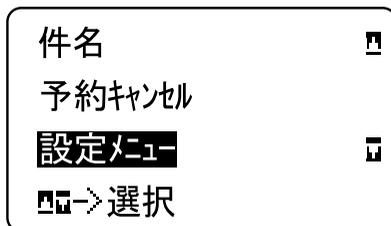
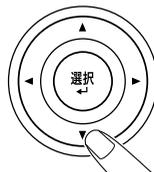
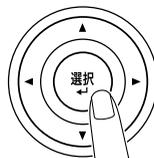
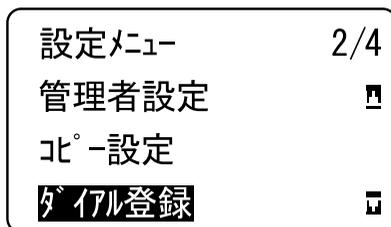
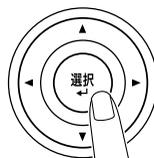
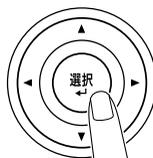
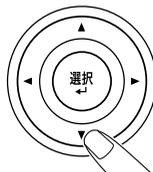
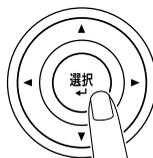
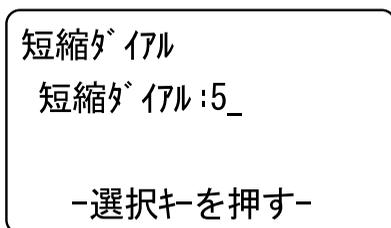
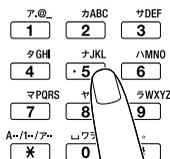
本機のキー操作では、短縮ダイアルに FTP アドレスおよび SMB アドレスを登録することはできません。これらのアドレスは、LSP（Local Setup Program）または EpsonNet Config で登録してください。詳しくは、［リファレンスガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

短縮ダイアル番号 221 ～ 250 は、LSP（Local Setup Program）または EpsonNet Config で FTP アドレスおよび SMB アドレスを登録するための番号として予約されています。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

件名
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼->選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

3 [▲]、[▼] キーを押して [短縮ﾀﾞｲｱﾙ] を選択し、[選択] キーを押します。

4 テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、[選択] キーを押します。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ
短縮ﾀﾞｲｱﾙ :5_
-選択ｷｰを押す-

5 ［▲］、［▼］キーを押して［手動設定］を選択し、［選択］キーを押します。

LDAP サーバーが設定されていない場合は、手順 5 は省略されます。

```
短縮ﾀﾞｲｱﾙ 005          1/1
 手動設定
 LDAP検索
```

6 テンキーで登録名を入力し、［選択］キーを押します。

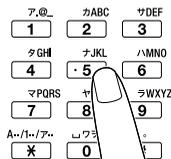
文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.433）をごらんください。

入力可能な文字数はカタカナ、英数字、記号で最大 20 文字です。

```
短縮ﾀﾞｲｱﾙ 005
 登録名
 :user05_          [1…]
```

7 テンキーでメールアドレスを入力し、[選択]キーを押します。

登録が完了し、[ﾀﾞｲｱﾙ登録]メニューに戻ります。

入力可能な文字数は英数字、記号で最大 64 文字です。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ 005
送信先
:user05@xxx_ [A··]

LDAP 検索を使って短縮ダイアルを登録する

LDAP サーバーの情報を使って、本機の短縮ダイアルにメールアドレスを登録します。短縮ダイアルは最大 250 件まで登録できます。

LDAP サーバーに接続するには、LDAP の設定が必要です。詳しくは、[リファレンスガイド](ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル)をごらんください。

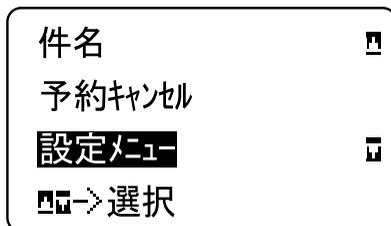
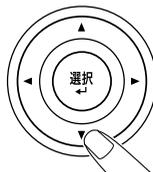
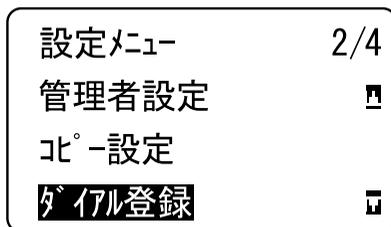
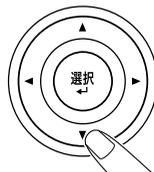
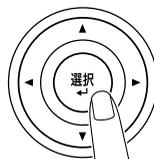
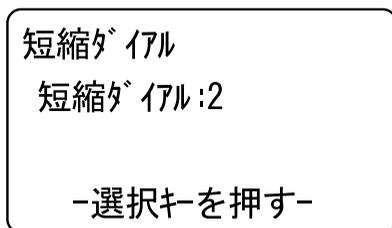
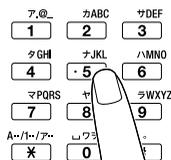
本機のキー操作では、短縮ダイアルに FTP アドレスおよび SMB アドレスを登録することはできません。これらのアドレスは、LSP(Local Setup Program)または EpsonNet Config で登録してください。詳しくは、[リファレンスガイド](ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル)をごらんください。

短縮ダイアル番号 221 ~ 250 は、LSP(Local Setup Program)または EpsonNet Config で FTP アドレスおよび SMB アドレスを登録するための番号として予約されています。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

件名
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼->選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

3 ［▲］、［▼］キーを押して［短縮ﾀﾞｲｱﾙ］を選択し、［選択］キーを押します。

4 テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ
短縮ﾀﾞｲｱﾙ:2
-選択ｷｰを押す-

5 ［▲］、［▼］キーを押して［LDAP 検索］を選択し、［選択］キーを押します。

LDAP サーバーが設定されていない場合は、［LDAP 検索］が表示されません。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ 005 1/1
手動設定
LDAP検索

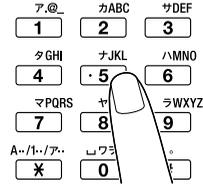
6 ［▲］、［▼］キーを押して［登録名］または［E-mail 宛先］を選択し、［選択］キーを押します。

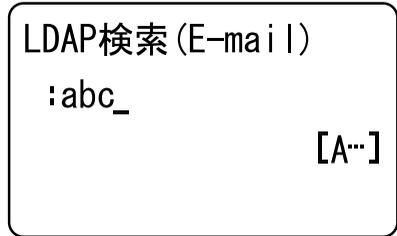
登録名で検索する場合は［登録名］を、メールアドレスで検索する場合は［E-mail 宛先］を選択します。

LDAP検索 1/1
登録名
E-mail宛先

7 テンキーで検索キーワード（英数字、記号で最大 10 文字）を入力し、［選択］キーを押します。

検索が開始され、しばらくすると検索結果が表示されます。検索キーワードに適合する情報がない場合は、［見つかりません］というメッセージが約 2 秒間表示されます。

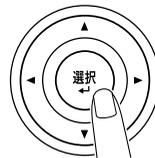
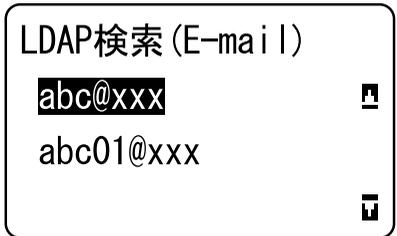
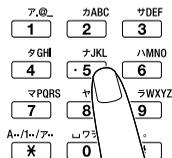
LDAP検索(E-mail)
:abc_
[A…]

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.433）をごらんください。

検索対象は 1 番目の文字から最大 10 文字です。検索キーワードが文字の途中に含まれている情報は検索されません。

8 ［▲］、［▼］キーを押して目的のデータを選択し、［選択］キーを押します。

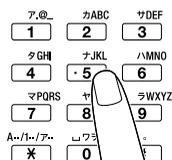
検索された情報の内容を確認するには、［▶］キーを押します。

LDAP検索(E-mail)
abc@xxx
abc01@xxx

文字数が 64 文字を超えているメールアドレスを選択することはできません。選択した場合は［宛先が長すぎます］というメッセージが約 2 秒間表示され、送信先アドレスの設定画面に戻ります。

検索を絞り込みたい場合は、［戻る］キーを押し、再度手順 7 を行ってください。

9 必要に応じて、テンキーで登録名を編集し、[選択] キーを押します。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ 005
登録名
:user05_ [1…]

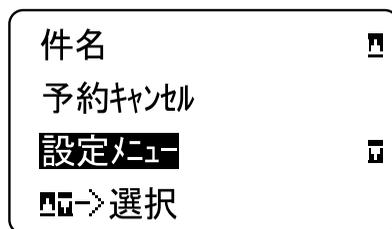
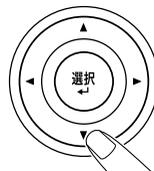
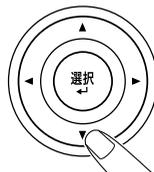
10 必要に応じて、テンキーでメールアドレスを編集し、[選択] キーを押します。

登録が完了し、[ﾀﾞｲｱﾙ登録] メニューに戻ります。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ 005
送信先
:user05@xxx_ [A…]

短縮ダイアルの編集／削除

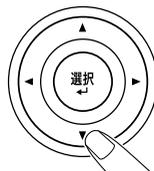
短縮ダイアルに登録されている内容を編集／削除します。

本機のキー操作では、短縮ダイアルに登録されている FTP アドレスおよび SMB アドレスを編集／削除することはできません。これらのアドレスは、LSP（Local Setup Program）または EpsonNet Config で登録してください。詳しくは、[リファレンスガイド]（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

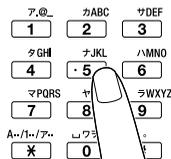
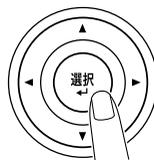
1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

件名
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼->選択

2 [▲]、[▼] キーを押して [ﾀﾞｲｱﾙ登録] を選択し、[選択] キーを押します。

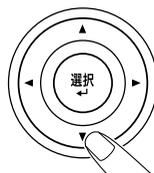
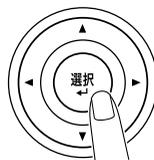
設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

3 [▲]、[▼] キーを押して [短縮ﾀﾞｲｱﾙ] を選択し、[選択] キーを押します。

ﾀﾞｲｱﾙ登録 1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

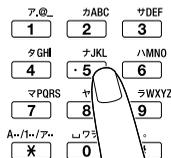
4 テンキーで編集／削除する短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

選択した短縮ダイアルの現在の内容が約 2 秒間表示されます。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ
短縮ﾀﾞｲｱﾙ :2_

-選択ｷ-を押す-

5 ［▲］、［▼］キーを押して、編集する場合は［編集］を、削除する場合は［削除］を選択し、［選択］キーを押します。

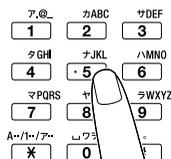
［削除］を選択した場合は、削除が実行され、［ﾀﾞｲｱﾙ登録］メニューに戻ります。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ 011 1/1
編集
削除

6 テンキーで登録名を編集し、［選択］キーを押します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.433）をごらんください。

入力可能な文字数は、カタカナ、英数字、記号で最大 20 文字です。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ 002
登録名
:_ser02 [A…]

7 テンキーでメールアドレスを編集し、［選択］キーを押します。

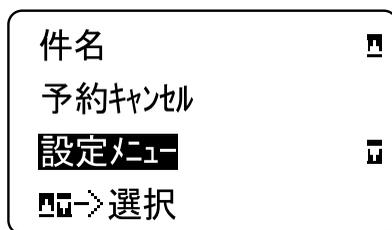
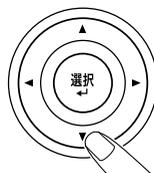
編集内容が保存され、［ﾀﾞｲｱﾙ登録］メニューに戻ります。

編集した短縮ダイアルが、常用リストやグループダイアルに登録されている場合、手順 7 を実行後、登録を維持するかどうかの確認画面が表示されます。登録を維持する場合は［はい］を、破棄する場合は［いいえ］を選択してください。

短縮ﾀﾞｲｱﾙ 002
送信先
:_ser02@xxx [1…]

グループダイアルを登録する

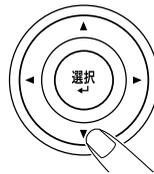
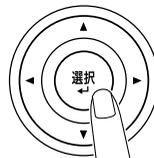
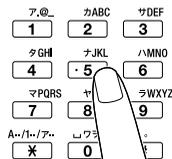
本機のグループダイアルにメールアドレスを登録します。グループダイアルは最大 20 件まで登録できます。（グループ 1 件あたり最大 50 件のメールアドレスを登録できます。）

グループダイアルに登録できるアドレスは、短縮ダイアルまたは別のグループダイアルに登録されているアドレスに限られます。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キー押して［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

件名
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼ｰ>選択

2 [▲]、[▼] キー押して[ﾀﾞｲｱﾙ登録] を選択し、[選択] キーを押します。

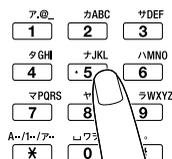
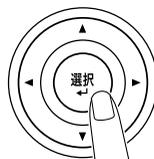
設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

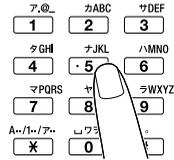
3 [▲]、[▼] キーを押して[ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ] を選択し、[選択] キーを押します。

ﾀﾞｲｱﾙ登録 1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

4 テンキーでグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、［選択］キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ :5_

-選択ｷｰを押す-

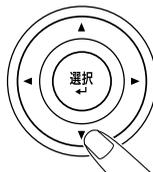
5 テンキーでグループ名を入力し、［選択］キーを押します。

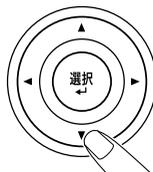
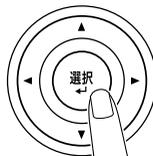
文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.433）をごらんください。

入力可能な文字数は、カタカナ、英数字、記号で最大 20 文字です。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 05
登録名
:GROUP05_ [1…]

6 テンキーでグループに追加する短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

選択した短縮ダイアル番号の内容が表示されます。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ05　　1/50
送信先
短縮ﾀﾞｲｱﾙ:2_
-選択ｷｰを押す-

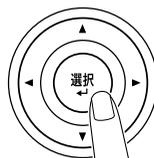
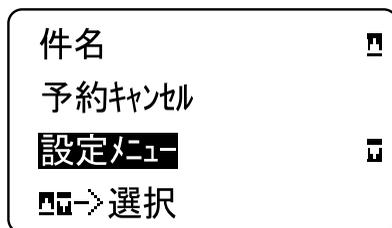
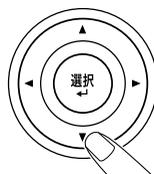
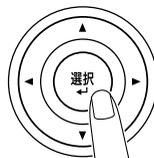
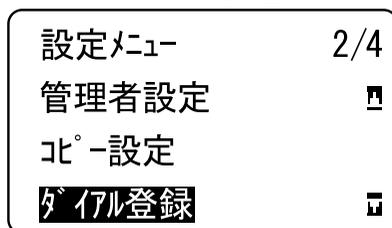
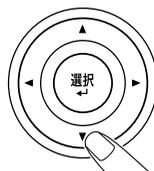
7 もう一度［選択］キーを押します。

8 グループに短縮ダイアルを続けて登録するには、[▲]、[▼] キーを押して [追加] を選択し、[選択] キーを押してから、手順 6 ～ 7 を繰り返します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 05
追加
確認/編集
終了

9 グループダイアルの登録を完了する場合は、[▲]、[▼] キー押して [終了] を選択し、[選択] キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 05
追加
確認/編集
終了

グループダイアルの編集／削除

グループダイアルに登録されている内容を編集／削除します。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［設定ﾒﾆｭｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

件名
予約ｷｬﾝｾﾙ
設定ﾒﾆｭｰ
▲▼->選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ﾀﾞｲｱﾙ登録］を選択し、［選択］キーを押します。

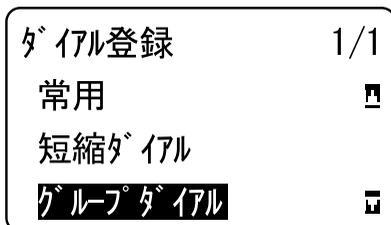
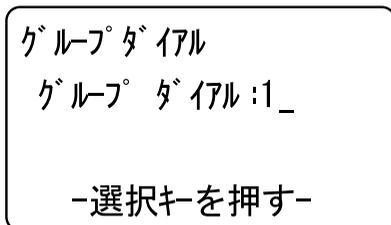
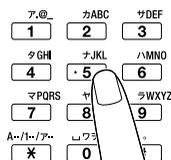
設定ﾒﾆｭｰ 2/4
管理者設定
ｺﾋﾟｰ設定
ﾀﾞｲｱﾙ登録

3 ［▲］、［▼］キーを押して［ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ］を選択し、［選択］キーを押します。

ﾀﾞｲｱﾙ登録　1/1
常用
短縮ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ

4 テンキーで編集／削除するグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、［選択］キーを押します。

選択したグループダイアルの現在の内容が約 2 秒間表示されます。

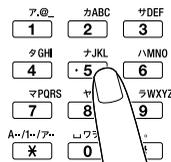
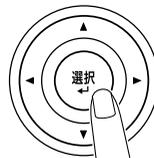
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ :1_
-選択ｷｰを押す-

5 ［▲］、［▼］キーを押して、編集する場合は［編集］を、削除する場合は［削除］を選択し、［選択］キーを押します。

［削除］を選択した場合は、削除が実行され、［ﾀﾞｲｱﾙ登録］メニューに戻ります。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 01　1/1
編集
削除

6 必要に応じてテンキーでグループ名を編集し、［選択］キーを押します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.433）をごらんください。

入力可能な文字数は、カタカナ、英数字、記号で最大 20 文字です。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 01
登録名
:_ROUP01　[1…]

7 [▲]、[▼] キーを押して、短縮ダイアルを追加する場合は [追加] を、削除する場合は [確認 / 編集] を、編集を終了する場合は [終了] を選択し、[選択] キーを押します。

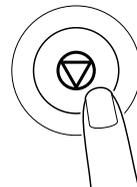
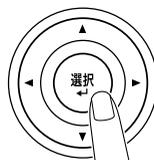
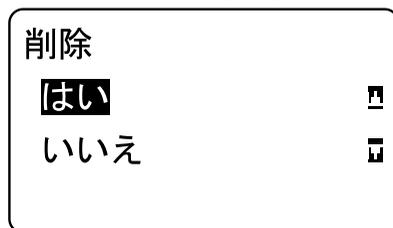
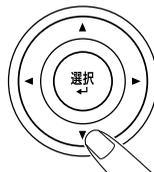
[終了] を選択した場合は、編集内容が保存され、[ﾀﾞｲｱﾙ登録] メニューに戻ります。[追加] を選択した場合は、「グループダイアルを登録する」(p.293) の手順 6 以降を実行してください。[確認 / 編集] を選択した場合は手順 8 に進みます。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 01
追加
確認/編集
終了

8 [▲]、[▼] キーを押して削除する短縮ダイアルを選択し、[ストップ / リセット] キーを押します。

選択した短縮ダイアルの内容を確認するには、[選択] キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01 2/ 3
user01
user02
user03

ストップ/リセット

9 ［▲］、［▼］キーを押して［はい］を選択し、［選択］キーを押します。

10 短縮ダイアルの削除が完了したら、［戻る］キーを押します。

11 別の短縮ダイアルを続けて削除するには、手順 8 ～ 10 を繰り返します。

12 グループダイアルの編集を完了する場合は、[▲]、[▼] キー押して [終了] を選択し、[選択] キーを押します。

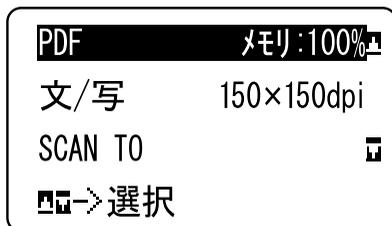
編集したグループダイアルが、常用リストに登録されている場合、手順 12 を実行後、登録を維持するかどうかの確認画面が表示されます。登録を維持する場合は [はい] を、破棄する場合は [いいえ] を選択してください。

ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 01
追加
確認/編集
終了

データ形式の設定

読み込む画像のデータ形式を設定します。

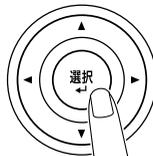
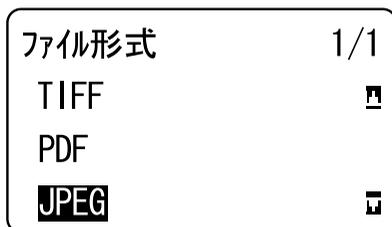
1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のデータ形式設定を選択し、［選択］キーを押します。

PDF メモリ:100%
文/写 150×150dpi
SCAN TO
→選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［TIFF］、［PDF］、［JPEG］のいずれかを選択し、［選択］キーを押します。

メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

両面スキャン設定で［両面］を選択している場合、［PDF］以外は表示されません。また、スキャンカラー設定で［白黒］を選択している場合、［JPEG］は表示されません。

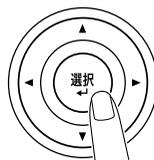
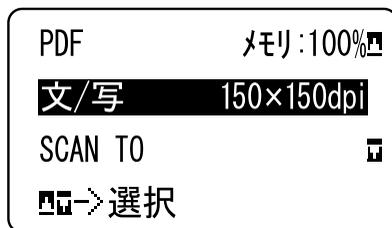
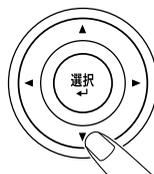
PDFファイルはAdobe Acrobat Reader で開くことができます。

ファイル形式 1/1
TIFF
PDF
JPEG

スキャンカラーの設定を［ｶﾗｰ / ｸﾞﾚｰ］に設定してスキャンした TIFF ファイルは、Windows XP の Windows Picture と FAX Viewer または、Windows Vista の Windows Photo Gallery では開くことができません。Adobe PhotoShop、Microsoft Office Document Imaging、ACDsee など、画像処理アプリケーションで開いてください。

スキャン画質の設定

読み込む画像の内容に合わせて、解像度、スキャンモード、濃度、シャープネスを設定します。

解像度を設定する

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャン画質設定を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して［解像度］を選択し、［選択］キーを押します。

画質 1/2
解像度
ﾓｰﾄﾞ
濃度

3 ［▲］、［▼］キーを押して［150×150dpi］、［300×300dpi］のいずれかを選択し、［選択］キーを押します。

メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

解像度 1/1
150×150dpi
300×300dpi

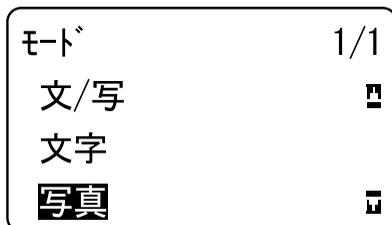
スキャンモードを選択する

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャン画質設定を選択し、［選択］キーを押します。

PDF メモリ:100%
文/写 150×150dpi
SCAN TO
->選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ﾓｰﾄﾞ］を選択し、［選択］キーを押します。

画質 1/2
解像度
ﾓｰﾄﾞ
濃度

3 ［▲］、［▼］キーを押して［文/写］、［文字］、［写真］のいずれかを選択し、［選択］キーを押します。

メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

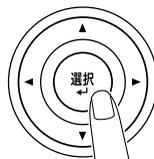
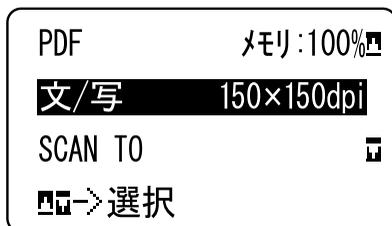
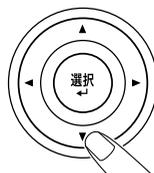
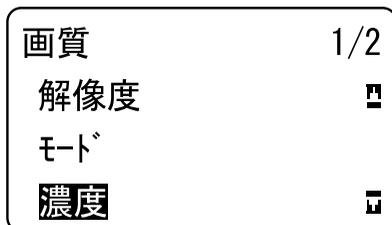
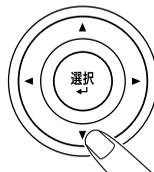
ﾓｰﾄﾞ 1/1
文/写
文字
写真

スキャン濃度を設定する

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャン画質設定を選択し、［選択］キーを押します。

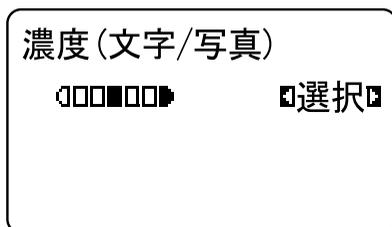
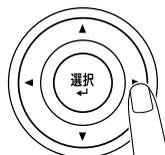
PDF ﾒﾓﾘ:100%
文/写 150×150dpi
SCAN TO
-> 選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［濃度］を選択し、［選択］キーを押します。

画質 1/2
解像度
ﾓｰﾄﾞ
濃度

3 ［◀］、［▶］キーを押して濃度を調節し、［選択］キーを押します。

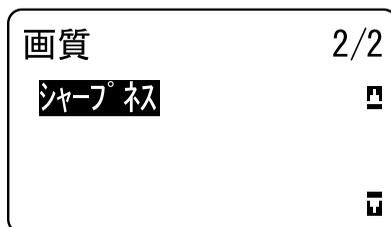
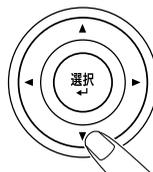
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

［◀］キーを押すと薄くなり、［▶］キーを押すと濃くなります。

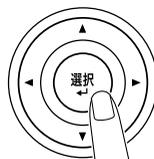
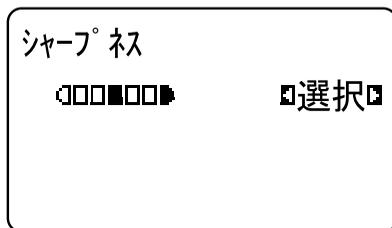
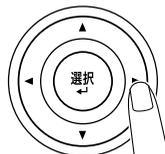
濃度(文字/写真)
選択

シャープネスを設定する

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャン画質設定を選択し、［選択］キーを押します。

PDF メモリ:100%
文/写 150×150dpi
SCAN TO
->選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［ｼｬｰﾌﾟﾈｽ］を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［◀］、［▶］キーを押してシャープネスを調節し、［選択］キーを押します。

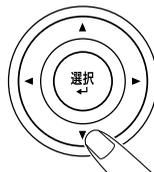
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

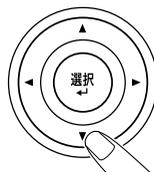
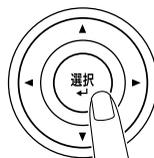
［◀］キーを押すと弱くなり、［▶］キーを押すと強くなります。

両面スキャンの設定

ADF で両面原稿を読み込むには、以下の設定を行います。

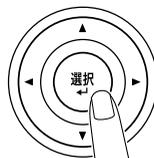
この設定は ADF に原稿がセットされている場合のみ有効です。スキャン実行時に ADF に原稿がセットされていない場合は、自動的に［片面］が設定され、原稿ガラスからスキャンします。

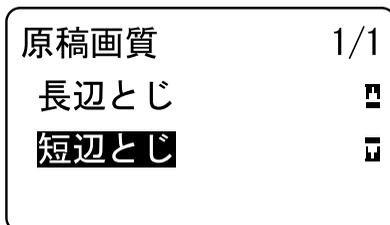
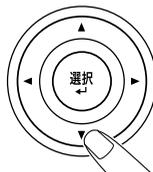
この設定は、読み込む画像のデータ形式で［PDF］が選択されている場合のみ可能です。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の片面／両面スキャン設定を選択し、［選択］キーを押します。

片面
ｻｲｽﾞ:A4
ｶﾗｰ/ｸﾞﾚｰ
▲▼->選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［両面］を選択し、［選択］キーを押します。

片面/両面 1/1
片面
両面

3 [▲]、[▼] キーを押して、読み込む原稿のとじ方向を［長辺とじ］または［短辺とじ］から選択し、[選択] キーを押します。

原稿画質 1/1
長辺とじ
短辺とじ

画面のメッセージを確認し、［選択］キーを押してメイン（スキャンモード）画面に戻ります。

［長辺とじ］および［短辺とじ］については、「ADF を使用した両面コピー」（p.215）をごらんください。

4 必要な設定を行います。

5 原稿の表面を ADF にセットします。

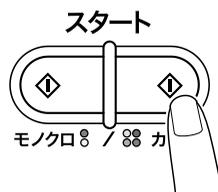
原稿のセットのしかたについては、「ADF 上に原稿をセットする」（p.180）をごらんください。

6 カラーでスキャンする場合は、[スタート（カラー)] キーを押します。

モノクロでスキャンする場合は、[スタート（モノクロ)] キーを押します。

原稿の表面がスキャンされます。

7 原稿の裏面を ADF にセットし、[選択] キーを押します。

原稿の裏面がスキャンされます。

スキャンサイズの設定

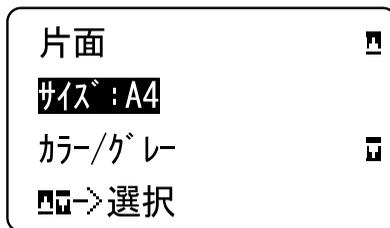
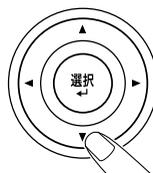
スキャンデータのサイズを設定します。

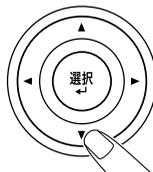
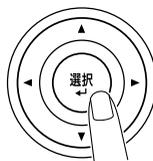
1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャンサイズ設定を選択し、［選択］キーを押します。

片面

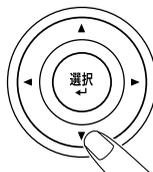
サイズ゛：A4

カラー/グ゛レー

▲▼ー>選択

2 [▲]、[▼] キーを押して目的のサイズを選択し、[選択] キーを押します。

メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

読込みｻｲｽﾞ 1/2
A5
A4
B5

スキャンカラーの設定

スキャンデータのカラー設定を行います。

1 メイン（スキャンモード）画面で [▲]、[▼] キーを押して現在のスキャンカラー設定を選択し、[選択] キーを押します。

片面
ｻｲｽﾞ:A4
ｶﾗｰ/ｸﾞﾚｰ
▲▼->選択

2 ［▲］、［▼］キーを押して［白黒］または［ｶﾗｰ/ｸﾞﾚｰ］を選択し、［選択］キーを押します。

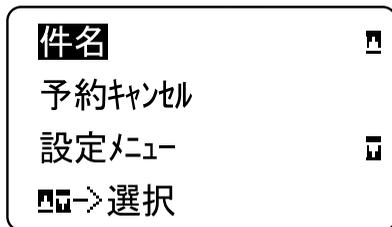
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

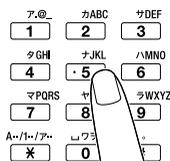
データ形式設定で［JPEG］が設定されている場合、スキャンカラーを［白黒］に設定すると、データ形式設定が自動的に［PDF］に切り替わります。

［白黒］設定時のみ、［設定ﾒﾆｭｰ］-［読込み設定］-［符号化方式］の設定が有効になります。

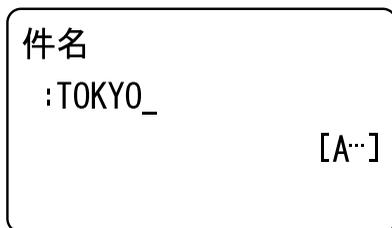
件名の設定

スキャンデータをメール送信する際に使用する件名を設定します。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［件名］を選択し、［選択］キーを押します。

2 テンキーで件名を入力し、［選択］キーを押します。

メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.433）をごらんください。

入力可能な文字数は、英数字、記号で最大 20 文字です。

すでに設定されている件名を消去するには、［戻る］キーを押します。

送信待ちジョブの取り消し

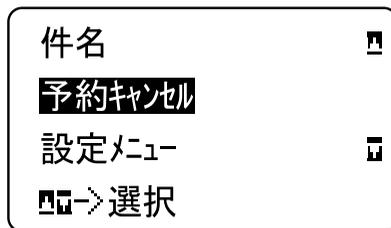
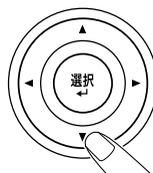
送信待ち状態になっているジョブの一覧を表示し、ジョブを取り消します。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して［予約ｷｬﾝｾﾙ］を選択し、［選択］キーを押します。

件名

予約ｷｬﾝｾﾙ

設定ﾒﾆｭｰ

▲▼-> 選択

2 [▲]、[▼] キーを押して取り消すジョブを選択し、[選択] キーを押します。

選択したジョブの内容を確認するには、[▶] キーを押します。

送信待ちジョブが存在しない場合は、[予約はありません] というメッセージが表示されます。

予約ｷｬﾝｾﾙ
01 [:]
ｽｷｬﾝ
abc@xxx

3 [▲]、[▼] キーを押して [はい] を選択し、[選択] キーを押します。

メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

予約ｷｬﾝｾﾙ
はい
いいえ

消耗品の交換

消耗品 / 定期交換部品の交換のしかた

!重要

本ユーザーズガイドに記載されいる手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

「ﾄﾅｰ交換 X」「定着ユニット交換時期」などのエラーメッセージが表示された場合は、設定リストページを印刷し、消耗品の状態を確認してください。エラーメッセージについて詳しくは、「エラーメッセージ」（p. 401）をごらんください。また、設定情報リストページの印刷について詳しくは、「設定情報リストページを印刷する」（p.362）をごらんください。

警告

- 消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）を、火の中に入れないでください。
  トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。
  感電や火傷のおそれがあります。
- こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。
  こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などで拭き取ってください。

注意

消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）を交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、プリンターの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収

エプソンでは、カートリッジ本体だけでなく、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。

環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細は、エプソンのホームページで確認してください。

http://www.epson.jp/recycle/

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。

ベルマーク運動

弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

アドレス http://www.epson.jp/bellmark/

使用済みトナーカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- **回収**

  使用済みのトナーカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

  詳しくは、「使用済みカートリッジ回収のご案内」（p.321）をご覧ください。

- **廃棄**

  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

使用済み消耗品（トナーカートリッジ以外）/ 定期交換部品の処分

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

トナーカートリッジについて

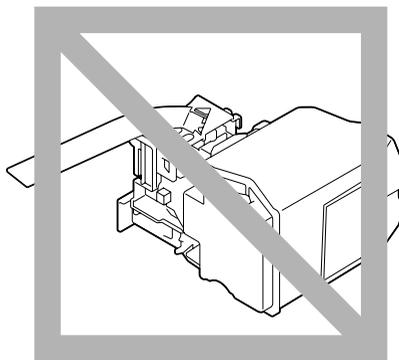
> **!重要**
>
> 本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。エプソン製以外のものをご使用になると、本機の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。エプソン製以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

本プリンターではブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンターや手などにこぼれないように注意してください。

トナーカートリッジを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、メッセージウィンドウの表示がクリアーされません。

トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。トナーが漏れ出した場合、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。

トナーカートリッジは以下のように保管してください。

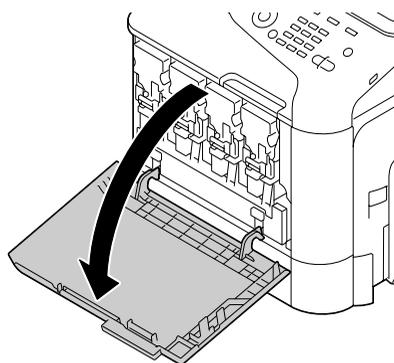
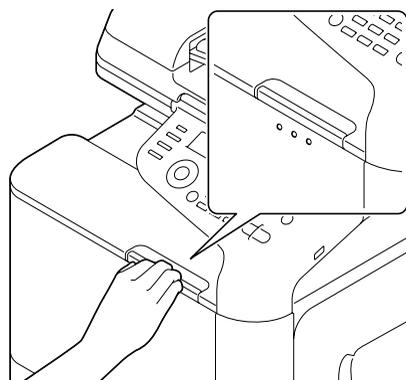
- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35℃以下、湿度 85% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。
  トナーカートリッジを逆向きに置かないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。

■ 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

トナーカートリッジの交換手順

本製品で使用できるトナーカートリッジは「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」（p.430）をごらんください。

トナーがなくなると［ﾄﾅｰ交換 x ﾄﾅｰを交換］（x はトナーの色を表します）のメッセージが表示されます。以下の手順にしたがってトナーカートリッジを交換してください。ここではイエロートナーカートリッジを例に説明します。

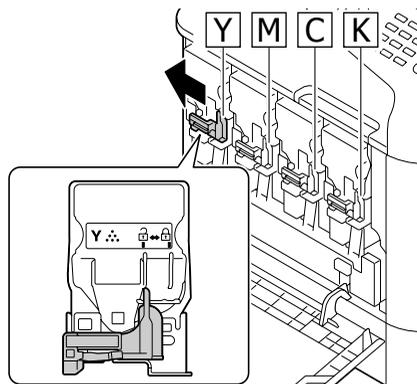
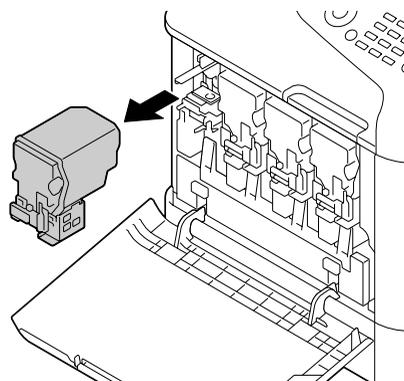
1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーカートリッジの色を確認します。

2 前カバーを開きます。

3 正面のレバーを左へ引きます。

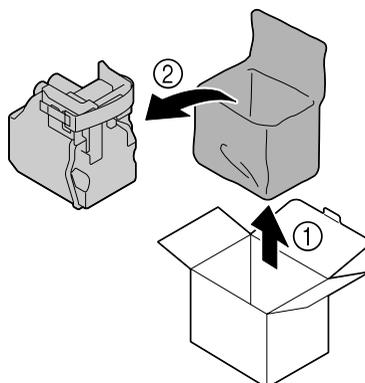
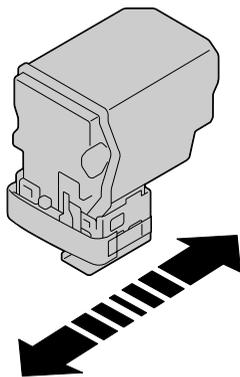
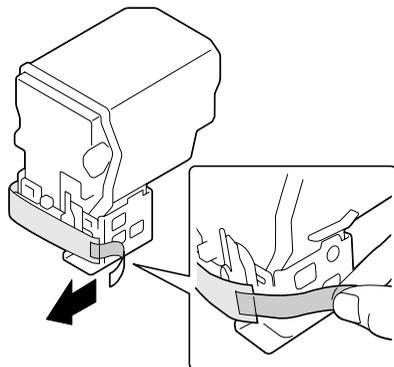
Y: イエロー

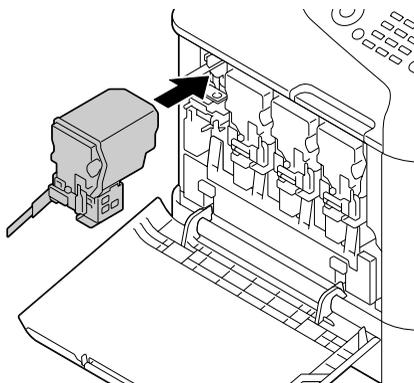
M: マゼンタ

C: シアン

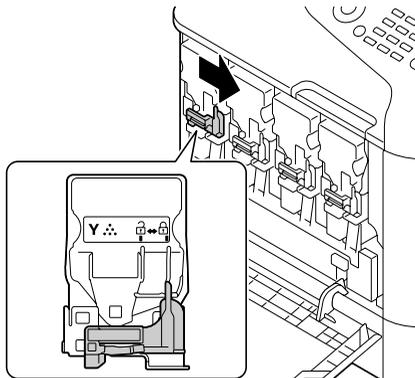
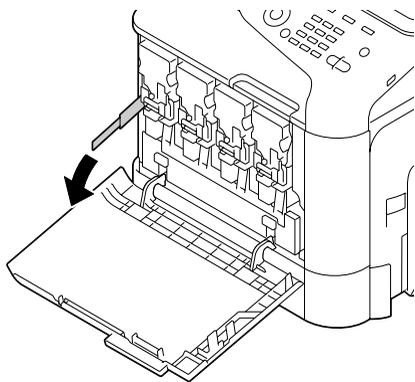
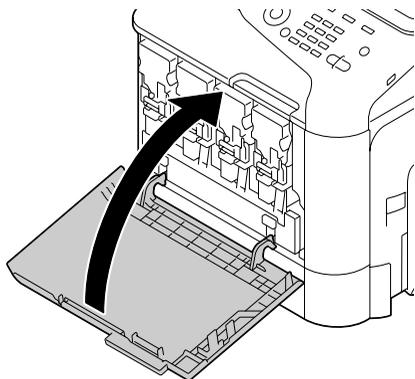
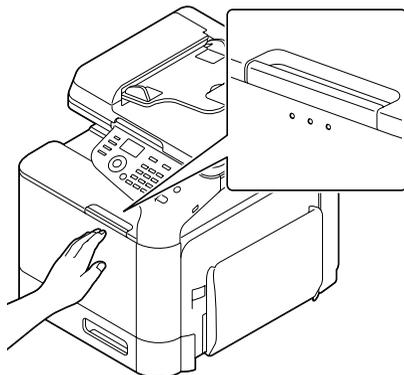
K: ブラック

4 交換するトナーカートリッジの取っ手をつかみ、引き抜きます。

5 新たにセットするトナーカートリッジの色を確認します。

トナーがこぼれるのを防ぐため、手順 4 を実行するまでトナーカートリッジを袋から出さないでください。

6 トナーカートリッジを袋から取り出します。

7 新しいトナーカートリッジを持ち、ゆっくり数回振ります。

8 トナーカートリッジ右側の保護フィルムのシール部をはがします。

9 トナーカートリッジの色と本体挿入口の色が合っていることを確認して、トナーカートリッジを押し込みます。

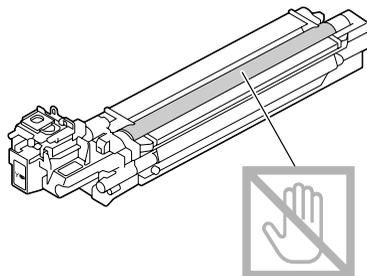
トナーカートリッジを奥まで押し込んでください。

10 レバーを右に引きロックします。

正面のレバーを確実に元の位置に戻してください。元の位置に戻っていない場合、前カバーは閉じません。

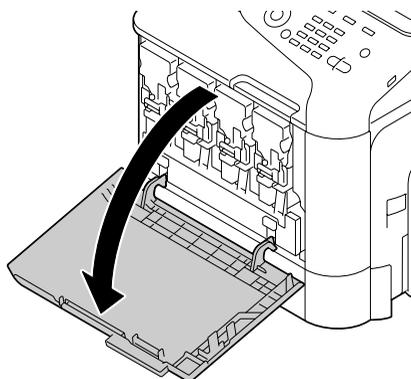
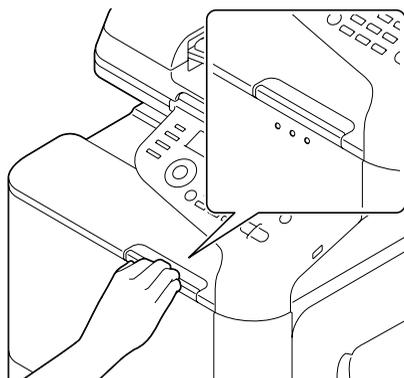
レバーが操作しにくい場合は、レバー部を奥に押し込んでください。

11 トナーカートリッジが確実にセットされていることを確認して、保護フィルムを引き抜きます。

12 前カバーを閉じます。

前カバーを閉じるときは、突起部分を押してください。

感光体ユニットの交換手順

本製品で使用できる感光体ユニットは「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」（p.430）をごらんください。

重要

図で示す部分には手を触れないでください。印刷品質低下の原因になります。

［P/U が寿命です x を交換する］（x は感光体ユニットの色を表します）というメッセージが表示されたら指定された感光体ユニットを交換してください。ここではブラック感光体ユニットを例に説明します。

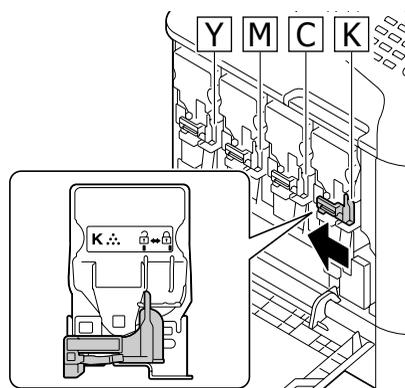
1 操作パネルのメッセージウィンドウで、交換する感光体ユニットの色を確認します。

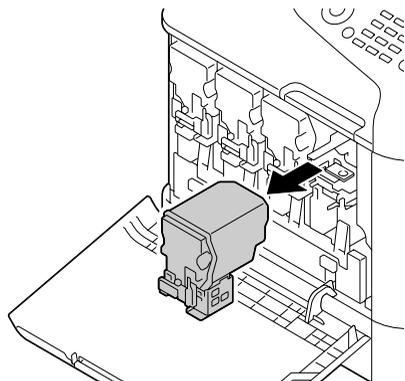
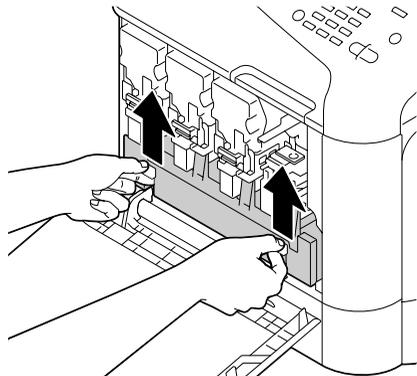
2 前カバーを開きます。

3 正面のレバーを左へ引きます。

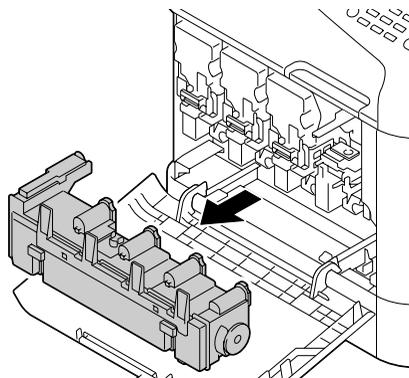
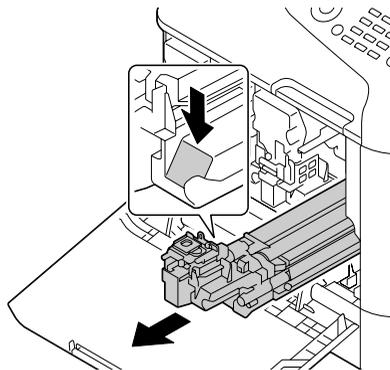
Y: イエロー

M: マゼンタ

C: シアン

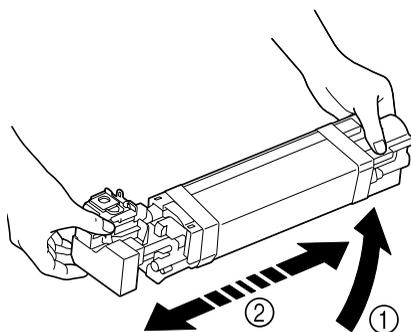
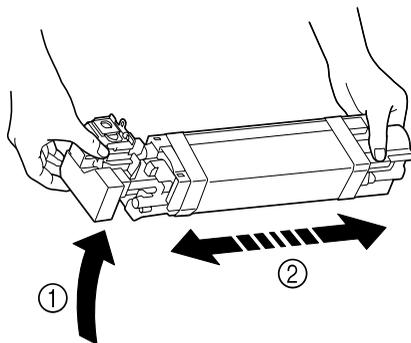
K: ブラック

4 トナーカートリッジの取っ手をつかみ、引き抜きます。

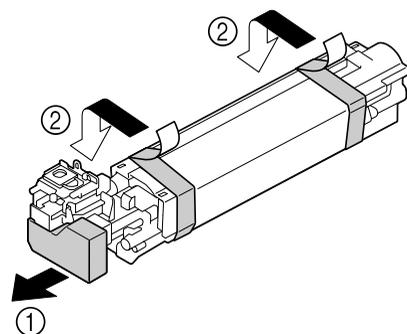
💡 トナーカートリッジを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

5 廃トナーボックスを押し上げ、ロックを解除します。

6 廃トナーボックスの左右の取っ手をつまみ、廃トナーボックスをゆっくりと引き抜きます。

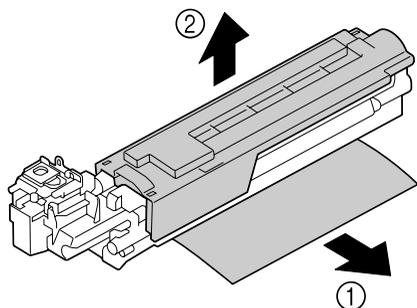
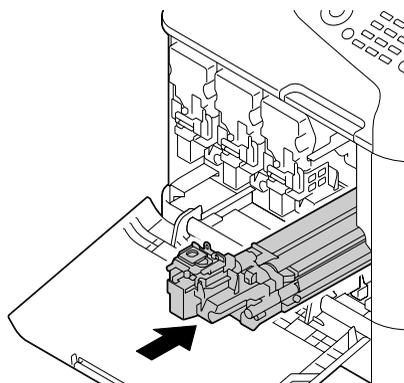
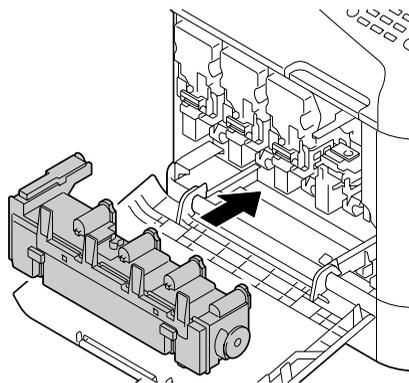
💡 廃トナーボックスを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

7 交換する感光体ユニットのロックレバー（「PUSH」と表示されている）を押しながら、感光体ユニットを引き抜きます。

8 新たにセットする感光体ユニットの色を確認します。

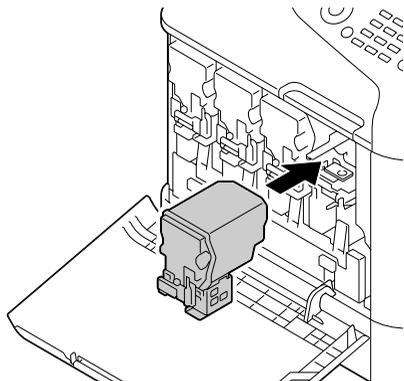
9 感光体ユニットを袋から取り出します。

10 新しい感光体ユニットを両手で持ち、図のように数回振ります。

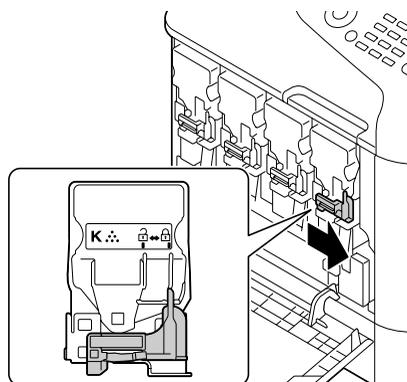
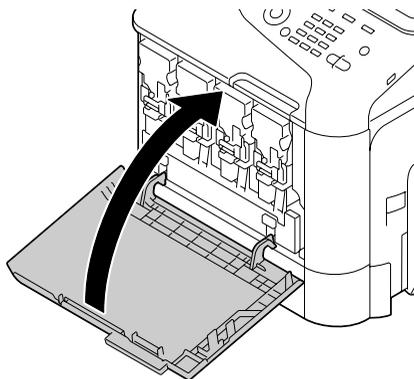
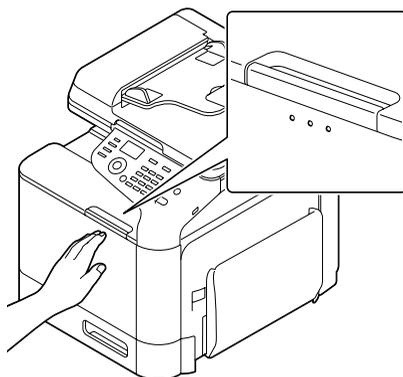
感光体ユニットの下部に手を触れないでください。損傷による印刷品質低下の原因になります。

11 感光体ユニットの保護カバーを取り外します。

感光体ユニットの保護テープをすべて取り外します。

12 感光体ユニットの紙を取り外します。

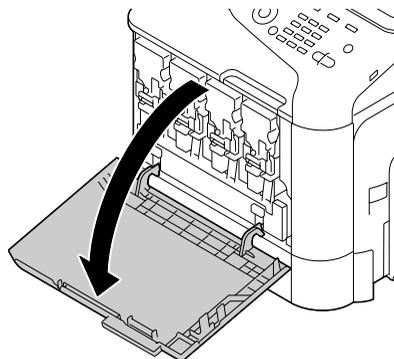
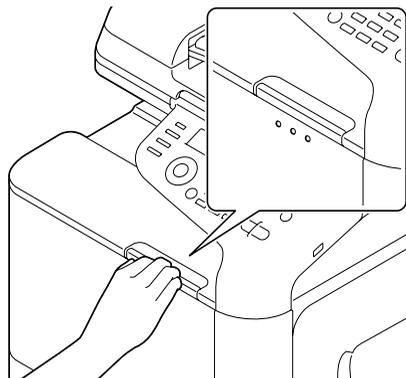
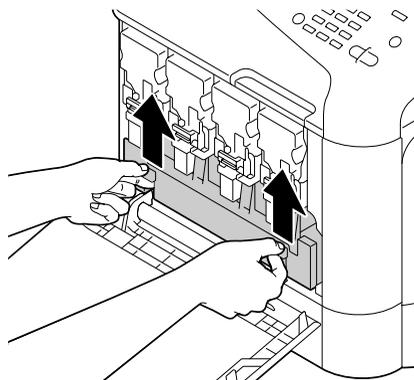
感光体ユニットの保護カバーを取り外します。

13 新しくセットする感光体ユニットの色と本体挿入口の色が合っていることを確認して、感光体ユニットをロックするまで押し込みます。

14 廃トナーボックスをロックされるまで押し込みます。

15 トナーカートリッジの色と本体挿入口の色が合っていることを確認して、トナーカートリッジを押し込みます。

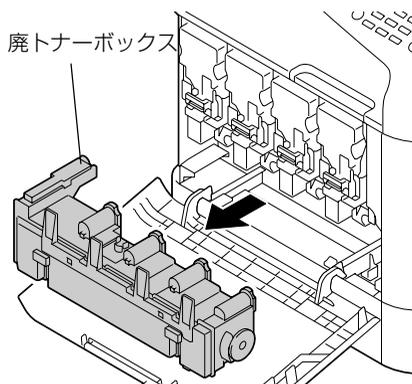
トナーカートリッジを奥まで押し込んでください。

16 レバーを右に引きロックします。

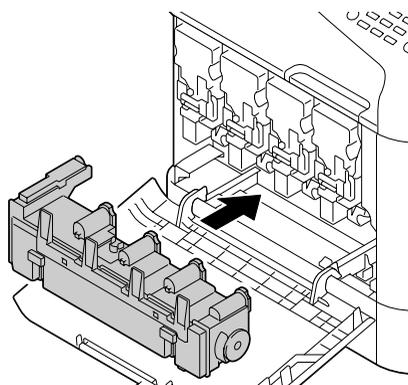
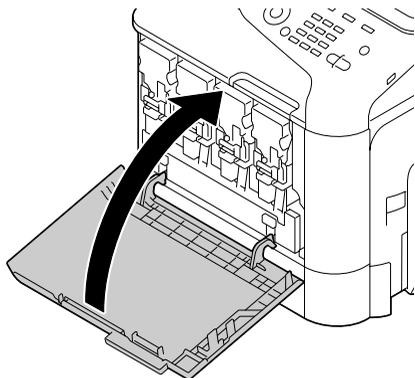
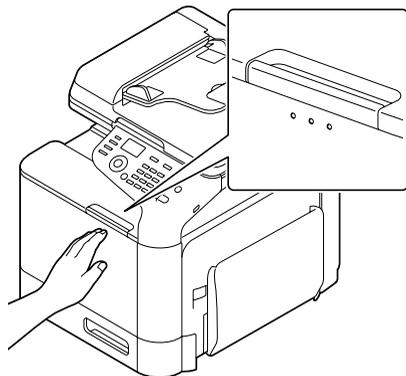
正面のレバーを確実に元の位置に戻してください。元の位置に戻っていない場合、前カバーは閉じません。

レバーが操作しにくい場合は、レバー部を奥に押し込んでください。

17 前カバーを閉じます。

前カバーを閉じるときは、突起部分を押してください。

廃トナーボックスの交換手順

廃トナーボックスがいっぱいになると［廃ﾄﾅｰﾌﾙ ﾎﾞｯｸｽを交換する］のメッセージが表示されます。本機は印刷を中断し、廃トナーボックスを交換後に印刷を再開します。

1 前カバーを開きます。

2 廃トナーボックスを押し上げ、ロックを解除します。

3 廃トナーボックスの左右の取っ手をつまみ、廃トナーボックスをゆっくりと引き抜きます。

廃トナーボックスを傾けると、廃トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

4 梱包箱から新しい廃トナーボックスを取り出します。使用済みの廃トナーボックスは梱包箱に同梱されているポリ袋に入れて、梱包箱へしまっておきます。

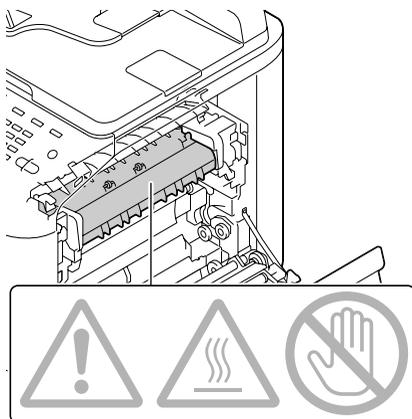
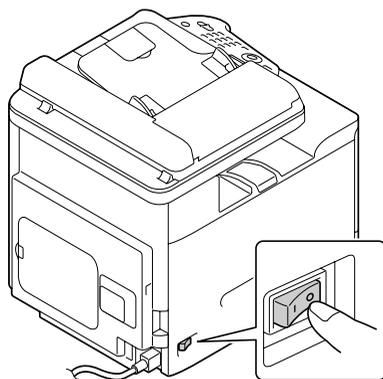
5 廃トナーボックスをロックされるまで押し込みます。

6 前カバーを閉じます。

前カバーを閉じるときは、突起部分を押してください。

廃トナーボックスが最後まで押し込まれていない場合、前カバーは閉じません。

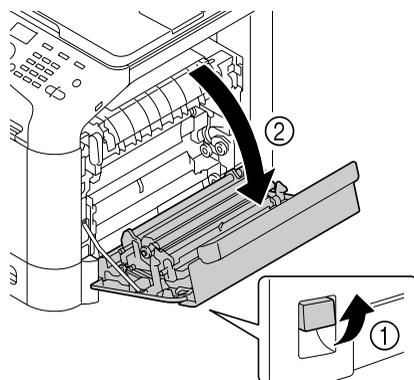
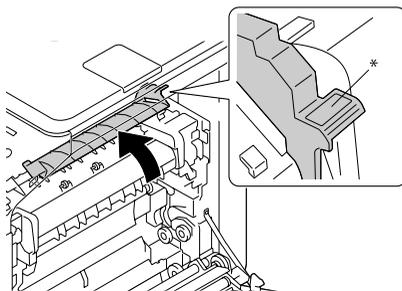
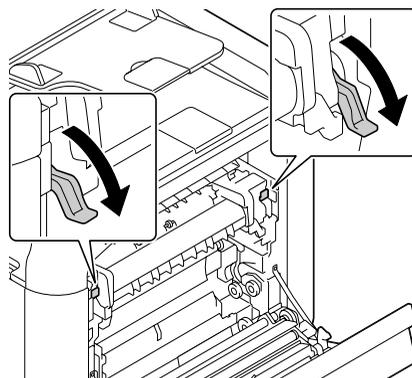
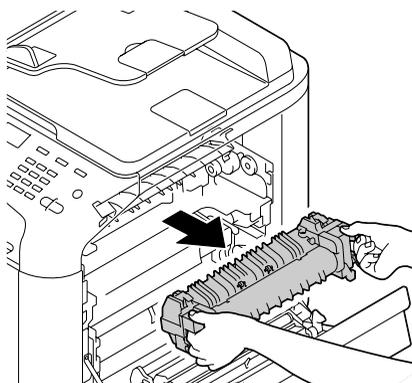
定着ユニットの交換

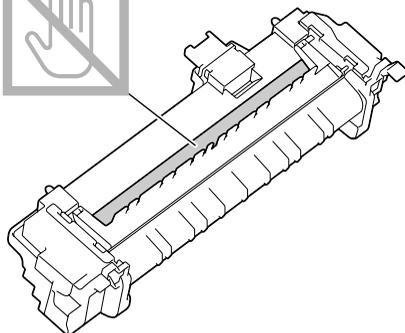
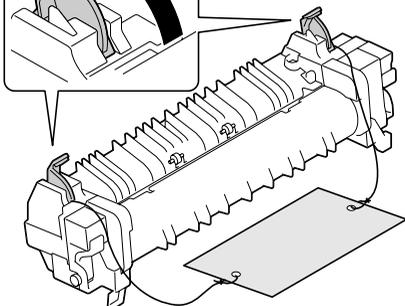
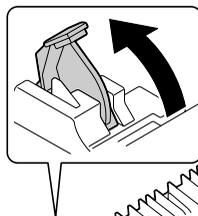
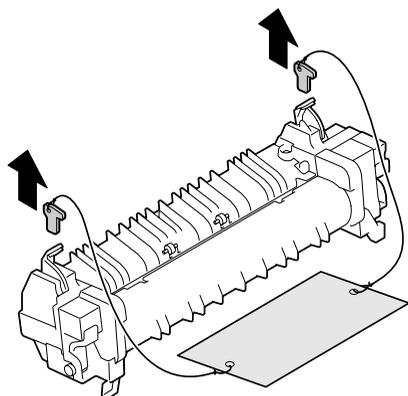
定着ユニットの交換時期になると、[定着ﾕﾆｯﾄ交換時期] のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されてからも印刷できますが、印字品質が低下しますので、すみやかに定着ユニットを交換してください。

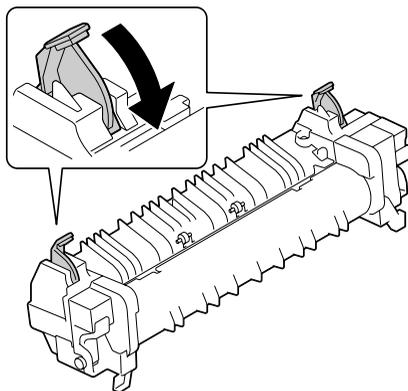
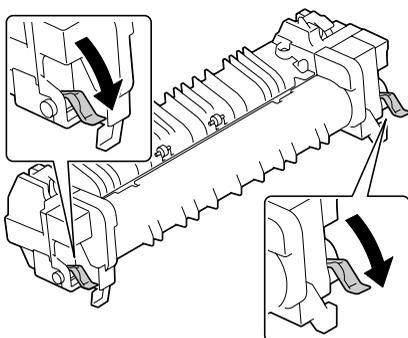
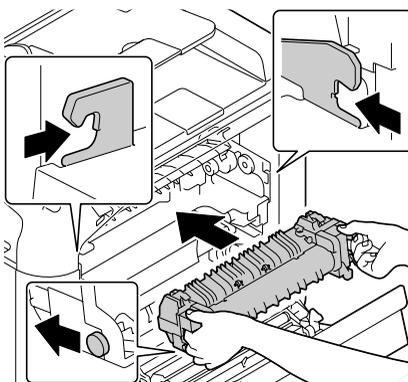
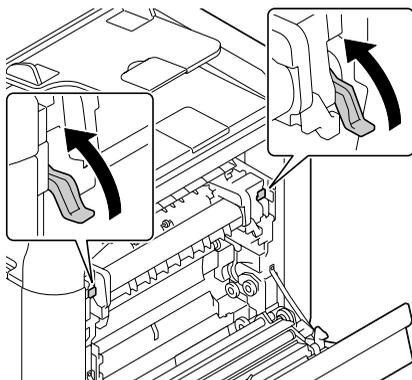
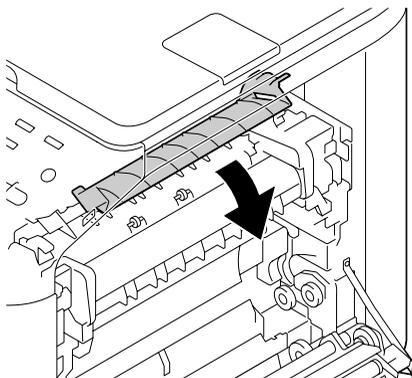
本製品で使用できる定着ユニットは「オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧」(p.430) をごらんください。

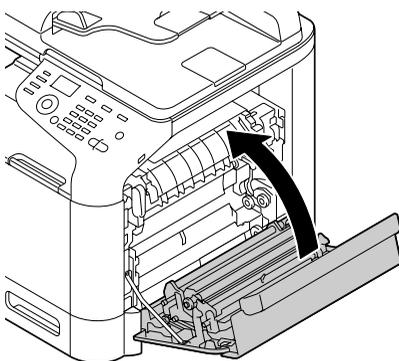
⚠注意

使用中にプリンターの右カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットなどに触れないでください。また、プリンター使用中に定着ユニットを取り外すときは、電源を切り、40分程待ってから作業してください。内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

1 本機の電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外します。

2 レバーを引き（①）、右カバーを開きます（②）。

右カバーを開くときは、必ずトレイ 1 をたたんでから開いてください。

3 緑色のシール(*)が貼ってある部分を持って、定着カバーを開きます。

4 左右の青いレバーを下げます。

5 定着ユニットを取り外します。

6 新しい定着ユニットを梱包箱から取り出します。

定着ローラーの表面には触らないでください。

7 左右の緑のレバーを上げます。

8 保護材を取り外します。

9 左右の緑のレバーを下げます。

緑のレバーを必ず下げてください。右カバーが閉じなくなります。

10 新しい定着ユニットの下部の青いレバーを下げます。

11 新しい定着ユニットを金属板に載せて、スライドさせて止まるまで押し込みます。

12 定着ユニットの下部の青いレバーを上げます。

13 緑色のシールが貼ってある部分を持って、定着カバーを閉じます。

14 右カバーを閉じます。

右カバーが閉じないときは、定着ユニットが正しくセットされているかを確認してください。

15 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

16 操作パネルの［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［消耗品を交換］-［定着ﾕﾆｯﾄ］でカウンターをリセットします。

9 メンテナンス

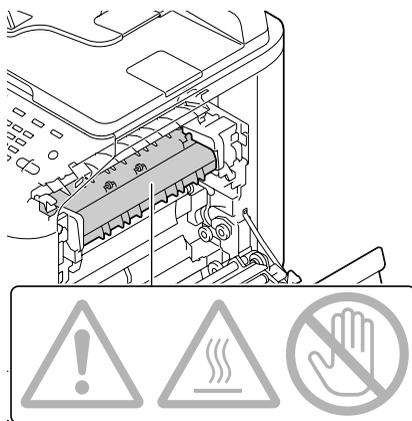
本機のメンテナンス

本機を長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片が本機内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的に本機の清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

⚠警告

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

⚠注意

使用中にプリンターの右カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットなどに触れないでください。また、プリンター使用中に定着ユニットを取り外すときは、電源を切り、40 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

■ 本機内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。

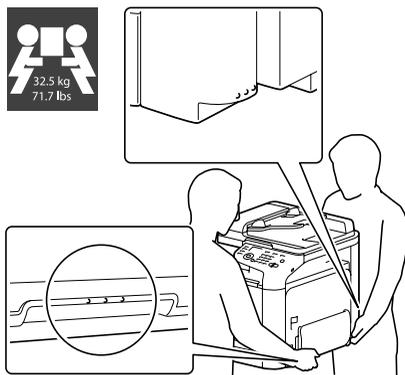
■ 本機の上に物を置かないでください。

■ 本機の清掃には柔らかい布を使用してください。

■ 本機の表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。本機のすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。

■ 本機の清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。

- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、本機の目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- 本機の清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- 本機のカバーはゆっくり閉めてください。本機に振動を与えないようにしてください。
- 本機を使用後すぐにカバーなどをかけないでください。電源を切り、本機の温度が下がるまで待ってください。
- 本機のカバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によって感光体ユニットが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中は本機のいずれのカバーも開けないでください。
- 用紙を本機の上部にあててそろえないでください。
- 本機に油をさしたり、分解しないでください。
- 本機を傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム本機には触れないでください。本機の故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- 本機を移動するときは、必ず 2 人以上で持ち上げてください。
- トナーがこぼれないよう本機を水平にして運んでください。
- 本機を移動するときは、トレイ 1 をたたみ、図に示す位置を持って運んでください。
- オプションの給紙ユニット を装着しているときは、必ず、本機と別々に運んでください。また、トレイ 3 の取手（引き出し部）や給紙ユニットの右カバーを持たないでください。給紙ユニットの破損の原因になります。

- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

⚠注意

トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。

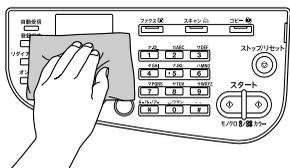
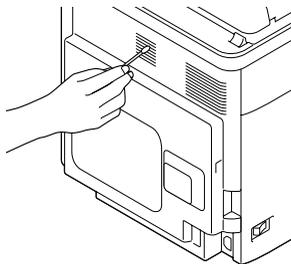
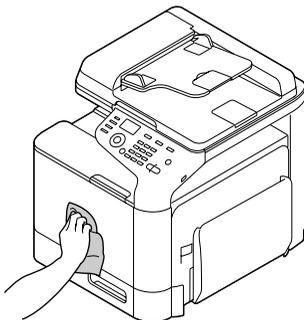
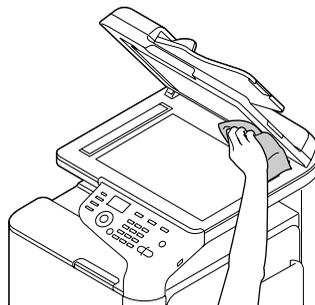
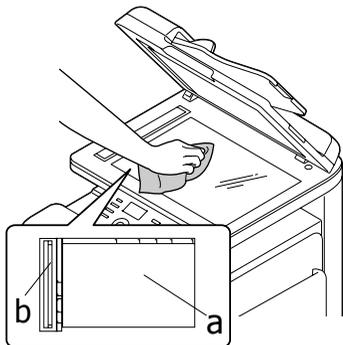
・皮膚に付着したときは、水や石けんでよく洗い流してください。
・衣服に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。
・目に入ったときは、水でよく洗い流してください。
・口に入ったときは、すぐに吐き出してください。吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。

■ 本機の電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

本機の清掃

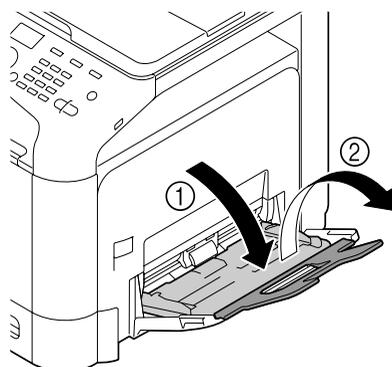
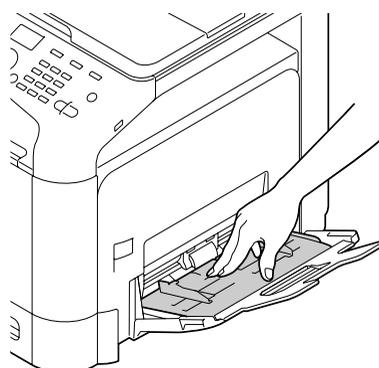
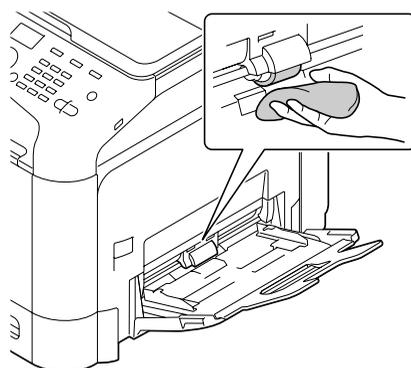
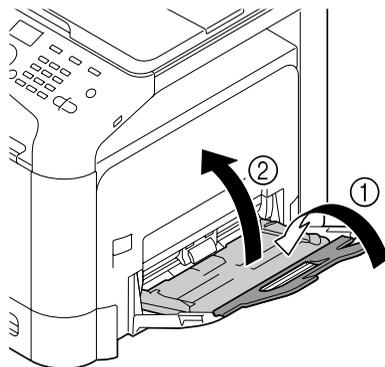
⚠ 警告

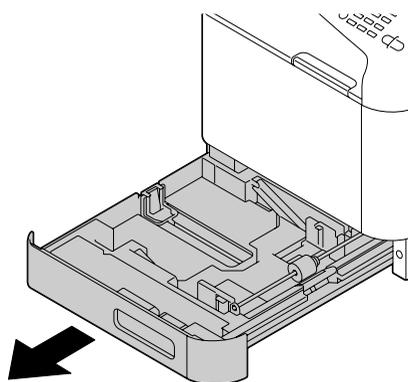
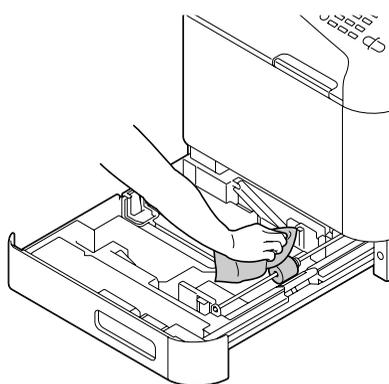
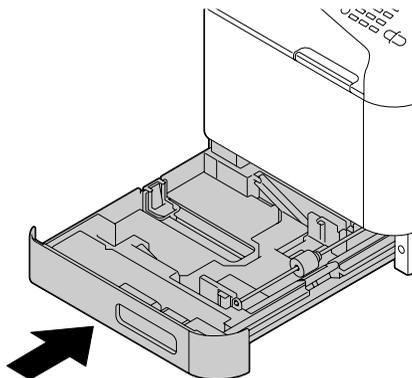
- 製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。
  感電や火傷のおそれがあります。
- エアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したエアゾール製品を使用しないでください。
  引火による爆発、火災のおそれがあります。

本機外側の清掃

給紙ローラーの清掃

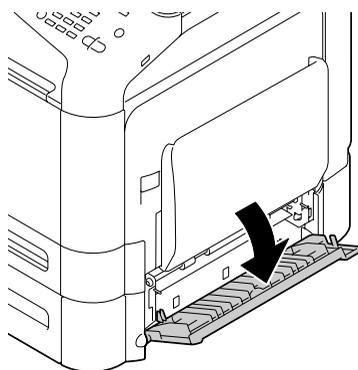
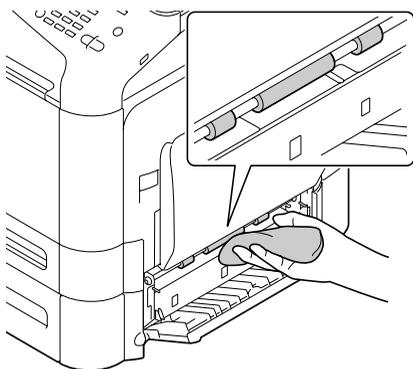
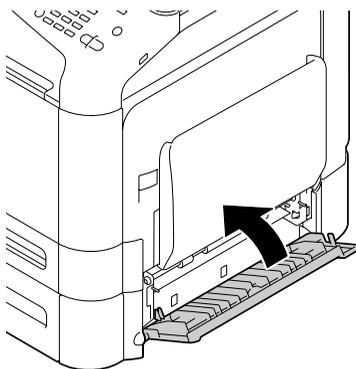
給紙ローラー部に紙粉やほこりがたまると、給紙トラブルの原因になります。

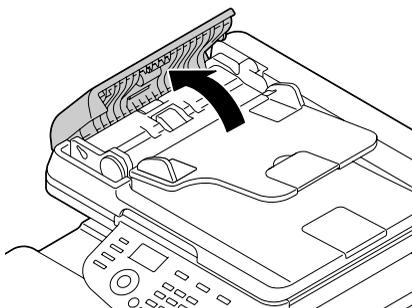
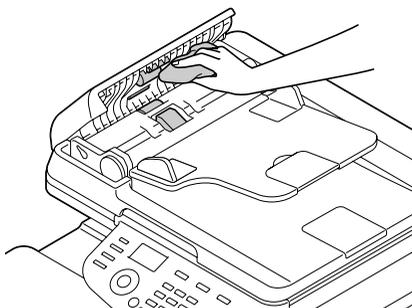
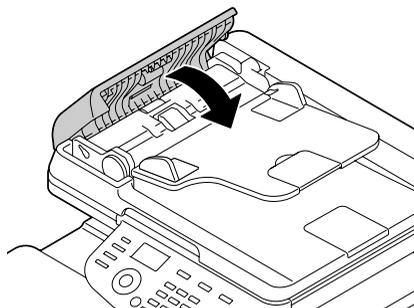
トレイ 1（手差しトレイ）の給紙ローラーの清掃

1 トレイ **1** を開きます。

2 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。

3 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

4 トレイ 1 を閉じます。

トレイ 2/3 の給紙ローラーの清掃

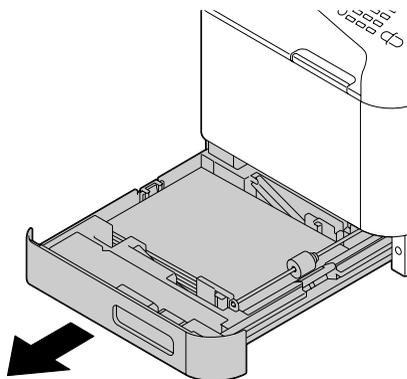
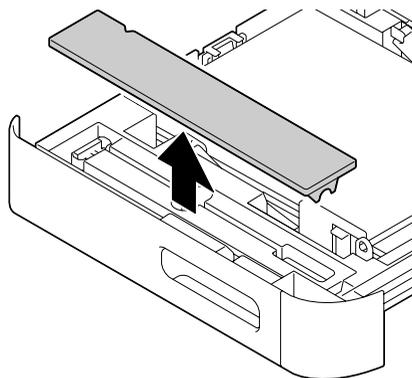
1 トレイを開きます。

2 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

3 トレイを閉じます。

トレイ 3 の搬送ローラーの清掃

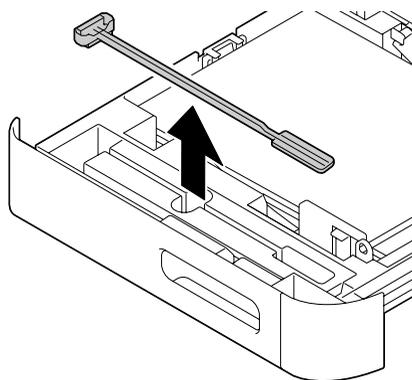
1 トレイ **3** のセカンドカバーを開きます。

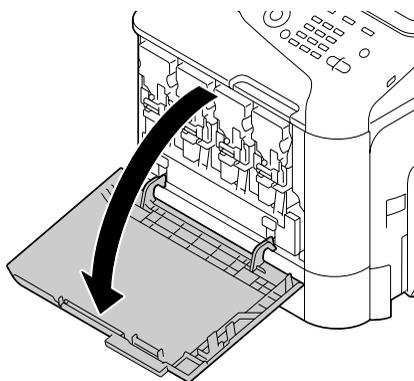
トレイ 3 のセカンドカバーを開けるときは、トレイ 1 をたたんでから開けてください。

2 やわらかい乾いた布で搬送ローラーの汚れを拭き取ります。

3 トレイ 3 のセカンドカバーを閉じます。

ADF の給紙ローラーの清掃

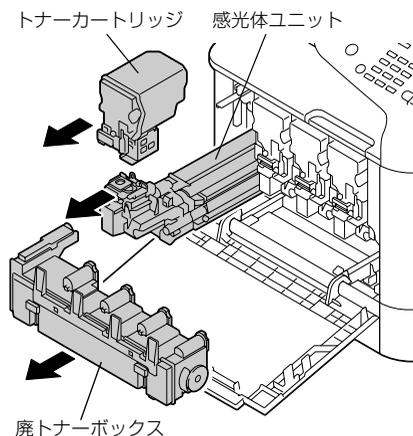
1 **ADF** カバーを開きます。

2 やわらかい乾いた布で、カバー裏側の給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

3 ADF カバーを閉じます。

レーザーレンズの清掃

本機には 4 つのレーザーレンズがあります。すべて以下の手順で清掃を行ってください。レーザーレンズ清掃具はトレイ 2 の中に収納されています。

1 トレイ **2** を引き出します。

2 カバーを取り外します。

カバーは後で使用しますので、元の位置に戻さないでください。

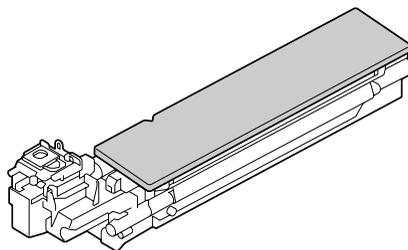
3 レーザーレンズ清掃具をトレイ 2 から取り出します。

4 トレイ 2 を閉じます。

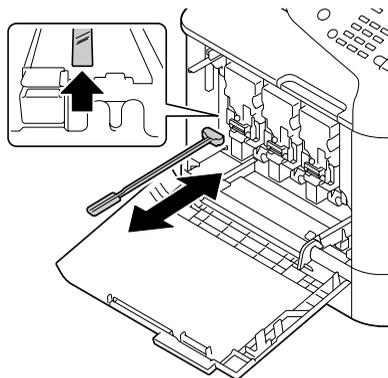
5 前カバーを開きます。

6 廃トナーボックスと、清掃する色のトナーカートリッジおよび感光体ユニットを引き抜きます。

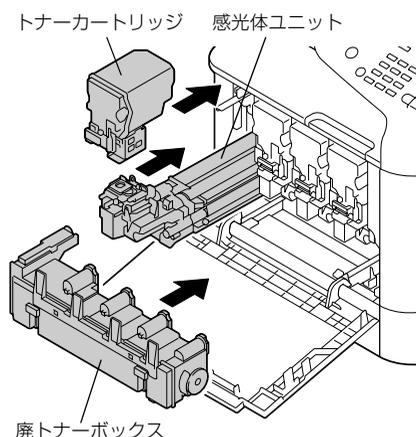
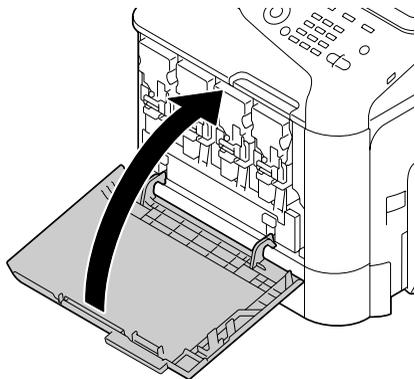
トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックスの取り外しについて、詳しくは「トナーカートリッジの交換手順」(p.324)、「感光体ユニットの交換手順」(p.328)、「廃トナーボックスの交換手順」(p.335)をごらんください。

トナーカートリッジを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

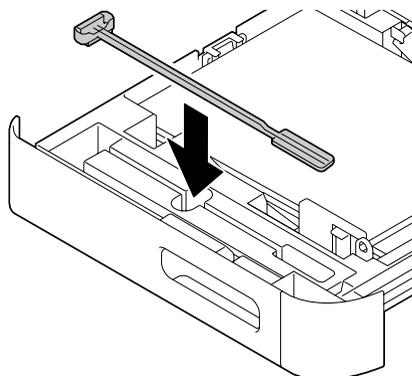
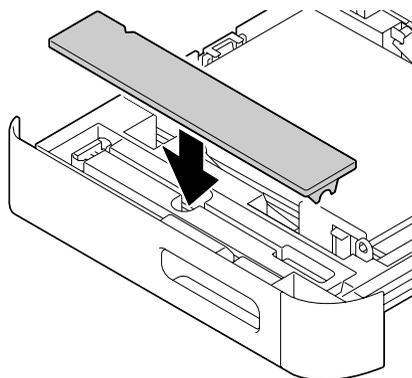
廃トナーボックスを傾けると、トナーがこぼれる恐れがありますので注意してください。

7 取り外した感光体ユニットにカバーを取り付けます。

感光体ユニットを取り付けるまでカバーを外さないでください。

8 感光体ユニットが挿入されていた場所の下部にあるレーザーレンズ（黒いガラス面）の汚れをレーザーレンズ清掃具のスポンジ面で拭き取ります。

レーザーレンズ清掃具を奥に突き当たるまで挿入し、2 ～ 3 回前後に動かします。

9 取り外したトナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックスを取り付けます。

トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックスの取り付けについて、詳しくは「トナーカートリッジの交換手順」（p.324）、「感光体ユニットの交換手順」（p.328）、「廃トナーボックスの交換手順」（p.335）をごらんください。

10 前カバーを閉じます。

11 トレイ 2 を引き出します。

12 レーザーレンズ清掃具をトレイ 2 の中のホルダーに戻します。

13 カバーを閉じます。

14 トレイ 2 を閉じます。

15 同様にして各感光体ユニットに相当する位置のレーザーレンズを清掃します。

レーザーレンズ清掃具は本機の付属品です。なくさないようにレーザーレンズ清掃具ホルダーに戻してください。

トラブル シューティング 10

はじめに

この章では、本機使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

設定情報リストページを印刷する

1. メイン画面で［▲］、［▼］キーを押して［ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ］を選択し、［選択］キーを押します。

2. ［▲］、［▼］キーを押して［ﾚﾎﾟｰﾄ］を選択し、［選択］キーを押します。

3. ［▲］、［▼］キーを押して［設定情報ﾘｽﾄ］を選択し、［選択］キーを押します。

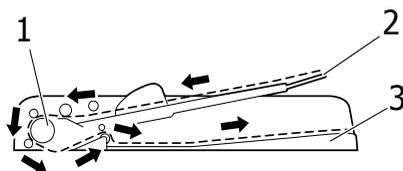
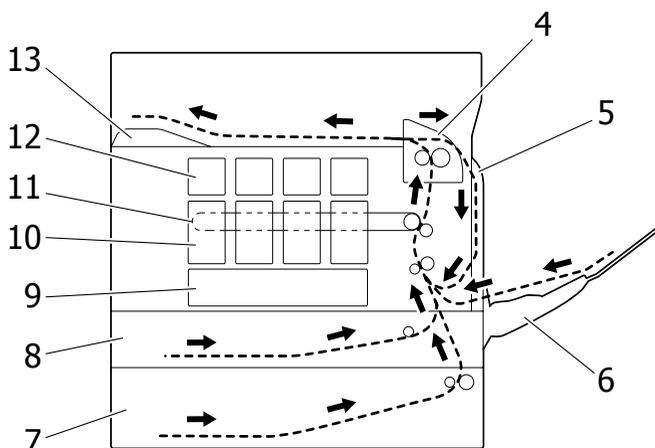
4. ［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押します。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙は本機の仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
本機は表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
トレイに用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、本機の破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイには、最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。 （排紙トレイは、普通紙 150 枚または、特殊紙 10 枚まで排紙できます。 150 枚以上の普通紙または、10 枚以上の特殊紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）

用紙送りの流れ

本機内部での用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

原稿の流れ

用紙の流れ

1 ADF 給紙ローラー
2 原稿給紙トレイ
3 原稿排出トレイ
4 定着ユニット
5 両面プリントユニット
6 トレイ 1 （手差しトレイ）
7 トレイ 3 （オプション）
8 トレイ 2
9 プリントヘッドユニット
10 感光体ユニット
11 転写ベルトユニット
12 トナーカートリッジ
13 排紙トレイ

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。小さくても紙片が本機内に残ると、用紙送りができなくなり、紙づまりが再発する原因になります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

!重要

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、本機内部にトナーをこぼさないでください。

注意

トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。

・皮膚に付着したときは、水や石けんでよく洗い流してください。
・衣服に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。
・目に入ったときは、水でよく洗い流してください。
・口に入ったときは、すぐに吐き出してください。
　吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。

紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、本機のカバーの開閉を行ってください。

紙づまりのメッセージと処理について

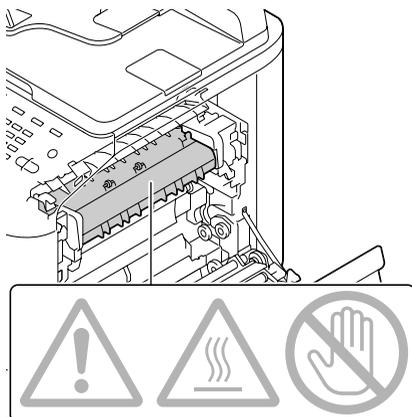
紙づまりメッセージ	参照ページ
[給紙ﾐｽ 右ｶﾊﾞｰ開けてください]	p. 369
[給紙ﾐｽ 右ｶﾊﾞｰ開けてください]	p. 373
[原稿が詰まりました 給紙ｶﾊﾞｰを開ける]	p. 375
[垂直搬送路でｼﾞｬﾑ 右ｶﾊﾞｰ開けてください]	p. 369
[定着ﾕﾆｯﾄｼﾞｬﾑ 右ｶﾊﾞｰ開けてください]	p. 378
[転写ﾛｰﾗｰ部でｼﾞｬﾑ 右ｶﾊﾞｰ開けてください]	p. 366
[ﾄﾚｲ 1 でｼﾞｬﾑ 右ｶﾊﾞｰ開けてください]	p. 366
[排紙部でｼﾞｬﾑ 右ｶﾊﾞｰ開けてください]	p. 378
[両面上部ｼﾞｬﾑ 右ｶﾊﾞｰ開けてください]	p. 377
[両面ﾕﾆｯﾄ下部ｼﾞｬﾑ 右ｶﾊﾞｰ開けてください]	p. 377

トレイ 1（手差しトレイ）／転写ローラーでの紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右カバーを開けます（②）。

右カバーを開けるときは、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

> ⚠注意
>
> 使用中にプリンターの右カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットなどに触れないでください。また、プリンター使用中に定着ユニットを取り外すときは、電源を切り、40 分程待ってから作業してください。
> 内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。
>
>

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

3 右カバーを閉じます。

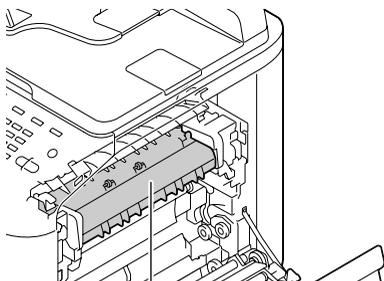
トレイ 2 での紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右カバーを開けます（②）。

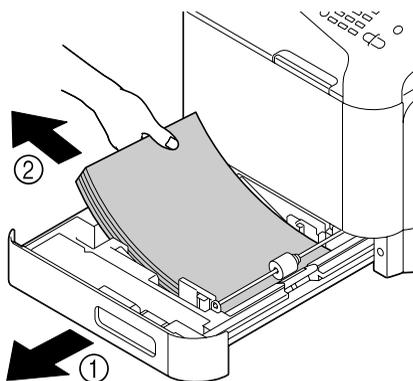
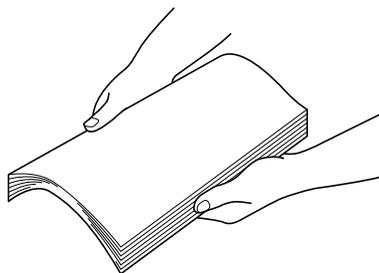
右カバーを開けるときは、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

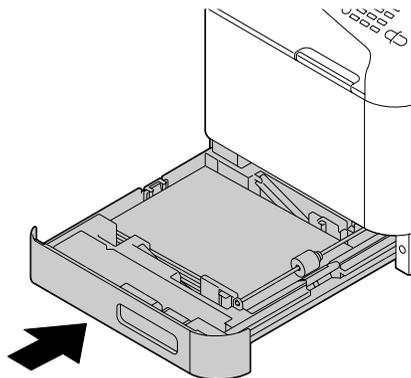
⚠注意

使用中にプリンターの右カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットなどに触れないでください。また、プリンター使用中に定着ユニットを取り外すときは、電源を切り、40 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

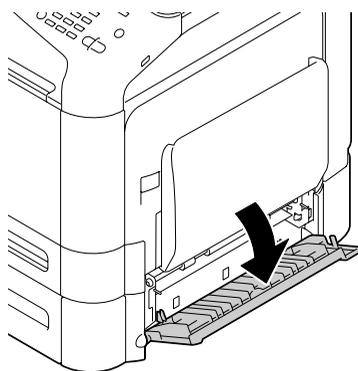
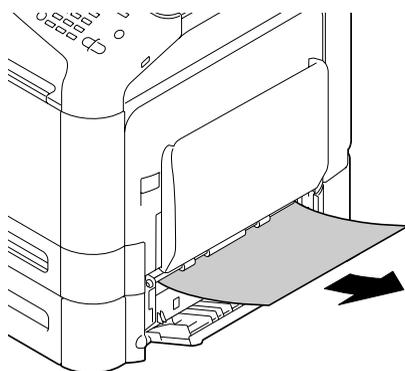
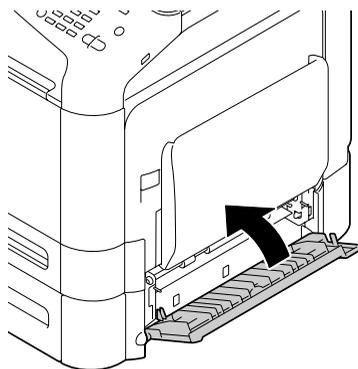
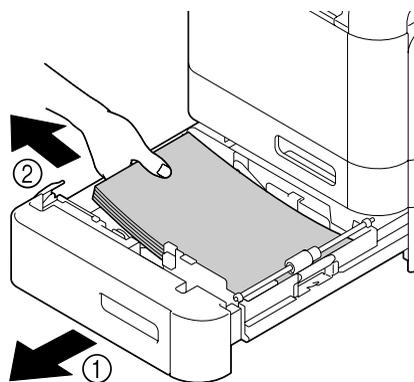
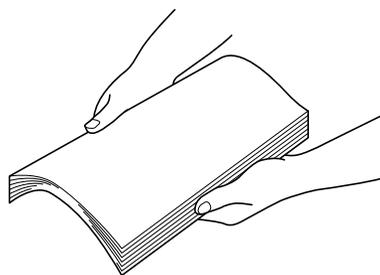
3 右カバーを閉じます。

4 トレイ 2 を引出し（①）、トレイ内に残っている用紙を取り出します（②）。

5 取り出した用紙をさばいてから用紙の端をそろえます。

6 用紙の印刷面を上向きにしてトレイ 2 にセットします。

- 用紙は平らにセットしてください。
- 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。
- 用紙ガイドを必ず用紙の端面にあわせてください。

7 トレイ 2 を閉じます。

トレイ 3 での紙づまり処理

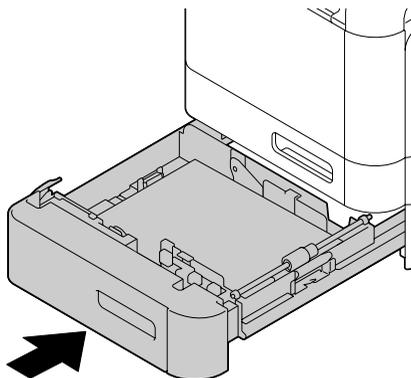
1 トレイ **3** の右カバーを開けます。

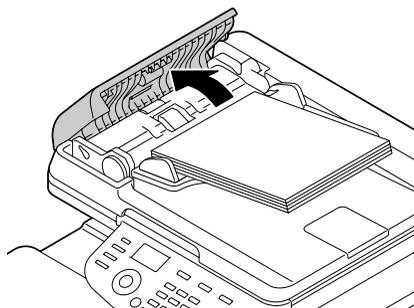
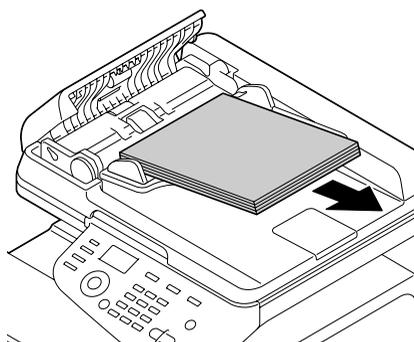
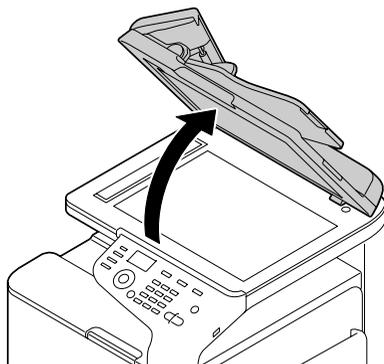
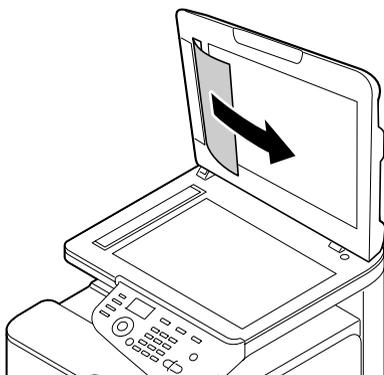
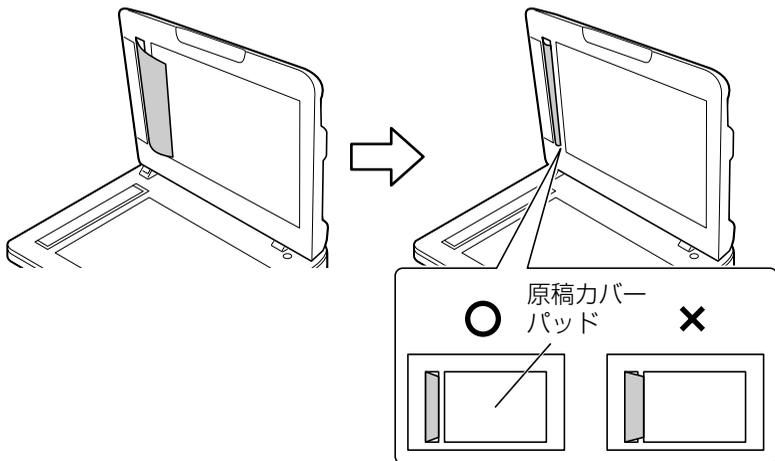
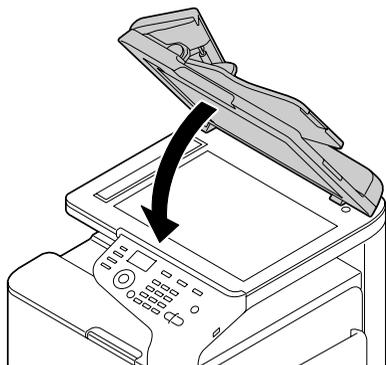
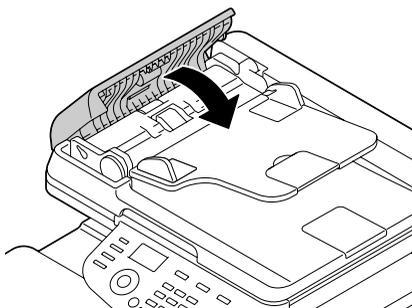
💡 トレイ 3 の右カバーを開けるときは、手差しトレイをたたんでから開けてください。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

3 トレイ 3 の右カバーを閉じます。

4 トレイ 3 を引出し（①)、トレイ内に残っている用紙を取り出します（②)。

5 取り出した用紙をさばいてから用紙の端をそろえます。

6 用紙の印刷面を上向きにしてトレイ 3 にセットします。

用紙は平らにセットしてください。

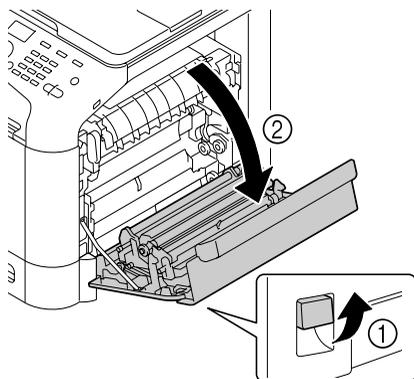
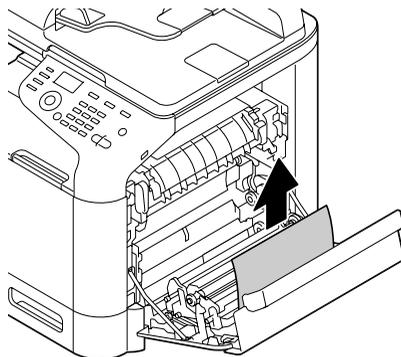
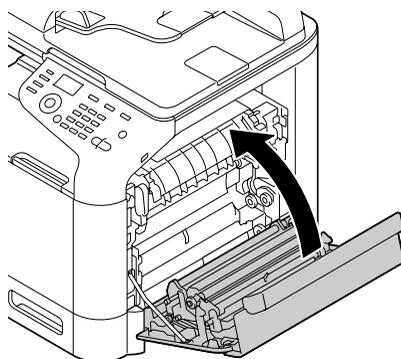
用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

用紙ガイドを必ず用紙の端面にあわせてください。

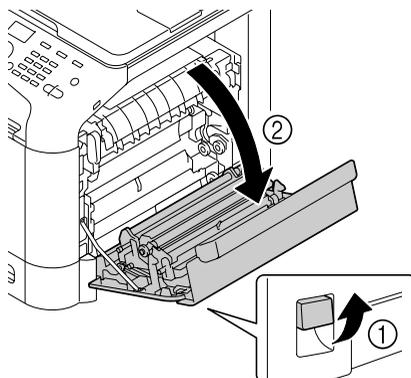
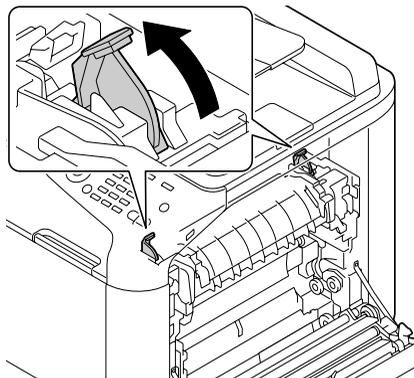
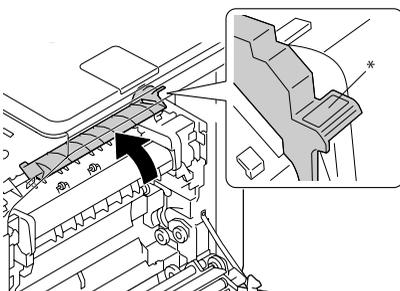
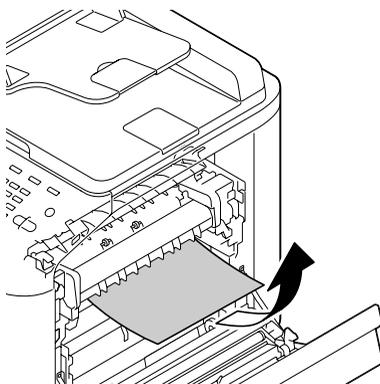
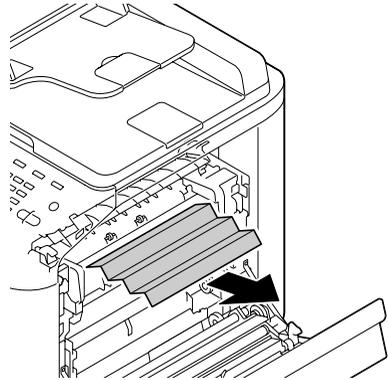
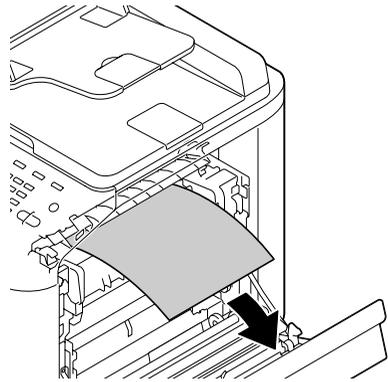
7 トレイ 3 を閉じます。

ADF での紙づまり処理

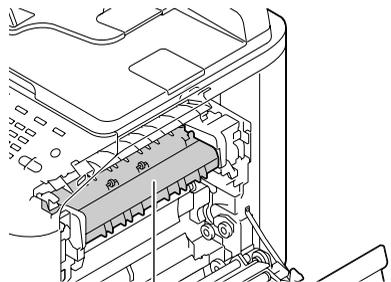
1 **ADF** カバーを開きます。

2 ADF の原稿給紙トレイから残っている原稿を取り除きます。

3 ADF を開きます。

4 つまっている原稿を取り除きます。

リーディングシートが抜け出したときは、元の位置に戻してください。

5 ADF を閉じます。

6 ADF カバーを閉じます。

両面プリントユニットでの紙づまり処理

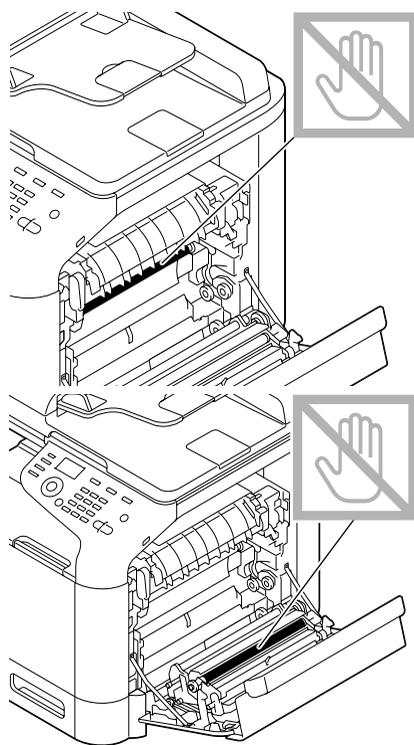
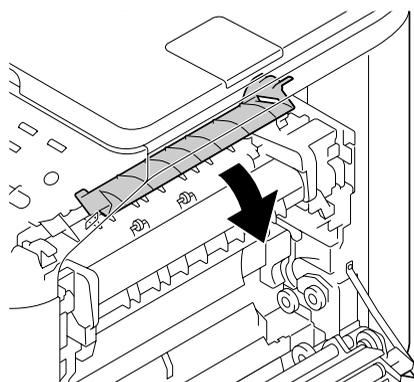
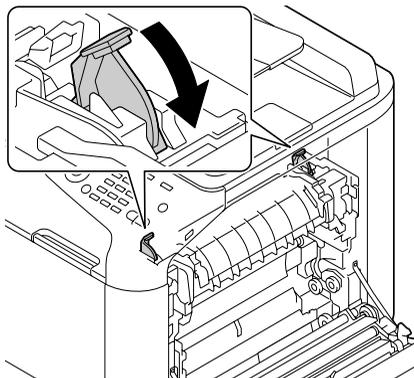
1 レバーを引き（①）、右カバーを開けます（②）。

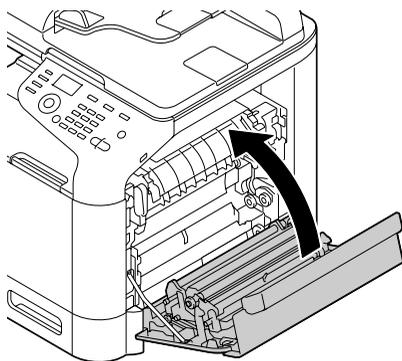
右カバーを開けるときは、必ずトレイ 1 をたたんでから開けてください。

2 つまっている用紙をゆっくりと引出します。

3 右カバーを閉じます。

定着ユニットでの紙づまり処理

1 レバーを引き（①）、右カバーを開きます（②）。

右カバーを開くときは、必ずトレイ 1 をたたんでから開いてください。

2 緑のレバー（2 箇所）を押し上げます。

3 緑色のシール(*)が貼ってある部分を持って、定着カバーを開きます。

4 つまった用紙をゆっくりと引出します。

下側に取り除くことができない場合は、定着ユニットの上側から取り除きます。

注 意

使用中にプリンターの右カバーを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットなどに触れないでください。また、プリンター使用中に定着ユニットを取り外すときは、電源を切り、40 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

!重要

転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

5 定着カバーを閉じます。

6 緑レバー（2 箇所）を押し下げます。

7 右カバーを閉じます。

定着カバーの緑のレバー（2 箇所）を必ず下げてから、右カバーを閉じてください。

紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙や原稿を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
ADF で紙づまりが起きている	ガイド板の幅が、原稿サイズに合うように調節されていない。	ADF のガイド板を原稿サイズに合うように調節してください。 詳しくは「原稿をセットする」（p.179）をごらんください。
	原稿の枚数が最大積載量を超えている。	最大積載量を超えている原稿を取り除き、ADF の原稿枚数を減らしてセットしなおしてください。 最大積載量については 、「原稿について」（p.177）をごらんください。
	対応していない原稿を使用している。	本機が対応する原稿を使用してください。原稿の種類については 、「原稿について」（p.177）をごらんください。
紙づまりが起きる	ラベル紙が、トレイ 1/2 に逆向きにセットされている。	ラベル紙の向きを正しい向きにセットしてください。
	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「給紙ローラーの清掃」（p.350）をごらんください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	対応用紙については、「使用できる用紙」（p.145）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	トレイ 3 にラベル紙、ハガキ、レターヘッド、厚紙、光沢紙がセットされている。	ラベル紙、ハガキ、レターヘッド、厚紙、光沢紙はトレイ 1/2 にセットしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大補給量を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	封筒がトレイ 1 に正しくない向きにセットされている。	長形 3 号はフラップを開き、フラップ部が手前になるように縦長にセットしてください。
		洋形 6 号はフラップを上側にし、フラップ部を本機に向けてセットしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	封筒がトレイ 2/3 にセットされている。	封筒はトレイ 1 にセットしてください。
	トレイ 3 に不定形用紙がセットされている。	不定形用紙はトレイ 1/2 にセットしてください。
紙づまりのメッセージが消えない	本機内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
	本機をリセットする必要がある。	本機の右カバーを開閉してリセットしてください。
複数の用紙が重なって給紙される	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	封筒やラベル紙、レターヘッド、ハガキ、光沢紙、両面不可紙を両面印刷に使用しないでください。
		60 ～ 90 g/ ㎡の普通紙（再生紙）、91 ～ 210 g/ ㎡の厚紙、60 ～ 90 g/ ㎡の特殊紙で両面印刷ができます。プリンタードライバーで用紙種類を正しく設定してください。両面印刷に対応している用紙については、「使用できる用紙」（p.145）をごらんください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		対応用紙については 、「使用できる用紙」（p.145）をごらんください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

その他の問題

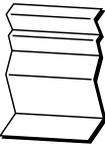
症状	原因	処置のしかた
本機の電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数が本機の仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.426）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに［ﾄﾅｰ残量少 x］が表示される	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」（p.426）をごらんください。
設定情報リストが印刷されない	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	紙づまりがおきている。	つまっている用紙を取り除いてください。
トレイ 1 の用紙種類または用紙サイズを変更すると、［ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ確認］が表示される	ファクスを受信したとき、設定されている用紙種類または用紙サイズでは印刷できない。 しかし、コピー、印刷はできる。	ファクスキーを押してエラー内容を確認してください。 受信されたファクスを印刷するには、用紙種類を、［普通紙］に、用紙サイズを［A4］、［LETTER］、［LEGAL］に変更してください。

症状	原因	処置のしかた
USB メモリーから印刷できない	印刷できるファイル形式（拡張子）と一致していない。	印刷できるファイル形式（拡張子）は、JPEG、TIFF、XPS、PDF のみです。
	本機の［ﾒﾓﾘ ﾀﾞｲﾚｸﾄ］が［無効］になっている。	［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾒﾓﾘ ﾀﾞｲﾚｸﾄ］の設定を［有効］に変更してください。
	ユーザー認証でパブリックユーザーが設定されていない。	本機の管理者にご確認ください。
	暗号化された USB メモリーを使用している。	暗号化された USB メモリーは使用できません。
	増設ストレージ HDD を装着していない。	オプションの増設ストレージ HDD を装着していないと、メモリプリントはできません。 増設ストレージ HDD の装着方法は「増設ストレージ HDD の取り付け方」（p.415）をごらんください。
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙など）に設定されている。	厚紙などの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタードライバーで［用紙種類］が普通紙に設定されているか確認してください。
	本機が節電中（スリープモード）になっている。	本機が節電中（スリープモード）の場合、印刷するまでに少し時間がかかります。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	プリンターのメモリーが十分でない。	メモリーを増設してください。
	コピーモードでプリントジョブを転送中にエラーが検出された。	エラー処理および印刷を再開するのに時間を要します。お待ちください。

症状	原因	処置のしかた
白紙が排出される	用紙や設定が正しくない。	プリンタードライバーで［用紙種類］が、本機にセットされている用紙と合っているか確認してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
印刷されないページがある	別のユーザーによりプリントジョブが途中でキャンセルされた。	印刷操作を再度実行し、残りのページを印刷してください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	フォームを設定して印刷しようとしたときに、本機以外のプリンタードライバーで作成されたフォームファイルが選択されている。	フォームを設定する場合は、適切なプリンタードライバーで書き出したフォームファイルを使用してください。
2in1（4in1）コピーを実行すると画像が欠ける	封筒に印刷する際、倍率を設定してから 2in1（4in1）コピーを設定した。	2in1（4in1）コピーが設定されると、本機は倍率を自動的に調整します。封筒など、印刷可能領域が狭い用紙に 2in1（4in1）コピーを行う場合は、最初に 2in1（4in1）コピーを設定してから、必要に応じて倍率を調整してください。
頻繁に本機がリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	対応用紙については 、「使用できる用紙」（p.145）をごらんください。 封筒、ラベル紙、ハガキ、光沢紙、両面不可紙、レターヘッドでは両面印刷しないでください。 トレイに異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		両面コピーの設定を正しく行ってください。 詳しくは、「両面コピーの設定」（p.215）をごらんください。
		プリンタードライバーの［レイアウト］タブの［印刷種類］で［両面］を選択してください。 プリンタードライバーの［レイアウト］タブの［とじ位置］で［短辺上とじ］［短辺下とじ］（メモ帳のように縦にめくる）、［長辺左とじ］［長辺右とじ］（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		ページ割付設定で両面印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタードライバーの［基本設定］タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
USB メモリーにスキャンデータを転送するのに時間がかかりすぎる	USB メモリーによっては応答時間が遅いものがある。	転送が完了するまでお待ちください。

症状	原因	処置のしかた
スキャンモードあるいはファクスモードに切り替えることができない	コピーモードでエラーが発生している。	エラーを解除してからモードを切り替えてください。
ページ割付設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタードライバーとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	ページ割付設定で 2 部以上の印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタードライバーの［基本設定］タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
小冊子印刷時に、左開き / 右開き / 上開き / 下開きの設定通りに印刷されない	プリンタードライバーとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	小冊子（左開き / 右開き / 上開き / 下開き）印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタードライバーの［基本設定］タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
異常音がする	本機が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	消耗品・定期交換部品が正しくセットされていない。	「消耗品の交換」（p.320）
	本機内に異物がある。	本機の電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
ADF からコピーまたはスキャンしたとき、用紙や画像の前方や後端に横スジが入る	ADF 搬送時に何らかの不具合が発生した可能性がある。	コピーで用紙にスジが入る場合は、コピー濃度を調整してください。 スキャニングで画像にスジが入る場合は、原稿ガラスからスキャンしてください。

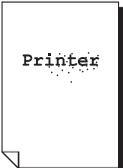
症状	原因	処置のしかた
スキャンした画像にノイズが入る	スキャンモードが［文 / 写］または［文字］に設定されている状態で、解像度が［150x150dpi］に設定されている。	スキャンモードを［写真］に設定してください。
スキャンした画像の一部が欠ける	Macintosh 版の Acrobat 8 を使用している。	Acrobat のスキャン設定で、OCR 機能とフィルタ機能を無効にしてください。
Web ベースのユーティリティーで本機にアクセスできない	EpsonNet Config の管理者パスワードが正しくない。	0 ～ 16 文字の管理者パスワードを入力してください。管理者パスワードについては管理者に確認してください。 EpsonNet Config の管理者パスワードについては［リファレンスガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。
用紙にしわができる	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーまたは定着ユニットに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	対応用紙については「使用できる用紙」（p.145）をごらんください。
ジョブが本機に送られたが、印刷されない	メッセージウィンドウにエラーメッセージが表示されている。	メッセージにしたがって操作してください。
	ユーザー認証を設定している場合、ジョブがキャンセルされることがあります。	プリンタードライバーの［認証］ボタンより必要な情報を入力し印刷してください。

症状	原因	処置のしかた
ハードディスクが自動的にフォーマットされる	ハードディスクの容量がいっぱいです。	ハードディスク内に保存しているプリントジョブやフォント、フォームファイルなどを削除してください。
操作パネルで表示される文字やメッセージが日本語ではない	操作パネルの言語設定が間違っている。	［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［言語］を［日本語］に設定してください。詳しくは「マシン設定メニュー」（p.83）をごらんください。

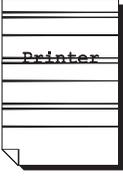
印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタードライバーの用紙設定と実際に本機にセットされている用紙が合っていない。	本機に正しい用紙をセットしてください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが正しくセットされていない。	感光体ユニットを取り出し、セットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
まっ黒または一面カラーで印刷される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷が薄い Printer	コピーの濃度設定が薄すぎる。	コピーの濃度を濃く設定してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	封筒、ラベル紙、ハガキ、レターヘッド、厚紙、光沢紙、両面不可紙、特殊紙に印刷する場合は、プリンタードライバーで［用紙種類］を指定してください。
	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
印刷が濃い Printer Printer Printer Printer	コピーの濃度設定が濃すぎる。	コピーの濃度を薄く設定してください。
	原稿が原稿ガラスから浮き上がっている	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。 詳しくは、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.179）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある	原稿ガラスが汚れている。	原稿ガラスを清掃してください。 詳しくは「本機外側の清掃」（p.350）をごらんください。
	原稿カバーパッドが汚れている。	原稿カバーパッドを清掃してください。 詳しくは「本機外側の清掃」（p.350）をごらんください
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
濃度が均一でない	本機が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像にムラがある、または一部分が欠ける	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	対応用紙については、「使用できる用紙」（p.145）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	対応用紙については、「使用できる用紙」（p.145）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	封筒、ラベル紙、ハガキ、レターヘッド、厚紙、光沢紙、両面不可紙、特殊紙に印刷する場合は、プリンタードライバーで［用紙種類］を指定してください。
しみやカスの汚れがある	1 つ以上の感光体ユニットが正しく装着されていない、または壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく）	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。
		給紙ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる	ADF 読取ガラスが汚れている。	ADF 読取ガラスを清掃してください。詳細は「本機の清掃」（p.349）をごらんください。 それでも白または黒、カラーの線が現れるときは、原稿ガラスからスキャンしてください。
	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける	レーザーレンズが汚れている。	レーザーレンズを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
横方向に線やスジが現れる	本機が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。	感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。
色再現が極端におかしい	1 つ以上の感光体ユニットが正しくセットされていない。	感光体ユニットを取り出し、セットしなおしてください。
	1 つ以上の感光体ユニットが壊れている、または寿命に達している。	感光体ユニットを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th>処置のしかた</th></tr>
<tr><td rowspan="4">色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）</td><td>階調補正が正しく行われていない。</td><td rowspan="2">操作パネルで［設定ﾒﾆｭｰ］-［ﾏｼﾝ設定］-［階調補正］を［ｵﾝ］に設定し、カラーキャリブレーションを実行してください。詳しくは、「マシン設定メニュー」（p.83）をごらんください。</td></tr>
<tr><td>キャリブレーション中にカバーを開けた。</td></tr>
<tr><td>用紙が湿気を帯びている。</td><td>湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。</td></tr>
<tr><td>1 つ以上の感光体ユニットが壊れている、または寿命に達している。</td><td>感光体ユニットを取り出して確認してください。壊れている場合は交換してください。</td></tr>
<tr><td>色再現が不十分、または色の濃度が薄い</td><td>1 つ以上の感光体ユニットが壊れている。</td><td>感光体ユニットを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、感光体ユニットを交換してください。</td></tr>
</table>

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。本機の情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

ステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
[PC ｽｷｬﾝ ｷｬﾝｾﾙ]	ドライバーからスキャンジョブがキャンセルされました。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
[ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟ中]	ウォームアップ中、カラーキャリブレーション実行中に表示されます。	
[受け付けました]	設定が確定されました。	
[検索中]	データを検索中です。	
[お待ちください!]	カラーキャリブレーションを実行中です。 本機は次のタイミングで自動的にカラーキャリブレーションを行います。 ● 電源オン時 ● 節電（スリープ）モード復帰時 ● 設定変更後の再起動時 ● トナーカートリッジ交換時 この処理は、本機の印刷品質を最適に保つために行われます。	
[ｽｷｬﾝ中]	原稿を読み込み中です。	
[ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ]	節電機能がはたらいています。節電中は本機の消費電力が減少します。	
(表示なし)		
[ﾃﾞｰﾀ受信中]	データを受信中です。	
[印刷待機中]	印刷待ち状態です。	
[印刷中]	印刷中です。	
[予約はありません]	予約されているジョブがありません。	

エラーメッセージ

ファクスのエラーメッセージについては、［ファクスユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

メッセージ	意味	処置のしかた
［802.1X ﾎﾟｰﾄ認証ﾀｲﾑｱｳﾄ］	IEEE802.1X ポート認証のタイムアウトにより、自動的にログオフされました。	再度 IEEE802.1X ポート認証を行い、ログインしてください。
［802.1X ﾎﾟｰﾄ認証中］	IEEE802.1X ポート認証が行われています。	認証が完了するまでお待ちください。
［HDD エラー］	ハードディスクドライブが他の装置でフォーマットされているため、使用できません。	エプソン純正の増設ストレージ HDD と交換するか、操作パネルから［PS ﾌﾟﾘﾝﾄ］-［ｼｽﾃﾑﾒﾆｭｰ］-［HDD ﾌｫｰﾏｯﾄ］-［全領域］を選択してハードディスクをフォーマットしてください。
［HDD 残量小］	ハードディスクドライブの容量がいっぱいです。	必要に応じてハードディスクドライブに保存されているデータを削除してください。
［IP ｱﾄﾞﾚｽ取得不可 xxx ｻｰﾊﾞｰ］	DNS サーバーから表示されているサーバーのアドレスを取得できません。	ネットワークの設定と関連設定を確認し、再度送信してください。
［P/U が寿命です x を交換］	表示されている感光体ユニットの交換時期に達しました。	表示されている感光体ユニットを交換してください。
［P/U が違います x］	本機が対応していない感光体ユニットが装着されています。	表示されている感光体ユニットを正しいものと交換してください。
［P/U が入っていません x 確認］	表示されている感光体ユニットが装着されていません。	表示されている感光体ユニットを装着してください。
［P/U 交換時期 x］	表示されている感光体ユニットの交換時期に達しました。	表示されている感光体ユニットを交換してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
[P/U 交換間近 x]	表示されている感光体ユニットの残りが少なくなりました。	表示されている感光体ユニットを交換してください。
[USB ﾊﾌﾞはｻﾎﾟｰﾄ外です]	本機に USB ハブが接続されています。	本機は USB ハブに対応していません。USB ケーブルを本機に接続する際、USB ハブは使用しないでください。
[USB ﾒﾓﾘがいっぱいです]	本機に接続した USB メモリーに空きスペースがありません。	USB メモリーのデータを削除して空きスペースを確保するか、別の USB メモリーを使用してください。
[xxx ｶﾊﾞｰが開いています xxx ｶﾊﾞｰを閉めてください]	表示されているカバーが開いています。	表示されているカバーを閉じてください。
[xxx ｻｰﾊﾞｰ ｴﾗｰ]	表示されているサーバーにファイルを保存することができません。	表示されているサーバーの状態を確認してください。
[宛先が長すぎます]	LDAP サーバーから取得した、メールアドレスの文字数が 64 文字を超えています。	本機が扱えるアドレスの文字数は 64 文字までです。文字数の少ない別のアドレスを使用してください。
[原稿を ADF から取り除いてください]	原稿ガラスからのスキャンが必要な機能で、原稿が ADF にセットされています。	原稿を原稿ガラスにセットしてください。
[検索数 +xxx を超えます]	LDAP 検索の結果が、[設定ﾒﾆｭｰ] - [管理者設定] - [LDAP 設定] の [検索最大表示件数] で設定した上限値を超えています。	上限値の設定を変更するか、検索方法を変更して(キーワードの文字数を増やすなど)、LDAP 検索を再度実行してください。
[検索時間切れ]	LDAP サーバーとの通信時間がタイムアウトしました。	LDAP サーバーに再接続してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
［ｻｰﾊﾞｰ ﾒﾓﾘ不足 SMTP ｻｰﾊﾞｰ］	SMTP サーバーのメモリーがいっぱいになっています。	ネットワーク管理者に連絡し、ディスクの空きスペースを確保してください。
［最適用紙がありません 用紙を補給 (xxx)］	印刷対象に対して適切な用紙がトレイにセットされていません。	適切な用紙をトレイにセットし、操作パネルでセットした用紙サイズを再設定してください。詳しくは、「［最適用紙がありません 用紙を補給 (xxx)］の処置のしかた」（p.408）をごらんください。
［ｻﾎﾟｰﾄ外の USB ﾃﾞﾊﾞｲｽ］	本機が対応していない USB 機器が接続されています。	該当する USB 機器を本機から取り外してください。
［ｼﾞｮﾌﾞ 保存不可　ｼﾞｮﾌﾞ を保存できません。］	増設ストレージ HDD が未装着の状態で、ハードディスクに保存指定されたプリントジョブが送信されています。	プリントジョブの保存は増設ストレージ HDD 装着時のみ実行できます。必要に応じて増設ストレージ HDD を装着してください。
［ｼﾞｮﾌﾞ をｷｬﾝｾﾙしました］	原稿ガラスでスキャンを実行しているときに、最初の原稿の読み込みが完了してから 1 分以上、原稿の読み込み、またはデータ送信が行われなかった場合、スキャンしたジョブは自動的にキャンセルされます。	本機の電源をオフにして、数秒後にオンにしてください。 複数ページの原稿（本など）を原稿ガラスでスキャンする場合は、最初のページをスキャンしてから 1 分以内に次ページをスキャンしてください。
［切断されました USB ﾒﾓﾘ］	USB メモリーとの接続が切断されました。	USB メモリーの接続を確認し、再度送信してください。
［切断されました xxx ｻｰﾊﾞｰ］	表示されているサーバーとの接続が切断されました。	ネットワークの設定と関連設定を確認し、再度接続してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
[接続できません xxx ｻｰﾊﾞｰ]	表示されているサーバーに接続できません。	ネットワークの設定と関連設定を確認し、再度接続してください。
[通信ｴﾗｰ PC 接続失敗]	スキャンしたデータを送信中に、コンピューターとの接続が切断されました。	コンピューターとの接続およびスキャナードライバーの状態を確認し、再度送信してください。
[通信ｴﾗｰ USB ﾒﾓﾘ]	スキャンしたデータを送信中に、USB メモリーとの接続が切断されました。	USB メモリーの接続を確認し、再度送信してください。
[通信ｴﾗｰ xxx ｻｰﾊﾞｰ]	スキャンしたデータを送信中に、表示されているサーバーとの接続が切断されました。	ネットワークの設定と関連設定を確認し、再度送信してください。
[定着ﾕﾆｯﾄ交換時期]	定着ユニットの交換時期に達しました。	定着ユニットを交換してください。 「定着ユニットの交換」(p.338)
[手差し用紙なし "用紙サイズ" "用紙種類"]	プリンタードライバーの[用紙トレイ]で[トレイ 1(手差し)]を選択しているときに、トレイ 1(手差しトレイ)に用紙がありません。	トレイ 1(手差しトレイ)に正しい用紙をセットしてください。
[手差し確認 "用紙サイズ" "用紙種類"]	プリンタードライバーの[用紙トレイ]で[トレイ 1(手差し)]を選択しているときに、プリント開始時にトレイ 1(手差しトレイ)に用紙がセットされています。	トレイ 1(手差しトレイ)の用紙をセットしなおしてください。
[転写ﾍﾞﾙﾄ交換時期]	転写ベルトユニットの交換時期に達しました。	販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

メッセージ	意味	処置のしかた
[転写ﾛｰﾗｰ交換時期]	転写ローラーの交換時期に達しました。	販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
[登録可能件数超えました]	スキャンデータの送信先が上限の 236 件に達しています。	いったん送信してから再度スキャンを行うか、不要な送信先を削除してから送信先を追加してください。
[登録されていません !]	短縮ダイアルとグループダイアルが 1 つも登録されていません。	スキャンデータの送信先を直接入力するか、短縮ダイアルまたはグループダイアルを登録してから送信先を再度設定してください。
[非純正トナー x]	本機が対応していないトナーカートリッジが装着されています。	表示されているトナーカートリッジを正しいものと交換してください。
[非純正トナー x ﾄﾅｰを交換する]	表示されているトナーカートリッジが正しくありません。	表示されているトナーカートリッジを正しいカートリッジと交換してください。
[トナー交換 x を交換]	表示されているトナーカートリッジのトナーがなくなりました。	表示されているトナーカートリッジを交換してください。
[ﾄﾅｰが入っていません x 確認]	表示されているトナーカートリッジが装着されていません。	表示されているトナーカートリッジを装着してください。
[ﾄﾅｰ残量少 x]	表示されているトナーカートリッジの残りが少なくなりました。	表示されているトナーカートリッジを準備してください。
[ﾄﾚｲ x が開いています ﾄﾚｲ x を閉じてください]	表示されているトレイが開いています。	表示されているトレイを閉じてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定なし］	ネットワークの設定が完了していません。	スキャンデータをネットワーク経由で送信するには、あらかじめ［設定ﾒﾆｭｰ］-［管理者設定］-［ﾈｯﾄﾜｰｸ設定］および［ﾒｰﾙ設定］でネットワークに関する設定を行ってください。
［排紙ﾄﾚｲいっぱいです 用紙を除いてください］	排紙トレイがいっぱいになりました。	排紙トレイから用紙を取り除いてください。
［廃ﾄﾅｰ ﾌﾙ ﾎﾞｯｸｽを交換する］	廃トナーボックスがいっぱいになりました。	廃トナーボックスを交換してください。
［廃ﾄﾅｰ 交換時期］	廃トナーボックスの交換時期が近くなりました。	交換用の廃トナーボックスを用意してください。
［ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが違います xxx］	パスワードが間違っているため、表示されているサーバーにアクセスできません。	パスワードを確認し、設定しなおしてください。
［ﾌｧｲﾙ ﾌﾙ］	イメージデータファイルの合計数が上限の 1024 個に達しています。	本機の電源をオフにして、数秒後にオンにしてください。 解像度を低く設定するなど、データ容量を少なくしてから再度スキャンしてください。
［部単位印刷ができません］	送信されたプリントジョブがハードディスクの容量を超えているため部単位印刷ができません。	1 部ずつプリントしてください。
［印刷ﾓｰﾄﾞ確認 =◀］	印刷中になんらかのエラーが発生しました。	［◀］キーを押して、エラーの状態を確認してください。
［ﾍﾟｰｼﾞ番号不一致 (何かｷｰを押す)］	［両面→両面］、［両面→片面］の原稿のページが表と裏で一致していません。	いずれかのキーを押して、ジョブをキャンセルします。

メッセージ	意味	処置のしかた
[保存ｼﾞｮﾌﾞｴﾗｰ “XXXXXX”]	ジョブを保存したときのオプション構成と違っています。	オプション構成をジョブが保存された状態に戻してください。
[未対応の用紙です 手差し両面を閉じるか ｻｲｽﾞを変えてください]	両面印刷に対応していない用紙がトレイにセットされています。	片面印刷にするか、両面印刷が可能な用紙を確認してください。
[設定が違います]	スキャンデータ送信先アドレスを設定する際に、ファクス番号が登録されている常用、短縮ダイアル、グループダイアルを設定しようとしています。	スキャンデータの送信先を直接入力するか、メールアドレスが登録されている常用、短縮ダイアル、グループダイアルを設定してください。
[ﾒﾓﾘ不足です]	受信データの合計サイズが、メモリーの容量を超えています。	本機の電源をオフにして、数秒後にオンにしてください。 解像度を低く設定するなど、データ容量を少なくしてから再度スキャンしてください。
[用紙がありません 用紙を補給]	表示されているトレイの用紙が切れています。	表示されているトレイに用紙を補充してください。
[用紙ｻｲｽﾞｴﾗｰ 用紙を確認 (xxx)]	表示されているサイズの用紙がトレイにセットされていません。	表示されているサイズの用紙をトレイにセットしてください。
[用紙ｻｲｽﾞが違います xxx を xxx に交換]	トレイにセットされている用紙のサイズが正しくありません。	メッセージにしたがって正しい用紙と交換してください。 トレイ 1 の場合のみ、交換した用紙サイズがトレイ 1 の用紙サイズとして保存されます。

メッセージ	意味	処置のしかた
[用紙種類が違います xxx を入れる]	表示されている用紙がトレイにセットされていません。	表示されている用紙をトレイにセットしてください。 トレイ 1 の場合のみ、交換した用紙種類がトレイ 1 の用紙種類として保存されます。
[両面ｺﾋﾟｰできません 両面機能を中止するか ｻｲｽﾞを変えてください]	両面印刷を設定しているのに、両面印刷に対応していない用紙サイズが選択されています。	片面印刷に切り替えるか、両面印刷が可能な用紙サイズを選択してください。

サービスメッセージ

このメッセージは、サービスエンジニアによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

メッセージ	意味	処置のしかた
[ﾏｼﾝ ﾄﾗﾌﾞﾙ ｻｰﾋﾞｽﾏﾝに連絡 (xxxx)]	サービスメッセージ内に表示されている "xxxx" のエラーが検出されました。	本機を再起動してください。多くの場合、これによりサービスメッセージが消え、本機は復旧します。 それでもメッセージが消えない場合には、エラーの情報を販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

[最適用紙がありません 用紙を補給 (xxx)] の処置のしかた

1 メッセージが表示されている状態で [コピー] キー、[スキャン] キー、[ファクス] キーのいずれかを押します。

2 適切な用紙を給紙トレイにセットします。

3 設定メニューから［用紙設定］を選択し、用紙をセットしたトレイの用紙サイズを変更します。

4 [戻る] キーを 2 回、または [ストップ / リセット] キーを 1 回押します。

印刷が開始されます。

オプションの取り付け 11

静電気防止の対策

!重要

コントロールーラーボードは、静電気にきわめて敏感です。コントロールーラーボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。
最初に電源スイッチを切っておいてください。静電気防止のリストストラップがある場合は、片方の端を手首に付け、もう片方の端を本機背面の金属部分につけます。リストストラップを機器に決して触れないようにしてください。プラスチック、ゴム、木、塗装された金属面は、接地面になりません。
静電気防止のリストストラップがない場合は、コントロールーラーボードや部品を取り扱う前に、接地面に触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。また、放電後は、歩き回らないでください。再度帯電する可能性があります。

メモリー（SO-DIMM）の取り付け

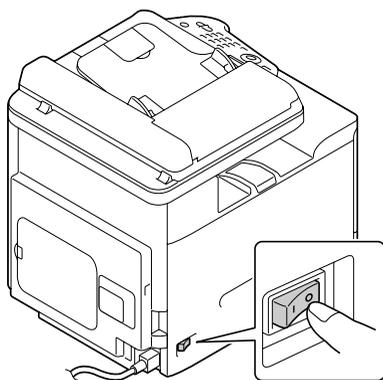
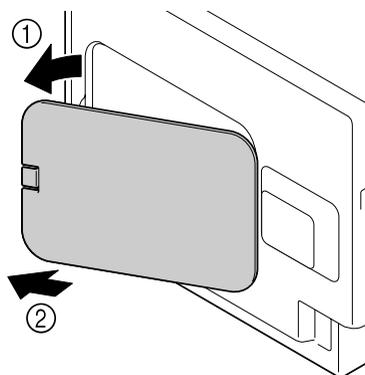
メモリー（SO-DIMM）は、メモリーチップが表面に載っている小型の基板です。

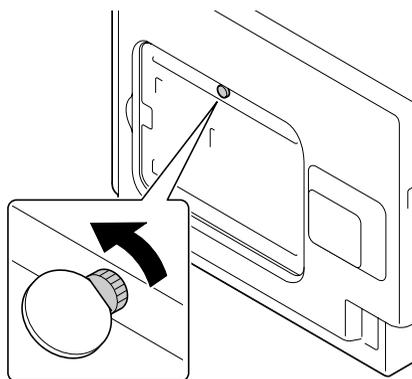
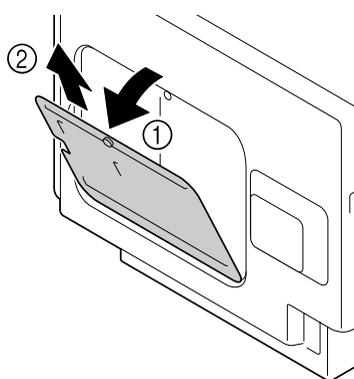
本製品は装着したメモリーの半分の容量のみ認識されます。

プリンターメモリーは標準 256MB で、最大 768MB まで増設可能です。コピーメモリーは 128MB で固定です。

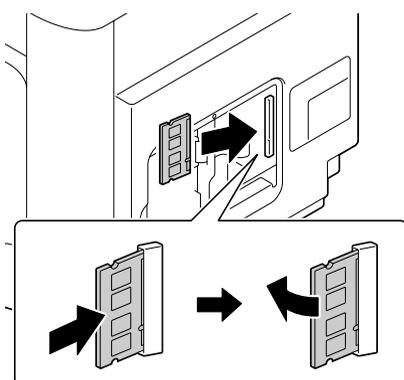
メモリーの取り付け方

> **!重要**
>
> コントローラーボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラーボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.411）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の緑色部を持ってください。

1 本機の電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 背面カバーを取り外します。

3 コインなどで内側のカバーのネジを外します。

4 内側のカバーを開けます。

5 切り欠きがコネクタのタブと合っているか確認しながら、メモリーを斜め（45 度くらい）に差し込み、カチッとはまるまで慎重に押し込みます。

メモリーの端を持って操作してください。

メモリーが正しくはまるとカチッという音がします。

6 内側のカバーを閉め、ネジで固定します。

7 背面カバーを取り付けます。

8 インターフェースケーブルを接続します。

9 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

10 [ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ] - [ﾚﾎﾟｰﾄ] - [設定情報ﾘｽﾄ] で設定情報リストページを印刷して、メモリーの総量を確認します。

11 装着したメモリーがプリンタードライバーで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.30）を参照し、手動でオプションの認識を行ってください。

増設ストレージ HDD の取り付け

オプションの増設ストレージ HDD を取り付けることで、ソート（部単位印刷）、ジョブの印刷／保存、フォント／フォーム／カラープロファイルのダウンロード、ユーザー認証、メモリプリントの使用が有効となります。

ユーザー使用可能エリアは 40 GB になります。

増設ストレージ HDD の取り付け方

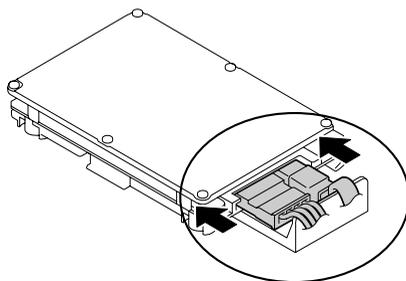
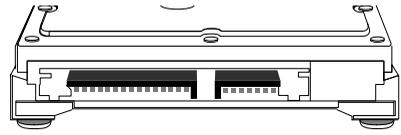
> **重要**
>
> コントローラーラーボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラーラーボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.411）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の緑色部を持ってください。

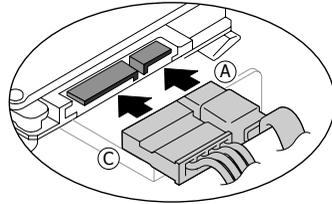
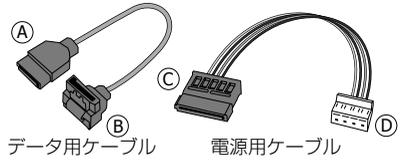
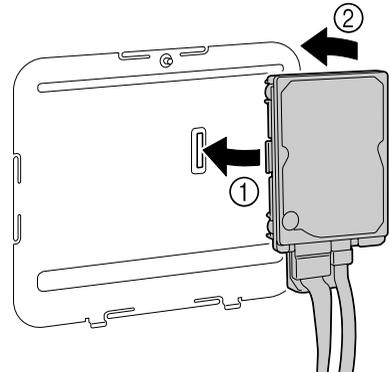
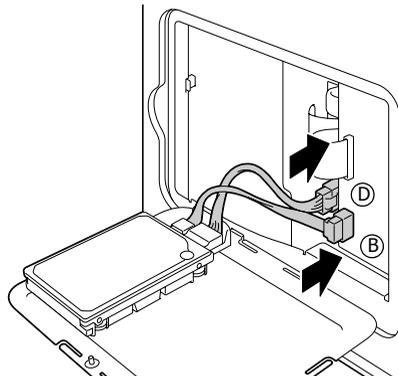
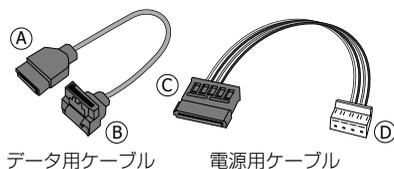
1 本機の電源を切り、電源ケーブルとインターフェースケーブルを取り外します。

2 背面カバーを取り外します。

3 コインなどで内側のカバーのネジを外します。

4 内側のカバーを開けます。

5 ケーブル（2 箇所）を増設ストレージ HDD に取り付けます。

L字の曲がりの方向に注意して差し込んでください。無理に逆に差し込むとコネクターを破壊する恐れがあります。

ハードディスク正面

ケーブルは、それぞれ両端の形状が異なっています。A と C の側をハードディスクに差し込んでください。

6 増設ストレージ HDD を内側のカバーの裏面に取り付けます。

7 増設ストレージ HDD のケーブル（2 箇所）をコネクタに差し込みます。

本体側には、B と D の側を挿入してください。

8 内側のカバーを閉め、ネジで固定します。

9 背面カバーを取り付けます。

10 インターフェースケーブルを接続します。

11 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

12 ［ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ］-［ﾚﾎﾟｰﾄ］-［設定情報ﾘｽﾄ］で設定情報リストページを印刷して、ハードディスクの容量を確認します。

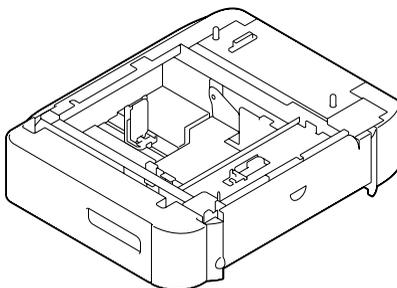
13 装着したハードディスクがプリンタードライバーで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、手動でインストール済みオプションに追加してください。詳しくは、「プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.30）をごらんください。

給紙ユニット（トレイ 3）の取り付け

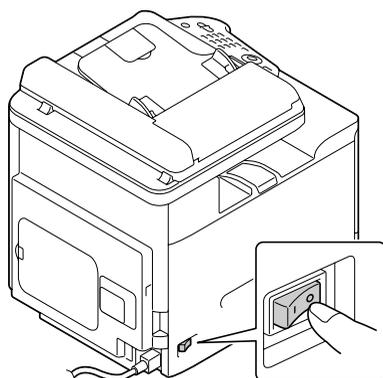
給紙ユニット（トレイ 3）を取り付けることができます。給紙ユニットには用紙を 500 枚までセットできます。給紙ユニットの商品名は「増設 1 段カセットユニット」です。

給紙ユニットの構成

■ 給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）

給紙ユニットの取り付け方

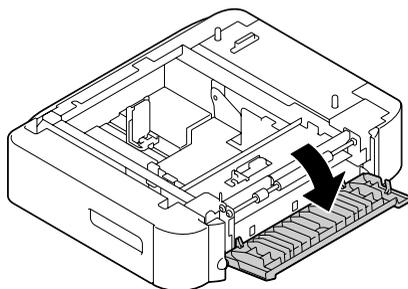
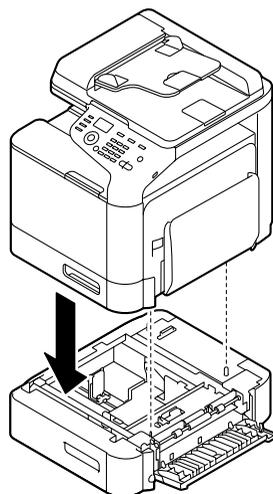
重要

本機には消耗品が取り付けられているため、本機を動かすときは、トナーがこぼれないよう本機を水平にして運んでください。

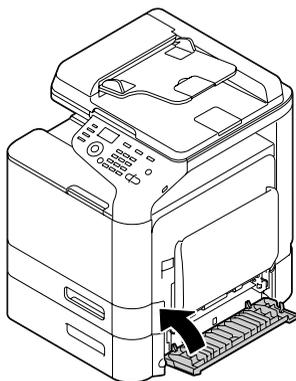
1 本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

2 給紙ユニットを用意します。

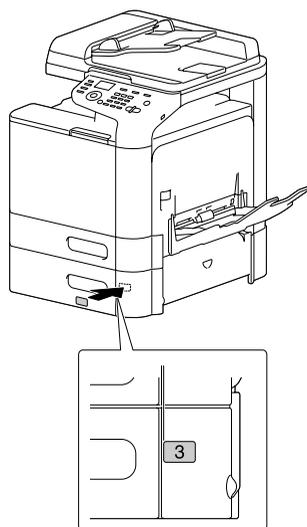
給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

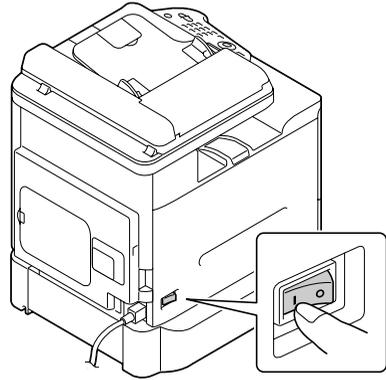
3 給紙ユニットのセカンドカバーを開きます。

必ず給紙ユニットのセカンドカバーを開いてから本機をセットしてください。

4 本機を 2 人で持ち、給紙ユニットと位置決めピンを本機の底の受け穴にあわせて正しくセットします。

⚠ 注 意

- 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は 2 人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  「技術仕様」（p.426）
- 本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
  「メンテナンス」（p.345）

5 給紙ユニットのセカンドカバーを閉じます。

6 給紙ユニットにラベルを貼ります。

給紙ユニット用ラベルは本機に付属されています。

7 インターフェースケーブルを接続します。

8 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

9 装着したトレイ 3 がプリンタードライバーで正しく認識されていることを確認します。

正しく認識されていない場合は、「プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）」（p.30）を参照し、手動でオプション認識を行ってください。

プリンタードライバーでは「給紙ユニット 3」または「トレイ 3」と表示されます。

付録 12

プリンターの移動と輸送

プリンターを移動したり輸送するときは、以下の通り作業を行ってください。

> ⚠注意
>
> - 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
>   無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
> - 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
>   開梱や移動の際は 2 人以上で運んでください。
>   本製品の質量は以下を参照してください。
>   「本体」（p.426）
> - 本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
>   他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
>   本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
>   「本機のメンテナンス」（p.346）
> - 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
>   転倒などによる事故のおそれがあります。
> - 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
>   作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

近くへの移動

本機の電源を切り、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- トレイ 1（手差しトレイ）内の用紙（必ず MP トレイを閉じてください）
- トレイ 2（標準）内の用紙
- オプションの給紙ユニット（トレイ 3）

> ⚠注意
>
> オプションの給紙ユニット（トレイ 3）を取り付けたまま、本機ごと持ち上げて移動しないでください。

輸送

本機を輸送するときは、以下の準備をしてください。震動や衝撃から本機を守るために本機の購入時と同等の状態に梱包する必要があります。

1 本機の電源を切り、電源コード、ケーブルを取り外します。

2 オプションを取り外します。

「オプションの取り付け」－「給紙ユニット（トレイ 3）の取り付け」（p.419）を参照して、逆の手順で取り外してください。

注 意

オプションの給紙ユニット（トレイ 3）を取り付けたまま、本機ごと持ち上げて移動しないでください。

3 保護材や梱包材で梱包します。

セットアップガイド（冊子）「お使いになる前に」－「本機の設置」で外した感光体ユニットの固定部品も忘れずに取り付けてください。感光体が外れて正しく印刷できない場合があります。
固定部品の取り付け方法は、エプソンのホームページ（よくあるご質問（FAQ））をご確認ください。
http://www.epson.jp/support/

セットアップガイド（冊子）「お使いになる前に」－「内容物の確認」を参照して、逆の手順で取り付けてください。

以上で終了です。

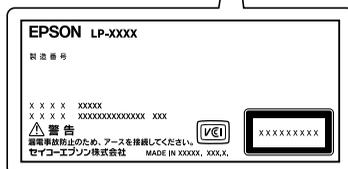
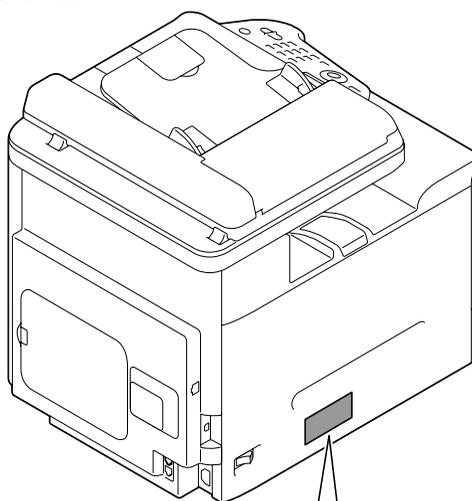
技術仕様

本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンター
印刷方式	半導体レーザー + 電子写真方式
露光方式	半導体レーザー + 回転ミラー
現像方式	電子写真方式
解像度	コピー時： 600 dpi × 600 dpi スキャン時： 600 dpi × 600 dpi、 600 dpi × 300 dpi (ADF 使用時) プリント時： 600 × 600 dpi × 3 bit
ファーストプリント時間（普通紙）	片面（モノクロ、カラー共に）： 16.0 秒（普通紙で A4 ／ LETTER の場合）
ファーストコピー時間	片面（モノクロ）： 14 秒以下 （普通紙で A4/LETTER コピー原稿：［文 / 写］） 片面（カラー）： 17 秒以下 （普通紙で A4/LETTER コピー原稿：［文 / 写］）
プリント速度	片面（モノクロ、カラー共に）： 24 枚／分（普通紙で A4 の場合）
コピー速度	片面（普通紙で A4 の場合）： 24 枚／分 ADF 使用時： 20 枚／分（モノクロ、［文 / 写］設定） 20 枚／分（フルカラー、［精細（文 / 写）］設定） 10 枚／分（フルカラー、［文 / 写］設定）
ウォームアップ時間	平均 38 秒（室温 23 ℃、湿度 65% で電源オンから印刷可能になるまでに要する時間）

用紙サイズ	トレイ 1（手差しトレイ） 幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 356 mm トレイ 2 幅：92 ～ 216 mm 長さ：148 ～ 297 mm トレイ 3（オプション） A4、B5、EXE、LETTER、GLG、LEGAL
用紙種類	● 普通紙（60 ～ 90 g/m²） ● 再生紙（60 ～ 90 g/m²） ● レターヘッド ● 封筒 ● ラベル紙 ● 厚紙 1（91 ～ 150 g/m²） ● 厚紙 2（151 ～ 210 g/m²） ● ハガキ ● 光沢紙 1（100 ～ 128 g/m²） ● 光沢紙 2（129 ～ 158 g/m²） ● 両面不可紙（60 ～ 90 g/m²） ● 特殊紙（60 ～ 90 g/m²）
給紙容量	トレイ 1（手差しトレイ） 普通紙、再生紙：100 枚 封筒：10 枚 レターヘッド、ラベル紙、厚紙 1/2、ハガキ、光沢紙 1/2：20 枚 トレイ 2 普通紙、再生紙：250 枚 レターヘッド、ラベル紙、厚紙 1/2、ハガキ、光沢紙 1/2：20 枚 トレイ 3（オプション） 普通紙、再生紙：500 枚
排紙容量	排紙トレイ：150 枚（普通紙）／ 10 枚（特殊紙）
動作時の温度	10 ～ 30 ℃
動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	AC 100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力：1000 W 以下 節電（スリープ）モード時：34 W 以下 電源オフ時：0 W

消費電流	9.7 A 以下
ノイズレベル	スタンバイ時：33 dB 以下 印刷時：52.5 dB 以下 コピー時：53.5 dB 以下
外形寸法	高さ：476 mm 幅：421.5 mm 奥行：544 mm 一部の突起および手差しトレイを除く
質量	27.7 kg（消耗品：非装着時） 32.2 kg（消耗品：装着時）
インターフェース	Hi-Speed USB 準拠、10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T（IEEE802.3）イーサネット、USB ホスト（メモリプリント／ SCAN TO USB メモリ）、RJ-45 コネクタ
メモリー	プリンター：256 MB、コピー：128 MB
機械寿命	400,000 ページまたは 5 年のいずれか早い方

製造番号の表示位置

保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。上図のラベル内容を確認してください。

オプション / 消耗品 / 定期交換部品一覧

以下は 2011 年 8 月現在の情報です。

オプション

商品名	型番	備考
USB ケーブル	USBCB2	Hi-Speed USB 対応
増設 1 段カセットユニット	LPA4CZ1CU3	B5 ～ LEGAL までの定形紙をセットできます。 容量：500 枚（用紙厚 80g/m^2） マニュアルでは「増設 1 段カセットユニット」を「給紙ユニット」または「トレイ 3」と記載しています。 取り付け方は「給紙ユニット（トレイ 3）の取り付け」（p.419）をごらんください。
増設ストレージ HDD	LPHD40G	容量：40GB

消耗品

商品名	型番	備考
ET カートリッジ　シアン	LPC4T9C	ET カートリッジと環境推進トナーの品質は同じです。
ET カートリッジ　マゼンタ	LPC4T9M	
ET カートリッジ　イエロー	LPC4T9Y	
ET カートリッジ　ブラック	LPC4T9K	
ET カートリッジ　ブラック（2 本パック）	LPC4T9KP	
環境推進トナー[*1]　シアン	LPC4T9CV	
環境推進トナー[*1]　マゼンタ	LPC4T9MV	
環境推進トナー[*1]　イエロー	LPC4T9YV	
環境推進トナー[*1]　ブラック	LPC4T9KV	
環境推進トナー[*1]　ブラック（2 本パック）	LPC4T9KPV	

商品名	型番	備考
廃トナーボックス	LPC4H9	印刷寿命[*2]：約 36,000 ページ（モノクロ時、連続印刷時） 約 9,000 ページ（カラー時、連続印刷時）
感光体ユニット　ブラック	LPC4K9K	印刷寿命[*3]：約 30,000 ページ（連続印刷時）
感光体ユニット　シアン	LPC4K9C	
感光体ユニット　マゼンタ	LPC4K9M	
感光体ユニット　イエロー	LPC4K9Y	
上質普通紙	LPCPPA4	普通紙への印刷において最良の印刷品質を得ることができる用紙 用紙サイズ：A4

*1 セイコーエプソン株式会社がトナーカートリッジ（容器）の所有権を保有し、「環境推進トナー使用許諾契約」に基づき、本製品に充てんされているトナーを使い切るまでの間の使用権を許諾する消耗品です。使用後は、環境推進トナーに添付の案内書をご覧いただき、セイコーエプソン株式会社に必ずご返却ください（送料無料）。
エプソンのホームページでもご確認いただけます。
アドレス http://www.epson.jp/products/offirio/printer/kankyotoner/

*2 JIS X 6932（ISO/IEC19798）に基づき、A4 普通紙に片面印刷した場合の印刷可能ページ数です。ただし、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が 1 〜数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿、節電モードへの移行回数および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため、消耗品の印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

*3 A4、約 5%連続印刷時。ただし、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が 1 〜数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿、節電モードへの移行回数および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため、消耗品の印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

定期交換部品

商品名	型番	備考
転写ベルト 転写ローラー 給紙ローラー	―	印刷寿命＊：約 100,000 ページ 印刷寿命＊：約 100,000 ページ 印刷寿命＊：約 300,000 ページ 本品の交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 441 ページ「お問い合わせ先」 定期交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず有償となります。
定着ユニット	LPC4TCU9	ユーザー交換可能な定期交換部品 印刷寿命＊：約 100,000 ページ

＊ A4、約 5%連続印刷時。ただし、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が 1 ～数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿、節電モードへの移行回数および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため、消耗品の印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

入力のしかた

入力できる文字

テンキーを使って、数字、文字、シンボルを入力します。
入力可能な文字は以下のとおりです。

ファクス番号入力時

テンキー	[1]	[1] *	[A] *
1	1	1	-1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	0	(space)0
*	*		
#	#		+

ファクス番号を表示するには、［設定ﾒﾆｭｰ］ - ［管理者設定］ - ［ﾕｰｻﾞｰ設定］ - ［ﾌｧｸｽ番号］を選択します。詳しくは、［ファクスユーザーズガイド］（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）をごらんください。

アドレス入力時

<table>
<tr><th>テンキー</th><th>[1]</th><th>[A]</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>.@_-1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>ABC2abc</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td>DEF3def</td></tr>
<tr><td>4</td><td>4</td><td>GHI4ghi</td></tr>
<tr><td>5</td><td>5</td><td>JKL5jkl</td></tr>
<tr><td>6</td><td>6</td><td>MNO6mno</td></tr>
<tr><td>7</td><td>7</td><td>PQRS7pqrs</td></tr>
<tr><td>8</td><td>8</td><td>TUV8tuv</td></tr>
<tr><td>9</td><td>9</td><td>WXYZ9wxyz</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>(space)0</td></tr>
<tr><td>＊</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>#</td><td>#</td><td>+&/*=!?()%[]^` ´ {}|$, :</td></tr>
</table>

その他

<table>
<tr><th>テンキー</th><th>[1]</th><th>[A]</th><th>[ア]</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>.,'?!"1-()@/:;_</td><td>ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>ABC2abc</td><td>ｶｷｸｹｺ</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td>DEF3def</td><td>ｻｼｽｾｿ</td></tr>
<tr><td>4</td><td>4</td><td>GHI4ghi</td><td>ﾀﾁﾂﾃﾄｯ</td></tr>
<tr><td>5</td><td>5</td><td>JKL5jkl</td><td>ﾅﾆﾇﾈﾉ</td></tr>
<tr><td>6</td><td>6</td><td>MNO6mno</td><td>ﾊﾋﾌﾍﾎ</td></tr>
<tr><td>7</td><td>7</td><td>PQRS7pqrs</td><td>ﾏﾐﾑﾒﾓ</td></tr>
<tr><td>8</td><td>8</td><td>TUV8tuv</td><td>ﾔﾕﾖｬｭｮ</td></tr>
<tr><td>9</td><td>9</td><td>WXYZ9wxyz</td><td>ﾗﾘﾙﾚﾛ</td></tr>
<tr><td>0</td><td></td><td>（スペース）0</td><td>ﾜｦﾝ（スペース）</td></tr>
<tr><td>#</td><td>#</td><td>*+=#%&<>[]{}|^`</td><td>ﾞﾟ</td></tr>
</table>

入力モードを変更する

［＊］キーを押すごとに、入力モードが数字、アルファベット、カタカナに切り替わります。

［1…］：数字入力モード

[A…]：アルファベット入力モード
[ｱ…]：カタカナ入力モード

入力例

入力手順は以下のとおりです。

例：

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ    [ｱ…]
```

1 [ｶﾅ] を押します。

入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :_              [ｱ…]
```

2 [1] キーを 4 回押します。

「ｴ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴ              [ｱ…]
```

3 [▶] を押します。

カーソルが右へ移動します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴ_             [ｱ…]
```

4 [1] キーを 2 回押します。

「ｲ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲ             [ｱ…]
```

5 [2] キーを 2 回押します。

「ｷ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷ            [ｱ…]
```

6 ［#］キーを 1 回押します。
「゛」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞ           [ｱ…]
```

7 ［8］キーを 6 回押します。
「ｮ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮ          [ｱ…]
```

8 ［1］キーを 3 回押します。
「ｳ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ         [ｱ…]
```

9 ［0］キーを 4 回押します。
スペースが入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ_        [ｱ…]
```

10 ［2］キーを 3 回押します。
「ｸ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸ       [ｱ…]
```

11 ［#］キーを 1 回押します。
「゛」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞ      [ｱ…]
```

12 ［9］キーを 3 回押します。
「ﾙ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ     [ｱ…]
```

13 ［⁎］を 2 回押します。
入力モードがアルファベットに切り替わります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ_    [A…]
```

14 ［1］キーを 8 回押します。

「-」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰ      [A…]
```

15 ［＊］を押します。

入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰ_     [ｱ…]
```

16 ［6］キーを 3 回押します。

「ﾌ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌ     [ｱ…]
```

17 ［#］キーを 2 回押します。

「ﾟ」が入力されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲｱﾙ 10
 登録名
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ    [ｱ…]
```

文字修正のしかたと入力時の注意

- 入力した文字をすべて削除するには、［戻る］キーを長押しします。
- 入力した文字の 1 部を削除するには、［◀］または［▶］キーを押して、カーソル（_）を削除したい文字に移動させ、［戻る］キーを押します。
- 続けて同じキーを使って入力する場合は、最初の文字を入力した後、［▶］キーを押してから次の文字を入力します。（上記の入力例を参照してください。）
- スペースを入力する場合は、カタカナ入力モードでは［0］キーを 4 回、アルファベット入力モードでは［0］キーを 1 回押してください。
- 濁点または半濁点はカタカナ入力モードで［#］キーを押します。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては「お問い合わせ先」でご案内しています。

441 ページ「お問い合わせ先」

マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアルの最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。

アドレス　http://www.epson.jp/support/

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

「トラブル シューティング」（p.360）

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご活用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター
  「お問い合わせ先」（p.441）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
  年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料についても有償となります）。
- 本機は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	● 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 ● 修理のつど発生する修理代・部品代＊は無償になるため予算化ができて便利です。 ● 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		● お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 ● 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料 + 技術料 + 部品代 修理完了後そのつどお支払いください。

＊　消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。

重要

・エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
・本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディーな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒060-0034　札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F　エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243　松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012　東京都日野市日野347　エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041　福岡市博多区吉塚8-5-75　初光流通センタービル3F　エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21　沖縄通関社ビル2F　エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
＊ 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ　http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・ 松本修理センター：0263-86-7660　・ 東京修理センター：042-584-8070　・ 福岡修理センター：092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先
＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、
修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話　**050-3155-7150**　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代行いたします。
＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。
＊年末年始(12/30～1/3)の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号に
おかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】　月曜日～金曜日　9：30～17：30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリの
おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

● 消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101)
でお買い求めください。(2010年7月現在)

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(LP)　2010．07

製品に関する諸注意と適合規格

本製品のご使用にあたっての諸注意や法律上のご注意、適合規格などについて説明します。

印刷されたものの保存

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

純正品推奨

本機は純正トナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、本機の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があ

ります。純正品以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

本製品の譲渡 / 廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（電話番号、宛先名称など）を消去してください。
消去方法については以下をご覧ください。
☞「ファクスユーザーズガイド」（ソフトウェアディスク内の PDF マニュアル）第 7 章

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便ハガキなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

オゾン

ページプリンターの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（3.0mg/h）を上回る

ことはありません。ただし、オゾン濃度はプリンターの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンターの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働
- 長時間印刷時や大量印刷時には、換気をするようにしてください。

エコマーク物質エミッションに関する試験方法

試験方法

RAL-UZ122：2006

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンター Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております消耗品を使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122：2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

レーザー製品の表示

本プリンターは、レーザーの国際規格ＩＥＣ60825-１で定められた、クラス１レーザー製品です。識別のため、「クラス１レーザー製品」と書かれたラベルを製品に貼付しています。通常使用時には、レーザーは内部にありお客様が被ばくすることはありません。

内部のレーザー放射ユニット

本プリンターの内部には、レーザー国際規格 IEC60825-1 で定められた、クラス 3B のレーザーダイオードを内蔵していますが、プリントヘッドのレーザー開口部においてはクラス１レベルに制御されています。

レーザー放射ユニットは、内部の見えない場所にあります。指示以外の分解行為は行わないでください。

指示以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらすおそれがあります。